一般国道9号(静間仁摩道路)改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書2

古屋敷遺跡 (D区)

2017年3月 国土交通省松江国道事務所 島 根 県 教 育 委 員 会

一般国道9号(静間仁摩道路)改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書2

古屋敷遺跡 (D区)

2017年3月 国土交通省松江国道事務所 島 根 県 教 育 委 員 会

現在、一般国道 9 号の大田市静間町~仁摩町間は、急カーブや急 勾配が連続する区間が多く、重大事故が発生しやすい状況にあります。また一般国道 9 号の代替路線がなく、交通事故や災害等の発生により、日常生活はもとより、地域の経済活動に多大な支障をきたしております。そのため、中国地方整備局松江国道事務所では、緊急時の代替路線の確保、医療・観光・物流活動の支援を目的として、静間・仁摩道路を平成20 年度から事業化し、整備を進めています。

道路整備にあたり、埋蔵文化財の保護に十分留意しつつ関係機関と協議を行っていますが、回避することのできない埋蔵文化財については、道路事業者の負担により必要な調査を実施し、記録保存を行っています。本事業においても、静間・仁摩道路建設地内にある遺跡について、島根県教育委員会の協力のもとに発掘調査を実施しました。

この報告書は平成26年度に実施した大田市仁摩町大国に所在する古屋敷遺跡 (D区)の発掘調査をとりまとめたものです。今回の調査では全国的にも貴重な縄文時代の木棺墓や、西日本では類例の少ない水さらし場遺構などを、当時の生活の様子を考える上できわめて重要な資料を得ることができました。本報告書がふるさと島根県の歴史を伝える貴重な資料として、学術並びに歴史教育のために広く活用されることを期待します。

最後に、当所の道路整備事業にご理解、ご支援をいただき、本埋蔵 文化財発掘調査及び調査報告書の編纂にご協力いただきました地元 の方々や関係諸機関の皆様に対し、深く感謝いたします。

平成29年3月

国土交通省中国地方整備局 松江国道事務所長 小 林 寛

島根県教育委員会では、国土交通省中国地方整備局松江国道事務所からの委託を受けて、平成25年度から一般国道9号(静間仁摩道路)改築工事に伴う発掘調査を実施しています。本書は、このうち平成26年度に実施した古屋敷遺跡(D区)の成果をとりまとめたものです。

古屋敷遺跡 (D区)は、縄文時代晩期を中心とする大田市仁摩町の遺跡で、中国地方で2遺跡目となる縄文晩期の保存状態のきわめて良好な木棺墓や、西日本地域ではめずらしい水さらし場遺構、県内では3例目となる彩文土器などの発見が相次ぎました。当県の縄文時代を研究するうえで貴重な資料を得ることができました。本書がこの地域の歴史を解明していくための基礎資料として広く活用される事を願っております。

最後になりましたが、発掘調査及び本報告書の刊行にあたり、御協力いただきました国土交通省中国地方整備局松江国道事務所をはじめ、大田市教育委員会、多くの地元の方々並びに関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

平成29年3月

島根県教育委員会 教育長 鴨 木 朗

例 言

- 1. 本書は、国土交通省中国地方整備局松江国道事務所から委託を受けて、島根県教育委員会が平成 26 年度に実施した一般国道 9 号(静間仁摩道路)改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査のうち、古屋敷遺跡(D区)(大田市仁摩町大国 135 番地他)の成果をとりまとめたものである。
- 2. 調査組織は次の通りである。

調查主体 島根県教育委員会

平成 26 年度 現地調査

[事務局] 廣江耕史(島根県教育庁埋蔵文化財調査センター所長)、渡部宏之(総務課長) 池淵俊一(管理課長)

[調査担当者] 林 健亮(調査第二課長)、無川美和子(調査第二課臨時職員)、岩田剛(同)

平成 27 年度 報告書作成

[事 務 局] 廣江耕史(島根県教育庁埋蔵文化財調査センター所長)、渡部宏之(総務課長) 池淵俊一(管理課長)

[調查担当者] 林 健亮(調查第二課長)、福田市子(調查第二課臨時職員)

平成 28 年度 報告書作成

[事務局] 萩 雅人(島根県教育庁埋蔵文化財調査センター所長)、渡部宏之(総務課長) 池淵俊一(管理課長)

[調査担当者] 林 健亮(調査第三課長)、秦 愛子(調査第三課臨時職員)、小川一樹(同)

- 3. 現地調査および整理作業において、以下の方々からご指導いただいた。(五十音順・肩書きは当時)会下和宏(島根大学ミュージアム准教授) 及川 穣(島根大学法文学部社会文化学科准教授)千葉 豊(京都大学文化財総合研究センター准教授) 中村健二(公益財団法人滋賀県文化財保護協会企画調整課副主幹)中村唯史(島根県立三瓶自然館主幹)幡中光輔(出雲市市民文化部文化財課主任)濱田竜彦(鳥取県立むきばんだ史跡公園調査整備担当係長)平郡達哉(島根大学法文学部社会文化学科准教授)松本直子(岡山大学大学院社会文化科学研究科准教授)山口雄治(岡山大学埋蔵文化財調査研究センター助教)山田昌久(首都大学東京大学院人文社会学研究科教授)山田康弘(国立歴史民俗博物館研究部准教授)山本悦代(岡山大学埋蔵文化財調査研究センター教授)米田克彦(岡山県古代吉備文化財センター調査第1課主任)
- 4. 発掘調査作業(安全管理、発掘作業員の雇用、掘削、測量等)については、島根県教育委員会から大畑建設株式会社に委託した。
- 5. 挿図中の北は、測量法による第Ⅲ平面直角座標系 X 軸方向を指し、座標系の XY 座標は世界測地系による。また、レベル高は海抜高を示す。
- 6. 本書第2図は、国土地理院発行の1/25,000地図(仁万)を使用して作成したものである。
- 7. 本書に掲載した写真は各調査員のほか、株式会社ジェクトが撮影した。
- 8. 本書の執筆は第1、2、3、5章を林、第4章を渡辺正巳(文化財調査コンサルタント)、上山晶子(管理課臨時職員)が行った。また、本書の編集は林が行った。
- 9. 本書に掲載した遺物及び実測図・写真などの資料は、島根県教育庁埋蔵文化財調査センターで保管している。

凡例

- 1. 遺物実測図の断面は、縄文土器・弥生土器を白ヌキ、石製品は斜線で示している。木製品については断面に年輪方向を模式的に記入している。
- 2. 本書で用いた土器の分類及び編年観は下記の論文・報告書に依拠している。
- (1)縄文土器

千葉 豊『西日本の縄文土器 後期』2010年 濱田竜彦「山陰地方における縄文時代晩期土器について」『縄文時代晩期の山陰地方』 第

(2) 弥生土器

『弥生土器の様式と編年 山陽・山陰編』1992年

16 回中四国縄文土器研究会鳥取実行委員会 2005 年

3. 土器の色調は、小山正忠・竹原秀雄『新版標準土色帖』(農林水産省農林水産技術会議事務局監修/(財)日本色彩研究所 色票監修)第37版 2014年に従った。

目 次

| 第1章 調査に至る経緯と経過・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | · · · · · · · 1 |
|----------------------------------------------------------------------|-----------------|
| 第2章 古屋敷遺跡の位置と歴史的環境・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | ••••• 4 |
| 1. 古屋敷遺跡の位置と地理的環境・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | ••••• 4 |
| 2. 古屋敷遺跡周辺の歴史的環境・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 4 |
| 第3章 古屋敷遺跡 (D区) の発掘調査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 8 |
| 1. 調査区の設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 8 |
| 2. 古屋敷遺跡 (D区) の土層堆積状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | •••••11 |
| 3. 第1遺構面の遺構・遺物・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 18 |
| 4. 第2遺構面の遺構・遺物・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 28 |
| 5. 第3遺構面の遺構・遺物・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | ••••47 |
| 6. 第4遺構面の遺構・遺物・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | •••••54 |
| 7. 第5遺構面の遺構・遺物・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 68 |
| 8. 第6遺構面の遺構・遺物・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 89 |
| 9. 第7遺構面の遺構・遺物・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | •••••97 |
| 10. 第8遺構面の遺構・遺物・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 104 |
| 11. 第8遺構面より下層の遺物・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 125 |
| 12. 遺構面に伴わない遺物 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | ••••127 |
| 第 4 章 自然科学分析 · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | •••••100 |
| 1. 古屋敷遺跡 D 区発掘調査に係る AMS 年代測定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 129 |
| 2. 古屋敷遺跡で検出された「土坑墓 (SKO1)」の自然科学的検証 ・・・・・・・・・・・・・・・ | 132 |
| 3. 古屋敷遺跡 (D区) から出土した赤色顔料付着遺物について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 138 |
| 第5章 総 括 | 143 |
| 1. 古屋敷遺跡 (D区) の調査成果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 143 |
| 2. 石製呪術具と考えられる石製品 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 143 |
| 3. 彩文土器について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | ••••144 |
| 4. 木棺墓について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | •••••144 |
| 5. 水さらし場遺構 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 146 |

挿 図 目 次

| 第1図 | 古屋敷遺跡の位置 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4 |
|--------|---------------------------------------------------------|
| 第2図 | 古屋敷遺跡の位置と周辺の遺跡・・・・・・・・5 |
| 第3図 | 古屋敷遺跡調査区配置図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・9 |
| 第4図 | 古屋敷遺跡 (D区) グリッド・セクション配置図 ・・・・・・・・・10 |
| 第5図 | 調査区西壁土層堆積状況・・・・・・・・・・・・・・・・・12 |
| 第6図 | 調査区北壁土層堆積状況(1) ************************************ |
| 第7図 | 調査区北壁土層堆積状況(2)・・・・・・・・・・・15 |
| 第8図 | 7 ライン土層堆積状況・・・・・・・・・16 |
| 第9図 | 9 ライン土層堆積状況・・・・・・・・・・・17 |
| 第 10 図 | 第 1 遺構面遺構配置図 ••••••19 |
| 第 11 図 | SD01 実測図 ······20 |
| 第 12 図 | SD01 出土遺物実測図(1) · · · · · · · 21 |
| 第 13 図 | SD01 出土遺物実測図(2) · · · · · · · 22 |
| 第 14 図 | SX01 実測図 ······23 |
| 第 15 図 | SX01 出土遺物実測図 · · · · · · 24 |
| 第 16 図 | SX02 実測図 ······25 |
| 第 17 図 | SX02 出土遺物実測図 · · · · · · 26 |
| 第 18 図 | 第 1 遺構面のその他の遺構実測図 ・・・・・・・・・27 |
| 第 19 図 | 第 1 遺構面出土石器実測図 ・・・・・・・・・・・27 |
| 第 20 図 | 第 1 遺構面出土土器実測図 ・・・・・・・28 |
| 第 21 図 | 第 2 遺構面遺構配置図 ・・・・・・・・・・・・・・・29 |
| 第 22 図 | SKO2 実測図 ······30 |
| 第 23 図 | SKO2 出土土器・木製品実測図 ・・・・・・・・・31 |
| 第 24 図 | SKO1 土層堆積状況(1) · · · · · · 32 |
| 第 25 図 | SK01 土層堆積状況(2) · · · · · · 33 |
| 第 26 図 | SKO1 棺材配置図(1) ·······34 |
| 第 27 図 | SKO1 棺材配置図(2) ·······35 |
| 第 28 図 | SK01 出土木製品実測図(1) *********36 |
| 第 29 図 | SK01 出土木製品実測図(2) ************************************ |
| 第 30 図 | SK01 出土木製品実測図(3) **********38 |
| 第31図 | SK01 出土木製品実測図(4) *********************************39 |
| 第 32 図 | SK01 出土土器・玉実測図 · · · · · · · 39 |
| 第 33 図 | 地床炉 11・24 実測図・・・・・・・・・・・・40 |
| 第 34 図 | 第 2 遺構面出土石器実測図 ・・・・・・・・・・・・・・・・41 |
| 第 35 図 | 第 2 遺構面出土土器実測図(1) ************************************ |
| 第 36 図 | 第 2 遺構面出十十器実測図(2) • • • • • • • • • • • • • • • • • • • |

| 第 37 図 | 第 2 遺構面出土土器実測図(3) ************************************ |
|--------|--------------------------------------------------------|
| 第 38 図 | 第 2 遺構面出土土器実測図(4) ************************************ |
| 第 39 図 | 第 3 遺構面遺構配置図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・46 |
| 第 40 図 | 第 3 遺構面土器だまり 1 実測図 ・・・・・・・・・・・・・・・・47 |
| 第41図 | 土器だまり 1 出土遺物実測図 ・・・・・・・・・・・・・・48 |
| 第 42 図 | 第 3 遺構面出土石器実測図(1) ************************************ |
| 第 43 図 | 第 3 遺構面出土石器・石製品実測図(2)・・・・・・・・50 |
| 第 44 図 | 第 3 遺構面出土土器実測図(1) ************************************ |
| 第 45 図 | 第 3 遺構面出土土器実測図(2) ************************************ |
| 第 46 図 | 第 3 遺構面出土土器実測図(3) ************************************ |
| 第 47 図 | 第 4 遺構面遺構配置図 ・・・・・・・・・・55 |
| 第 48 図 | 配石遺構 1 実測図 ・・・・・・・・・・・・・・・・56 |
| 第 49 図 | 土器だまり 3 実測図 · · · · · · · · · · · · · · · · · · · |
| 第 50 図 | 第 4 遺構面出土石器実測図(1) ************************************ |
| 第51図 | 第 4 遺構面出土石器実測図(2) ************************************ |
| 第 52 図 | 第 4 遺構面出土土器実測図(1) ************************************ |
| 第 53 図 | 第 4 遺構面出土土器実測図(2) ************************************ |
| 第 54 図 | 第 4 遺構面出土土器実測図(3) ************************************ |
| 第 55 図 | 第 4 遺構面出土土器実測図(4) ************************************ |
| 第 56 図 | 第 4 遺構面出土土器実測図(5) ************************************ |
| 第 57 図 | 第 4 遺構面出土土器実測図(6) ************************************ |
| 第 58 図 | 第 5 遺構面遺構配置図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・68 |
| 第 59 図 | 炭だまり 1 実測図 ・・・・・・・・・・・・・・・・70 |
| 第 60 図 | 炭だまり 3 実測図 ・・・・・・・・・・・・・・・71 |
| 第61図 | 炭だまり 1・3 出土遺物実測図 ・・・・・・・・・72 |
| 第 62 図 | 炭だまり 4 実測図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・73 |
| 第 63 図 | 炭だまり 4 出土遺物実測図 ・・・・・・・・・・・・・・74 |
| 第 64 図 | 地床炉 107・108・118 実測図 ・・・・・・・・・・・75 |
| 第 65 図 | 袋状土坑(Pit68)· 貯蔵穴実測図 · · · · · · · · · · · · · · · · 76 |
| 第 66 図 | F10 付近 Pit 実測図 · · · · · · · · · · · · · · · · · · · |
| 第 67 図 | 古屋敷遺跡 (D区) 南壁土層堆積状況・・・・・・・・・・77 |
| 第 68 図 | 水さらし場遺構実測図(1) ************************************ |
| 第 69 図 | 水さらし場遺構実測図(2) ************************************ |
| 第 70 図 | 水さらし場遺構出土遺物実測図 ・・・・・・・・・・・80 |
| 第71図 | 配石遺構 2 実測図 ・・・・・・・・・・・・・・・82 |
| 第 72 図 | 第 5 遺構面出土石器・石製品実測図(1)・・・・・・・・・・83 |
| 第 73 図 | 第 5 遺構面出土石器・石製品実測図(2)・・・・・・・・・84 |
| 第74図 | 第 5 遺構面出土土器実測図(1)85 |
| | |

| 第 75 図 | 第 5 遺構面出土土器実測図(2) ************************************ |
|---------|-----------------------------------------------------------------|
| 第76図 | 第 6 遺構面遺構配置図 ・・・・・・・・・・88 |
| 第77図 | 配石遺構 3 実測図 ・・・・・・・・・89 |
| 第78図 | 第 6 遺構面出土石器実測図(1) ************************************ |
| 第 79 図 | 第 6 遺構面出土石器実測図(2) ************************************ |
| 第80図 | 第 6 遺構面出土土器実測図(1) ************************************ |
| 第81図 | 第 6 遺構面出土土器実測図(2) ************************************ |
| 第82図 | 第 6 遺構面出土土器実測図(3) ************************************ |
| 第83図 | 第 6 遺構面出土土器実測図(4) ************************************ |
| 第84図 | 第 7 遺構面遺構配置図 ・・・・・・・・・・98 |
| 第85図 | 第 7 遺構面土坑実測図 ・・・・・・・・・・・・・・・99 |
| 第86図 | 第7遺構面出土石器実測図(1) ************************************ |
| 第87図 | 第7遺構面出土石器実測図(2) ************************************ |
| 第88図 | 第7遺構面出土土器実測図(1) ************************************ |
| 第89図 | 第7遺構面出土土器実測図(2) ************************************ |
| 第 90 図 | 第 8 遺構面遺構配置図 ・・・・・・105 |
| 第91図 | 第 8 遺構面 G9 付近実測図・・・・・・106 |
| 第92図 | 第 8 遺構面柱根 1・2 実測図・・・・・・・107 |
| 第93図 | 第 8 遺構面出土木製品実測図 ・・・・・・・・107 |
| 第94図 | 第 8 遺構面出土石器実測図 ・・・・・・・108 |
| 第 95 図 | 第8遺構面出土土器実測図(1) ************************************ |
| 第 96 図 | 第8遺構面出土土器実測図(2) ************************************ |
| 第 97 図 | 第8遺構面出土土器実測図(3) ************************************ |
| 第 98 図 | 第 8 遺構面出土土器実測図(4) ************************************ |
| 第99図 | 調查区東壁土層堆積状況 ・・・・・・113 |
| 第 100 図 | 第8遺構面 G10 土器だまり出土石器実測図 ・・・・・・・・・・・114 |
| 第 101 図 | 第8遺構面 G10 土器だまり出土土器実測図(1) · · · · · · · · · · · · · · · · · · · |
| 第 102 図 | 第8遺構面 G10 土器だまり出土土器実測図(2) · · · · · · · · · · · · · · · · · · · |
| 第 103 図 | 第8遺構面 G10 土器だまり出土土器実測図(3) · · · · · · · · · · · · · · · · · · · |
| 第 104 図 | 第8遺構面 G10 土器だまり出土土器実測図(4) · · · · · · · · · · · · · · · · · · · |
| 第 105 図 | 第8遺構面 G10 土器だまり出土土器実測図(5) · · · · · · · · · · · · · · · · · · · |
| 第 106 図 | 第8遺構面 G10 土器だまり出土土器実測図(6) · · · · · · · · · · · · · · · · · · · |
| 第 107 図 | 9 ライントレンチ下層出土石器実測図 ・・・・・・・・・・・121 |
| 第 108 図 | 9 ライントレンチ下層出土土器実測図 ・・・・・・・・・・・・122 |
| 第 109 図 | 各遺構面以外から出土した石器類実測図 ・・・・・・・・・・・124 |
| 第 110 図 | 各遺構面以外から出土した石製品・土製品・土器実測図・・・・・・・・・125 |
| 第 111 図 | |
| 第 112 図 | 調査区 (D区) 平面図 (試料採取地点) · · · · · · · · · · · · · · · · · · · |

| 第 113 | 図 暦年較正図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・130 |
|---------|----------------------------------------------------------|
| 第 114 🛭 | |
| 第 115 | |
| 第 116 | |
| 第 117 | |
| 第118 | |
| 第 119 | |
| 第 120 🛭 | |
| 第 121 | |
| 第 122 | |
| 第 123 🛭 | |
| 第 124 🛭 | |
| 第 125 | 図 蛍光 X 線分析スペクトル(2)・・・・・・・・・・・・142 |
| | |
| | \rightarrow \rightarrow \sim \sim \sim \sim |
| | 表目次 |
| | |
| 第1表 | 水さらし場遺構他出土植物遺存体観察表・・・・・・・・・・・81 |
| 第2表 | AMS 年代測定結果 · · · · · · · · · · · · · · · · · · · |
| 第3表 | PCN 測定結果 ······133 |
| 第4表 | 構成元素の割合と元素比・・・・・・・135 |
| 第5表 | 古屋敷遺跡 D 区出土赤色顔料付着遺物蛍光 X 線分析結果 • • • • • • • • 139 |
| 第6表 | 古屋敷遺跡 (D区) 出土石器観察表 •••••149 |
| 第7表 | 古屋敷遺跡(D区)出土木製品観察表・・・・・・・・153 |
| 第8表 | 古屋敷遺跡 (D区) 出土土器観察表 · · · · · · · · · · · · · · · · · · · |

写真図版目次

| 図版 1 | 古屋敷遺跡全景(空撮:東から) |
|-------|-------------------------------------------------|
| | 古屋敷遺跡全景(空撮:西から) |
| 図版 2 | 古屋敷遺跡(D区)表土掘削風景(北から) |
| 図版 3 | 古屋敷遺跡(D区)西壁第3遺構面より上層の土層堆積状況(東から) |
| | 古屋敷遺跡(D区)北壁土層堆積状況(南東から:耕作土直下に SR01 の砂礫が見える) |
| 図版 4 | 古屋敷遺跡(D区)西壁土層堆積状況(南東から:Iライン付近) |
| | 古屋敷遺跡(D区)北壁土層堆積状況(北東から:Gライン付近) |
| 図版 5 | 古屋敷遺跡 (D区) 北壁土層堆積状況 (南東から:9ライン付近) |
| | 古屋敷遺跡 (D区) 北壁土層堆積状況 (南西から:8ライン付近) |
| 図版 6 | 古屋敷遺跡(D 区)7 ライン土層堆積状況(北東から:G ライン付近 4a ~ 10a 層) |
| | 古屋敷遺跡(D 区)9 ライン土層堆積状況(南西から: I ライン付近 5a ~ 10a 層) |
| 図版 7 | I7 付近 SD01 土層堆積状況(東から) |
| | G8 付近 SD01 遺物出土状況(西から) |
| | G8 付近 SD01 遺物出土状況(北東から) |
| | G6 ~ I8 付近第 1 遺構面完掘状況(西から) |
| 図版 8 | SD01 出土遺物(1) |
| 図版 9 | SD01 出土遺物(2) |
| 図版 10 | SX01 土層堆積状況(東から) |
| | SX01 検出状況・遺物出土状況(南から) |
| | SX01 完掘状況(南から) |
| 図版 11 | SX02 遺物出土状況(東から) |
| | SX02 作業風景(東から) |
| | SX02 完掘状況(東から) |
| 図版 12 | SX03 完掘状況(東から) |
| | SX05 完掘状況(北から) |
| | SX06 完掘状況(北から) |
| 図版 13 | SX07 土層堆積状況(東から) |
| | SX09 完掘状況(北から) |
| 図版 14 | SX01 出土遺物 |
| 図版 15 | SX02 出土遺物 |
| 図版 16 | 第1遺構面出土遺物(1) |
| 図版 17 | 第1遺構面出土遺物(2) |
| 図版 18 | SK02 土層堆積状況(北から) |
| | SK02 遺物出土状況(北西から) |
| | SK02 完掘状況(北東から) |

図版 19 SK02 出土遺物 (1)

図版 20 SK02 出土遺物 (2) SK01 検出状況(北東から) 図版 21 SK01 蓋板検出状況(東から) SK01 蓋板検出状況(北東から) SK01 木棺墓内完掘状況(南東から) 図版 22 SK01 棺内土層堆積状況(北から) SK01 蓋板か北側板を突き破る杭(東から) SK01 棺内完掘状況(東から) 図版 23 SK01 棺内完掘状況(北から) SK01 床板除去状況(南東から) 図版 24 木棺墓東小口板と側板の関係(北西から) 木棺墓西小口板と側板の関係(東から) 図版 25 棺外北側面の土層堆積状況(西から) 棺外東小口の土層堆積状況(北から) 図版 26 SK01 墓坑土層堆積状況(北から) SK01 墓坑土層堆積状況(東から) SK01 完掘状況(東から) 図版 27 SK01 出土木製品(1) SK01 出土木製品(2) 図版 28 SK01 出土木製品(3) 図版 29 図版 30 SK01 出土木製品(4)・土器・玉 図版 31 地床炉 11 完掘状況(西から) 地床炉 24 検出状況(南から) SR01 検出状況(南から) 図版 32 第2遺構面出土石器 第2遺構面出土土器(1) 図版 33 第2遺構面出土土器(2) 図版 34 図版 35 第2遺構面出土土器(3) 図版 36 第2遺構面出土土器(4) 図版 37 土器だまり1検出状況(北西から) 地床炉 47 土層堆積状況(西から) 図版 38 土器だまり1出土遺物 図版 39 G6 付近第3遺構面完掘状況(西から) G10・H10付近第3遺構面完掘状況(東から) H10・G10付近第3遺構面完掘状況(南から) 図版 40 第3遺構面出土石器

第3遺構面出土土器(1)

第3遺構面出土土器(2)

図版 41

図版 42

- 図版 43 第 3 遺構面出土土器 (3)
- 図版 44 配石遺構検出状況(西から)

配石遺構完掘後の下層の状況(東から)

図版 45 H7 付近石製品 (51-10) 出土状況 (東から)

H7付近土器(52-1)出土状況(北から)

土器だまり3検出状況(東から)

第4遺構面7ライン以西完掘状況(北から)

図版 46 9 ライン土層堆積状況(南西から:石の載る面が第4遺構面)

第4遺構面出土石器(1)

- 図版 47 第 4 遺構面出土石器 (2)
- 図版 48 第 4 遺構面出土石器 (3)
- 図版 49 第 4 遺構面出土土器 (1)
- 図版 50 第 4 遺構面出土土器 (2)
- 図版 51 第 4 遺構面出土土器 (3)
- 図版 52 第 4 遺構面出土土器 (4)
- 図版 53 第 4 遺構面出土土器 (5)
- 図版 54 第 4 遺構面出土土器 (6)
- 図版 55 第 4 遺構面出土土器 (7)
- 図版 56 第 4 遺構面出土土器 (8)
- 図版 57 炭だまり 1 検出状況(東から)

炭だまり 1Pit24 (東から)

炭だまり1獣歯牙検出状況(南から)

図版 58 炭だまり 1 東側土層堆積状況(南から)

炭だまり1西側土層堆積状況(南から)

図版 59 炭だまり 1 遺物出土状況(東から)

炭だまり1円礫検出状況(西から)

炭だまり1完掘状況(東から)

図版 60 炭だまり 3 東側土層堆積状況(南から)

炭だまり3西側土層堆積状況(南から)

図版 61 炭だまり 3Pit94 (南から)

炭だまり3遺物出土状況(東から)

炭だまり3完掘状況(東から)

- 図版 62 炭だまり 1 出土遺物
- 図版 63 炭だまり 3 出土遺物
- 図版 64 炭だまり 4 遺物出土状況(南西から)

炭だまり4完掘状況(北から)

- 図版 65 炭だまり 4 出土遺物
- 図版 66 地床炉 107 土層堆積状況(南から)

地床炉 107 (左)・108 (右) 完掘状況 (北から: 奥は炭だまり3)

図版 67 地床炉 108 土層堆積状況(南から)

地床炉 118 完掘状況(西から)

図版 68 袋状土坑(Pit68)土層堆積状況(南から) 袋状土坑(Pit68)完掘状況(南から)

図版 70 地床炉 99 完掘状況(東から) F 10 付近 Pit 全景(東から)

図版 71 古屋敷遺跡 (D区) 南壁水さらし場遺構付近土層堆積状況 (北から) 水さらし場遺構検出状況 (北から)

図版 72 水さらし場遺構と SD04 検出状況(南から) SX12 検出状況(東から) 水さらし場遺構堅果類出土状況(西から)

図版 73 水さらし場遺構土層堆積状況(東から) 水さらし場遺構内部の状況(北から) SD04 遺物出土状況(北東から)

図版 74 水さらし場遺構内部の状況(東から) 水さらし場遺構埋土除去状況(北西から) 水さらし場遺構完掘状況(北から)

図版 75 水さらし場遺構出土遺物

図版 76 第 5 遺構面 7 ライン以西完掘状況(南西から) 第 5 遺構面 9 ライン以東完掘状況(北から)

図版 77 第 5 遺構面出土石器 (1)

図版 78 第 5 遺構面出土石器 (2)

図版 79 第 5 遺構面出土土器 (1)

図版 80 第 5 遺構面出土土器 (2)

図版 81 第 5 遺構面出土土器 (3)

図版 82 配石遺構 3 検出状況(北から) H8 磨石(79-1・3)出土状況(北から)

図版 83 H8 石斧 (78-7・8) 出土状況 (北から) 第 6 遺構面 7 ~ 9 ライン間完掘状況 (南東から)

図版84 第6遺構面出土石器(1)

図版 85 第6遺構面出土石器(2)

図版 86 第 6 遺構面出土土器 (1)

図版 87 第6遺構面出土土器(2)

図版 88 第 6 遺構面出土土器 (3)

- 図版 89 第6遺構面出土土器(4)
- 図版 90 第 6 遺構面出土土器 (5)
- 図版 91 SK13 土層堆積状況(9 ラインベルト: 西から)

SK15 土層堆積状況(東から)

図版 92 SK17 土層堆積状況(北東から)

SX19 遺物出土状況(西から)

図版 93 SX21 遺物出土状況(東から)

第7遺構面F8~G8付近完掘状況(北東から)

第7遺構面 I8 ~ H8 付近完掘状況(南東から)

図版 94 第7遺構面 9 ライン以東完掘状況(南東から)

第7遺構面出土石器(1)

図版 95 第7遺構面出土石器(2)

図版 96 第7遺構面出土石器 (3)

図版 97 第7遺構面出土土器(1)

図版 98 第7遺構面出土土器(2)

図版 99 柱根 1・2 検出状況 (南から)

柱根2(南から)

柱根1取り上げ状況(南から)

図版 100 第8遺構面7ライン以西完掘状況(南西から)

第8遺構面9ライン以東完掘状況(南東から)

図版 101 第8遺構面出土木製品・石器

図版 102 第8遺構面出土土器(1)

図版 103 第8遺構面出土土器 (2)

図版 104 第8遺構面出土土器(3)

図版 105 第8遺構面出土土器(4)

図版 106 第8遺構面出土土器(5)

図版 107 第8遺構面出土土器 (6)

古屋敷遺跡 (D区) 東壁土層堆積状況 (南西から:最下面近くの黒い堆積が G10 土器 だまり)

図版 108 G10 土器だまり作業風景(南から)

G10 土器だまり遺物(102-13) 出土状況(西から)

G10 土器だまり遺物出土状況(北から)

図版 109 G10 土器だまり出土石器・土器

図版 110 G10 土器だまり出土土器 (1)

図版 111 G10 土器だまり出土土器 (2)

図版 112 G10 土器だまり出土土器 (3)

図版 113 G10 土器だまり出土土器 (4)

図版 114 G10 土器だまり出土土器 (5)

- 図版 115 G10 土器だまり出土土器 (6)
- 図版 116 G10 土器だまり出土土器 (7)・土製品
- 図版 117 G10 土器だまり出土土器 (8)
- 図版 118 9 ライントレンチ下層 (G ライン付近) の状況 (北西から) 9 ライントレンチ下層 (I ライン付近) の状況 (南西から)
- 図版 119 第8遺構面 9 ライン以東 G10 土器だまり完掘状況(北から) 第8遺構面 G10 土器だまり完掘状況(北東から)
- 図版 120 9 ライン下層出土石器・土器
- 図版 121 9ライン下層出土土器
- 図版 122 古屋敷遺跡 (D区) 調査後全景 (西から) 古屋敷遺跡 (D区) 調査後全景 (北西から)
- 図版 123 各遺構面以外からの出土石器
- 図版 124 各遺構面以外からの出土石器・土器(1)
- 図版 125 各遺構面以外からの出土土器 (2)
- 図版 126 古屋敷遺跡 (D区) から出土した赤彩のある土器 (1)
- 図版 127 古屋敷遺跡 (D区) から出土した赤彩のある土器 (2)
- 図版 128 古屋敷遺跡 (D区) から出土した赤彩のある土器 (3)

第1章 調査に至る経緯と経過

一般国道 9 号は京都府京都市から山口県下関市に至る総延長約 750km で、山陰地方の諸都市を結ぶ幹線道路である。このうち、静間~仁摩間の現道は急カーブや急勾配が連続する区間が多く、重大事故が発生しやすい状況にある。また、この区間では、国際規格コンテナの通行支障トンネルや、事故・災害発生時の通行止めが発生し、大幅な迂回が必要となるなど、社会経済活動に大きな支障をきたしている。こうした問題を解決するため、島根県大田市静間町から大田市仁摩町大国に至る延長 7.9km を結ぶ自動車専用道路が計画され、平成 20 年度から「静間仁摩道路」として事業着手されている。

この計画に先立ち、国土交通省から島根県教育委員会に対して計画地内の埋蔵文化財についての 照会があり、平成16・17年度に最初の分布調査を実施した。その後、平成18年2月、平成22 年2月にも分布調査を実施した。島根県教育委員会では、平成22年5月25日付け島教文財第 233号で、本線予定地内に所在する8遺跡と4カ所の要注意箇所を回答している。平成23年度 末には工事用道路の分布調査を行い、これについては、平成24年4月9日付け島教文財第49号 で回答した。

これらの結果を受けて、国土交通省と島根県教育委員会の間で、予定地内の埋蔵文化財の取り扱いについて協議が行われ、平成25年3月26日付け国中整松一官第248号で文化財保護法第94条第1項の規定による通知が国土交通省から文化庁長官あてに提出された。それに対し、平成25年3月26日付け島教文財第11号の62で、島根県教育委員会教育長から10遺跡について記録保存のための発掘調査の実施が勧告された。

この間の平成 21 年 5 月には、静間仁摩道路の計画線に近い大田市五十猛町に所在する鳴滝山鉛鉱山跡について、世界遺産である石見銀山の操業に関わる鉛鉱山である可能性があることから、同年 7 月に現地協議を行った。平成 23 年 3 月に再度分布調査を行った結果、坑道そのものは事業地内に含まれていないことを確認したが、坑道に至る古道、及びそこから枝分かれする通称「御大師山古道」の取り扱いについては、平成 25 年 8 月 19 日付け国中整松調設第 50 号で文化財保護法第 94 条第 1 項の通知があり、平成 25 年 8 月 20 日付け島教文財第 15 の 35 で発掘調査の実施が勧告された。鳴滝山鉛鉱山古道と御大師山古道については、平成 25 年 9 月に周辺の測量と発掘調査を行った。

静間仁摩道路と仁摩温泉津道路の接点で仁摩・石見銀山インターチェンジに隣接する大田市仁摩町大国地内には庵寺石塔と呼ばれる岩窟があり、宝筐印塔などが納められている。この遺跡は、平成14年3月の分布調査で確認されていたが、平成15年7月に仁摩温泉津道路に関係して島根県教育委員会教育長から国土交通省へ回答した際には、仁摩温泉津道路建設予定地内には含まれていないと認識されていた。その後、平成19年7月には『石見銀山遺跡とその文化的景観』が世界遺産に登録されると、この付近は世界遺産のバッファゾーンとなった。岩窟内に安置される宝筐印塔は、元禄二(1688)年銘がある福光石製石塔で、保存状態がよく、紀年銘があることから石見銀山にある同型式の石塔類研究の基準資料となるもので、貴重なものとされた。この石塔と周囲の遺跡の保存について、平成22年10月の取り扱い協議で、「静間仁摩道路」に事業地内に含まれることが判明したため、島根県教育委員会から国土交通省に対し重要性を説明。同月、大田市石見銀山課

が国土交通省に対し、「石見銀山景観保全条例」との調整について協議を行った。それを受けて、 国土交通省では工法変更により岩窟付近を保存することになったが、工事の影響を受ける岩窟前面 のテラス部分については遺構の広がりを確認する必要が生じた。

静間仁摩道路建設予定地内の試掘確認調査は、平成24年度の古屋敷遺跡を最初に、平成25年10月に大田市五十猛町地内で、平成26年7月から12月には大国地頭所遺跡など6カ所で実施、平成27年度は静間町及び仁摩町地内で7カ所の試掘確認調査を実施した。その結果、垂水遺跡・松林寺遺跡・大国地頭所遺跡・庵寺石塔群(テラス部分)の発掘調査を実施することとなった。

平成25年度には古屋敷遺跡(A・B区)を、平成26年度には古屋敷遺跡(C・D・E・F区)を、平成27年度には古屋敷遺跡の残された部分(G・H・I区)、大国地頭所遺跡の発掘調査を行った。なお、平成25年度には、工事用道路に関連する大田市仁摩町宅野の城ノ内遺跡の発掘調査を行う予定であったが、工事の都合により延期された。この年の6月10日には、城ノ内遺跡周辺の石塔類について、立正大学文学部教授の池上悟氏、元島根県文化財保護審議会委員の田中義昭氏の調査指導を受けた。

平成 27 年度には大国地頭所遺跡約 3,500㎡及び古屋敷遺跡の残り約 2,500㎡について発掘調査を行うとともに、本報告書に関わる部分及び、古屋敷遺跡 (A・E区) の遺物整理作業を行った。翌 平成 28 年度に本報告の執筆・編集・印刷を行った。

古屋敷遺跡 古屋敷遺跡は大田市仁摩町大国に所在し、以前から遺物散布地として知られていた。 県道仁摩瑞穂線改良工事に伴い、圃場整備事業が計画されたことから、当時の仁摩町教育委員会が 平成7・8年度に発掘調査を実施している。この時の調査は、現市道沿いの約600㎡について行われ、 青磁や青花などの中近世の遺跡に伴う遺物が出土したほか、弥生前期の壺や土坑を検出している。

その後に計画された静間仁摩道路では、古屋敷遺跡付近にインターチェンジや橋梁に関わる大きな橋台が造成されることとなった。平成 23 年度までの分布調査結果では、10,000㎡以上の広大な範囲が調査対象地とされていたが、島根県教育委員会では、平成 24 年 5 月と $11 \sim 12$ 月に試掘確認調査を実施し、調査対象範囲を約 9,000㎡としたが、複数の遺構面が重なり、地表下 3m 近くまで続く遺物包含層の存在が明らかになり、調査の難航が予想された。

古屋敷遺跡の発掘調査は、平成25年5月から2班体制で着手した。調査区南端のA区700㎡と調査区北側にあるB区1,400㎡について実施することとなったが、A区の調査範囲を930㎡まで拡張した。しかし、調査は予想以上に難航したため、終了予定だった12月末からはさらに1班を増援し、翌年2月末まで調査を行った。

古屋敷遺跡 A 区の調査では縄文晩期の木棺墓と考えられる土坑を検出し、それを受けて平成 25 年 11 月 9 日に現地説明会を行い、80 名が参加した。平成 25 年 9 月 21 日には「第 62 回いにしえ倶楽部親子で発掘体験 in 仁摩」を開催し、46 名が発掘調査を体験した。また、平成 25 年 10 月 22 日には及川穣准氏、10 月 24 日には中村健二氏、11 月 20 日には山田康弘氏と濱田竜彦氏、平成 26 年 1 月 20 日には中村唯史氏の調査指導を受けた。また、平成 25 年 12 月 10 日に土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアムの松下孝幸氏・松下真実氏の調査指導を受け、木棺墓出土の人骨と思われる遺存体の取り上げ、鑑定を依頼した。

平成 26 年度は、3 パーティーを投入し、調査区中程の C 区約 1,800㎡、D 区約 1,800㎡、県道沿いで橋脚が計画されている E 区約 100㎡、北西側の F 区約 400㎡について調査を実施した。D

区では棺材が良好に残る木棺墓 (SKO1) を検出したため、6月30日に及川穣・平郡達哉両氏、7月7日に会下和宏氏、7月20日に山田康弘准教授に調査指導を受けた。また、10月にはD区で水さらし場遺構が発見されたことから、11月5日に及川穣・平郡達哉両氏に再び調査指導を受けるとともに、12月8日に山田昌久氏の指導を得た。11月4日には、自然科学の立場から中村唯史氏の指導を受けている。この間、10月20日には千葉豊氏史、11月19日には山本悦代・山口雄治両氏、12月11日には松本直子氏が来訪し、指導を得た。

11月8日には現地説明会を開催し、約80名が水さらし場遺構を中心に見学した。平成26年8月7日は埋蔵文化財調査センター主催で『教員のための文化財活用講座』が仁万まちづくりセンターで行われ、参加者が古屋敷遺跡を見学した。平成26年度も調査期間を延長し、翌年1月末まで現地調査を行った。

調査にあたっては平成 25 年度の調査開始当初から各年度・調査区とも共通した 1 辺 10 mのグリッドを設定し、各グリッドは調査対象地の北西側を起点として、南北方向にアルファベットを、東西方向に数字を割り振って、A1、A2・・・などと呼んだ。耕作土の除去はバケットに平爪を装着したバックフォーを使用し、遺物包含層の掘削は、主にスコップを用いて人力で掘り下げたが、遺物が集中する箇所は草削り・移植ゴテで掘り下げた。

平面図は、遺跡調査システム「遺構くん」を用いて測量し、出力後補正を行った。必要に応じて 手測りで平面図を作成し、その他報告書掲載が見込まれる遺物は遺跡調査システムで出土位置を記録した上で取り上げた。遺構の写真は、原則として35mmデジタルカメラで撮影し、必要に応じて記録保存のため6×7判フィルムカメラによる撮影も行った。

古屋敷遺跡 (D区)の遺物整理作業は、現地作業の合間を縫って平成27年4月から始めたが、平成27年5月には静間仁摩道路予定地内の試掘調査のため一時中断し、その後も朝山大田道路関係の報告書作成業務と平行しながら実施した。平成28年度には、朝山大田道路関連の発掘調査の合間に作業を進め、平成28年9月13日には中村唯史氏に再度石材の鑑定を依頼している。なお、本報告は、平成26年度に実施した古屋敷遺跡(D区)についての報告で、本来なら、調査順に平成25年度調査分から報告すべきであるが、他事業と調整の結果、変則的な刊行順となった。

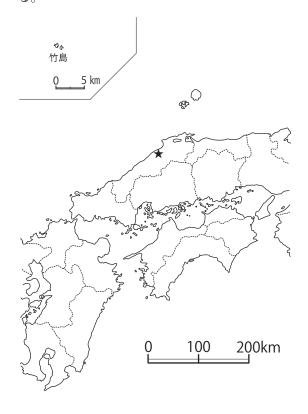
報告書作成は DTP 方式を採用し、遺物図面は実測図を、遺構図面は平面図・断面図等をレイアウトした下図をデジタルトレースした。デジタルトレースや図の加工などは Adobe 社製 Illustrator CS5・Photoshop CS5 を用いた。遺構・遺物写真はデジタルカメラで撮影した後、Photoshop CS5を用いてコントラスト調整し EPS データ化した。最終的な原稿執筆、編集作業は Adobe 社製 In Design CS5 を用いて行った。

第2章 古屋敷遺跡の位置と歴史的環境

1. 古屋敷遺跡の位置と地理的環境

かつて石見国であった島根県西部は中国山地から北に伸びる丘陵が日本海に迫り、深い入江となったリアス海岸と、その間に開けた平野や砂丘が交錯する変化に富んだ地形となっている。このうち、古屋敷遺跡の位置する大田市仁摩町は、石見東部に当たり、北に大田市五十猛町、南に大田市温泉津町、東には世界遺産『石見銀山遺跡とその文化的景観』の中心部である大田市大森町に接している。遺跡のある大田市仁摩町大国地区は、大田市仁摩町冠方面から大きく蛇行して日本海に注ぐ潮川の下流部に位置し、狭い山間を抜けた潮川が仁万平野で、急に開ける場所に当たる。古屋敷遺跡は、西流する潮川が運んだ堆砂によって形成された平野の最奥部に位置しており、周囲の標高は約9m、日本海からは東へ約2.2kmの位置にある。大田市仁摩町付近では、海岸線が南北方向に伸びており、西に日本海が広がっている。よって、国道9号線・JR山陰本線は北へ向かうと出雲・松江方面へ、南に向かうと江津・浜田方面に向かうことになる。

遺跡の南側にある丘陵尾根上には平成24年までに発掘調査が行われた庵寺古墳群 (註1) があったが、現在では仁摩温泉津道路の石見銀山・仁摩インターチェンジとなっている。また、遺跡に接して、元禄二(1688)年銘のある宝筐印塔などを納めた岩窟があり、岩窟とその周辺は庵寺石塔群と呼ばれる遺跡となっている。遺跡の北東には標高153mの竜嵓山があり、その山頂付近は平坦面や土塁等が残っている。この竜嵓山の山頂周辺は、石見城跡として世界遺産『石見銀山遺跡とその文化的景観』の構成資産に含まれている。遺跡の北側には潮川が西流し、潮川北岸は斜面が迫っている。潮川右岸には大国地頭所遺跡、松林寺遺跡など弥生時代から中世に至る遺跡が知られている。

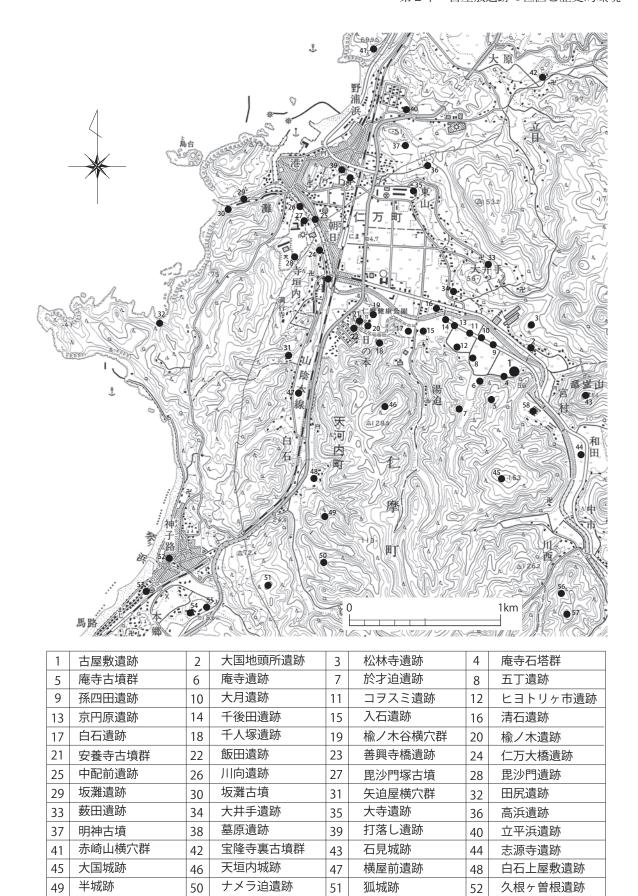


第1図 古屋敷遺跡の位置

2. 古屋敷遺跡周辺の歴史的環境

旧石器・縄文時代 大田市仁摩町周辺では 旧石器時代の遺跡は知られていない。

久根ヶ曽根遺跡 (52)、鳥居原遺跡 (55)、 仁万大橋遺跡 (24) などで縄文前期にさかの ぼる土器が出土している。中期・後期になる と川向遺跡 (26) や坂灘遺跡 (29) のほか、古 屋敷遺跡にも近い五丁遺跡 (8) など、次第に 遺跡数が増加する。縄文晩期の突帯文土器の 時期になると庵寺遺跡 (6)、千後田遺跡 (14) などで土器の出土が知られようになる。これ らの遺跡は、いずれも仁万平野縁辺の低湿地 や海岸近くの砂丘にあり、当時、入り込んで いた入海の周囲に縄文人の生活環境が広がっ ていたことが想像される。古屋敷遺跡から南 東に約 20km に位置する三瓶山北麓では三



第2図 古屋敷遺跡の位置と周辺の遺跡(1:25,000)

55

鳥居原遺跡

56

虹ヶ谷城跡

琴ヶ浜遺跡

茶臼山城跡

54

58

鳥居原古墳

駒岩遺跡

53

57

瓶小豆原埋没林が発見されており、炭化木片について 4310 ± 80yrsBP の年代が測定 (註2) され、この頃に三瓶山の大規模な噴火があったことが推定される。三瓶山の東側に当たる飯南町の志津見 ダム関連の発掘調査では厚い火山噴出物層が確認されているが、仁摩町周辺は三瓶山の北西に当たるため三瓶山の噴火の伴う噴出物等はほとんど見られない。

弥生時代 圃場整備に伴って旧仁摩町が発掘調査を行った古屋敷遺跡 (駐3) からは、多量の弥生時代前期の土器とともに複数の土坑が検出されている。古屋敷遺跡に隣接する五丁遺跡 (8) や庵寺遺跡 (6) でも、縄文晩期から弥生前期に流れていたと見られる自然流路が見られ、庵寺遺跡では 34点もの田下駄をはじめ木製品が出土している。川向遺跡 (26) では円形に配された杭列遺構をはじめ、前・中期の土器・石器・木製品など多くの遺物が出土している。

庵寺古墳群(5)では、仁万平野を見下ろす丘陵上で弥生後期の短期間に営まれた加工段が発見され、いわゆる高地性集落として注目される。楡ノ木遺跡(20)からは後期の竪穴建物跡が検出された。 このほか、同時期の遺跡としては大寺遺跡(35)、孫四田遺跡(9)などがあり、仁万平野周辺の丘陵部に遺跡が点在している。

古墳時代 仁万平野を望む位置に築かれた安養寺 1 号墳は 12×8 m の方墳で、箱式石棺をはじめ、 4 基の主体部を持つ。安養寺古墳群 (21) や坂灘遺跡 (29) からは壺棺と見られる大型の土師器壺が 出土している。坂灘古墳 (30) では、石を $2 \sim 3$ 段に積み上げた床面に石敷きの箱式石棺が明らか になっており、人骨や鹿角装刀子が出土している。また、古屋敷遺跡を見下ろす庵寺古墳群 (5) でも、 八禽鏡を出土した 1 B 号墳など複数の古墳が前期に遡ることが確認された。

古墳時代後期になると、明神古墳(37)、鳥居原古墳(54)をはじめ、五十猛の赤井穴ヶ迫古墳など、小平野毎に有力な古墳が築かれるようになる。庵寺古墳群でも、横穴式石室を持つ1A号墳が築かれるなど各地で横穴式石室が見られるようになる。この内、明神古墳は全長10.1mの巨大な横穴式石室に家形石棺を納め、金銅装円頭大刀や銅碗など優れた副葬品を持っていたことが知られ、鳥居原古墳でも双龍環頭大刀など優れた遺物が出土した。五十猛町の赤井穴ヶ迫古墳は石見地方では唯一の切石製横穴式石室を持つ古墳で、海上交通を介した出雲地方などとの交流をうかがわせる。また、楡ノ木谷横穴群(19)、矢迫屋横穴群(31)、赤崎山横穴群(41)など横穴墓も非常に多く知られる地域となっている。一方、大寺遺跡(35)・薮田遺跡(33)など古墳時代の遺物を出土する遺跡は少なくないが、住居跡を伴う集落遺跡の発見は少ない。

古代 この付近は、『和名類従抄』では邇摩郡大国郷に含まれると思われ、近隣には託農郷がある。また、『延喜式』に見える石見国には波祢、詫濃、楠道、江東、江西、伊甘の6驛家があったとされている。古代山陰道の位置は判明していないが、託農駅が現在の大田市仁摩町宅野付近であれば、比較的近くを山陰道が通っていた可能性がある。近隣での古代の遺跡の様相は明らかでないが、大田市温泉津町の中祖遺跡では古代の瓦を葺かれた建物跡が発見された。また、大田市水上町の白坏遺跡からは「延喜九 (909) 年」と記された木簡が出土し、末端官衙の可能性が指摘されている。近隣では、五丁遺跡 (8) で条里制の畦畔が検出されている。

中世・近世 平安時代末~鎌倉時代の遺跡には白石遺跡 (17) などがある。多数の掘立柱建物跡のほか、白磁・青磁などの貿易陶磁が出土した。

大永七年、石見銀山が再発見され、銀鉱山開発が活発すると、戦国大名の争奪の場となる。大国 地区においても世界遺産に含まれる石見城跡 (43) があり、銀山開発初期に銀鉱石を運んだとされ る石見銀山街道鞆ヶ浦道が近くを通っている。

天正十五 (1587) 年、九州攻め中の豊臣秀吉の元に陣中見舞いに向かう細川幽斎は、その行程を『九州道の記』に残している。丹後から日本海沿いに西に進む幽斎は石見銀山にも立ち寄っており、それによると、大浦に泊まり、大浦から仁万まで海路で移動し、仁万から石見銀山へ向かったとされていることから、仁万から銀山へ向かう、つまり、潮川沿いに古屋敷遺跡の対岸を石見銀山へ向かう道が当時のルートの一つであったと考えられる。

古屋敷遺跡南側の岩盤に穿たれた岩窟には元禄二 (1688) 年の銘を持つ大型の宝筐印塔や正徳五 (1715) 年銘の方柱状石塔などが納められ、その周辺を含め庵寺石塔群 (4) と呼ばれている。特に 宝筐印塔は石見銀山最盛期に当たる 17 世紀代のもので、組み合わせ式でありながら、すべての部 材が良好にそろい、保存状態も良いことから、きわめて貴重な資料となっている。

〈註〉

- (1) 『庵寺古墳群Ⅱ・大迫ツリ遺跡・小釜野遺跡』 島根県教育委員会 2014 年
- (2) 『三瓶埋没林調査報告書』 島根県環境生活部景観自然課 2000年
- (3) 『五丁地区遺跡群発掘調査報告書』 仁摩町教育委員会 1996年

〈参考文献〉

『増補改訂島根県遺跡地図Ⅱ(石見編)』 島根県教育委員会 2002年

『島根県生産遺跡分布調査報告書Ⅱ 石見部製鉄遺跡』 島根県教育委員会 1984 年

『島根県中近世城館分布調査報告書〈第1集〉石見の城館』 島根県教育委員会 1997年

『三瓶川流域遺跡他詳細分布調査Ⅱ』 大田市教育委員会 1984年

『日本歴史地名体系第 33 巻 島根県の地名』平凡社 1995 年

『角川日本地名大辞典 32 島根県』 角川書店

第3章 古屋敷遺跡 (D区) の発掘調査

1. 調査区の設定

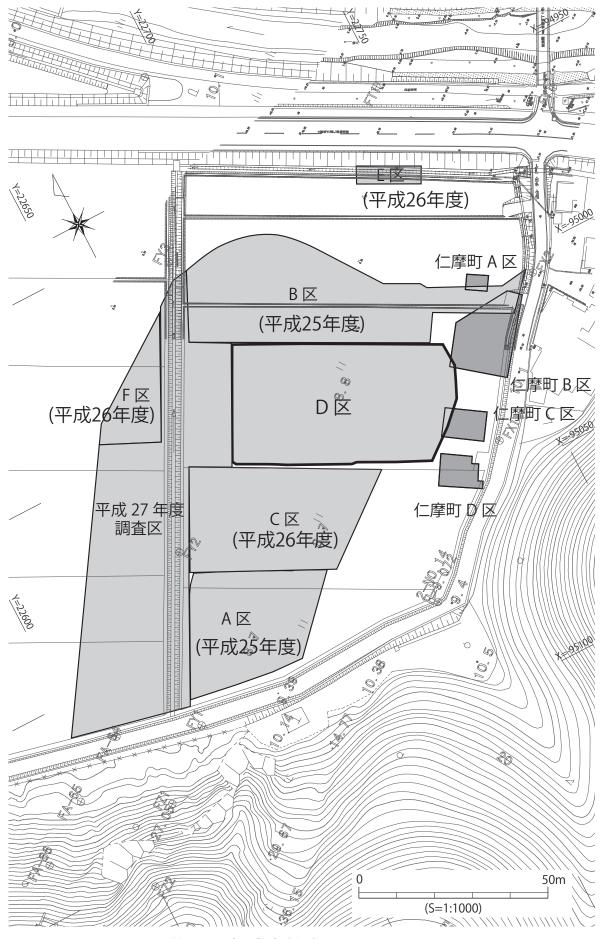
周知の埋蔵文化財包蔵地としての古屋敷遺跡は、14,000㎡にも及ぶ広大な遺跡である。工事計画や平成24年度に実施した試掘調査により、調査対象面積を約9,000㎡まで絞ったが、地表下約3mまでの間に多数の遺構面が存在することが判っていたため、単年度での調査は不可能だった。このため調査区を分割し、3年度に分けて調査を実施(第3図)した。

調査対象地は、道路の橋台が計画されている約8,900㎡と、潮川を渡る橋脚部分約100㎡からなる。古屋敷遺跡の周辺は平成8年に圃場整備が行われ、現状では水田となっているほか、遺跡西側に南北方向の水路が設置されている。遺跡南側は庵寺古墳群 (註1) のあった丘陵が迫り、丘陵との間には市道と用水路が通っている。調査初年度となる平成25年度には、高速道路の橋台部分の南北両側に当たるA・B区について実施し、平成26年度には、その間のC・D区、潮川を渡る橋脚部分に当たるE区、西側の水路を挟んだF区について調査を行った。また、西側の水路周辺に残る約2,500㎡については、平成27年度に調査を行っている。本書で報告するD区は調査対象地の中程に当たり、面積は約1,800㎡。調査前の標高は約8.7mだった。

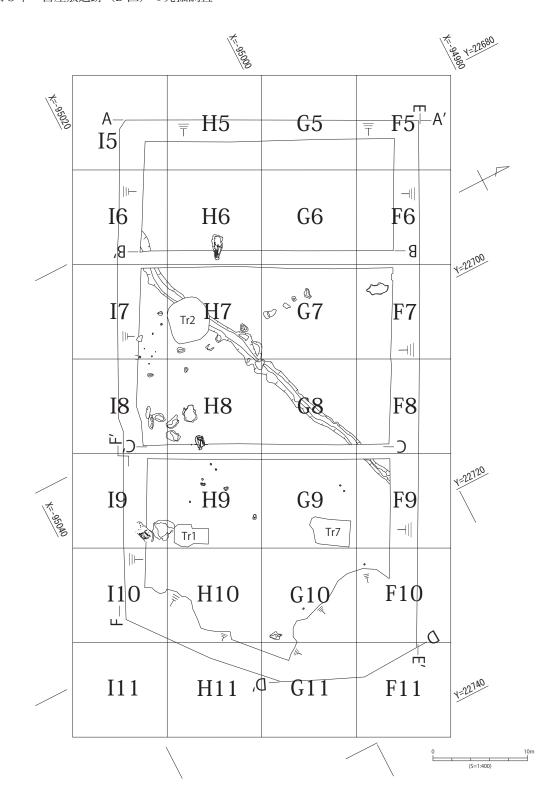
古屋敷遺跡は、平成7・8年度に圃場整備事業に伴って、当時の仁摩町教育委員会が約600㎡の発掘調査 (註2) を行っている。仁摩町教育委員会が行った発掘調査地は、今回の調査地の東側に当たり、現在の市道沿いに4つの調査区(第3図右側の仁摩町A~D区)を設けて行われた。この時の調査では、弥生前期の遺構面、中世・近世の遺構面を検出しているが、仁摩町教育委員会が実施した調査地は東側の山際に位置し、今回の調査地よりかなり標高が高い。掘立柱建物跡を検出し、白磁・青磁などが出土した中世の遺構面(第5層)が標高約9.2m、弥生前期とされる遺構面(第9層)でも標高約8.8mとなっており、本書で報告するD区では、調査前の地表面に近い高さで弥生前期の遺構が検出されていることになる。

D区の調査では、排水や土層観察のために、7ライン・9ラインにセクションベルトとトレンチを設定し、調査区を三分割(第4図)した。それぞれのトレンチやセクションベルトは、7ライントレンチ・9ラインセクションなどと呼んでいる。一方、調査区の周囲には土層観察を兼ねた排水溝を掘削した。排水溝は、崩壊を防ぐための勾配を確保した上で、その時点での調査面から50cm程度低くなるように掘削し、調査面が下がるのに従い随時先行して掘り下げを行っている。セクションベルトについては、調査面が低くなる毎に実測・写真撮影を行い、極端に高く残さないように上部を除去していった。調査面が下がっていくと、周囲の法面の傾斜を確保するため、各調査面は狭くなっていくが、セクションベルトはそれに伴って図面上逆台形となった。

古屋敷遺跡 D 区の発掘調査では、重機を使用して耕作土を除去し、標高 8.2m 付近より下層を人



第3図 古屋敷遺跡調査区配置図 (1:1,000)



第4図 古屋敷遺跡 (D区) グリッド・セクション配置図 (1:400)

力で掘削した。 $7 \cdot 9$ ラインのセクションベルトは耕作土除去後に設定し、それぞれの西側に、幅約 1 m のトレンチを人力で掘削した。D 区とした調査範囲には、平成 24 年度に行った試掘調査のトレンチ $1 \cdot 2 \cdot 7$ を含み、北壁にはトレンチ 4 の断面がかかっている (第7回)。

〈註〉

(1) 『梨ノ木坂遺跡・庵寺古墳群・庵寺遺跡Ⅱ』島根県教育委員会 2010年

『庵寺古墳群Ⅱ・大迫ツリ遺跡・小釜野遺跡』島根県教育委員会 2014 年

(2)『五丁地区遺跡群発掘調査報告書』仁摩町教育委員会 1999年

2. 古屋敷遺跡 (D区) の土層堆積状況

第5~9図には古屋敷遺跡(D区)での土層堆積状況を示している。遺跡全体が東から西へ傾斜していることから、北壁では、土層全体が西へ傾斜しており、西壁は比較的水平に近い堆積となっている。

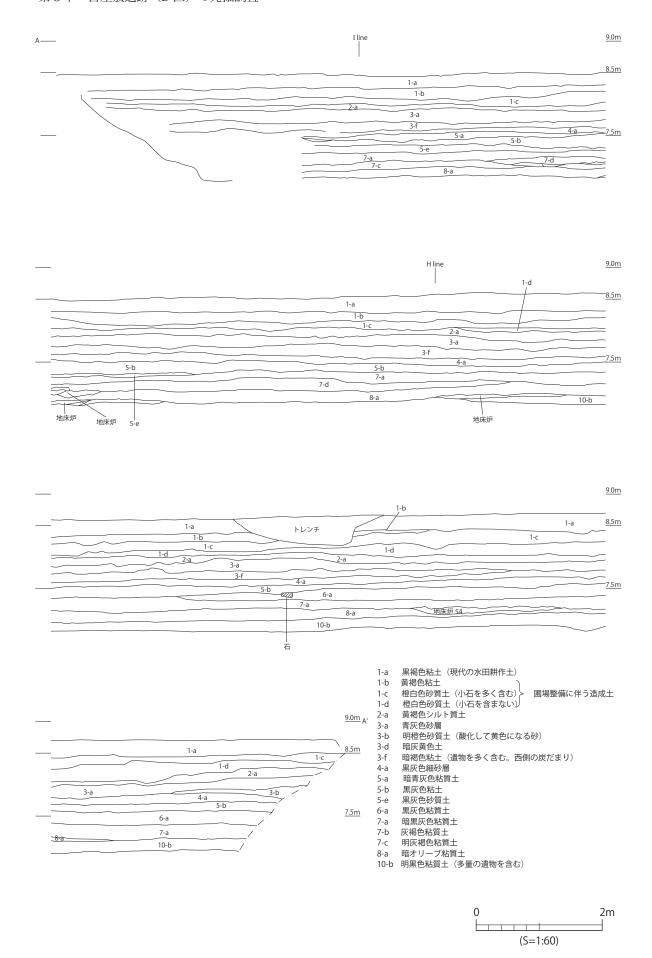
D区の地表面は、調査区西端で標高 8.5m、東端では標高 8.7m となっており、北西方向に向けて緩やかに傾斜している。地表から約 20cm 程の厚さで水田耕作土 (1-a) とその床土 (1-b) があり、その下には 10cm 程の厚さで、橙白色の砂質土 (1-c・d) が見られる。これらは圃場整備によって運ばれた客土と考えられる。

耕作土・圃場整備に伴う客土 (第1層)を除去すると、空気に触れると酸化して色が変わる砂質土層 (2-a・c・d)・灰色粘質土 (2-b) が現れる。灰色粘質土 (2-b) は、弥生土器を含む遺物包含層で、この粘質土は SX01・02 など弥生土器を含む遺構 (第1遺構面)を埋めている。第1遺構面は明橙色砂質土 (3-b) や灰色粘土層 (3-c) の上面である。第1遺構面付近の堆積は、東へ向かうに従って砂礫の割合が高まり、東側では黄白色砂質土に変わる。調査区中程で東西方向に横断する溝 (SD01)を検出している。SD01 の内部には酸化して明褐色になる砂礫が詰まっており、流水があったことが判る。9 ラインセクション (第9図)では SD01 の南側に砂質土の堆積が見え、何度かあふれ出して砂が堆積した様子 (明褐色砂礫層など)が観察される。SD01 は、北壁では9ラインの東側に続くはずだが、SR01 に近づき、砂質土が複雑に堆積を繰り返す場所のため、認識できなかった。第1遺構面では、H9周辺では不定形の土坑や木質が残る柱穴などが見られる。

調査区北壁(第7図)の東端には、砂礫層の厚い堆積が見られる。この砂礫は鉄分を含み、空気に触れると急速に変色し、常に湧水がある。中程の上面ではプラスチック片などを含んでいるが、縁辺部では弥生土器片のみを含んでおり、長期間にわたる自然流路と思われる。発見当初はSDO2としていたが、調査途中でSRO1に名称を変更している。この流路の影響であろうか、北壁の土層の内、東端近くは、砂質土層が交互に重なっており、たびたび浸食と堆積を繰り返していた様子がうかがわれる。この流路は、平成25年度B区から南に流れており、D区付近で南東から南西へ蛇行してC区の東隅をかすめ、平成25年度A区で大きくUターンし、西に流れを変えていることが判っている。

第1遺構面より下層には、西側で灰色粘土層 (3-c)、東側では青灰色砂層 (3-a) などが広がっており、弥生土器と突帯文土器を含んでいる。その下面を第2遺構面とした。第3層の堆積は南東側で厚く、西へ向かうと薄くなる。H8付近では木棺墓 (SKO1) を、H6付近で土坑 (SKO2) を検出しているが、SKO2の検出位置は、砂を含んだ灰色粘土層 (3-c)の上面に当たり、SKO1 などよりやや新しい可能性がある。7ライントレンチ南側でも炭を含んだ明褐色砂層の落ち込みがあり、遺構と思われる。

その下層は黒灰色細砂層 (4-a)、灰色細砂層 (4-b) が堆積しており、その下面を第3遺構面とした。 黒灰色細砂層 (4-a)、灰色細砂層 (4-b) は、H8・I8 より西には見られるが、東側では次第に薄くなる。 この面では多くの地床炉と考えられる焼土面や少量のピット、炭だまりなどが見られ、北壁の西側 では地床炉と考えられる炭を含んだ焼土面が見えている。また、9ライントレンチでは大きな石が



第5図 調査区西壁土層堆積状況 (A-A)(1:60)

見えており、周囲の状況から人為的に置かれたものと思われる。

第4遺構面は、明灰色粘質土 (5-c) の下面である。この面では突帯文土器を中心とした大量の土器が出土しているほか、G7 付近を中心に、複数の焼土面が重なり合う状況が見られた。この面では H9 付近で配石遺構を検出している。9 ライントレンチで石が置かれた面は 1 枚上層に当たるが、配石遺構や第2遺構面の SKO1 とも近接しており、この周辺の機能が、長期にわたって継続していた可能性もうかがわれる。

第4遺構面の下層には、空気に触れると急速に酸化して灰褐色になる黒灰色粘質土 (6-a) と、暗黒灰色粘質土 (6-b) が堆積しており、その下面を第5遺構面としている。暗黒灰色粘質土 (6-b) には非常に多くの遺物を含んでいる。この面では、ピット・土坑が点々と見られるが、第5遺構面の上面には、砂の流れ込みが多く見られ、たびたび浸水していたことがうかがえる。また、面として捉えることはできなかったが、北壁8ライン近くなどでは6層中に炭を含んだ落ち込みが見えている。 $G8\cdot G9\cdot H9$ 付近には、炭を含んだ黒灰色粘質土 (6-c) の堆積が見られ、多くの遺物を含んでいる。また、西壁では地床炉54とした被熱部分の断面が見えている。

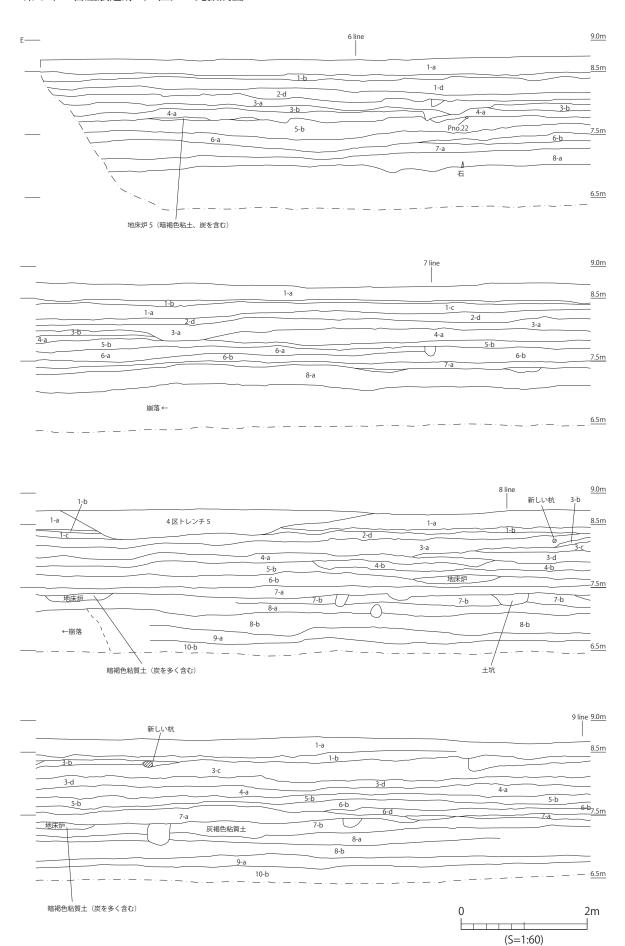
第1遺構面などで調査区北東隅をかすめていた河川流路跡 (SD02・SR01) は、調査区外東に抜けた後、大きく蛇行して H10・I10 付近で再び調査区内に入り込んできている。この流路の右岸で、I9 南壁に接する付近からは水さらし場遺構を検出している。水さらし場遺構周辺の土層堆積状況は、第36 図に示した。

第6遺構面とした部分は、標高 $7 \sim 7.5 \text{m}$ 付近に遺跡全体で見られる暗黒灰色粘質土 (7-a) を除去した下面である。この層には、比較的多くの遺物を含んでいる上、何面かの黒色土層が入り込む部分があることから、この間にも数面の生活面があったと考えられる。第6遺構面では、遺跡全面で小さなピットを多数検出しており、9 ライントレンチなどでも粘質土を含んだ落ち込みを検出している。第 $3 \sim 5$ 遺構面で多く見られた焼土面は少なくなり、変わってピットが急増する。また、標高の低い西側での遺物出土量が減少する。

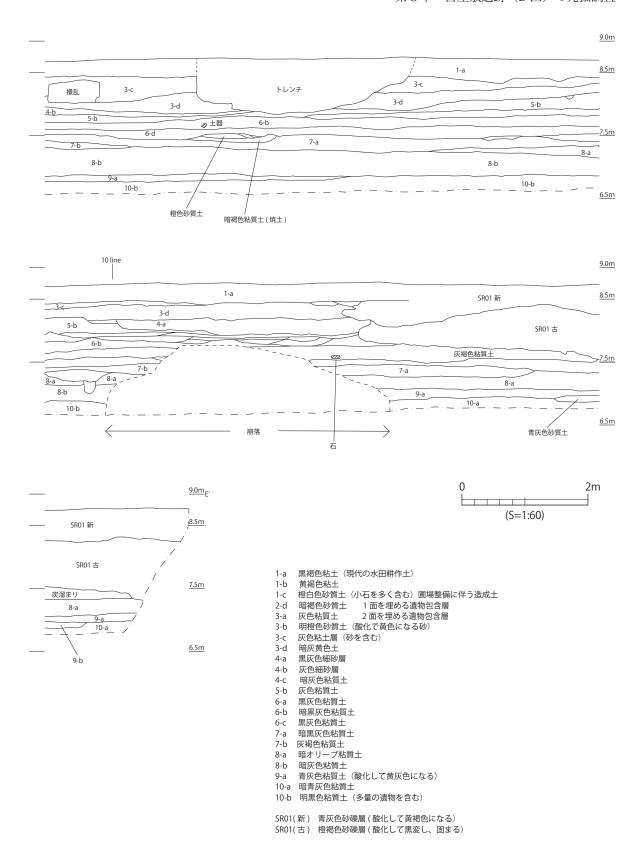
第6遺構面より下層には、細かい砂質土 (8-a・b) が堆積しているが、この砂質土は、空気に触れると変色し始める層で、西側では黄灰色に見え、場所によっては暗青灰色に見える。西側では比較的遺物が少なく、標高の高い東側に向かうと遺物量が多くなる。この包含層を除去した面を第7遺構面とした。この面では、焼土面はほとんど確認できなくなり、浅いピットや小さな土坑が多く見られるようになる。7ライントレンチの中程では、幅4m近くにわたって暗黒灰色粘質土が落ち込む部分があり、遺構と思われる。第8層は透水層で、湧水があるため、この層から壁面の崩壊が激しくなり、調査区西側では土層図が取れなくなる部分が出はじめた。

第8遺構面は、青灰色粘質土 (9-a) を掘り下げた下面で、9ライン付近では標高約6.6mである。G10・H10付近では、暗青灰色砂質土(9-b) が厚く堆積(第12図)しており、この中からは大量の遺物が出土している。この土は、東壁では標高約6.9m付近から堆積しており、西側に向けて大きく傾斜している。暗青灰色砂質土(9-b) が堆積している部分を除いた第8遺構面では、少数のピットが見られる。なお、この面のG6付近で柱根2点を検出しているが、後の検討で、上面(第7遺構面か)からの打ち込みと判断した。

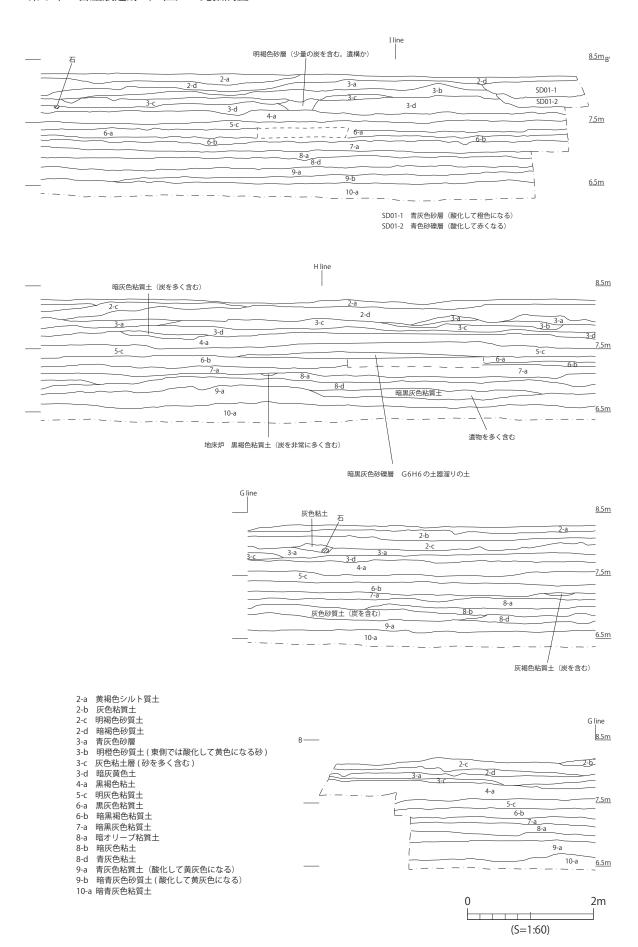
9 ライントレンチでは、第 8 遺構面に当たる明黒色粘質土 (10-b) より下層を掘り下げ、標高約 6.2m 付近で青灰色砂礫層 (12) に当たることを確認している。砂礫層中には遺物を含んでおらず、



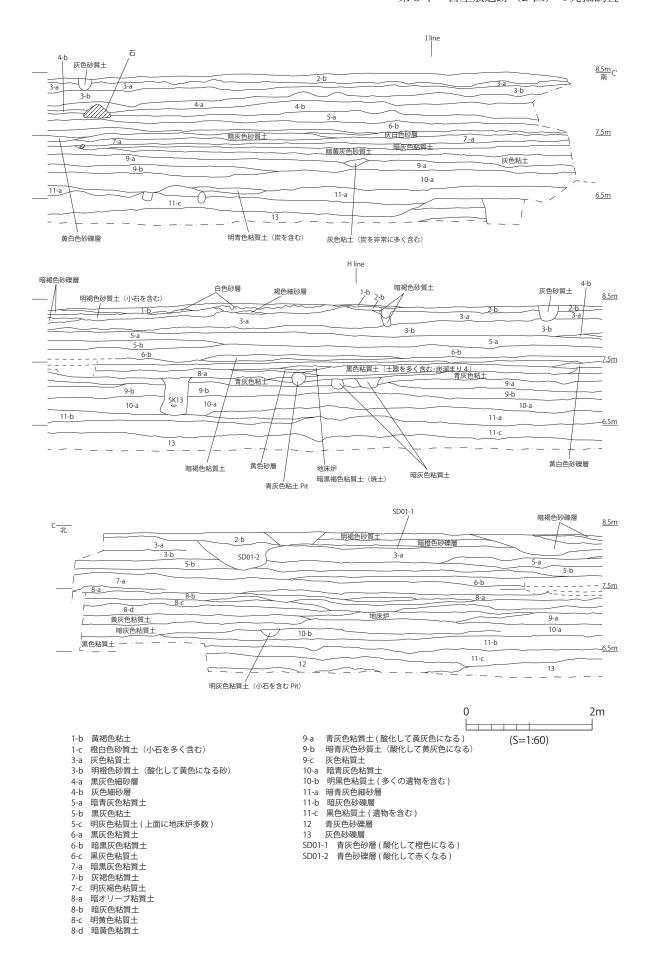
第6回 調查区北壁土層堆積状況 (E-E')(1)(1:60)



第7回 調查区北壁土層堆積状況 (E-E')(2)(1:60)



第8図 7ライン土層堆積状況 (B-B')(1:60)



第9図 9ライン土層堆積状況 (C-C')(1:60)

湧水が多いことから潮川の川底と思われる。砂礫層上面には、部分的に暗灰色砂礫層 (11-b) が見られ、遺物を含んでいる。この土層は、南側でやや上がり、明黒色粘質土 (10-b) 中で見えなくなることから、南側に広がっていた可能性がある。トレンチ北側には砂礫の堆積が斜めに入り込んでおり、潮川の堆積によるものか。

3. 第1遺構面の遺構・遺物

第1遺構面は、耕作土・造成土とその下層にある遺物包含層である黄褐色シルト質土・灰褐色 粘質土を除去した面で、西側で標高約7.9m、東側では標高約8.5mを測る。ピットや性格不明の 土坑のほか、遺跡を東西に貫流する溝(SD01)を検出している。また、北東隅には河川による自然 流路(SR01)が見られた。遺物包含層は、西側では比較的厚く見られたが、東側では薄く、近年に 行われた圃場整備に伴う改良土が遺構面近くまで達している。このため、9ライン付近から東では、 耕作土直下に遺構が見える状況であった。

調査区西側の $F5 \sim F6$ 付近では北に延びる凹凸が見られ、平成 25 年度 B 区で検出された水田 遺構に関わる可能性も考えられたが、明瞭ではない。また、調査区東側の H10 から G10 にかかる 場所と、F10 の自然流路にかかる場所で炭や土器片の詰まった長方形の土坑を検出し、 $SX01 \cdot 02$ と呼んだ。この他、H9 付近を中心に、炭化物の入った複数の不定形な土坑 $(SX03 \cdot 05 \sim 09)$ が見られる。

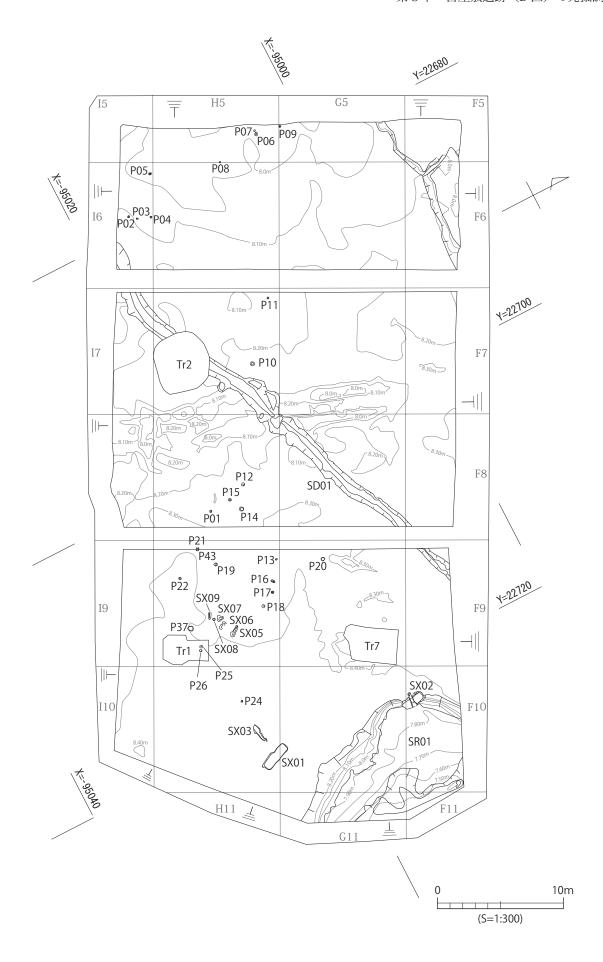
自然流路 (SRO1) は、調査区北東隅をかすめており、東岸は調査区外となる。東壁で確認できる深さは 1.4m 以上あるが、厚さ 50~60cm 程の単位で、ほぼ均質な砂利層であることから、深い川が一気に埋まった訳ではなく、細い流路が時間をかけて埋まっていったものであろう。流路の内部には鉄分を多く含んだ砂利層が厚く堆積しており、空気に触れると酸化して黒変し、時間が経つと固まってしまう。流路内の遺物はきわめて少なく、摩滅した土器の小片がわずかに見られるのみであった。長方形の土坑 (SXO2) は、この流路を埋める砂利層を掘って造られていた。

第1遺構面では、調査区を斜めに横断する SD01 を挟み、南側には点々と遺構が見られる一方、 北側には明確な遺構が少ない状況が見られる。

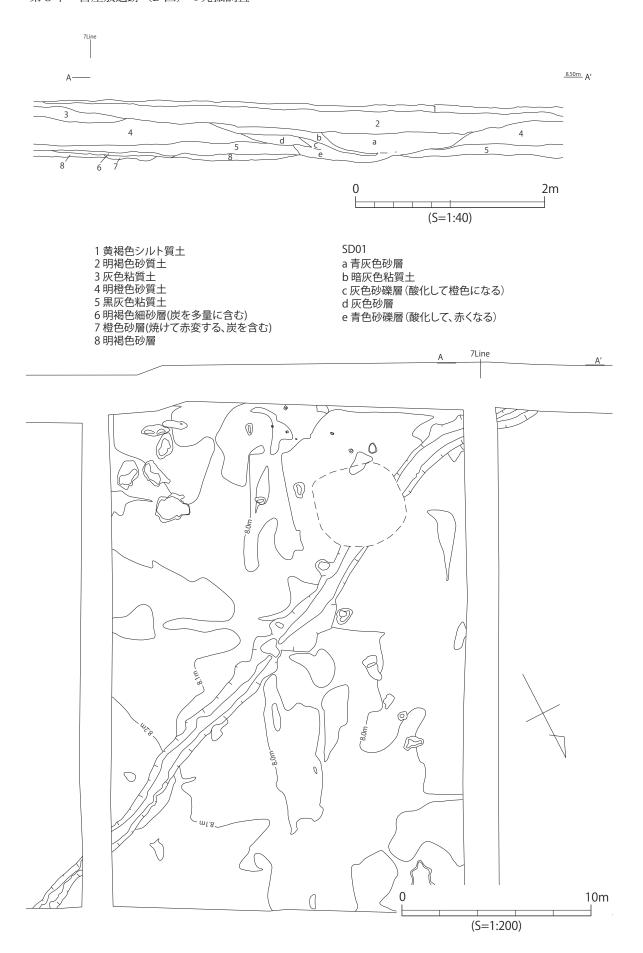
SD01(第11図) 調査区中央には、ほぼ東西方向に幅約120cm、深さ約50cmで、断面V字形の溝(SD01)が直線的に延びている。この溝は、東から西に向けて流れていたと思われ、床面の標高は、東側のG9付近で約7.8 m、西側のI7付近で約7.7mを測る。この溝は、D区内ではほぼ直線的に延びているが、西側のI6付近でわずかに南へ屈曲している。SD01は、平成25年度B区から平成26年度C区、平成27年度H区にも続いていることが確認されており、少なくとも東西120m以上連続して古屋敷遺跡全体を貫流している。

SD01 には空気に触れると酸化して赤褐色になる青灰色砂質土や砂礫が堆積しており、流水があったことが判る。また、9 ライントレンチ沿いに設定した畦 (第 9 図下段)では、SD01 の周囲にも砂質土の堆積が見られ、あふれ出した様子が見られる。土層堆積状況では、砂の堆積が 4 層以上に分かれているように見え、長期間にわたって使用され、少しずつ埋まっていった様子が観察される。

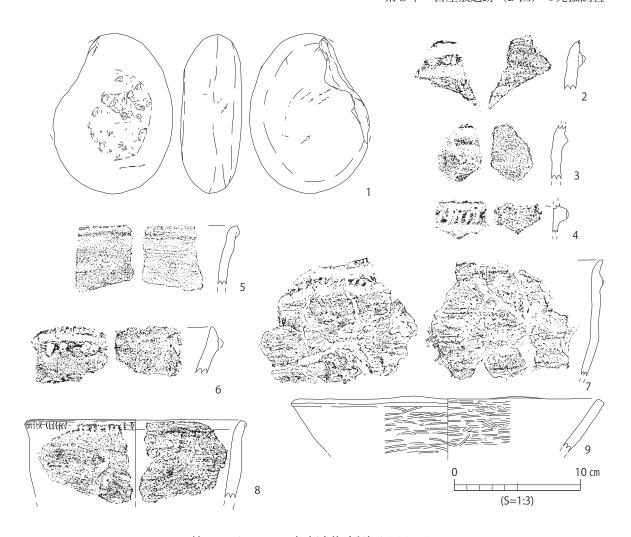
SD01の内部を掘削していくと、溝底から中程の中央付近には遺物はほとんど入っていないが、 SD01の両肩近くに堆積した砂礫層からは遺物が出土しており、これらには突帯文土器と弥生土器



第 10 図 第 1 遺構面遺構配置図 (1:300)



第 11 図 SD01 実測図 (1:200、土層図は 1:40)



第 12 図 SD01 出土遺物実測図 (1)(1:3)

の両者を含んでいる。

SD01 は、D 区内では素掘りの溝であったが、平成 27 年度 H 区では、蛇行する流路の攻撃面に 杭を連続的に打った場所が見られることが判っている。また、出土遺物や位置関係から、平成 25 年度 B 区で検出された水田遺構 (註1) に関わる可能性もあり、東の山際を流れる河川から取水した、 人工的な潅漑水路であろうか。

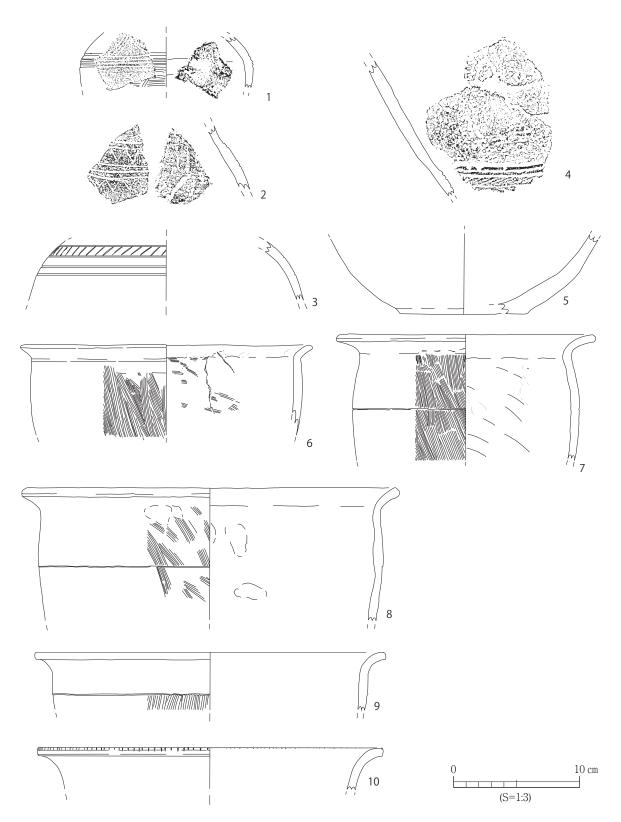
SD01 出土遺物 第 12・13 図には SD01 から出土した遺物を示した。

12-1 は磨石・敲石である。長径 12.7cm、短径 9.6cm の楕円形で、厚さ 4.8cm、重量は 715 g を測る。片面に打痕が集中し、側縁には磨痕が多く残る。側縁の一部を欠いている。

12-2~8 は突帯文土器深鉢である。12-2・7 は口縁端部より一段下がった位置に刻み目突帯を貼り付ける。12-2 は、棒状工具の側部による刻目。12-4・7 はヘラ状工具による。12-5 は口縁端部を外側に折り曲げ低い突帯にしたもの。12-6 は口縁よりやや下がった位置に突帯を貼り付け、竹管の先を加工した工具を刺突したもの。12-8 は口縁端部外面に低い突帯をめぐらし、ヘラ状工具による浅い刻目を入れたもの。

12-9 は浅鉢である。口径約 24cm で、器壁が厚く、口縁端部に面を持つ。体部は直線的に伸びる。 内外面とも横方向のヘラミガキを密に施している。

 $13-1 \sim 4$ は弥生土器壺の肩部である。13-1 は小型の壺で、胴部最大径近くに3 条のヘラ描き直線文を引き、その上位に木葉文を描く。13-2 は2 条ずつの直線文の下位にヘラ描き鋸歯文を描い



第 13 図 SD01 出土遺物実測図 (2)(1:3)

ている。13-3・4 は、斜行線を連続して引いているが、有軸羽状文の半分を欠くものか。13-3 は ヘラを、13-4 は二枚貝の腹縁を使用している。

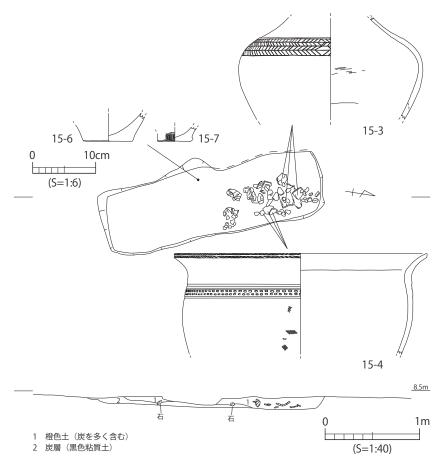
13-5 は、弥生土器壺の底部と考えられるものである。平坦な底面から体部が内湾気味に立ち上がる。摩滅しており調整は判らない。

 $13-6 \sim 10$ は弥生土器甕である。 $13-6 \sim 9$ は口縁部を外側に折り曲げる甕で、体部外面をハケ

メ調整する。13-8・9 は、頸部と体部の境目 に段があり、13-8 は 段より上にもハケメが 残り、頸部内外面に 指頭圧痕が見られる。 13-10 は口縁部外面 に面を持ち、口縁端部 上面にヘラ状工具によ る浅い刻目を施してい る。

SX01(第14図)

SX01 は、H10 で検出した長さ約 2.3 m、幅約 70cm、深さ約 15cmを測る、長方形の浅い土坑である。床面は平らで壁面が直立し、西壁のうち、北半



第14図 SX01 実測図 (1:40、遺物は1:6)

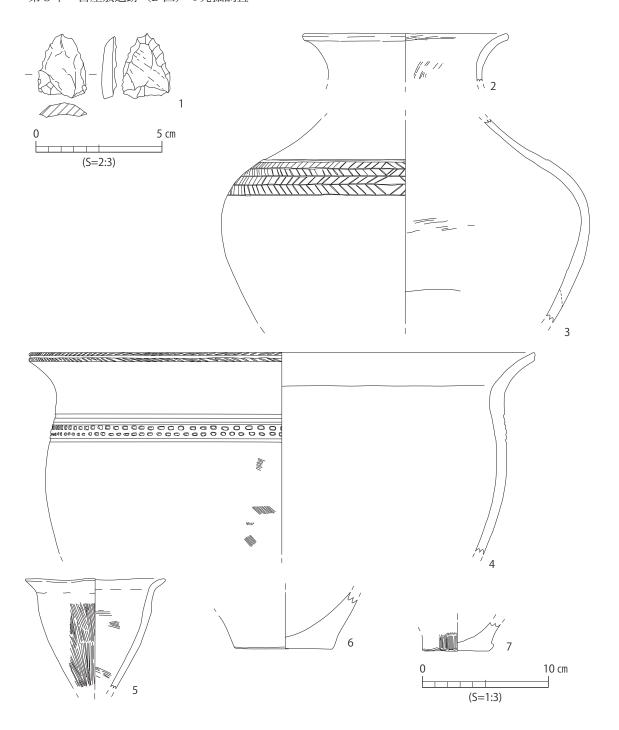
はわずかにオーバーハングする。検出面の直上まで耕作土が及んでおり、上面は大きく削平を受けていると思われ、本来の深さは判らない。土坑の床面には炭を含んで硬く締まった黒色粘質土が充満しており、床面・壁面は被熱し赤変している。

土坑の南半は、上層の耕作が及んで破壊されている可能性があるが、北半部では、炭を含んだ黒色粘質土の上層に堆積した橙色土から多量の土器片が出土した。SX01の用途は判らないが、火を焚いた形跡がある上、土坑の内部にほとんど空間を残していないことから、墓ではないと思われる。SX01出土遺物 第15図にはSX01から出土した遺物を示した。

15-1 はガラス質安山岩の石鏃である。先端近くまで厚みを残しており、鋭利さを欠く。未製品か。 15-2 は、弥生土器壺の口縁部で、外面は風化が進んでいるが、内面側にはわずかにハケメを残している。 15-3 は弥生土器壺の体部である。 肩部に線描きの有軸羽状文を 2 段施し、内面にはハケメを残す。 15-4・5 は弥生土器甕である。 15-4 は復元口径は約 40cm にもなる大型の甕で、口縁部、肩部に装飾を施すものである。口縁部外面に面を作り、沈線を挟んでヘラ描きの羽状文を描く。 頸部には、ヘラ描き沈線間に楕円形の刺突を 2 段重ねてめぐらしている。 内面調整はナデか。 15-5 は小型の甕で、復元口径は約 11cm である。 内外面にハケメを残している。

15-6・7 は弥生土器底部で、いずれも甕か。15-7 は、外面に縦方向のハケメを残す。ゆがみが大きく、左右非対称。SX01 から出土した土器類は、弥生土器 I-2 様式と思われる。

SX02(第16図) SX02 も SX01 と同様の土坑で、G10 付近の自然流路 (SR01) の肩部で検出した。 長さ 1.6m、幅約 70cm、深さ約 20cm を測り、不整形となっているが、東側の肩は自然流路によって壊されているため、SX01 と同様に長方形を呈していたか。 遺構の半分が SR01 にかかり、床面



第 15 図 SX01 出土遺物実測図 (1:3、1 のみ 2:3)

は平らでない。内部にはよく締まった灰褐色土が流入しており、土器片と石を多く含んでいた。床面直上には炭層が見られ、壁面も部分的に赤変している部分が見られることから、火を焚いた遺構であろう。SR01 に堆積した砂礫層を掘り込んで造られており、この砂礫部分も酸化して黒く変色している。SX01 と同様に上面が大きく削平されていると考えられ、本来の深さは判らない。

SX02 出土遺物 第 17 図には、SX02 から出土した遺物を示した。

17-1 は、大型石包丁である。残存長 8.8cm、残存幅 8.2cm、厚さ 0.5cm で、重量は 43g を測る。 上方に穿孔が 1 ヶ所施される。原形の半分程度を失っていると思われる。緩やかに湾曲する刃部 は片刃。背面に筋切り痕を残している。

17-2 は磨製石斧である。基部の片面と刃部を欠き、風化により摩滅している。17-3 も泥質片岩

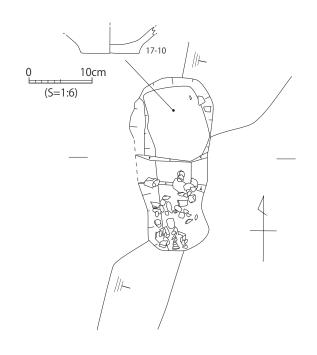
製の磨製石斧で、各面ともよく 研磨されている。刃部近くに使 用痕が見られる。

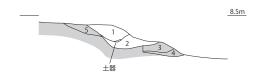
17-4・5 は弥生土器壺の口縁 部である。頸部外面にわずかに 段を残す。

17-6 は小型の弥生土器甕である。頸部に段はなく、浅い直線文をめぐらす。17-7 は甕の口縁部で、強く火を受けた痕跡がある。17-8~11 は底部である。

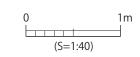
第1遺構面のその他の遺構 (第18図)

H9付近には、炭化物を含む不定形の小さな土坑 (SXO3・05~09) が集中して見られる。いずれも灰や焼土ブロックを含む硬い土壌で、土器片を含んでいるものが多い。これらは、SXO1・02と同様の遺構の下半部のみが残存したものとも考えられるが、本来の形状や機能は





- 1 灰褐色土 (石、土器を多量に含む。炭を含み焼けて赤変するところもある)
- 2 炭層
- 3 橙褐色砂礫層(大きな石を多く含む)
- 4 灰色砂礫層 (比較的粒のそろった砂礫)
- がこり保備が、 橙色砂質土



第16図 SX02 実測図 (1:40、遺物は1:6)

判らない。周囲には、柱穴状の小さな落ち込みもいくつか見られたが、建物となるような並びは確認できなかった。

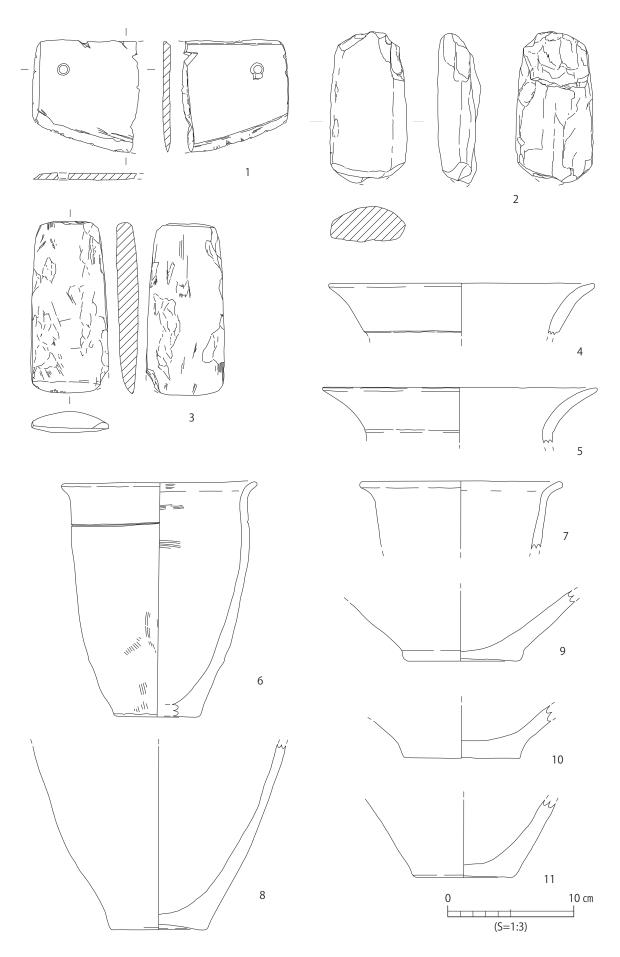
第1遺構面のその他の出土遺物 第19図には第1遺構面出土の石器・石製品を図示した。

- 19-1 は縦長の剥片である。断面三角形を呈し、両側縁に細かい加工はない。未製品か。
- 19-2 は玉髄製の剥片である。19-3 はガラス質安山岩の剥片でスクレーパーか。
- 19-4 は扁平片刃石斧である。刃部の一部と基部を欠く。
- 19-5 はよく研磨された板状の石で、砥石か。両面に研磨痕が見られる。
- 19-6 は敲石である。各面に打痕があるが、磨痕はほとんど見られない。およそ半分程度を欠いている。

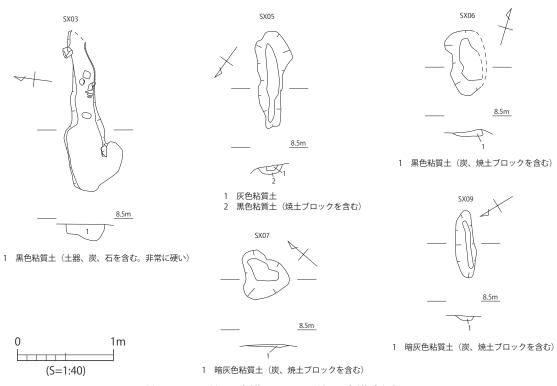
第20図には第1遺構面から出土した土器類を図示した。

 $20-1 \sim 6$ は突帯文土器である。 $20-1 \cdot 2$ はヘラ状工具による、 $20-3 \cdot 4$ は先を加工した竹管状の工具による刻目を施す。20-4 は波状口縁になるか。20-6 の突帯は無刻で、薄い口縁端部を外側に折り曲げる。20-7 は口縁端部を外側に折り曲げ、わずかに垂下させるもの。頸部にハケメ状の痕跡をわずかに残すが、刻目等は見えない。

20-8 は胴部最大径近くに断面三角形の突帯をめぐらすもので、縄文土器壺の胴部か。径に対し



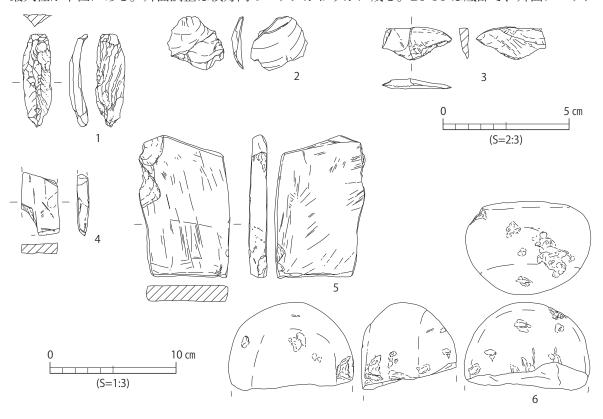
第 17 図 SX02 出土遺物実測図 (1:3)



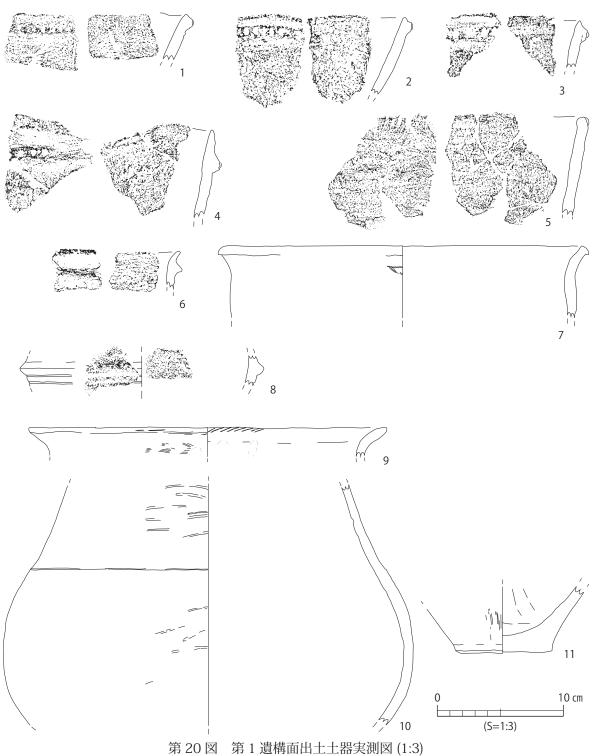
第18図 第1遺構面のその他の遺構実測図 (1:40)

て器壁が厚い。

 $20-9 \sim 11$ は弥生土器と考えられるもので、20-9 は弥生土器甕の口縁部である。口縁端部上面側にハケメ原体による刺突状の痕跡が残る。20-10 は壺の胴部で、肩部にわずかに段を残し、胴部最大径が下位にある。外面調整は横方向のハケメがわずかに残る。20-11 は底部で、外面にハケメ



第19回 第1遺構面出土石器実測図(1:3)



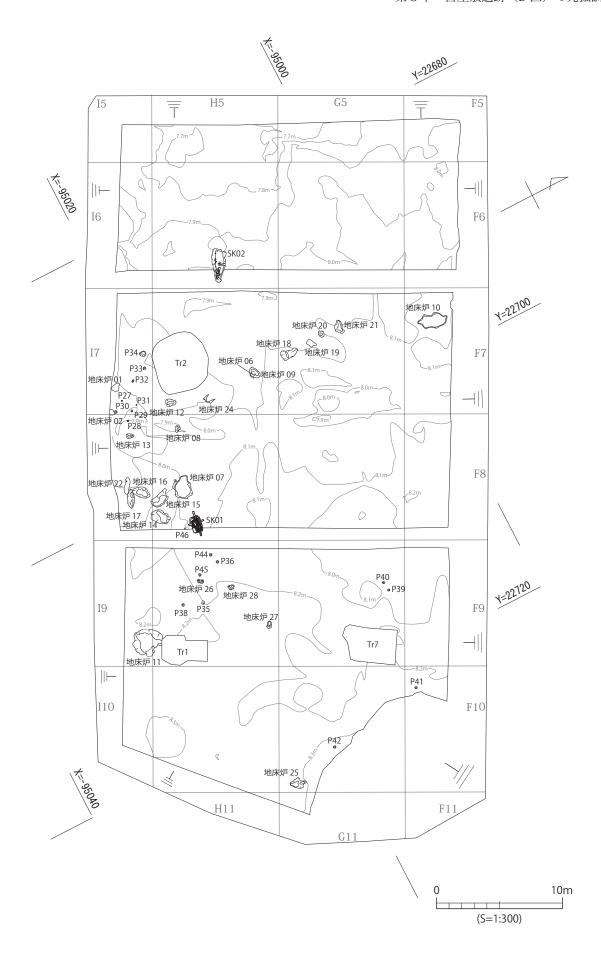
を残す。

〈註〉

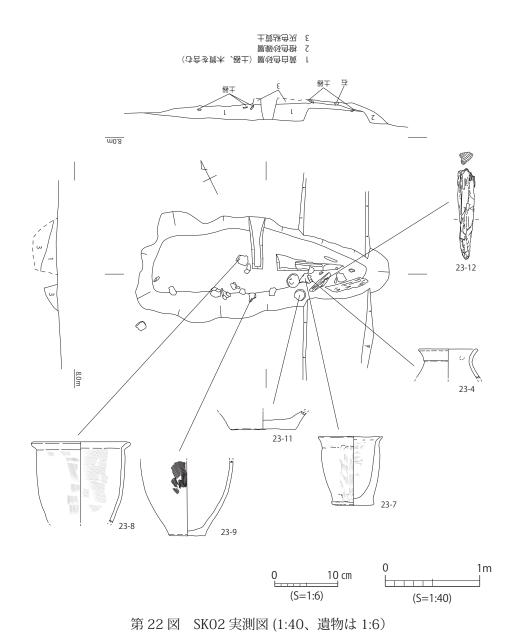
(1) 平成25年度に調査を実施した古屋敷遺跡(B区)では、弥生前期の水田のと考えられる畦畔を検出している。古屋敷 遺跡 (B区)の発掘調査報告については、平成29年度に刊行予定。

4. 第2遺構面の遺構・遺物

灰色粘質土を除去した西側の標高約 7.8m、東側の標高約 8.1m 付近で、地床炉や土坑を面的に



第21図 第2遺構面遺構配置図 (1:300)



検出し、第2 遺構面(第21 図)と呼んだ。 第2遺構面で は、H8付近を 中心に、地床炉 や小規模な柱穴 状の落ち込みが 点々と見られる 一方、調查区西 側では遺構が少 ない。また、第 1 遺構面検出作 業中に9ライ ントレンチで板 状木製品を検出 したことから、 先行して周囲を 掘削し、木棺墓 の可能性がある 遺構 (SKO1) を 発見した。同様 に、7ライント レンチに掛かる H6 東側でも土

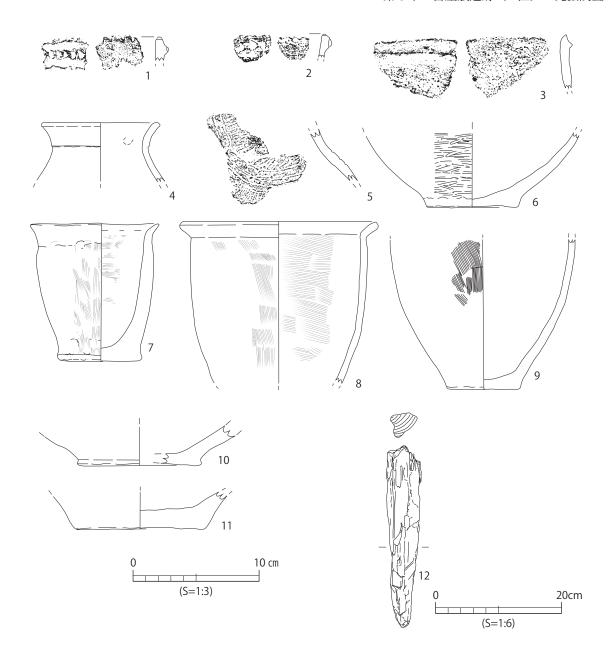
器類を含んだ土坑があり、SKO2 としている。SKO2 は、暗灰黄色土 (3-d) 上面あたりから掘り込まれており、厳密に言えば、第 2 遺構面よりも少し高い位置の遺構である。

SK02(第22図) SK02は、H6 東側の標高約7.8mで検出した土坑である。長さ約2.6m、幅1.2mの平面柳葉形で、検出できた深さは約20cm。砂地に掘られており、床面は明瞭ではない。埋土中には、突帯文土器・弥生土器のほか、少量の木片が見られた。突帯文土器はいずれも小片で混入品と思われるが、弥生土器と考えられる個体には比較的大きな破片や底部が含まれており、土坑内に置かれていた可能性が高い。埋土中に炭などは含まれておらず、火を受けた形跡もない。また、残存状態が悪く、形状を保って取り上げることができなかったが、23-12以外にも複数の木製品が入っていたようである。

SK02 出土遺物 第23 図には SK02 から出土した土器、木製品を図示した。

 $23-1 \sim 3$ は、突帯文土器の小片である。 $23-1 \cdot 2$ は口縁端部を刻み、外面に刻目突帯を貼り付けたものである。23-3 は無刻の突帯を口縁部からわずかに下がった位置に貼り付けている。

23-4 は、弥生土器の壺である。頸部にハケメ原体を使用した段があるが、摩滅により体部のハ



第23図 SK02 出土土器・木製品実測図 (1:3、12 のみ 1:6)

ケメは見えない。23-5 は、弥生土器壺の肩部と思われる。SKO2 内から出土した破片に包含層から出土した破片が接合した。3条の平行する曲線が、水平方向から上に向けて屈曲し、その両側に細かい直線が連続的に延びている。3条の曲線は、頸部を水平にめぐる方向にはなっておらず、一般的な文様ではない。線刻による絵の可能性があるか。

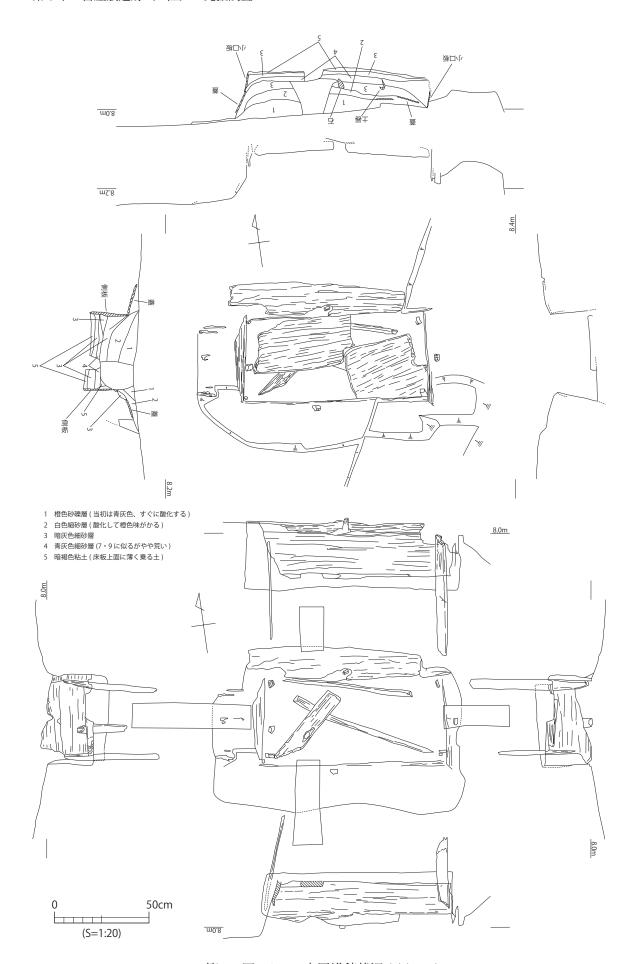
23-6は、弥生土器壺の底部である。外面は横方向のミガキ、内面はナデ調整される。

23-7 \sim 9 は、弥生土器甕である。体部は内外面ともハケメ。23-10・11 は弥生土器甕の底部と思われる。SK02 から出土した弥生土器は、いずれも I -2 様式に含まれると思われる。

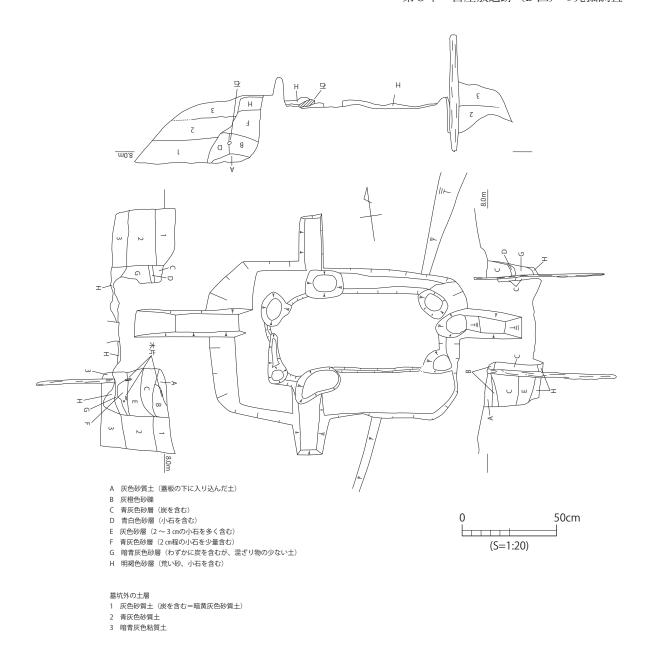
23-12 は、SK02 から出土した杭状の木製品である。針葉樹の丸太を 1/4 程度に割ったもので、残存長約 30cm、太さ 4.5cm で、下端を尖らせようとしている。

SKO1(第24~27図) H8 東側の 9 ライントレンチ掘削中に木製の板・杭を検出し、周辺を精査したところ、木棺墓と考えられる土坑 (SKO1) を検出した。

SKO1 は長さ 135cm の土坑の中に針葉樹の板材を箱形に組んだもので、木棺とした部分は、長



第 24 図 SK01 土層堆積状況 (1)(1:20)

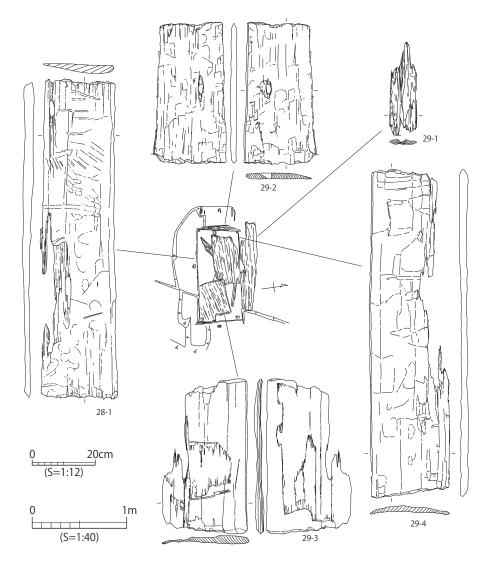


第 25 図 SK01 土層堆積状況 (2)(1:20)

辺 98cm、短辺 40cm、深さ 20cm を測る。側板・小口板とそれらを支えた杭、床板のほか、床板の下に組まれた桟がほぼ完全な状態で残されていた。

検出面では、東西 123cm、南北 72cm にわたって、薄い木片の広がりが見られ、中央部が内部 に大きく落ち込んでいる。これは木棺の蓋と思われるが、このうち、残存状態の良好な北側の材は、側板と明確に分離できず、側板の上部が外側に倒れたようにも見える。この材の西側の端部が、小口板西側に残る蓋板の長さに達していない点も注意される。蓋の材は、残存状況が非常に悪く、形状を保って取り上げることがほとんどできなかった。

側板と小口板は、西側では、側板の外から小口板が置かれているが、北東側では、側板が外側に出ており、側板と小口板の関係は左右対称になっていない。内側の四隅と、北側・南側・東側の外側中央に杭が打たれ、それぞれ側板・小口板を固定している。また、西小口板の内側中央にはやや太く短い杭が打たれている。この杭の上部の形状は判らないが、打ち込まれた深さが他の杭に比べ極端に浅いことから、墓標のような役割をしたものだろうか。ただし、蓋板の残存状況が非常に



第26図 SK01 棺材配置図(1)(1:40、棺材は1:12)

悪かったため、蓋 側がどうなってい たかは確認できな い

上面から流れ込 んだ白色細砂と 内部に落ち込んだ 蓋の材を除去する と、還元された細 かい砂が入り込ん でおり、最下層に は暗褐色を呈した 粘性の強い粘土が 見られた。この粘 土の下面に2枚 の底板が置かれて いる。西側の底板 がやや大きく、角 が切り欠かれ、こ の切り欠きにかけ て、互い違いに置 かれている。2枚 の床板の下には棒

状の材3点が置かれており、床板を墓坑底面から持ち上げるための桟だと思われる。

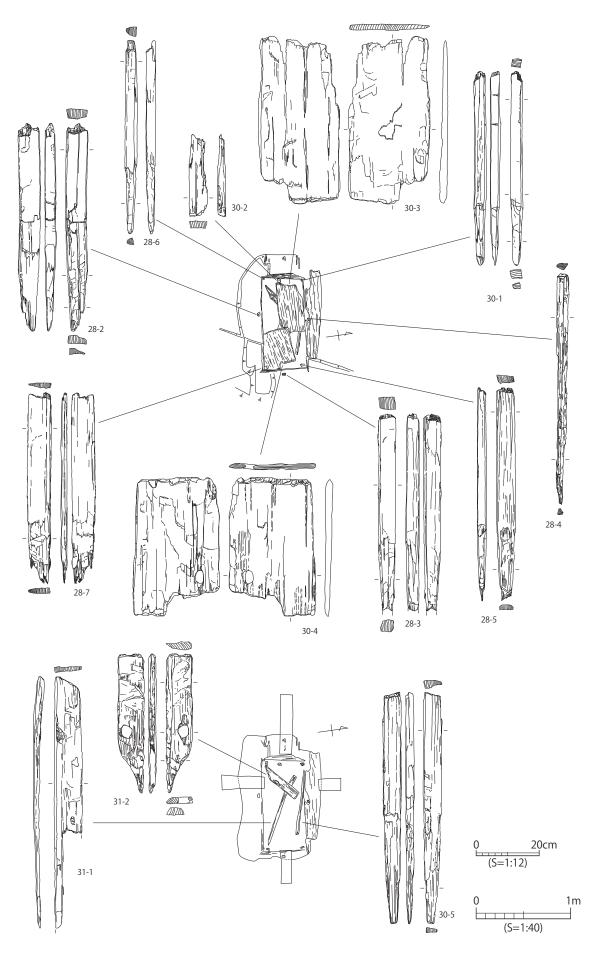
土坑の底部は平らではなく、棺底に当たる部分がやや高く、西小口と側部が深い。東小口は、小口板のすぐ外側には第2遺構面の地山が迫っており、土坑の東側に寄せて棺が組まれたことが判る。 $D \sim F \cdot H$ の砂には、小石が含まれており、周囲の土とは明らかに異なることから、この木棺墓を埋め戻した土砂であろう。一方、 $A \sim C$ の砂は周囲の土と同質で、流れ込んだ土と思われる。棺内の1・2の砂も同質に見え、流れ込んだものか。C の堆積は、場所によっては 10 cm 以上の厚さがあることから、土坑内は完全に埋め戻されてはおらず、かなり大きな隙間があったと想像される。

人骨は残っていないが、土坑の中に板が組まれた構造や自然化学分析の結果 (註1) から、木棺墓と考えられる。また、木棺の全長が約 1m と小型であることから、小児墓だったと思われる。

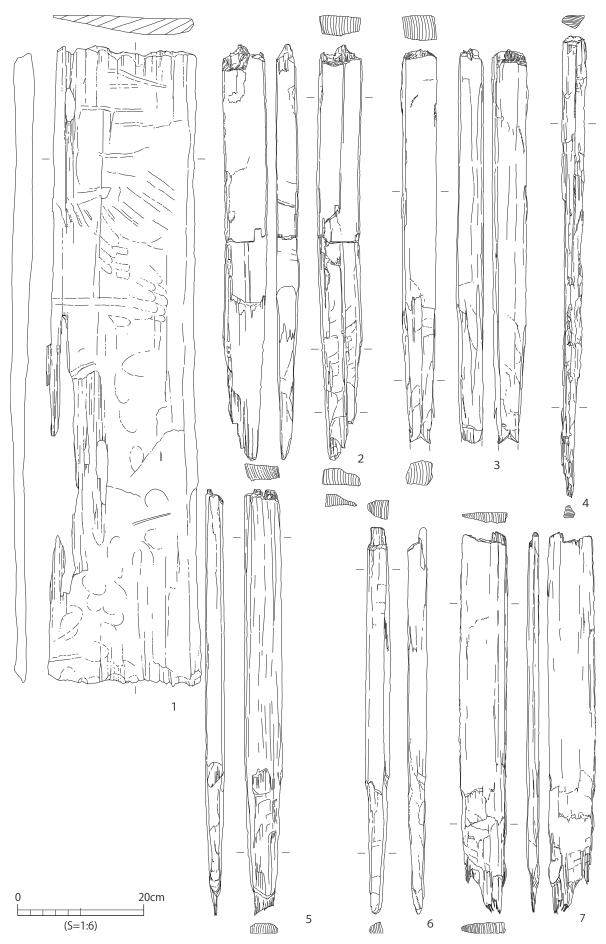
棺内に副葬品は見られなかったが、棺外から小さな管玉 (32-3)1 点が出土している。棺蓋上に置かれたものが、棺外へ落ちたか。また、棺外の埋土からは突帯文土器の破片 (32-1・2)2 点が出土している。

SK01 に使用された棺材 第 28 \sim 31 図には、SK01 に使用された木製部材を示し、その配置状況を第 26・27 図に示した。

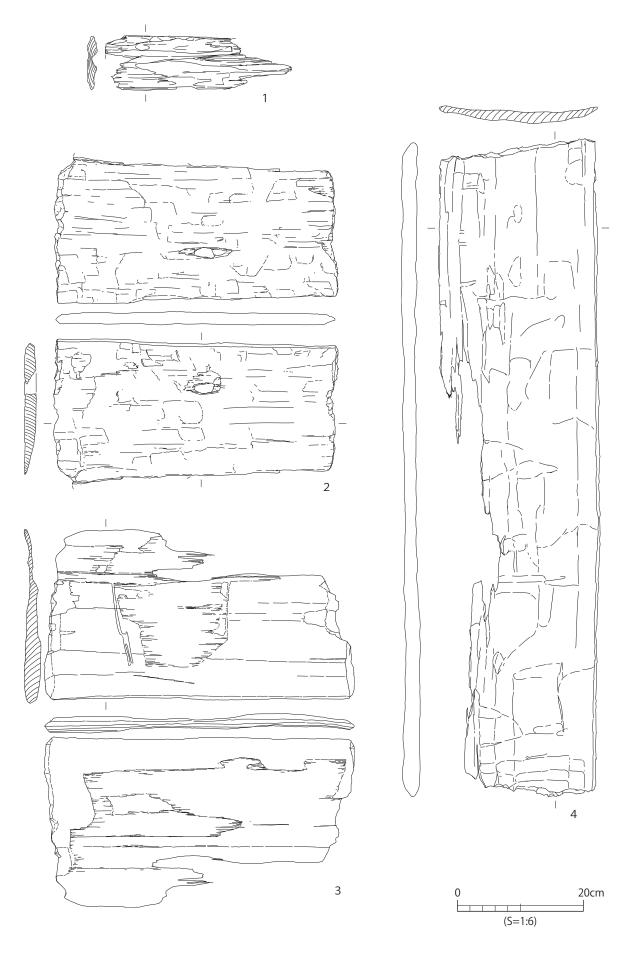
蓋と思われる材は、いずれも薄く、保存状態の悪いものが多かったため、原形を保って取り上



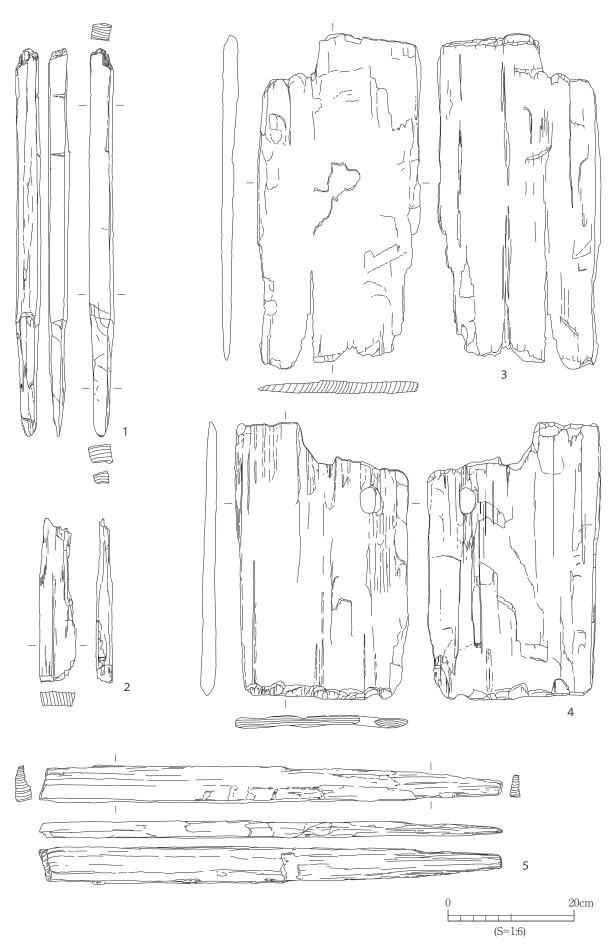
第 27 図 SK01 棺材配置図 (2)(1:40、棺材は 1:12)



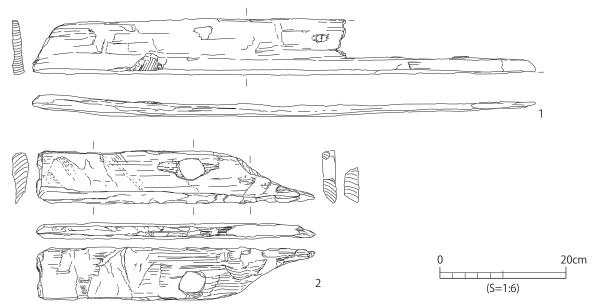
第 28 図 SK01 出土木製品実測図 (1)(1:6)



第 29 図 SK01 出土木製品実測図 (2)(1:6)



第 30 図 SK01 出土木製品実測図 (3)(1:6)



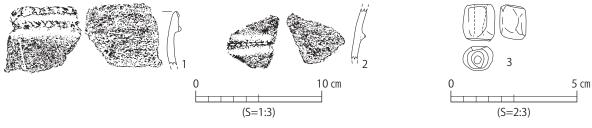
第31図 SK01 出土木製品実測図 (4)(1:6)

げることができなかったが、29-1 は SK01 の西側で取り上げた蓋の一部の可能性がある。ただし、前述したように、他の蓋の材に比べてやや厚く、西小口側の蓋の残存部に達しない長さで終わっており、現場では側板 (29-4) の続きで、外側に折れた可能性を考えている。残存長 29.6cm、残存幅 8.7cm、厚さ 1.8cm である。

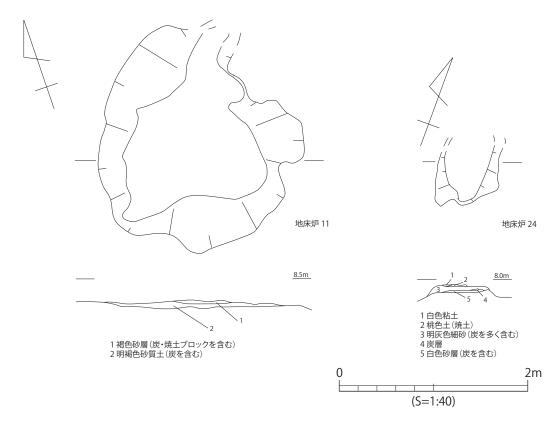
28-1 は南側の側板で、長さ 101cm、幅 22cm、厚さ 3cm である。29-4 は北側の側板で、長さ 104cm、幅 25cm、厚さ 2.8cm である。29-3 は東側の小口板で、長さ 49cm、幅 27cm、厚さ 2.6cm である。29-2 は西側の小口板で、長さ 45cm、幅 23cm、厚さ 1.8cm である。28-5 \sim 7・30-1 は、棺の内側に打たれた杭で、長さ 60 \sim 67cm を測る。28-2 \sim 4 は、棺外側に打たれた杭。28-3 は 先端を欠くが、28-2・4 は長さ 66 \sim 73cm あり、28-3 も同程度だったと思われる。30-2 は西側の小口中程に打たれた杭で、残存長 26cm、太さ 6cm である。30-3・4 は、底板である。30-3 は、長さ 52cm、幅 26cm、厚さ 2.5cm、30-4 は長さ 44cm、幅 27cm、厚さ 2.3cm である。30-5・31-1・2 は、底板下面に置かれていた桟と思われる材である。30-5 は長さ 74cm、幅 6cm、厚さ 2.5cm、31-1 は先端を欠き、残存長 80cm、幅 8cm、厚さ 1.9cm、31-2 は、長さ 44cm、幅 8cm、厚さ 2.6cm。いずれも杉材と思われる。

SK01 出土遺物 32-1・2 は、SK01 の墓坑内から出土した土器片である。32-1 は、口縁端部に刻みを入れ、口縁からやや下がった位置に刻目突帯を張る深鉢。32-2 は、2 条突帯の深鉢の 2 段目側と考えられる突帯付近の破片である。

32-3 は、SK01 の棺外から出土した管玉である。茶色く見える滑石を使用し、中央部がわずかに膨らんだ、弥生時代以降にはあまり見られない形状の管玉で、長さ 1.4cm、太さ 1.3cm で、両



第32図 SK01 出土土器・玉実測図 (1:3、玉は 2:3)



第33 図 地床炉 11・24 実測図 (1:40)

面から穿孔されている。各面の研磨は荒く、荒割りの際の面をわずかに残している。

第2遺構面のその他の遺構(第33図) 第2遺構面では、SK01の西側から標高8mラインに沿うように、多くの地床炉を検出した。いずれも不定形で幅50cm程の赤変している範囲が見られるだけのものから、2m近い範囲をわずかに掘りくぼめ、炭が入り込んだものなどが見られる。 土器類などの遺物は含まない。

地床炉 11 は I9 の標高 8.1m 付近で検出した大きな地床炉で、幅約 2m を測る。わずかに掘りくぼめ、内部に炭・焼土ブロックが入り込んでいる。広範囲が焼けていることから、繰り返し使用されたか。一方、地床炉 24 は H7 の標高 7.9m 付近で検出しており、落ち込んだ遺構ではなく、被熱して硬化した部分が盛り上がった状態で検出した。掘りくぼめず、地表面で直接火を焚いたものか。

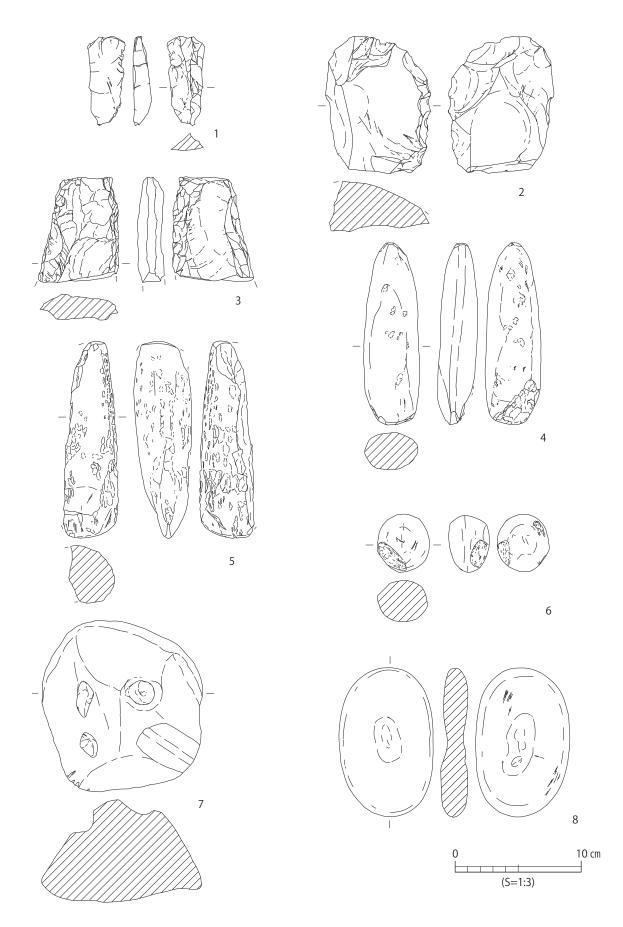
第2遺構面の出土遺物 第34図には、第2遺構面で出土した石器・石製品を示した。34-1は、 縦長の剥片で、スクレーパーとして使用したものか。34-2はデイサイトの石核。一部に自然風化 面を残している。

34-3 は打製石斧の基部。34-4・5 は、磨製石斧である。いずれも刃部が完全につぶれ、欠損している。

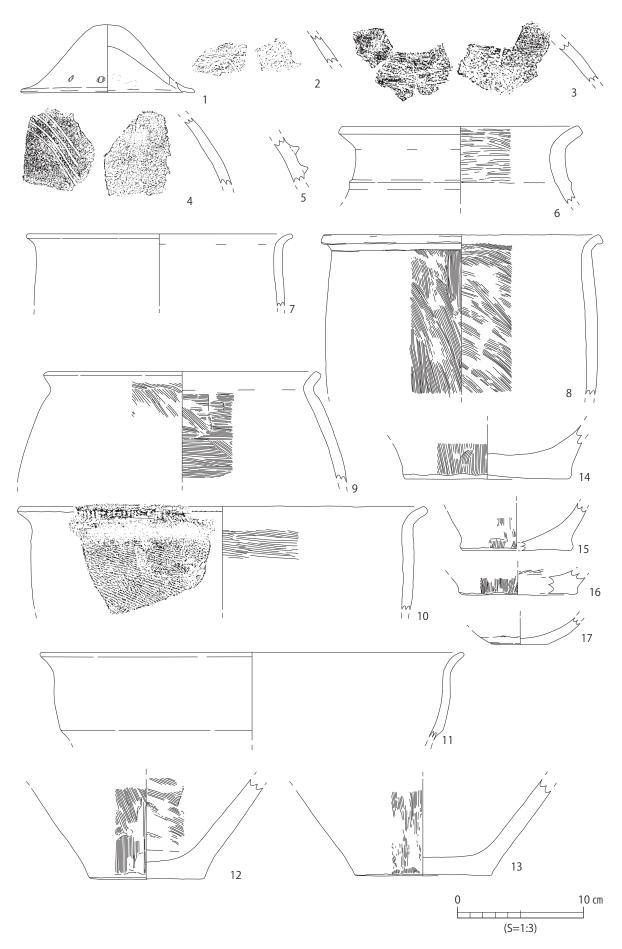
34-6 は小型の磨石・敲石か。鉄石英を使用し、一面だけに集中して打痕が見られる。他の面には加工は見えず、呪術的な意図もあるか。

34-7 は長さ 15cm、厚さ 8cm 程の断面三角形を呈す石。人工的に掘られたとみられる円形のくぼみが 3 カ所、直線的な溝状のくぼみが 1 条見える。使用方法は判らず、呪術具を想像させる。

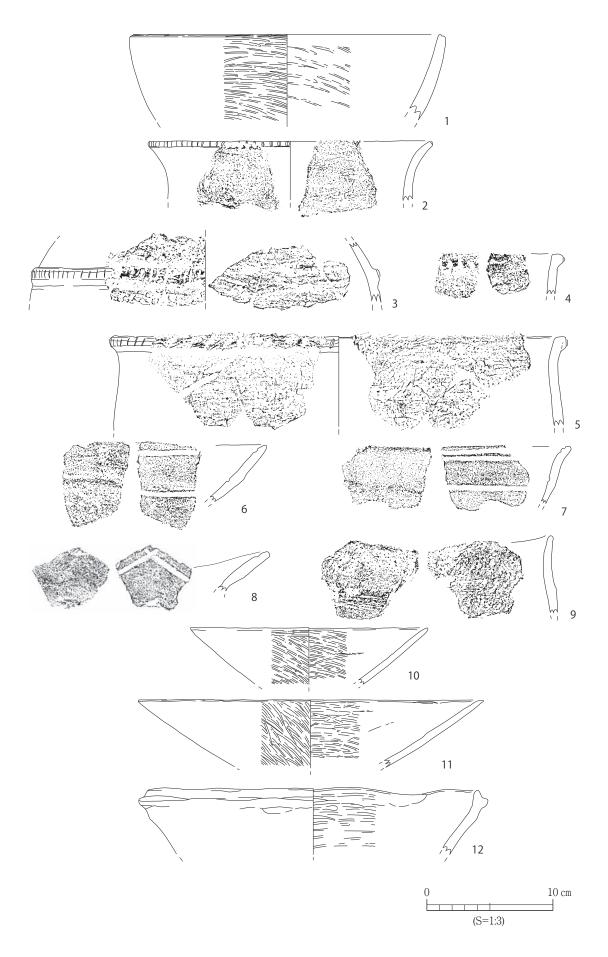
34-8 は扁平な凝灰岩の石材の両面に楕円形のくぼみを入れたもの。片面にはわずかに磨痕が見られる。くぼみは両面とも中心近くにあり、火きり杵のハンドピースのような使い方が想像される。



第34図 第2遺構面出土石器実測図(1:3)



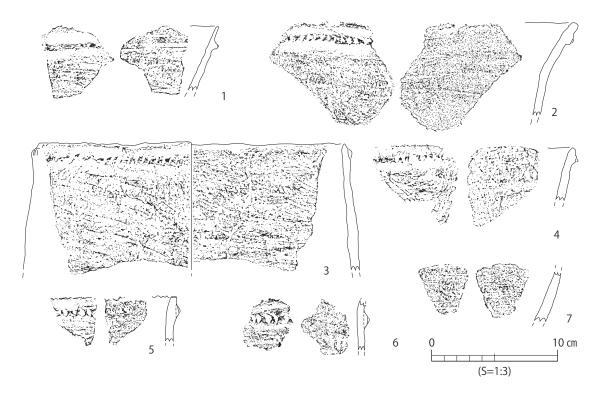
第 35 図 第 2 遺構面出土土器実測図 (1)(1:3)



第 36 図 第 2 遺構面出土土器実測図 (2)(1:3)



第 37 図 第 2 遺構面出土土器実測図 (3)(1:3)



第38 図 第2 遺構面出土土器実測図(4)(1:3)

第35図には第2遺構面で出土した弥生土器と考えられるものを示した。

35-1 は頂部が丸く、薄い器壁の体部が大きく開く器種で、蓋か。口径約 14cm で、口縁部近く に穴が 2 つ開けられている。風化により調整は見えない。

35-2・3 は壺の肩部と思われる小片。外面側にヘラ描きが見える。35-4 は 4 重の凹線で重弧文を描く壺の肩部。内面調整はナデ。35-5 は壺の肩部と思われる小片。無刻の断面三角形の突帯 2 条をめぐらす。35-6 は壺の口縁から頸部。断面三角形を呈す低い突帯をめぐらす。突帯に刻目は見えない。内面調整は横方向のミガキを密に施す。

 $35-7 \sim 11$ は甕。35-8 は口縁端部をナデ、面を作るもの。35-10 は、内外面ともハケメ調整する。口縁端部下面に浅い刻みに見える部分があるが、ハケメ原体が当たったもので刻みではない。頸部は横方向のナデ。35-11 は肩に段が付く。摩滅により調整は不明。

 $35-12 \sim 17$ は、弥生土器底部と思われるもの。 $35-12 \sim 16$ は底部が厚く、外面に縦方向のハケメを残すことから甕か。35-17 は体部が内湾気味に立ち上がるもので、器壁が薄い。

第36~38図には、第2遺構面で出土した縄文土器と思われるものを示した。

36-1 はボウル形の浅鉢。内外面とも横方向のミガキで丁寧に調整され、口縁端部に面を作る。

36-2 は口縁端部を浅く刻む壺か。36-3 も壺の肩部と思われる破片で、刻目突帯を貼り付ける。

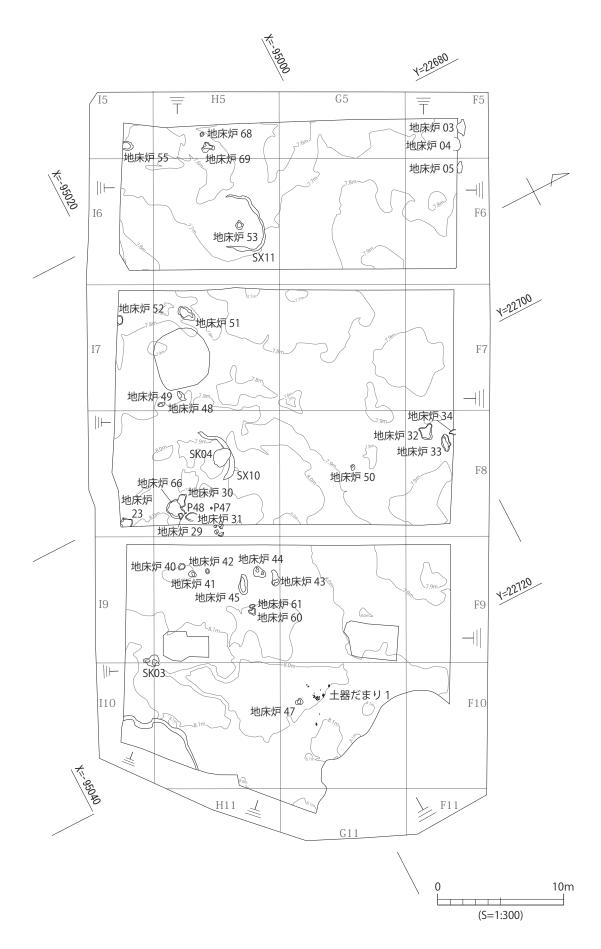
36-4・5 は口縁部外面に刻目突帯を貼り付ける深鉢である。

 $36-6 \sim 8$ は口縁部内面に沈線を入れる浅鉢。いずれも内外面は丁寧なヘラミガキを施す。36-8 は方形浅鉢。

37-1~15 は突帯文の深鉢。37-3 は口縁部外面に浅い刻目を施した突帯を貼り付ける。頸部外面に浅いへラ描きが見える。2条の線を併行させて十字を描き、斜めの曲線を重ねている。

37-13~15は口縁部刻みを入れ、その外面直下に刻目突帯を張る深鉢。

37-16~18は口縁部よりやや下がった位置に、浅い刻みを施す突帯を貼り、その下位に直線文



第 39 図 第 3 遺構面遺構配置図 (1:300)

をめぐらすもので、中山B式。

37-19 は、深鉢の外面に隆帯による文様を施したもの。口縁部の先端をわずかに欠く。深鉢か。内面調整は丁寧なナデ。

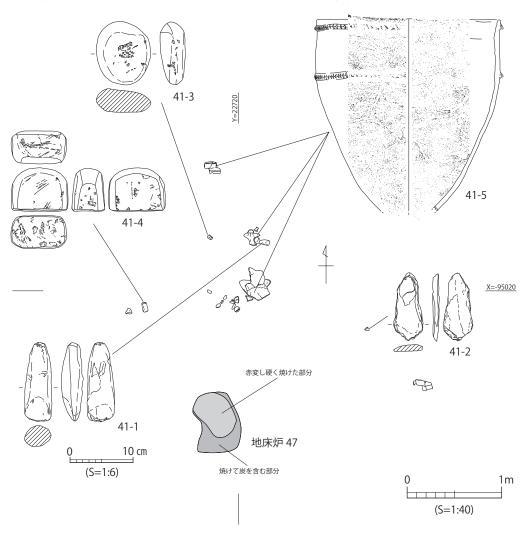
38-1 は器壁の薄い深鉢で、口縁部外面のやや下がった位置に、斜め方向に浅く刻んだ突帯を貼り付ける。突帯の上下には強いナデが見える。

38-5 は口縁端部を刻み、外面に刻目突帯を貼り付ける深鉢。38-6 は口縁端部を欠くが、口縁部を大きく外反させる深鉢。頸部に D 字の刻目突帯を貼り付けている。

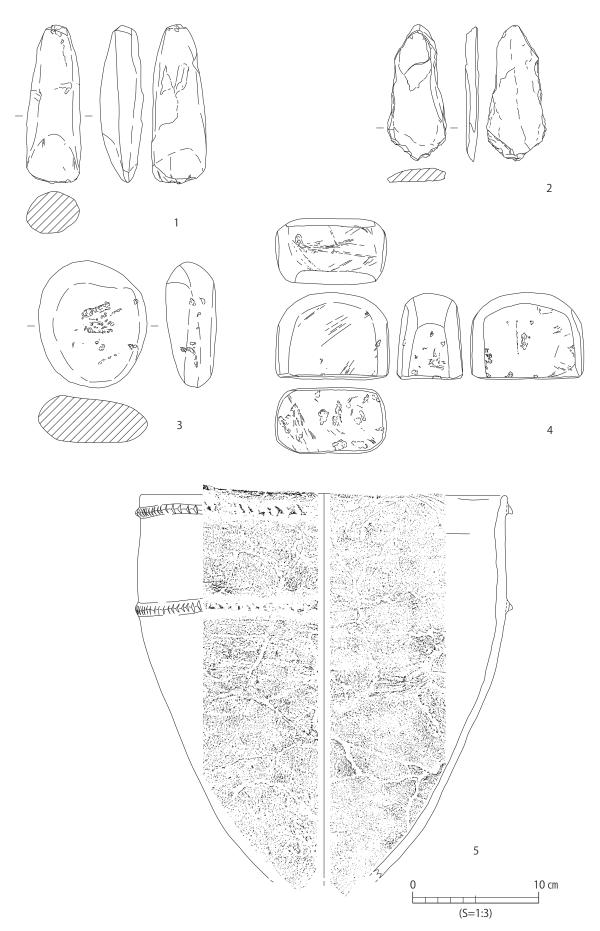
5. 第3遺構面の遺構・遺物

耕作土を除去した西側の標高 7.6m、東側の標高 8.1m 付近で、被熱して赤褐色に焼け、炭を含んだ浅いくぼみが多く検出され、第 3 遺構面と呼んだ。これらのくぼみは地床炉と判断し、発見順に番号を振っている。一方、この面では、柱穴と思われる落ち込みは少ない。この他、G10 付近では、地床炉に近接して土器・石器が集中して出土する部分があり、土器だまり 1 と呼んだ。

地床炉 F5 北側のトレンチ内で、非常によく焼けた部分が連続して見られた (地床炉 03 \sim 05) ほか、H8 \sim 09 付近に多くの地床炉が見られた。いずれも不定形で、大きく落ち込むようなくぼ みはなく、平らな地面で連続して火を焚いたように見える。石囲いなどは見られない。たびたび火

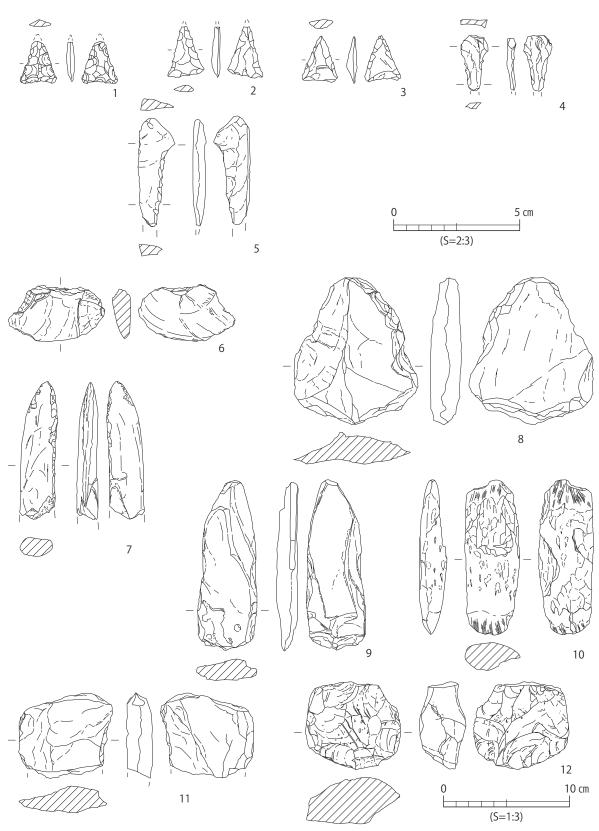


第40図 第3遺構面土器だまり1実測図(1:40、遺物は1:6)

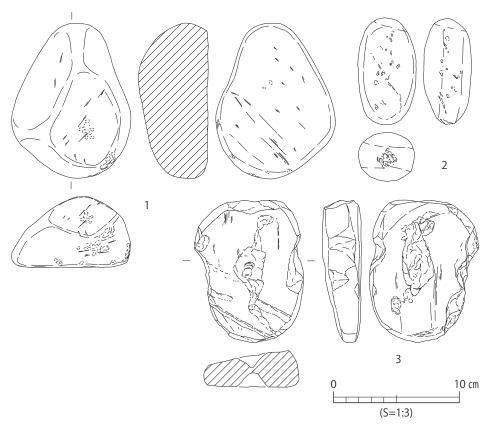


第 41 図 土器だまり 1 出土遺物実測図 (1:3)

を焚いている様子が見られることから、当時は低湿地ではなく、乾燥した土地だったと考えられる。 **土器だまり1** G10 で検出した地床炉 47 の周囲からは、土器片と石器類が集中して出土した(第40 図)。 土器片に関してほぼ 1 個体で、 2 条突帯の深鉢 (41-5) に復元できた。石器類は、石斧 2 点 (41-1・2)、敲石 1 点 (41-3) と磨石状の用途不明の石製品 (41-4) である。地床炉 47 は、40cm



第42図 第3遺構面出土石器実測図(1)(2:3、6~11は1:3)



程の範囲が強く 被熱、赤変して おり、その部分 の周囲に炭泥じ りの土が広がっ ている。繰り返 して火を焚か れたと推定され る。

土器だまり1 出土遺物

41-1 は緑色 片岩を使用し た磨製石斧であ る。刃部に使用 痕を残し、ほ ぼ完形。深鉢 (41-5)の破片

第43図 第3遺構面出土石器・石製品実測図(2)(1:3)

に重なって出土した。41-2 は泥質片岩製の打製石斧。使用によるものか、刃部を少し欠く。41-3 は敲石である。各面に打痕があり、わずかに磨痕が見られる。

41-4 は磨痕を残す磨石に見える石製品。安山岩を使用し、全面を研磨される。半円形を呈しており、底面を特に平らに研磨する。実用品とは思えず、石冠 (註1) と呼ばれるものの一種か。

41-5 は縄文土器深鉢で復元口径約 29cm を測る大型品である。口縁部外面と肩部に 2 条の刻目 突帯をめぐらし、他の部分は条痕である。内面の条痕が摩滅しており、使用によるものか。

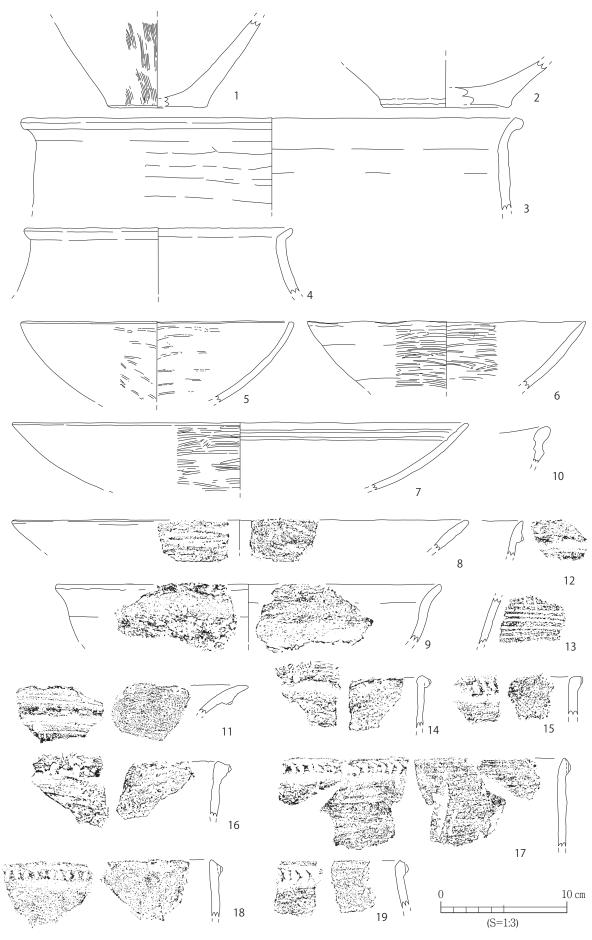
第3遺構面出土石器 $42-1 \sim 3$ は石鏃である。 $42-1 \cdot 2$ は先端を欠く。42-3は長さ 1.8cm、重さ 1g。 $42-4 \cdot 5$ はガラス質安山岩製の石錐である。いずれも先端を欠く。42-6は流紋岩の剥片で、スクレーパーとして使用されたものか。

42-7 は磨製石斧に見られるものと同様の塩基性片岩を研磨し、先端を尖らせたもの。1 側片に剥離が連続するが、鋭利ではない。石棒の一種と思われ、石刀か。

42-8 は泥質片岩を使用し、両側片を尖らせ刃部としたスクレーパー状のものだが、打製石斧の再利用品か。42-9 は打製石斧の欠損品。刃部を欠く。42-10 は緑色片岩を使用した磨製石斧。42-12 は流紋岩の石核でスクレーパーの未製品か。

43-1 は安山岩の磨石・敲石。平らな面には磨痕も残る。43-2 は槌状に使用された小型の敲石。 凝灰岩製でやや柔らかい石材を使用している。

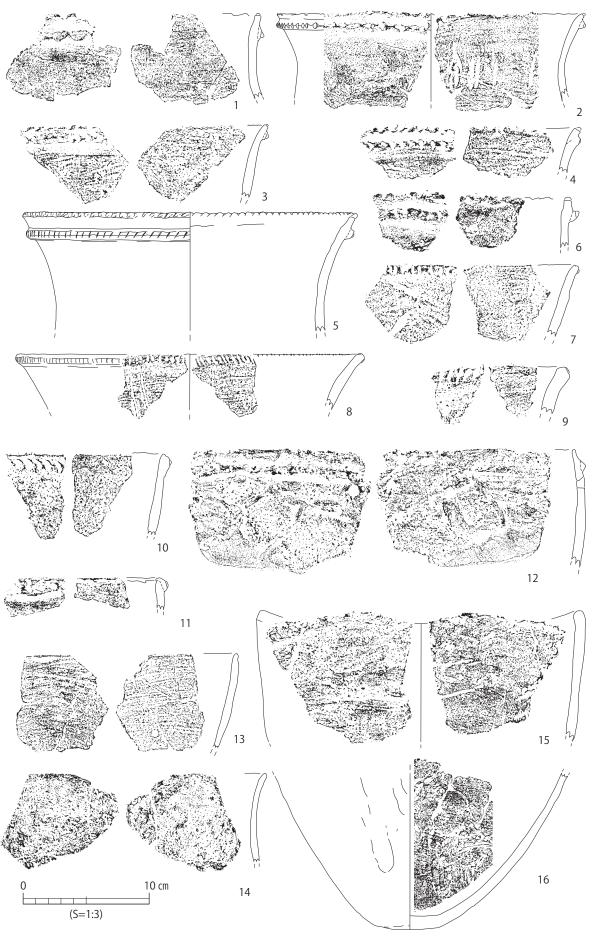
43-3 は扁平な石の両面に深いくぼみを入れたもの。粒子の粗い凝灰岩を使用している。扁平に 剥離した石材の中程に直線的な溝になるように敲打によって溝を掘ったもの。くぼみの内側に磨痕 は見られず、火切りの際のハンドピースではない。片面に磨痕が残る。



第 44 図 第 3 遺構面出土土器実測図 (1)(1:3)



第 45 図 第 3 遺構面出土土器実測図 (2)(1:3)



第 46 図 第 3 遺構面出土土器実測図 (3)(1:3)

第3遺構面出土土器 第44~46図には、第3遺構面から出土した土器類を図示した。

 $44-1\cdot 2$ は、弥生土器底部と考えられるもの。44-1 は外面に縦方向のハケメを密に残す。44-2 は摩滅により調整不明。

44-3・4は口縁部を外側に折り曲げる無文の深鉢。44-3は外面にススが付着している。

44-5・6 は無文の浅鉢。内外面に横方向のミガキを施す。44-7 は浅鉢の口縁内面側に 2 条の凹線文を施すもので、沢田式頃のものか。44-8 は被熱し黒変している。44-10 は浅鉢の口縁部。

 $44-11 \sim 13$ は口縁部外面の刻目突帯の下位に直線文を施すもので、中山 B 式。 $44-12 \cdot 13$ は出土位置が近く、同一個体であろう。

 $44-14\cdot 15\cdot 45-15\cdot 18$ は口縁部を外側に折り曲げるように肥厚させ、刻目を施すもの。44-17 ~ 19 は口縁部外面に刻目突帯を貼り付けるもので、44-16 も同様のものか。44-18 の外面にはススが付着している。

 $45-1\sim14$ は、口縁部外面の刻目突帯を、口縁端部よりわずかに下がった位置に貼り付けるもの。 45-12 は地床炉 11 から出土した。 45-14 は 10 の 10

 $46-1\sim9$ は、口縁端部を刻むもので、 $46-1\sim6$ はやや下がった位置に刻目突帯を貼り付けている。 $46-7\cdot9$ は口縁部の外面側を刻むもの。 46-8は、口縁端部の内外面を別々に浅く刻んでいるもの。 内外面とも横方向の条痕。外面に 2条以上のへう描き沈線を縦方向に入れる。

46-11 は口縁部外面に刻目突帯を貼り付けたもの。突帯の接合痕が明瞭で、内面側に接合による段を残している。地床炉 52 から出土した。

46-12 は、口縁部よりやや下がった位置に無刻の突帯を貼り付けたもので、口縁部はつまみ出すように薄く作られる。器壁の調整は荒い条痕。突帯の下部に外面から開けられた補修孔が見られる。46-13 ~ 15 は条痕地の深鉢。46-13 は口縁部外面に浅いくぼみをめぐらすもので内外面ともに丁寧な条痕。46-14 は口縁部を緩やかに外反させるもので、器壁が薄い。46-15 は雑な波状口縁か。46-16 は深鉢の底部。内面調整は条痕で、外面はナデか。底部は明瞭でない。

〈註〉

(1) 石冠とされるものは、県内では下西海岸遺跡・三田谷遺跡・沖ノ原遺跡での出土が知られているが、これらはいずれ も球形の把手状のものが付く形状で、全体に半円形を呈しているだけものは知られていない。

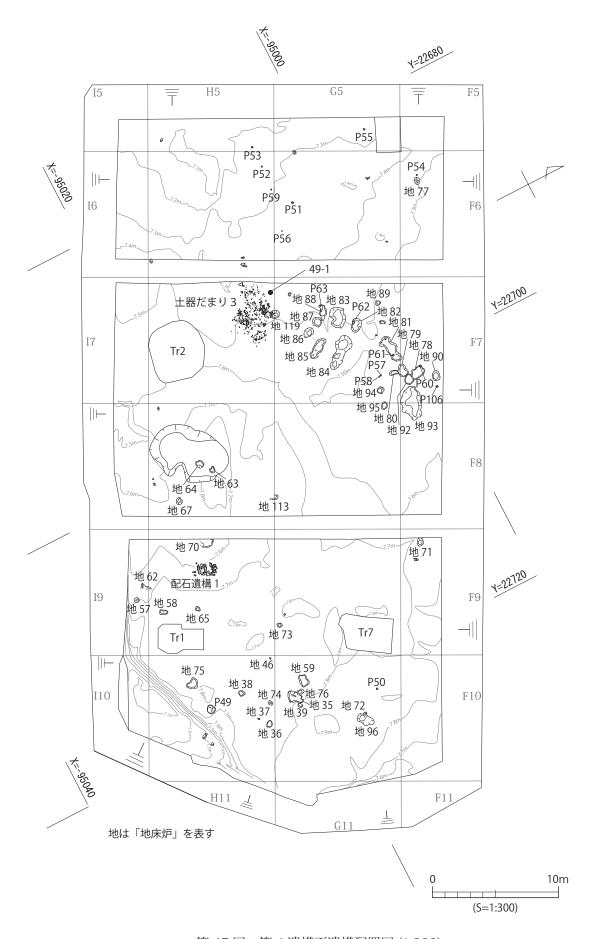
『隠岐』関西大学・島根大学共同隠岐調査会 1968 年

『三田谷 I 遺跡 Vol.3』島根県境区委員会 2000 年

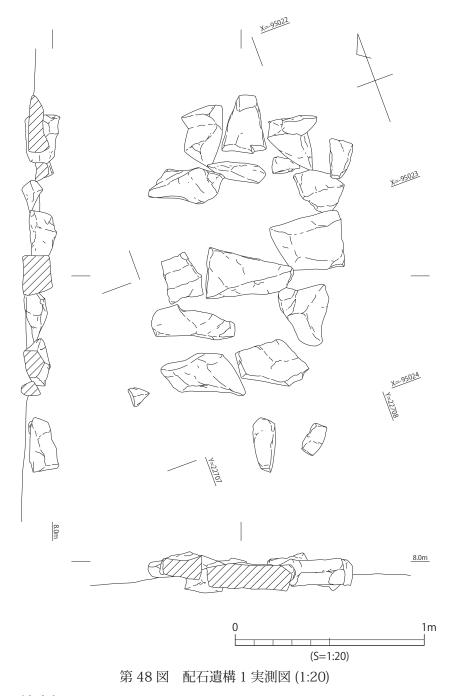
『匹見町内遺跡詳細分布調査報告書XV』匹見町教育委員会 2003 年

6. 第4遺構面の遺構・遺物

耕作土を除去した西側で標高 7.1 m、東側で標高 7.8 m 付近の面で、G7 付近を中心に非常に多くの地床炉を検出し、その連続面を第 4 遺構面と呼んだ。この面では、 $G10 \sim H10$ 付近にも地床炉が集中する部分が見られるほか、地床炉 $63 \cdot 64$ のある H8 付近は長径 5 m ほどの楕円形に大きくくぼむ部分があり、この部分も大きな遺構だった可能性がある。地床炉は、7 ライン以東に見ら



第 47 図 第 4 遺構面遺構配置図 (1:300)



れ、7ラインより西側は 少量のピットのほか、地 床炉はほとんど見られ ず、標高 7.5m を境に、 それ以下では地床炉がな くなるように見える。 た、H7 周辺では土器が 集中して出土する部分が あり、土器だまり 3 と呼 んだ。また、第 4 遺構として は、H9 で配石遺構 1 を 検出している。

土器だまり3の北側に 隣接するH7北辺で、底 部が広く平らな土器(52-1)を検出した。サブトレンチを入れるなどして確 認したが、周囲に土坑などは見られず、地面にも見られていたと考えられる。土器の内側には炭が、内面が火を受けているようにも見えることから、土器炉だろうか。

地床炉 地床炉は $F7 \sim G7$ と、 $G10 \sim H10$ に集中してみられる。いずれも焼土面が広がった状態で検出しており、明確に掘りくぼめたようには見えない。 $F7 \sim G7$ の地床炉は、最大 3m も広がる場合があり、多くの地床炉が重なり、連続して使用された可能性が高い。一方、 $G10 \sim H10$ で見られる地床炉は、いずれも 1m 未満の広がりしかなく、焼土の厚みも少ない。

配石遺構 1 H9 の標高 7.9m 付近で、 $40 \sim 50$ cm から拳大の石が集中して出土し、配石遺構 1 とした。周囲に大きな石が見られないことから、意図的に石を集め置いたものと判断できる。

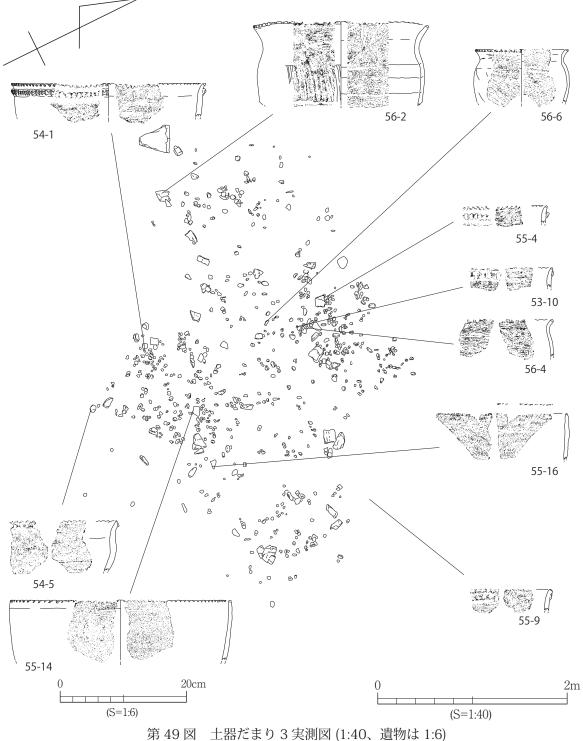
配石は、南北約 2m、東西約 1.1m の長方形の範囲に 18 個の角礫を置いたもの。多くの石は断面長方形で、板状の石を選んで並べているように見える。この内、南端の 1 石だけは、立てて置かれているように見え、標石のような役割を果たしたものか。使用されている石材は、黄白色を呈す凝灰岩で、近隣で産出されるもの。

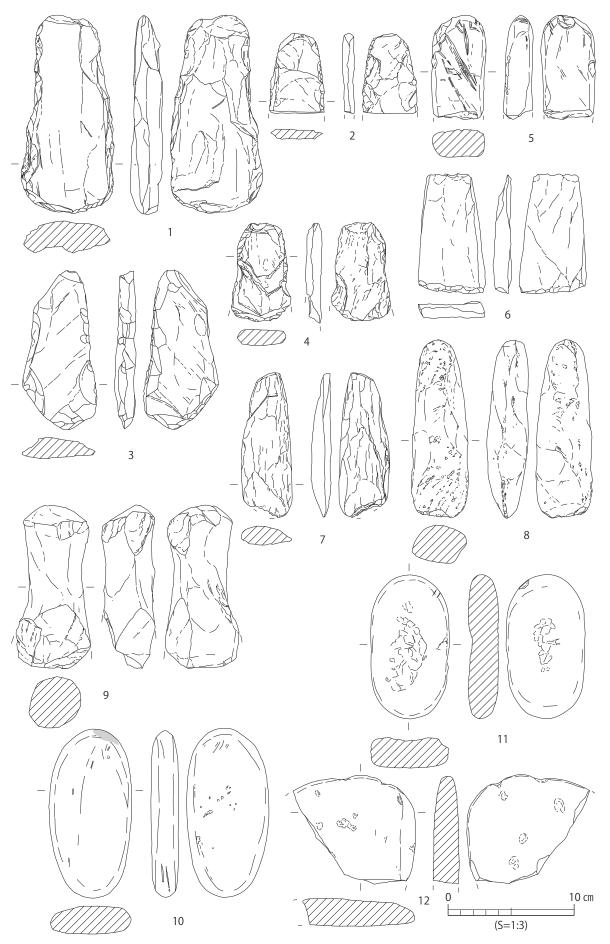
配石遺構1の下面にサブトレンチを設定し、土層断面を観察したが、土坑等は見られなかった。

また、配石遺構 1 からは遺物は出土しなかった。なお、配石遺構 1 は、第 2 遺構面の SK01 を検出 した位置から南西に 4m 程と、近接した位置にある。

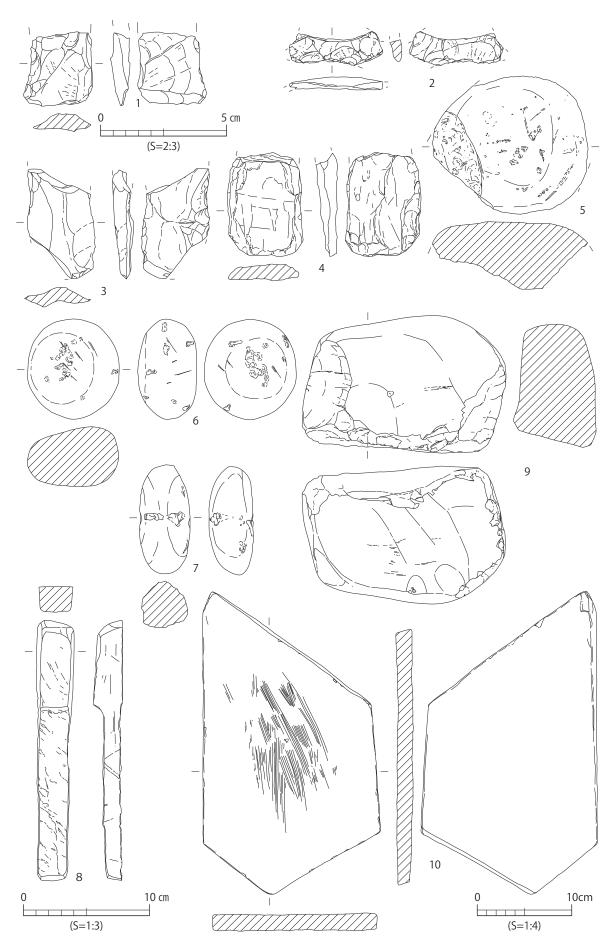
土器だまり3 H7付近で、多数の土器片が集中する部分があり、土器だまり3とした。土器だ まり3は、平面的に土器片や石が集中して出土したもので、明確なくぼみはない。また、埋土も 通常の土で、他で検出した炭だまりのような、炭を含んだ土ではなかった。

土器だまり3は、H7を中心に東西約5m、南北約4mにわたって土器片が出土した部分で、所々 に石が見えるが、石器はほとんど含んでいない。土器だまり3の西側に見える大きな石も自然石 で、石皿の可能性はあるが、使用痕は明瞭でない。含まれている土器類はほとんどが深鉢で、浅鉢





第 50 図 第 4 遺構面出土石器実測図 (1)(1:3)



第51図 第4遺構面出土石器実測図(2)(1:3、1は2:3、9・10は1:4)

が少ない。少量の突帯文を含むが、多くは、口縁部を刻むもの。また、土器だまり3の北に接して、 土器炉と推定した52-1が出土しているほか、東側のG7付近では、地床炉が集中して検出されている。

第4遺構面出土の石器・石製品 50-1 は塩基性片岩を使用した打製石斧と考えられるが、刃部が鋭利に整えられてはいない。未製品と考えているが、欠損の可能性もある。50-2 は流紋岩製の石斧の基部側を残す破損品。非常に薄い。50-3 は泥質片岩製の打製石斧であるが、破損品の再利用であろう。50-4 も同様のもので、大きく破損した後に再利用されており、非常に小さい。

50-5 は石斧の基部のような形状をした凝灰岩に、直線を掘り込んだもので、呪術具だろうか。 片面は擦痕のみで、反対面に斜めに線が引かれ、同じ線を何度もなぞっているように見える。

50-6 は板状の塩基性片岩で、石斧の破損品と思われる。50-7 は塩基性片岩製の磨製石斧で、刃部を欠く。50-8 は緑色片岩の磨製石斧。刃部がつぶれ、使用痕が残る。

50-9 は塩基性片岩を使用した棒状のもので、一見すると磨製石斧に見えるが、かなりの太さがある。一端を欠くが、刃部が付くとは思えない。全面的に研磨されており、石棒の一種か。

50-10・11 は扁平な川原石に打痕のあるもの。いずれも凝灰岩で、軟質の石材。50-10 は僅かに打痕が入るだけだが、一端に火を受けた痕跡がありススが付着している。50-11 は中程に打痕が集中するもので両面とも僅かにくぼむ。軟質で、敲石としては実用的でない。いずれも呪術具か。

50-12 は板状剥離した安山岩に何カ所かの小さなくぼみを入れ、周縁に 2 カ所以上のくぼみを付けたもの。大きく欠損している。粒子が粗く多孔質で、非常に軽い石材を使用している。呪術具だろうか。

51-1・2はガラス質安山岩の剥片で、スクレーパーの破損品か。

51-3・4 はいずれも小型の石斧の破損品と思われる。51-3 は泥質片岩、51-4 は緑色片岩を使用している。

51-5・6 はデイサイト製の擦石・敲石。51-5 は大きく破損し、火を受けた痕跡も見られる。使用後に故意に割られたものか。

51-7 は 129g の凝灰岩の長細い石を使用し、中程に敲打を施してくぼませたもので、石錘。

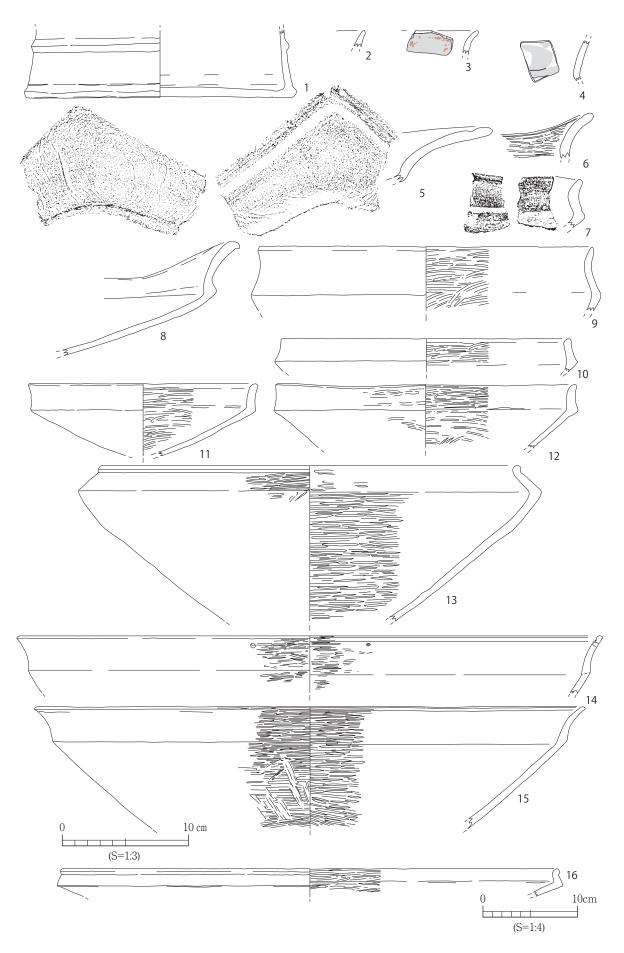
51-8 は板状剥離した凝灰岩の石材をさらに短冊状に割り取り、頭部を残したもので、石棒の一種だろうか。頭部と側面にはわずかに磨痕が見える。石材は凝灰岩。

51-9 は、大きく硬質の安山岩を使用し、周縁部を打ち欠いて、両面にわずかに磨痕を残すもの。 石皿か。

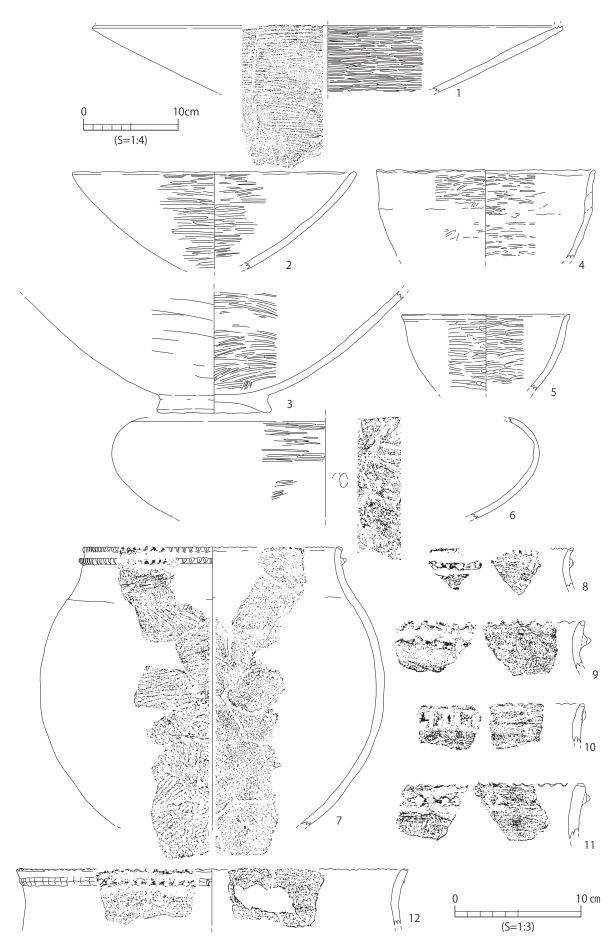
51-10 は H7 で出土した厚さ 1cm ほどの五角形を呈した石。扁平で、両面は非常に平滑。一面 にわずかに磨痕が見えるが、板状剥離した石を研磨したものと思われ、周縁にも磨痕が見える。打 痕はなく、石皿や磨石のような実用的なものとは思えない。出土時に下側を向いていた面には、鉄 分が多く付着しているため、調整不明。

第4遺構面出土の土器・土製品 52-1 は H7 付近で出土した、土器炉と思われる鉢の底部である。底径約 21cm の底部は平らで、わずかに内傾させて体部が立ち上がる。底部と体部の継ぎ目部分と 4cm 程の上の部分にたがを回すように無刻みの突帯をめぐらせている。上部は欠損しており、口縁部の形状は判らない。摩滅しており、明瞭ではないが、内外面ともナデか。

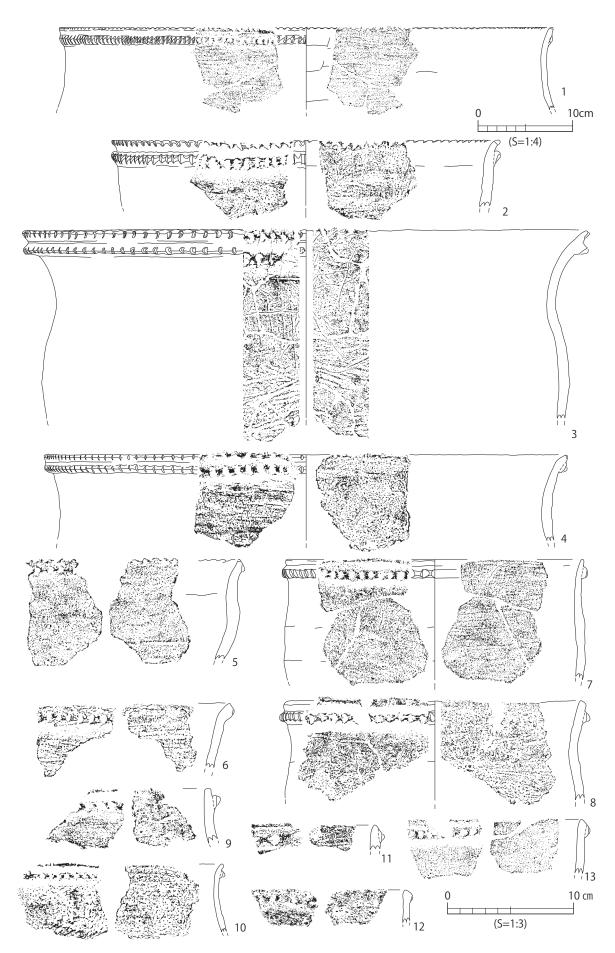
52-2・3 は赤彩の浅鉢口縁部である。52-2 は両面に、52-3 は外面側の全面に漆状の樹脂を使用



第52図 第4遺構面出土土器実測図(1)(1:3、16のみ1:4)



第53図 第4遺構面出土土器実測図(2)(1:3、1のみ1:4)



第54図 第4遺構面出土土器実測図(3)(1:3、1のみ1:4)

して赤色顔料が塗布されている。52-4 は、彩文土器の浅鉢の頸部。樹脂を使用して、顔料が塗布されているが、鮮やかな赤ではなく、暗黄褐色を呈している。肩部に太い直線をめぐらし、その上に逆 C 字を描く。平成 25 年度 A 区で出土した彩文土器と同様のものか。

52-5~8 は波状口縁を持つ方形浅鉢の口縁部。いずれも内外面とも丁寧にミガキが施される。 52-5 は、口縁部の内面に凹線が施され、波状になった稜の上面に小さな刺突が 2 点打たれている。 52-7・8 の外面肩部以下は条痕。

 $52-9 \sim 53-2$ は浅鉢である。 $52-9 \sim 16$ は、肩部から口縁部を屈曲させて面を持つもので、53-1 も同様のものか。53-2 は体部が直線的に延びるものである。いずれも内外面にミガキを施すが、53-1 の外面は条痕。

53-3 は、やや荒い作りの浅鉢。内外面ともミガキが施されるが、口縁はゆがんでおり、肩部付近には、輪積みした粘土の継ぎ目を残す。器高があり、深鉢に近い器形で、53-4 も同様のものか。 53-5 は、直線的に開く浅鉢の肩部以下の体部。内面には横方向のミガキが密に施されるが、外

面は条痕。

53-6 は体部の丸い浅鉢。外面は横方向のミガキが見えるが、内面はナデで、指頭圧痕を残す。

 $53-7 \sim 12$ 、 $54-1 \sim 5$ 、 $55-1 \sim 5 \cdot 8 \cdot 9$ は口縁部外面のやや下がった位置に刻目突帯を貼り付け、口縁端部を刻む深鉢。53-9 は口縁部の刻みが大きいもので、棒状工具の側面を使用したものか。55-1 は肩部にも刺突が施される。刺突は、竹管の先端を加工した工具が使用される。55-3 は小型のもので、口径は 11cm しかない。55-5 は、刻目突帯の位置が口縁部より大きく下がったもの。突帯の上下は横方向の強いナデ。

 $54-7 \sim 13$ 、 $55-6 \cdot 7 \cdot 10 \cdot 11$ は、口縁端部に刻みがなく、口縁部よりやや下に刻目突帯を張るもの。 小片が多く数は少ない。 55-11 はごく浅い刻みを入れている。

55-12・13 は無刻の突帯を貼り付けるもので、突帯が高く、突帯の上下を強くなでる。

 $55-14 \sim 16$ は内湾気味に緩やかに立ち上がる体部を持ち、口縁端部を刻むもの。いずれも口縁端部の刻みは浅い。

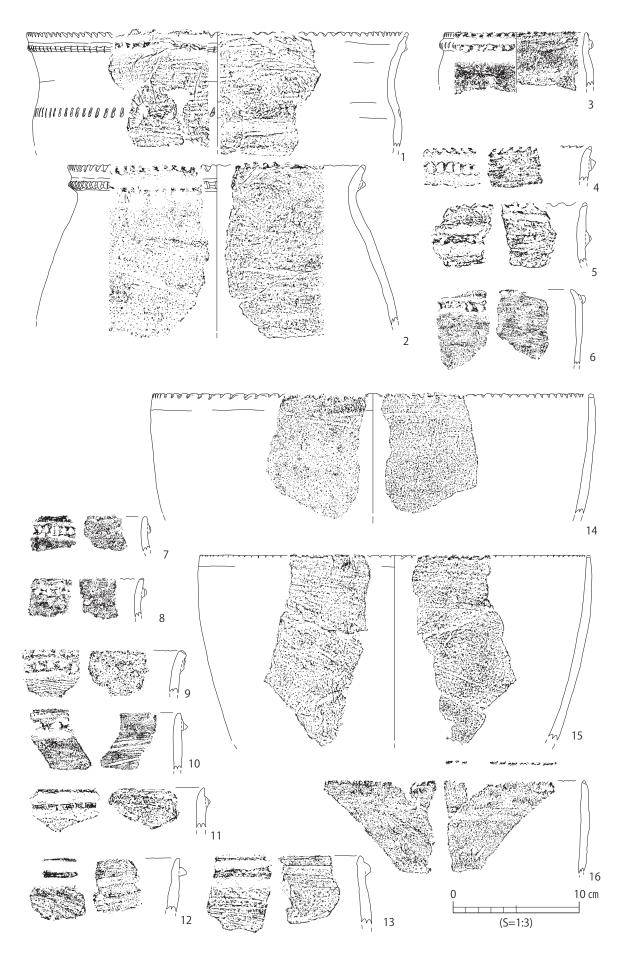
 $56-1\sim6\cdot8\cdot9$ は、口縁部を刻む深鉢の内、頸部がくびれ、口縁部が外反するもの。 $56-2\cdot3$ は体部外面に縦方向の条痕を規則的に施す。体部断面の接合痕を明瞭に残しており、下端の破損部分は剥離面。

57-5 はボール形の鉢。口縁端部を粗く刻み、体部の調整は内外面とも荒いナデで、横方向のナデの跡を強く残している。

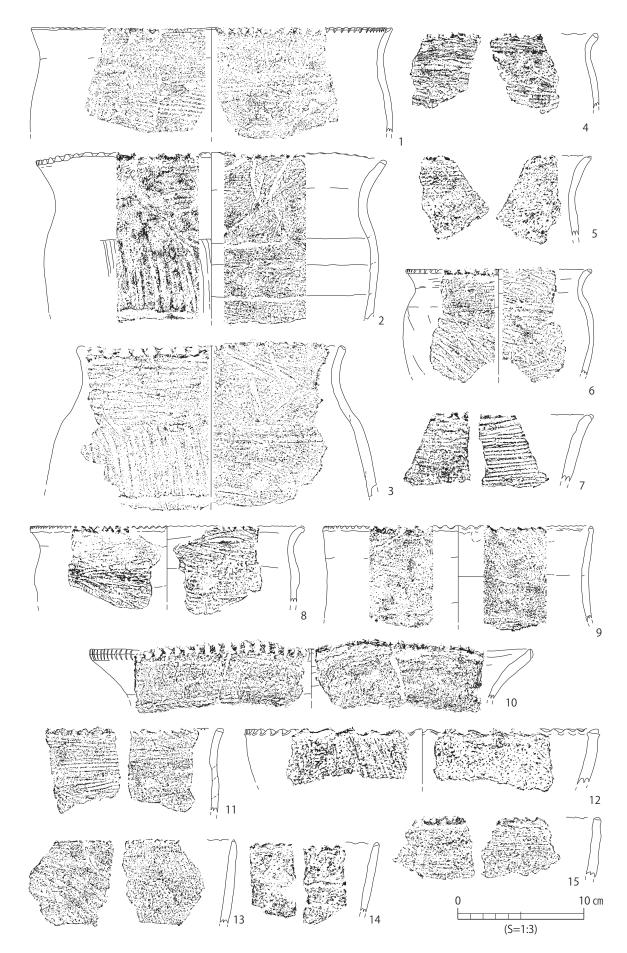
 $57-6\sim9$ は、肩部が鋭く折れ曲がる深鉢。いずれも肩部に刺突が施される。 $57-6\cdot7$ は竹管の 先端を加工した工具で、57-7 の口縁部外面にも同じ工具による刺突がめぐらされる。57-8 はヘラ 状工具による。57-9 は細い棒状の工具による。 $57-7\sim9$ は内外面とも横方向の条痕を強く残している。

57-10・11 は無文の鉢。57-10 はボール形を呈し、口縁部上面に面を作り、外面側に浅いくぼみがめぐる。内外面ともナデ。57-11 も同様の口縁部を持つもので、器高が高いもの。内外とも横方向の条痕。器壁に接合痕を多く残す。

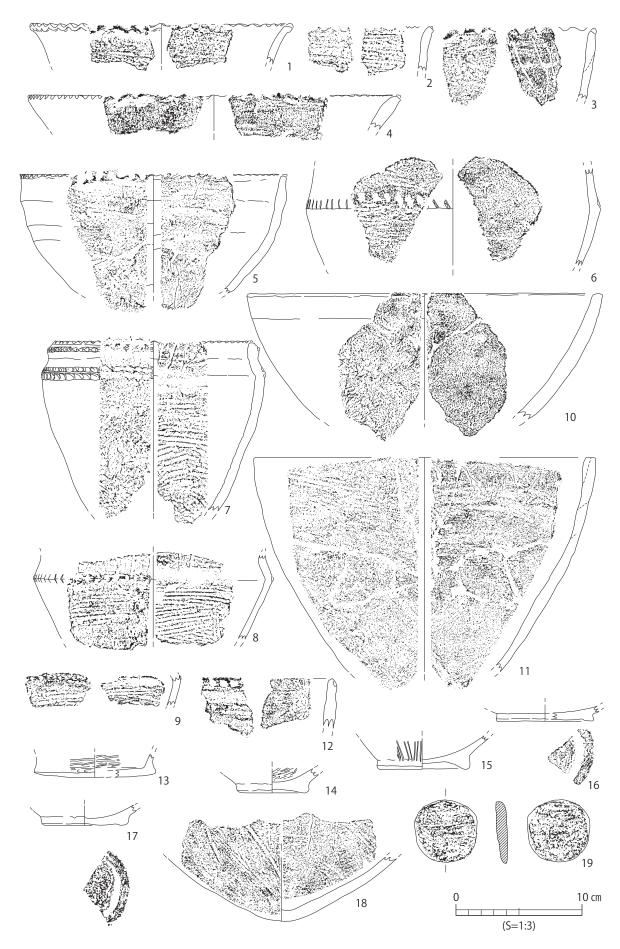
57-12 は、口縁部外面に刺突を施すもの。刺突は、竹管の先端を加工した工具を使用し、押し引き気味に施される。内外面とも横方向の条痕。



第 55 図 第 4 遺構面出土土器実測図 (4)(1:3)



第56図 第4遺構面出土土器実測図(5)(1:3)



第 57 図 第 4 遺構面出土土器実測図 (6)(1:3)

57-13 は扁平な底部から体部が斜めに延びる浅鉢。内外面とも横方向のミガキ。 $57-14 \sim 17$ は高台状になった底部。57-14 は内面にミガキが見え、浅鉢。57-15 は、外面に縦方向の条痕を残す。57-18 は底部のうち、尖底のもの。内外面とも斜め方向の条痕。

57-19 は深鉢体部を使用した土製円盤。直径 4.8cm で、打ち欠いて作られたはずの周縁は摩耗しているように見える。

7. 第5遺構面の遺構・遺物

耕作土を除去した西側で標高 7.2m、東側で標高 7.5m 付近では土器を多く含む遺物包含層があり、 炭を含んだ広がりや少数のピットを面的に検出し、第 5 遺構面とした。第 5 遺構面では標高 7.3m より高い、8 ラインよりも東側で多数の遺構を検出した一方、西側では遺構が少なく、遺物の出土 も東側に集中している。

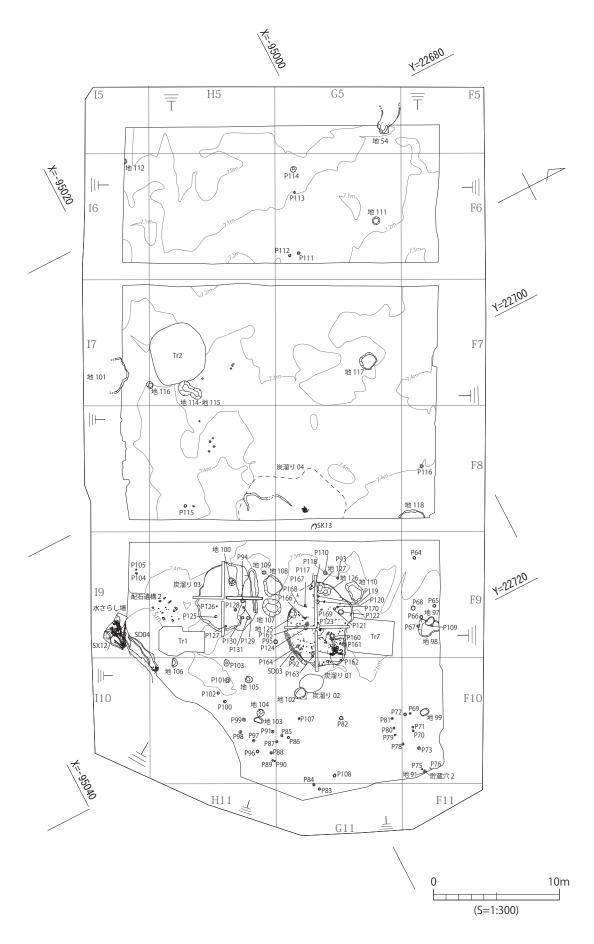
第5遺構面で検出した土器と炭を含むまとまりは、炭だまり $1\sim4$ と呼んだほか、貯蔵穴と思われる木の実を含んだ土坑や、湧水地点に木を組み、大量の木の実を含んだ水さらし場遺構など、調査区東側を中心に、非常に遺構の多い面となった。また、炭だまりなどが連続する東側以外にも地床炉がいくつか見られるが、この面で検出した地床炉としたものは、いずれも明らかに掘りくぼめられており、大型のものが多い。

炭だまり 1・3 は規模が等しい上に近接して検出しており、その間に見られる地床炉 107・108 とともに関係が深い遺構だと思われる。また、水さらし場遺構も、内容物などから Pit68 や貯蔵穴 とした遺構に関係があるだろう。これらの周囲には建物跡の可能性もあるピットも集中しており、注意される。

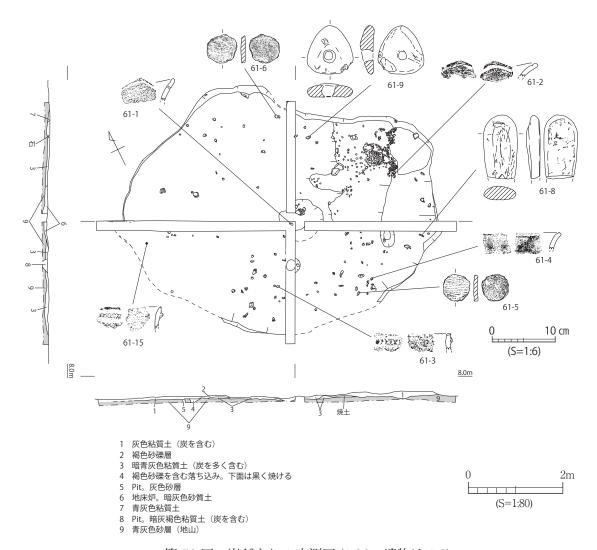
炭だまり1 G9 を中心に長径約7m、短径約4.8mの炭を含んだくぼみがあり、炭だまり1(第59図)とした。深さはなく、周囲の壁は明瞭ではないが、縁辺部が溝状にわずかにくぼみ、中央部に長径約80cmほどの浅いくぼみがある。ピット状の落ち込みは2基しか見られず、建物が建つような並びは見られない。内部には、黒色の粘質土が堆積し、土器片や石製品含んでいる。北東側の一角に1m四方ほどの範囲に5cm以下の小さな円礫を敷き詰めた部分が見られる。炭だまり1から出土する遺物には有孔石製品や線刻礫、土製円盤など、実用品とは思えない遺物の出土が目立つ。埋土からは少量の骨片が出土している。

炭だまり2 炭だまり1の東側で、G10 西側に長径約2mの黒色土が充満したくぼみがあり、炭だまり2とした。他の炭だまりと同様に浅くくぼみ、埋土に炭を含んでいる。床面は明確には焼けていないが、大きな炉か。

炭だまり3 炭だまり1の南側に当たるH9に、炭だまり1と同様のくぼみがあり、炭だまり3(第60図)とした。炭だまり3は、長径約5m、短径約4m、深さ約10cmで、床面は凹凸があり平らではない。埋土には、土器片や石器類を含んでいる。西半部には、拳大から人頭大の石が入っており、投げ込まれたものか。床面からは獣骨と思われる白化した骨が少量見られたが、小片のため同定できなかった。炭だまり3の北側にも長さ約3m、幅約50cm、深さ10cm程の溝状のくぼみが見られるが、炭だまり3を埋めた炭を含む灰褐色粘質土は、北側の溝状のくぼみまではかかっておらず、別の遺構か。東側を中心に、いくつかピットが見られるが、建物が建つような並びは見られなかった。



第 58 図 第 5 遺構面遺構配置図 (1:300)



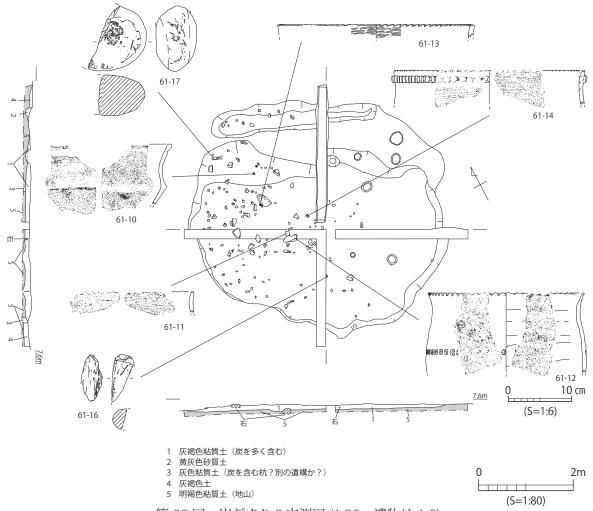
第59図 炭だまり1実測図(1:80、遺物は1:6)

炭だまり1と3の間には、非常によく焼けた地床炉107と地床炉108が並んで見られた。

炭だまり 1・3・4 は、堅穴建物跡を思わせる大きさと形状であるが、いずれの炭だまりからも建物が建つような並びのある柱穴は見られなかった。また、多くの土器片が出土しており、その接合を試みたが、接合できる破片は意外に少ない。

炭だまり 1・3 出土遺物 $61-1 \sim 9$ は炭だまり 1 から出土した。炭だまり 1 出土遺物には、実用品とは思えないものが多く含まれるほか、土器は小片ばかりで、大きく接合できる個体がない。

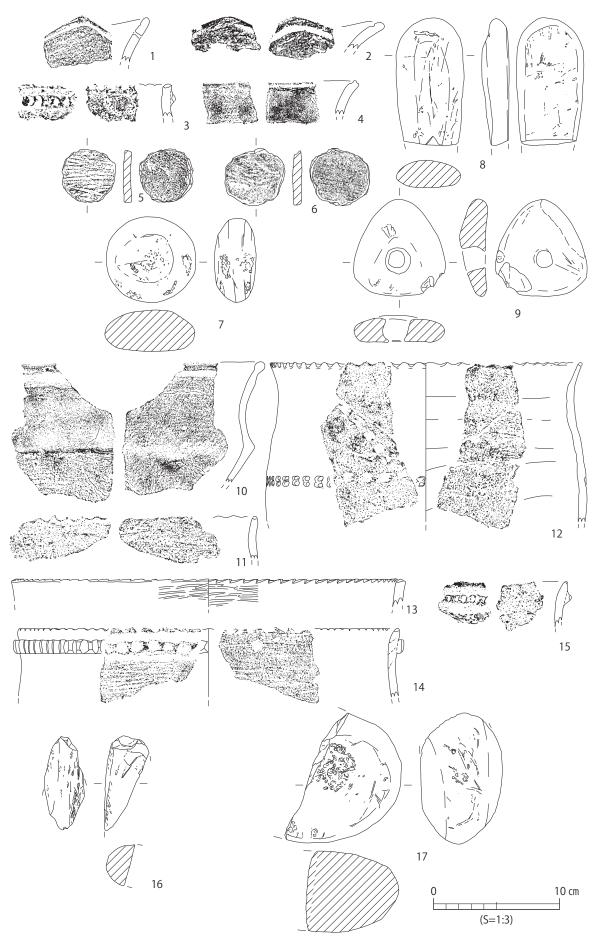
- 61-1・2 は口縁部内面に沈線を入れる方形浅鉢の小片。いずれも丁寧にミガキを施されている。 61-1 は稜の下に穿孔がある。61-4 も丁寧に磨かれた浅鉢の口縁部。外面調整はナデ。
 - 61-3 は刻目突帯の深鉢。口縁端部にも刻みが施される。内面は条痕。
- 61-5・6 は土製円盤。61-5 は周囲が摩滅しており、使用によるものか。条痕が見え、深鉢の体部を転用したもの。61-6 はミガキが見え、浅鉢か。
 - 61-7 は擦石・敲石。砂岩を使用し、周縁の敲打痕が目立つ。
- 61-8 は、小型の磨石に見える石製品だが、石材は凝灰岩で非常に柔らかい石材を使用しており、強い磨痕が入っている。実用品ではなく線刻礫の一種か。61-9 は三角形を呈する安山岩で、中央に直径 1cm 程の穴が開いている。穴そのものは穿孔貝による自然現象と思われるが、穴の周囲に擦痕が見られ、紐を掛けて吊していた可能性がある。



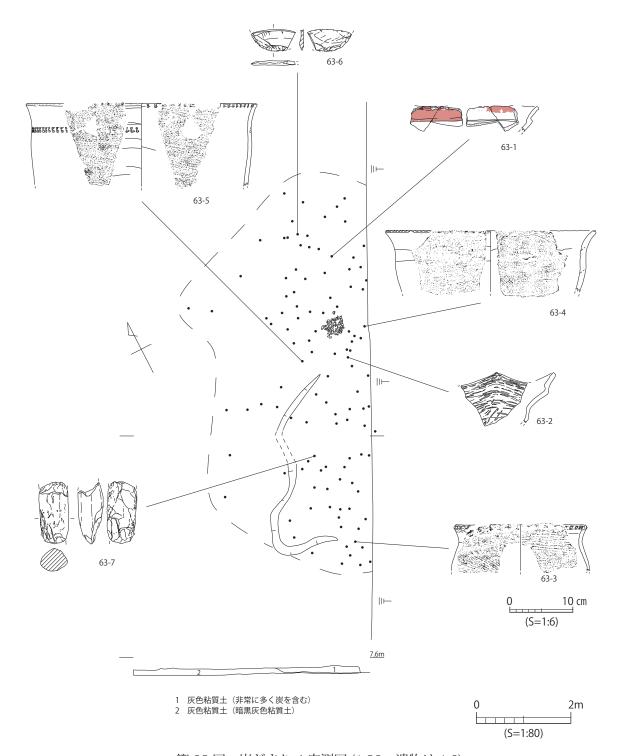
第60図 炭だまり3実測図(1:80、遺物は1:6)

- 61-10~17 は炭だまり 4 から出土した。
- 61-10 は浅鉢の口縁部。口縁端部は玉縁状に丸く収められ、その下位にくぼみがある。肩部以上 は内外面とも丁寧なミガキ。外面の肩部以下には横方向の条痕を残す。
- $61-11\sim13$ は口縁端部を刻む深鉢。61-12 は胴部最大径近くに、竹管の先端を加工した工具による刺突をめぐらせている。内面はヨコ方向の強い条痕。61-13 は内外面ともミガキに見える。
 - 61-14・15 は口縁部外面のやや下に刻目突帯を貼り付けるもの。口縁端部を刻む。
 - 61-16 は緑色片岩を使用した磨製石斧の基部と思われる。刃部側を大きく欠く。
- 61-17 はデイサイト製の敲石。半分程度を欠いていると思われる。一点に敲打痕が集中し、周縁には磨痕が目立つ。使用後に故意に割られたものか。

炭だまり 4 炭だまり 1 から 9 ライントレンチを挟んだ西側で、直径約 6m の範囲で黒色土の堆積が見られ、炭だまり 4(第 61 図) とした。この炭だまりは、9 ラインの畦にもかかっているが、明確なくぼみは見られない。南東側にわずかに落ち込む部分が見られ、炭を多く含む灰色粘質土が堆積しているが、遺物の広がる範囲には、表面的に炭が見られるのみで、断面でも全く厚さがない。炭だまり 4 の出土遺物には、赤彩を施された浅鉢が見られるが、炭だまり 1 のように呪術具の出土が目立つという印象はない。また、炭だまり 4 の中程で、炭だまり 1 と同様に小石を集めた部分が見られた。約 50×40 cm の範囲に小さな円礫が集められており、この周囲からは、土器片が集中して出土している。



第61図 炭だまり1・3出土遺物実測図(1:3)



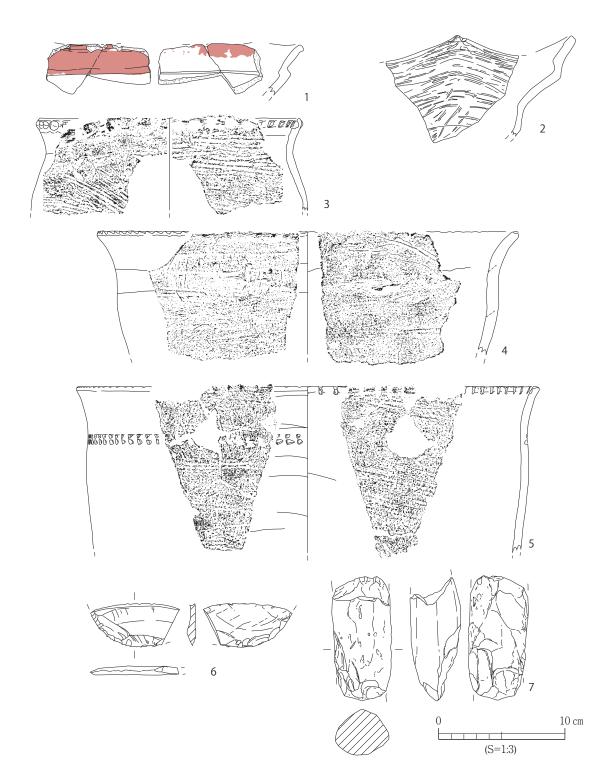
第62図 炭だまり4実測図(1:80、遺物は1:6)

炭だまり4出土遺物 63-1 は肩部に段が付き口縁部が直線的に開く浅鉢。口縁端部を小さく外側に折り曲げる。頸部から口縁端部直下面の内外面には赤彩が施されている。内外面ともミガキで、体部の外面には条痕を残す。

63-2 は波状口縁の浅鉢。波状口縁の稜の両側に棒状工具によって付けられた小さなくぼみがある。内面調整はミガキ。

63-3 は小型の深鉢。口縁部内面に、竹管の先端を加工した工具による刺突をめぐらし、外面側は刺突によって盛り上がっている。内外面とも条痕を明瞭に残す。

63-4 は口縁端部を刻む深鉢。口縁部外面にはススが付着し、内面側には粘土帯の継ぎ目が見える。

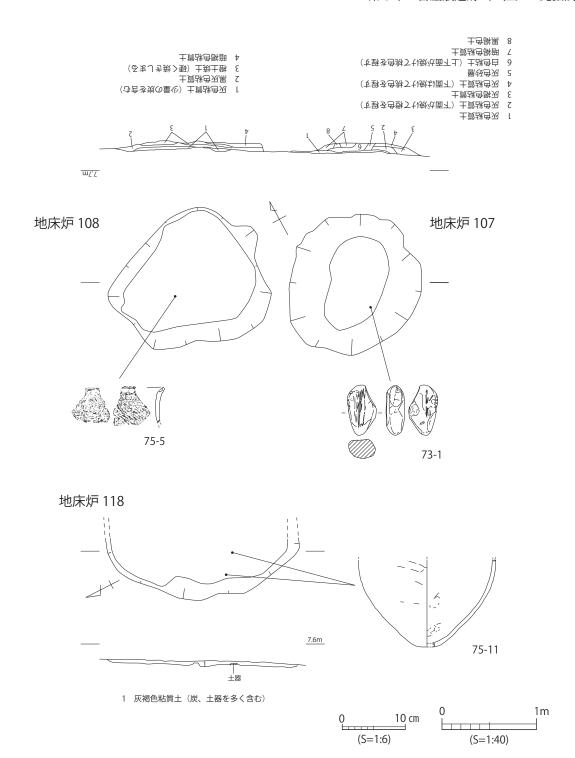


第63 図 炭だまり 4 出土遺物実測図 (1:3)

63-5 は、竹管の先端を加工した工具で、口縁部の内面側に刺突を施すもので、外面は刺突によって盛り上がっている。63-3 と異なり、口縁端部に接して刺突されており、刻みに近い意識か。口縁部の刺突と同じ工具で、胴部最大径近くにも刺突をめぐらせている。内外面とも条痕。

63-6 はガラス質安山岩製のスクレーパー。弧状刃部を持つもので、刃部の 1/3 程度と基部を欠いている。

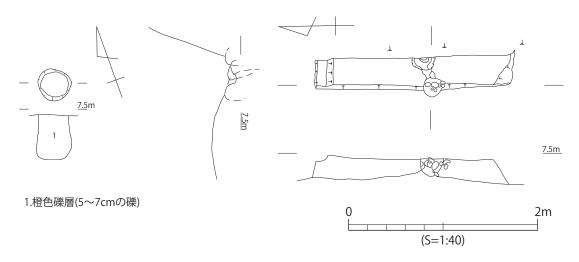
63-7 は緑色片岩製の石斧。全面に敲打痕があり、丁寧に整形されている。基部を欠き、刃部も大きく欠損している。



第64図 地床炉107・108・118 実測図(1:40、遺物は1:6)

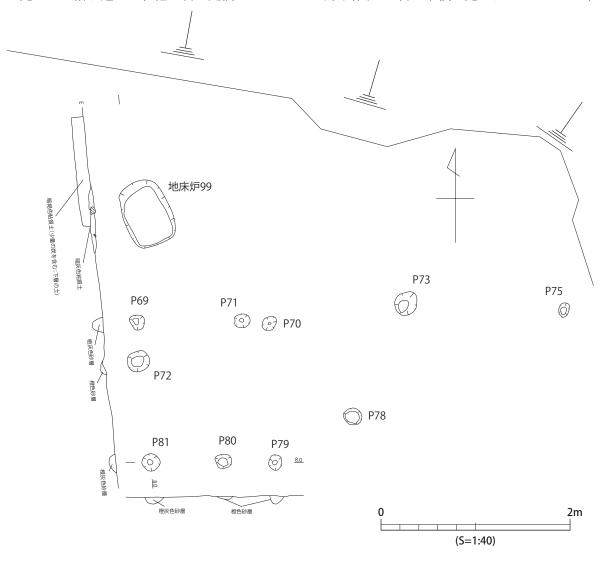
地床炉 107・108・118 地床炉 107・108 は、炭だまり 1 と炭だまり 3 の間で 2 基並んで検出した。地床炉 107 は直径約 1.5m の不整円形で、10cm 程掘りくぼめられている。内部からは、線刻礫 73-1 が出土している。地床炉 108 は 1 辺約 1.5m の方形に近い形状で、地床炉 107 と同様に、わずかに掘りくぼめられている。口縁部内面に刺突のある深鉢 75-5 が入り込んでいた。2 基とも床面が非常によく焼け、暗赤褐色を呈し、床面が硬化している。位置関係から炭だまり 1・3 と無関係に存在したとは思えず、同時期に機能したものか。

地床炉 118 は、G8 東側の 9 ライントレンチに掛かる部分で検出した地床炉で、検出幅 2m を越える大きな地床炉である。わずかにくぼむ。埋土から深鉢底部 (75-11) が出土している。



第 65 図 袋状土坑 (Pit68) · 貯蔵穴実測図 (1:40)

袋状土坑 (Pit68)・貯蔵穴 ピット 68(第 65 図左) は F8 で検出した大きな柱穴状の落ち込みである。直径約 30cm、深さ約 45cm で、底近くに最大径のあるフラスコ形となっている。この落ち込みの特徴的な点は、内部に土が入っておらず、拳大の石が充満されていた点にある。古屋敷遺跡で見られる落ち込みに、他に石の充満したものはなく、周囲にも石の堆積は見られないことから、

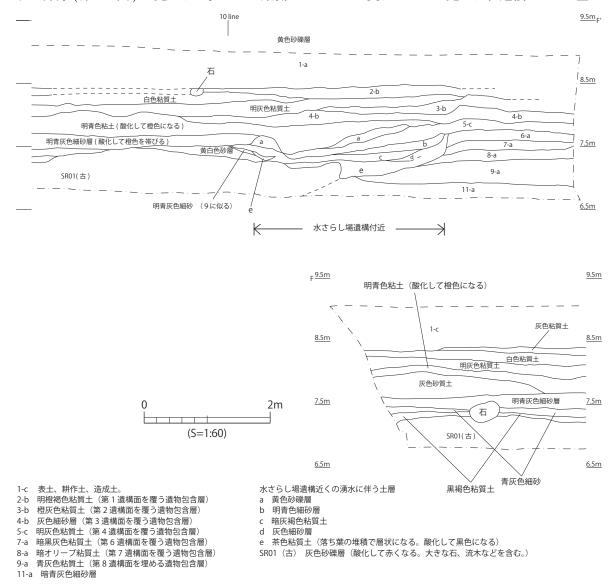


第 66 図 F10 付近 Pit 実測図 (1:40)

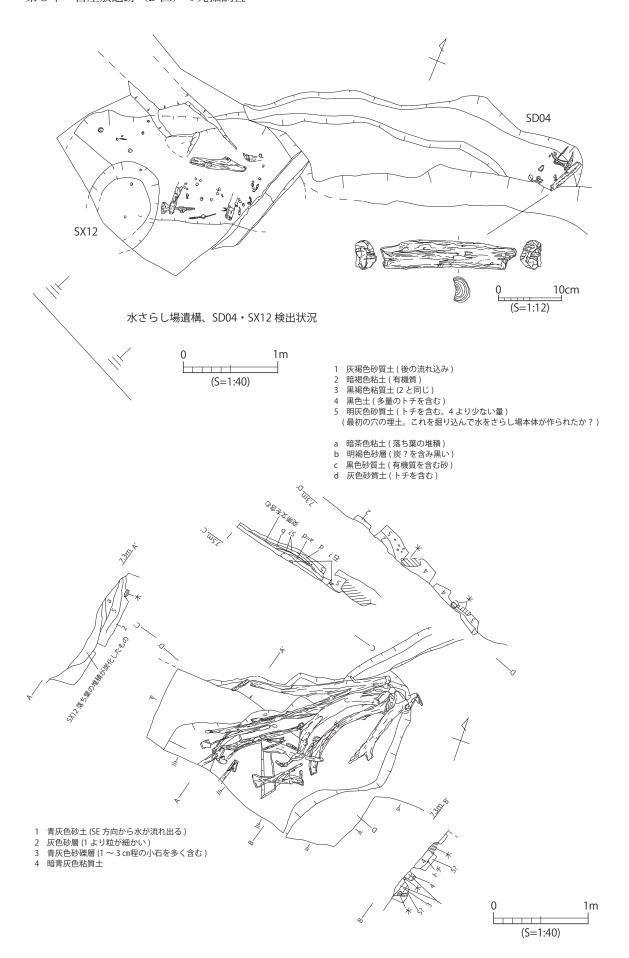
人為的に石を詰めたものと思われる。この土坑は、使用時には空間があり、放棄する際に石を詰めたものと想像される。内部には、石以外の遺物はなかった。

第65図右はF10で見られた穴で、内部には外果皮を取り除いたトチの実が充満していたことから貯蔵穴とした。標高約7.5m付近の、自然流路(SR01)に接する位置で検出したもので、垂直に掘られた穴ではなく、SR01から西方向へ向けて斜めに掘られたものと思われ、平面的に検出することができなかった。下層に掘り進めようとする際に、穴の底近くを横から掘り抜いたもので、SR01側の開口部を後で検出している。開口部は直径約20cmで、西へ向けて斜め45°近い角度で掘られ、検出できた深さは約20cm。中程は直径15cm程にすぼまり、底面近くで再び20cm以上の広さとなる。土は、少量しか入っておらず、外果皮を除去したトチの実と少量のクルミが充満していた。貯蔵穴に近い調査区東壁の北寄りに部分の標高7.5m付近は、土層断面(第99図)では、SR01の堆積土の中に当たり、貯蔵穴は、SR01の堆積土中から掘り込まれていた可能性が高い。貯蔵穴内に水を引き込んでいると考えられ、トチ等の堅果類を水漬けするための施設か。

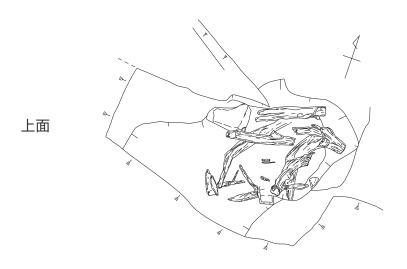
F10 付近のピット・土坑 第5遺構面 F10 付近には、貯蔵穴に隣接するように、ピットが集中する部分(第66図)が見られる。F10 の東側には SR01 が流れていたと見られ、近接して10 基ほ

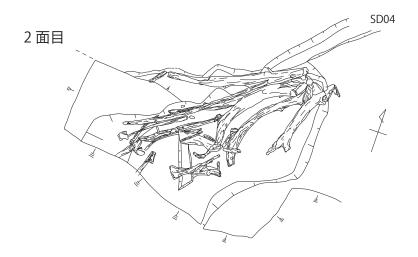


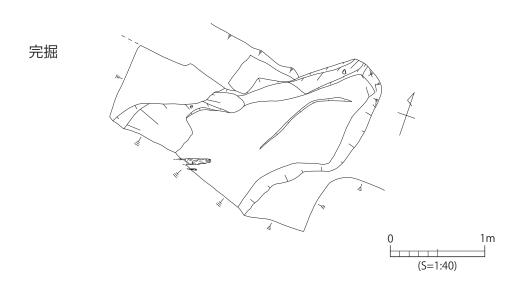
第67図 古屋敷遺跡(D区)南壁土層堆積状況(1:60)



第68図 水さらし場遺構実測図 (1)(1:40、遺物は1:12)







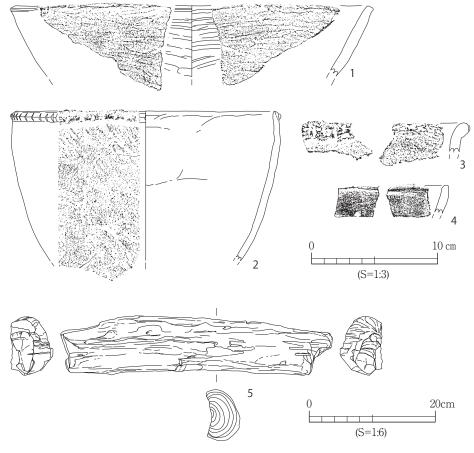
第 69 図 水さらし場遺構実測図 (2)(1:40)

どピットと地床炉がまとまっている。ピットは直径 $10 \sim 25 \text{cm}$ 、深さ $6 \sim 20 \text{cm}$ の小さなもので、 柱根などが見えるピットはない。北側に地床炉 99 が隣接している。

水さらし場遺構 I9 南側の調査区端で排水路を兼ねたトレンチを掘削中に、外果皮を取り除いたトチの実などが大量に出土し、棒状の木が組まれたような状況が見られたことから、水さらし場遺構 (第 67 図) とした。この部分は、中程が落ち込み、調査時にもきれいな水が湧き出しており、自然の湧水点を利用した施設と思われる。

第67 図には水さらし場遺構に隣接する調査区南壁の土層断面図を示した。水さらし場遺構のある部分は、自然流路 (SR01) の岸に当たり、水さらし場遺構よりも東側は流路内の砂礫層となる。当時の流路がどの程度の川幅だったかは判らないが、砂礫が均質であることから、徐々に埋まって行ったと考えられ、数メートル幅の少ない水量で流れていたものと推定される。よって、水さらし場遺構自体は流路からは離れていた可能性が高い。水さらし場遺構付近は、埋没後もある程度の湧水があった可能性があり、上面の土層がくぼんでいる。また、水さらし場遺構の南西には、水さらし場遺構の堆積を切って、落ち葉だけが厚く堆積した落ち込み (SX12) があり、この部分も後の湧水点だったと思われる。

水さらし場遺構は、検出時には、自然木が1辺約60cmの方形に組まれた遺構と認識していたが、それぞれの材は、全長2mを越えるものまで含まれており、その材を含んだ土坑を検出できない。水さらし場を構成する材を取り上げ、下層の材を追っていくと、自然流路(SR01)の堆積中に埋没していくことから、自然の流木等を利用して湧水点を保護し、その内側を利用して木の実の水さらしを行うなどに利用したものと判断した。



第70図 水さらし場遺構出土遺物実測図 (1:3、木製品は 1:6)

水さらし場 遺構に隣接し て長さ約4m の溝があり、 SD04 と呼んだ。 SD04(第67図 上)は、北側で 幅約50cm、水 さらし場遺構に 接する南側では 幅 約 20cm を 検出し、深さは 10cm程である。 わずかに南側が 下がっており、 自然流路 (SR01) から水さらし場 遺構へ向けて導 水しているよ

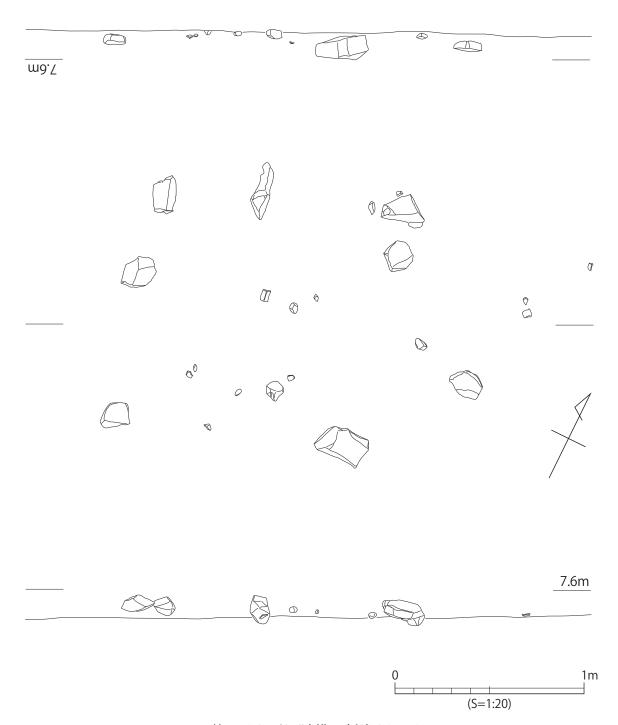
うに見える。内部には、砂質土が堆積しており、水が流れていたことを示す。また、SD04 北端の SR01 に接する位置からは切断された棒状の木製品 (69-5) が出土している。SD04 に直交する方向 で置かれていた。水をせき止めたかのように見える。

また、水さらし場遺構の南側では、落ち葉の詰まった土坑 (SX12) を検出した。南側を検出していないが、長径 90cm以上の楕円形で、深さ約 20cm。内部には、落ち葉だけが堆積しており、検出直後には青々とした葉脈まで見える状態の葉が折り重なって堆積していたが、数秒で褐色に変色し、翌日には褐色の粘質土に変わっていた。SX12 は、水さらし場遺構の上面の堆積を切っており、水さらし場遺構本体が埋没した後の湧水点だったと思われる。

水さらし場遺構出土遺物 70-1 はボール形の深鉢か。口縁部に面を持ち、刻目等は施さない。 内外面とも荒い条痕。70-2 は口縁部外面に刻目突帯を貼り付ける深鉢。70-3 は口縁部を外側に折り曲げるようにして、端部を刻んだ深鉢。

| 場所 | トチ | | | | | | | | クルミ その他の木の実 | | | | | | | | | 計 |
|-------------------------------------------------------|-------|----------|------|-------|-------|--------------------------------------------------|-----|----------|-------------|----------|----------|-----------|----------|---------|----------|-----|----------|----------|
| -20171 | 完形 | 割れている | | | | トチの中の皮 | | | | | 1/4 | 1/4 1/8 以 | | | | | | 1" |
| | | ほぼ | | 1/4 | 1 / 8 | | 1/4 | 小片 | 1 | | | 下 | 1 | 1/2 | 1/4 | 皮・小 | 種子 | |
| | | 完形 | | | 以下 | | | | | | | ' | | | | 片 | | |
| 水さらし場遺構 A | | 1 | 27 | 127 | 多量 | | | 1 | | 3 | 1 | 少量 | 7 | 18 | | 少量 | | 184 |
| 水さらし場遺構 B | 1 | 17 | 154 | 257 | 多量 | 2 | 3 | 少量 | | 3 | 4 | 少量 | 12 | 15 | | 少量 | | 468 |
| 水さらし場遺構 C | 3 | 9 | 168 | 317 | 多量 | 3 | 6 | 1 | T | 16 | 6 | 18 | i – | 37 | 61 | 22 | | 667 |
| 水さらし場遺構 D | | | 49 | 138 | 多量 | 1 | | 少量 | | 5 | 2 | 少量 | 8 | 58 | 120 | 少量 | | 381 |
| 水さらし場遺構 E | 3 | 19 | 35 | 91 | 1 | 4 | 8 | 20 | İ | 26 | 19 | 33 | 10 | 39 | 8 | 少量 | 2 | 318 |
| 水さらし場遺構 F | | 11 | 33 | 74 | 多量 | 1 | 2 | 2 | | | 1 | 少量 | 6 | 24 | 7 | 少量 | 1 | 162 |
| 水さらし場遺構 G | | 2 | 36 | 91 | 6 | 4 | | | | | | 3 | 2 | 1 | | | | 145 |
| 水さらし場遺構 H | | 1 | 12 | 23 | 多量 | | 2 | 2 | | 18 | 9 | 少量 | | 4 | | 2 | 3 | 76 |
| 水さらし場遺構 I | | | 3 | 7 | 少量 | | | | | | | | | 1 | 1 | | | 12 |
| 水さらし場遺構 J | | | 1 | 3 | 少量 | | | | | | | | | 1 | | | | 5 |
| SX12 | | 2 | 20 | 23 | 少量 | | | | | 3 | 6 | 少量 | <u> </u> | | | | | 54 |
| 水さらし場遺構 (そ | | 2 | 13 | 86 | 多量 | | 2 | 1 | | 10 | 2 | 少量 | 3 | | | | | 119 |
| の他) | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第5遺構面 貯蔵 | | 4 | 3 | | 少量 | | | | 1 | | | | 4 | 5 | | 少量 | | 17 |
| 六 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第2遺構面 地床 | | | i | | İ | | | | İ | | İ | 1 | İ | 1 | İ | İ | 少量 | 0 |
| ₩ 14 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第3遺構面 地床 | | 1 | | | 1 | | | | † | 1 | 1 | 1 | i | 1 | | | 少量 | 0 |
| 戸 60 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第3遺構面 地床 | | + | | + | 少量 | \vdash | | 1 | | +- | | + | 1 | + | | | | 0 |
| F 63 | | | | | / = | | | | | | | | | | | | | ľ |
| 第3遺構面 地床 | l | + | | | 1 | - | - | 1 | + | + | + | + | - | + | 1 | 1 | 少量 | 0 |
| # 5 週 冊 園 - 地 / ル / ト / ト / ト / ト / ト / ト / ト / ト / ト | | | | | | | | | | | | | | | | | グ里 | 0 |
| 第3遺構面 地床 | | + | | - | 1 | | - | + | - | \vdash | | + | - | + | <u> </u> | | 少量 | 0 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | 少重 | 0 |
| 炉 65 | | \vdash | | ļ | 1 | <u> </u> | - | - | - | - | | - | - | - | - | | 小目 | |
| 第4遺構面 地床 | | | | | | | | | | | | | | | | | 少量 | 0 |
| 炉71 | | _ | | | ļ | | | <u> </u> | _ | _ | | | | \bot | <u> </u> | | | |
| 第4遺構面 地床 | | | | | | | | | | | | | | | | 少量 | | 0 |
| 炉 85 | | | | | | | | | | | | ļ | | | | | | |
| 第4遺構面 地床 | | | | | | | | | | | | | 2 | 20 | 1 | 少量 | | 23 |
| 戸 95 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第4遺構面 地床 | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 1 |
| 戸 96 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第5遺構面 地床 | | | | | | | | | | | | | 16 | 63 | 34 | | | 113 |
| 炉 98 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第5遺構面 地床 | İ | | İ | 1 | | | | 1 | | | | İ | 1 | 1 | | İ | | 1 |
| 戸 110 | | 1 | | | | | | | | | 1 | | | | | | | |
| 第6遺構面 地床 | l | 1 | i i | 1 | 1 | | | 1 | | 1 | † | † | | 1 | | | <u> </u> | 1 |
| 戸 134 | | 1 | | | | | | | | | 1 | | | | | | | |
| 南側排水溝 | | | 1 | 5 | 少量 | | | + | + | 1 | + | + | | + | | | | 7 |
| 青灰色粘質土 | | | 1 | 2 | 少量 | | 1 | 1 | + | +- | 1 | + | | + | | | | 4 |
| 黒灰色粘質土 | 1 | 3 | 4 | 7 | 少量 | \vdash | Ť | 1 | + | + | 1 | + | | + | | | | 15 |
| H | 8 | 71 | 560 | 1,251 | 7 | 15 | 24 | 26 | 1 | 85 | 50 | 54 | 71 | 287 | 232 | 25 | 6 | 2,77 |
| 41 | 0 | 111 | 1000 | 1,401 | 1 | 110 | 4 | 120 | 1 | 100 | 100 | 194 | 111 | 1201 | 1434 | 23 | 10 | 12,11 |
| | | | | | | | | | | | <u> </u> | ļ | | \perp | <u> </u> | | <u> </u> | <u> </u> |
| | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | |

第1表 水さらし場遺構他出土植物遺存体観察表



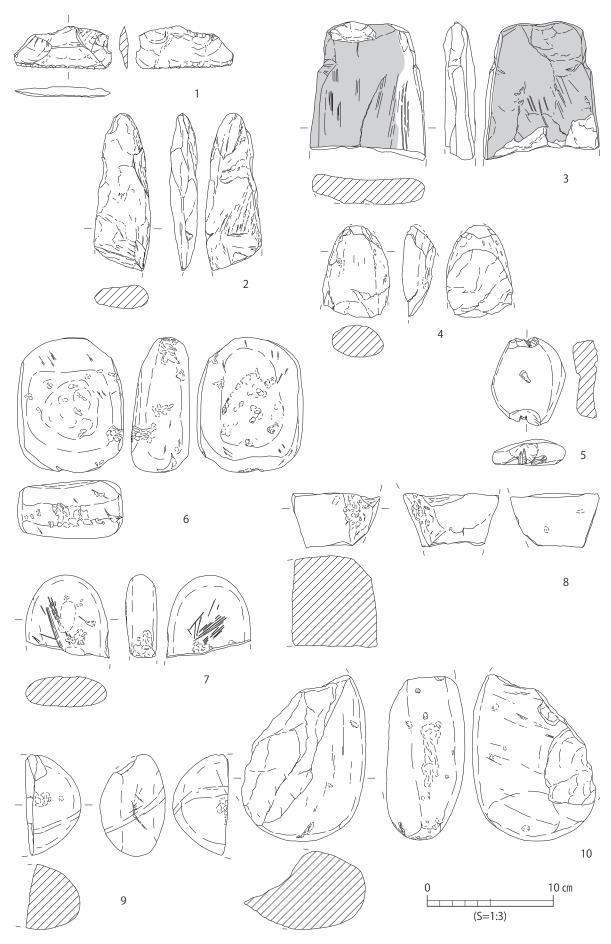
第71図 配石遺構2実測図(1:20)

70-4 は浅鉢の口縁部。口縁部内面側にアクセントがある。両面とも丁寧にヘラミガキされる。

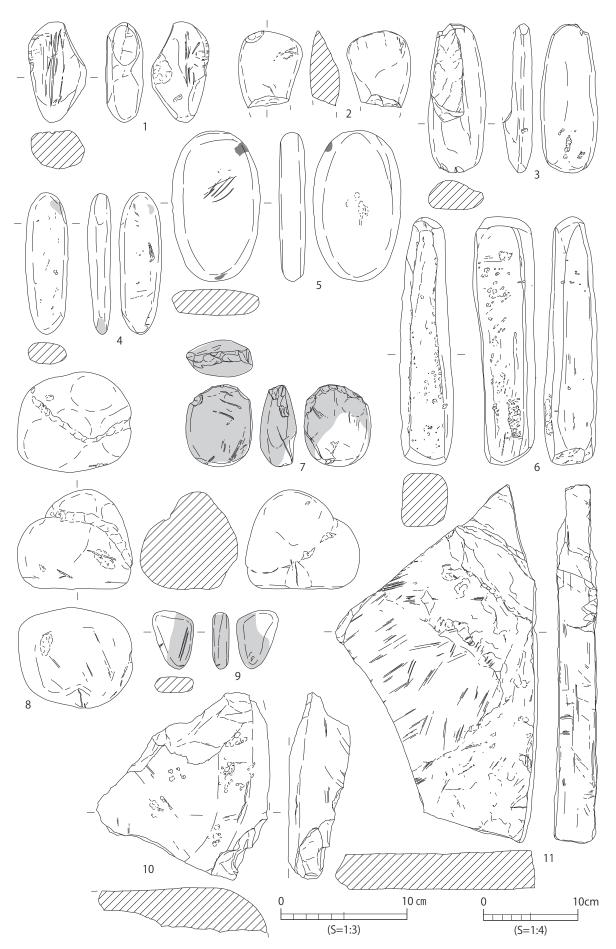
70-5 は SD04 の東端近くで出土した木製品。杉と思われる皮剥きした針葉樹の枝を半裁し、両端を切断した材で、長さ 43cm、太さ 9cm である。水路に対して直行して出土している。

水さらし場遺構で出土した植物遺存体 第1表には水さらし場遺構をはじめ、古屋敷遺跡 D 区から出土した種子等を一覧表にした。出土した種子類はトチが圧倒的に多く、外果皮の残るものはなかった。また、他の遺構面などで検出した地床炉からはトチやクルミは出土していない。唯一第3遺構面の地床炉 63でトチと思われる小片があるが、特定は困難。南側排水溝他でもトチとクルミが出土しているが、水さらし場遺構から流出したものである可能性が高い。

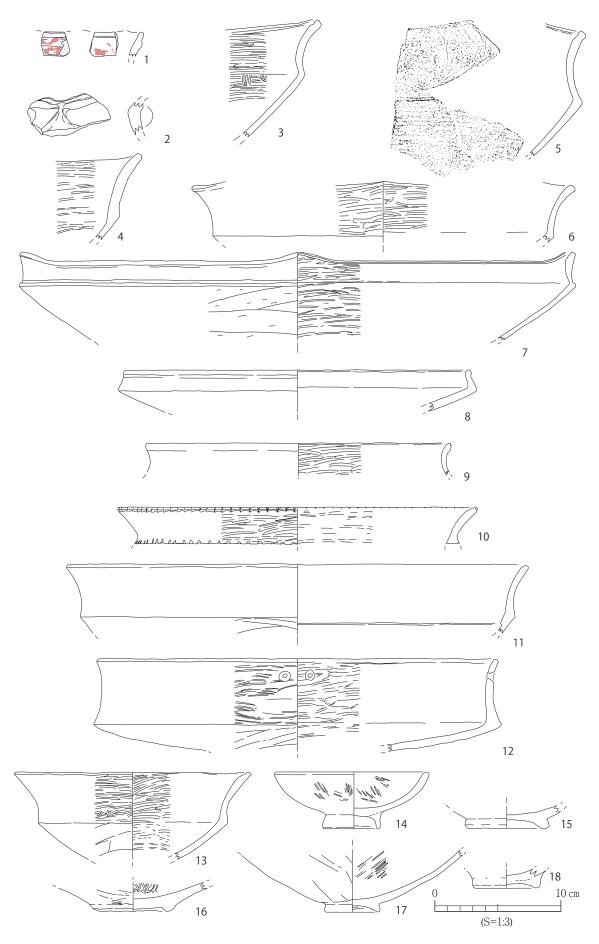
水さらし場遺構は、木が集中している部分について、第68図下のB-B'線とD-D'線で4分割し



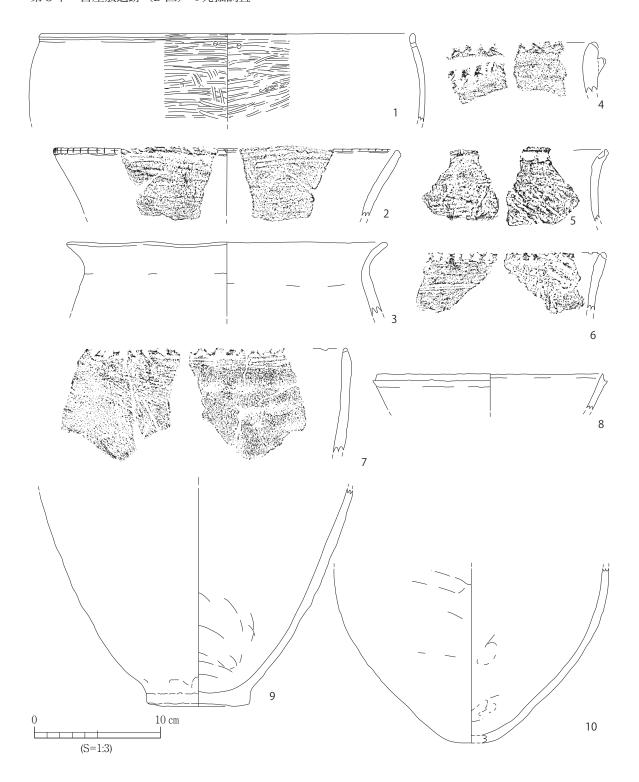
第72 図 第5 遺構面出土石器·石製品実測図 (1)(1:3)



第73 図 第5 遺構面出土石器・石製品実測図 (2)(1:3、11 のみ 1:4)



第74図 第5遺構面出土土器実測図(1)(1:3)



第75 図 第5 遺構面出土土器実測図 (2)(1:3)

た南東を A とし、時計回りに B ~ D、西側で、A-A'線と C-C'線で 4 分割した南東側を E とし、同じく時計回りに F ~ H に分け、さらに西側を南側を I、北側を J として取り上げた。最も多く入っていたものは外果皮を取り除いたトチで、少量のオニグルミを含んでいる。本体と考えられる A ~ D に多く、西に離れるほど減っていく。トチ・クルミ以外にも少量のドングル類を含んでいる。

水さらし場遺構と同時期に機能した可能性のある G10 の貯蔵穴でも外果皮を取り除いたトチが 出土し、クルミなどを含む傾向は変わらなかった。 配石遺構 2 H9では、長さ 20cm 程の角礫 8 個と小石がまとまって出土するところがあり、配石遺構 2(第71 図)とした。標高約 7.5m の平らな場所に大小の石が間隔を開けて配されており、東西約 1.4m、南北約 2m に範囲に広がっている。配石遺構 1 と比べると、隙間が大きく並べられたような状況ではない。配石遺構 1 と同様に土坑等は見られず、遺物も伴っていない。配石遺構 2 の検出位置は、層位は異なるが、第 3 層の配石遺構 1 や第 2 層の木棺墓 (SKO1) などと平面的には近接した位置にあり、場所の機能を考える上で注意される。

第5遺構面出土石器・石製品 72-1 はガラス質安山岩製のスクレーパー。側縁にえぐりが入る。 72-2・4 は泥質片岩製の石斧。72-2 は刃部を欠くが、刃部近くの面に研磨痕を残す。72-4 は規模のみの小片。

72-3 は凝灰岩を使用した石斧の基部に見える石製品であるが、非常に軟質の石材で、石斧ではない。両面に磨痕を残し、側縁にえぐりを入れる。全面に火を受け黒変しているほか、ひび割れも見え、高熱にさらされたことが判る。呪術具か。

72-5 は切目石錘。凝灰岩の小石の両端を打ち欠き、切り目を入れたもの。元の石自体には穿孔 貝によると思われる穴がいくつか開いており、海で拾ってきた石であることが判る。切り目を入れ る石錘は、古屋敷遺跡 D 区では、この 1 点しか確認できていない。

 $72-8 \sim 10$ は擦石・敲石。72-7 はやや軟質の凝灰岩を使用しているが、打痕と長い擦痕が明瞭 に残る。72-9 は、2 条の摂理が一周回っている。

73-1~9は呪術具と思われる石製品。73-1は地床炉107から出土した線刻礫。凝灰岩の石を研磨し、線を何度もなぞっている。73-9も同様のものと思われ、火を受け、黒変している。73-3~5は扁平な凝灰岩で、いずれも僅かに打痕・磨痕が見られる。73-4・5には火を受けた形跡がある。73-6は石棒の一種か。一面に自然面を残しているが、他の面には、小さな敲打痕があり、形を整えている。僅かに擦痕を残す。凝灰岩。

73-8 は拳大の安山岩で、摂理があり、その部分を敲打しなぞったもの。また、下面は平らに整えられ、磨痕を残す。

73-10・11 は石皿。73-10 はデイサイト。全体によく研磨され、一部に敲打痕を残す。大きく破損しており、使用後に破砕されたものか。火を受けた痕跡は見えない。73-11 は板状剥離した凝灰岩を使用したもの。下面はほぼ自然面。

第5遺構面出土土器・土製品 74-1 は浅鉢か。器壁が厚く、口縁部をつまみ出す形状で、内面側に小さな段がある。両面に赤色顔料残っている。文様等は判らない。

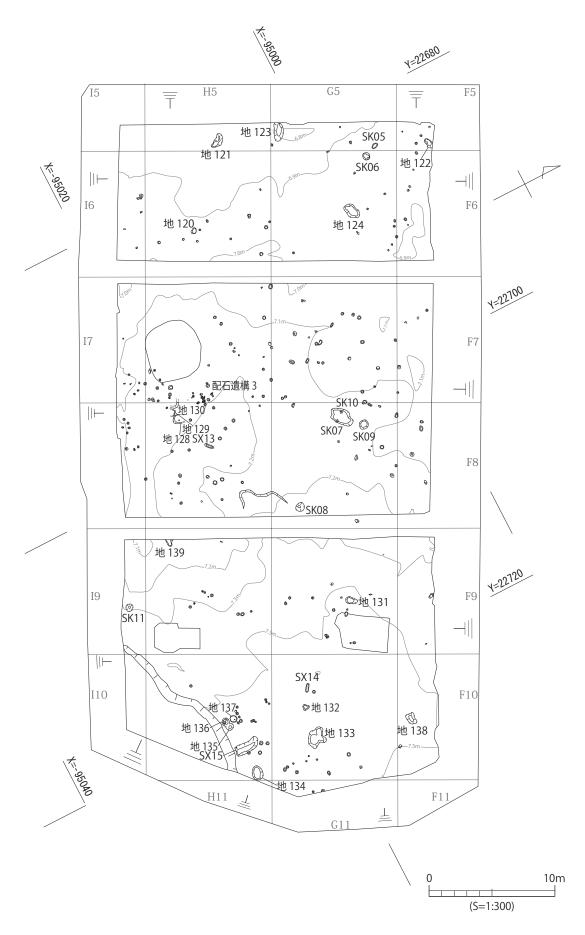
74-2 は壺の肩部。指でつまみだした装飾が施される。注口土器か。

74-3~6 は波状口縁の浅鉢。74-3・5 は口縁部内面側に浅い沈線を引く。頸部から口縁部は内外面ともミガキが施され、74-4・5 の体部外面は横方向の条痕。

74-7 は波状口縁の浅鉢。体部は直線的に大きく開き、口縁部は直立する。口縁部内面に凹線を入れている。口縁部外面はナデで、体部外面は条痕を残す。内面はミガキ。74-8 も同様のもの。

74-9 は口縁部を緩やかに外反させ、口縁部を玉縁状にするもの。内面はミガキ。

74-10 は緩やかに外反する口縁部の破片で、浅鉢か。口縁端部を刻み、同じ原体で高部にも刻み を施す。肩部の破断面は剥離痕で、この位置で継いでいることが判る。内外面ともヨコ方向のミガキ。 74-11 は大型の浅鉢。口縁部外面はナデで体部は条痕を残す。内面調整はミガキ。肩部の内面側



第76図 第6遺構面遺構配置図 (1:300)

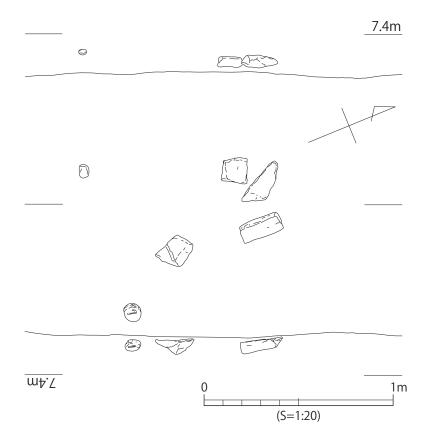
に段を作っている。74-12 は口縁部が直立気味に立ち 上がる浅鉢。外面側から補 修孔を開けている。74-13 は小型のもの。

74-14 は高い高台状の底 部を持つ碗形の浅鉢。体部 は内外面ともミガキ。底部 はナデ。高台状になった部 分は、貼付けられている。

74-15~17 は浅鉢の底部。いずれも体部が直線的に開く器形だと思われ、底部は高台状になっている。

74-18 も底部の破片で、 浅鉢か。高台状になった部 分は貼付。

75-1 はボール形の鉢。



第77図 配石遺構3実測図(1:20)

内外面とも丁寧にミガキが施され、口縁端部は丸く収める。補修孔が開けられている。

75-2 は頸部から直線的に延びる口縁の端部に面を作り、浅い刻目を施す深鉢。内外面とも横方向の条痕を残している。75-3 は口縁部が大きく外反する深鉢。内外面ともナデ。75-4 は口縁端部を刻み、口縁部外面に刻目突帯を貼り付ける深鉢。75-5 は地床炉 108 から出土した深鉢。口縁部を緩やかに外反させ、内面側に刺突を施すもの。いわゆる孔列文土器と異なり、貫通していない。刺突工具は竹管の先を加工したものを押し引き状に連続するように程される。内外面とも条痕。75-6・7 は口縁部を刻む深鉢。

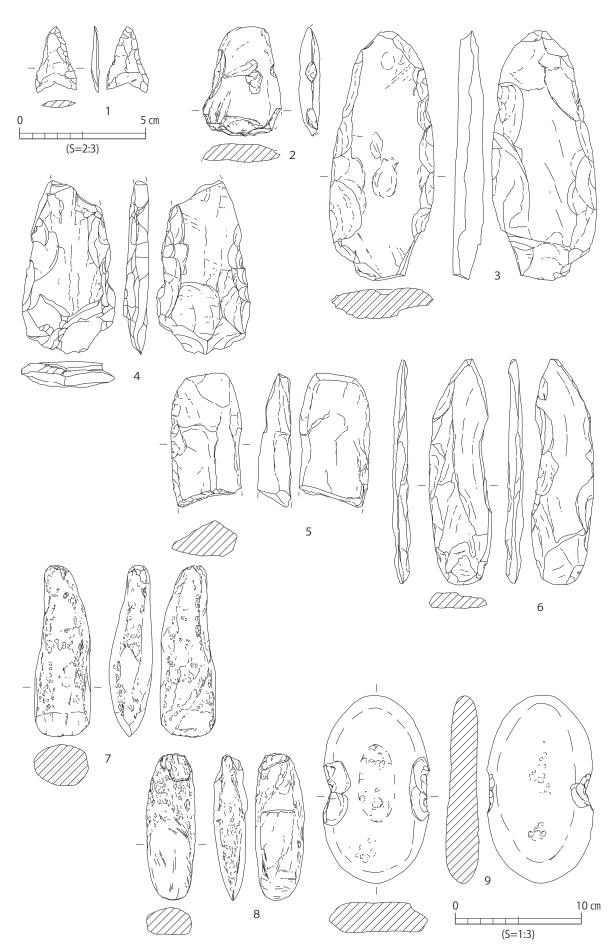
75-8 は、浅鉢か。やや厚い器壁を持ち、口縁端部は、指で押さえ受け口風に加工している。内外面ともナデ。

75-9 は底部。外面調整はナデ。内面には僅かに条痕を残す。75-10 は丸底の底部。内面側には 指頭圧痕が残る。

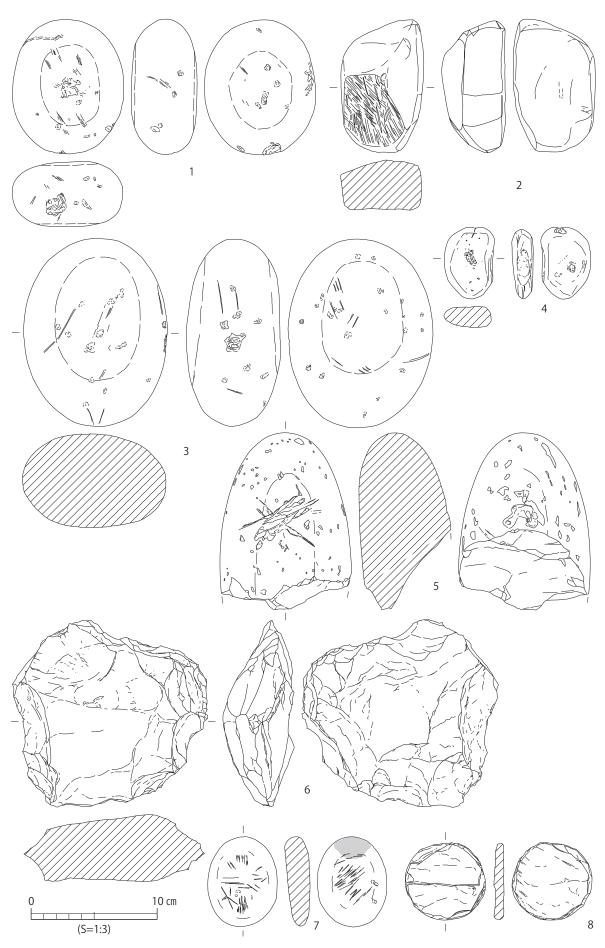
8. 第6遺構面の遺構・遺物

暗黒色粘質土・暗黒灰色粘質土等を除去した西側で標高 6.8m、東側で標高 7.5m 付近で地床炉やピット・土坑を面的に検出し、第 6 遺構面と呼んだ。

第6遺構面の遺構 第6遺構面からは地床炉・ピット・土坑を検出しているが、この面では、地床炉や土坑の割合が減り、調査区の全面で多くのピットを検出している。特に調査区中程の $F7 \sim 18$ 付近を中心に約130基を検出した。断面を確認できるものはほとんど1層で、柱根を確認できるピットはない。また、建物となるようなまとまりを確認することはできなかったが、 $H7 \sim 8$ にかけては、地床炉を囲むように多数のピットがあることから、平地式住居などの存在も想像される。



第78図 第6遺構面出土石器実測図 (1)(1:3、1のみ2:3)



第79図 第6遺構面出土石器実測図(2)(1:3)

なお、 $G8 \sim 9$ 付近にピットが少ない部分が広がるのは、上層の炭だまり $1 \cdot 4$ (第 5 遺構面) に重なるためで、この部分にも、多くのピットがあったものと思われる。また、 $H7 \sim 8$ では、石が集中して見られる部分があり、配石遺構 3 とした。

第6遺構面 H8 では、石斧 (78-7・8) と磨石 (79-1・3) がそれぞれ 2 点が接して出土する状況(図版 $82 \cdot 83$)が見られた。建物跡などとの関係は判らないが、ピットが集中する部分に近く、意識して置かれていたものか。

配石遺構 3 H7~8付近に集石が認められ配石遺構 3(第77図)とした。配石遺構 3 は標高 7.2m 付近に、長さ 20~ 30cm の角礫を 6 個を並べて置いたもので、南北 1.2m、東西 48cm 程の範囲 に広がっている。南端の 1 点のみ、やや丸みのある石材を使用しているが、他の石は角張った面のある石である。他の面の配石遺構と同様に土坑などは見られず、遺物も伴っていない。

第6遺構面出土石器 第78~79 図には、第6遺構面から出土した石器・石製品を示している。 78-1 は、サヌカイト製の石鏃である。長さ 2.5cm。やや風化しており、稜がはっきりしない。 78-2~6 は打製石斧。78-2 は刃部を大きく欠損した後にさらに再利用したものか。78-3・5 は刃部を、78-4 は基部側を欠いたもの。78-7・8 は塩基性片岩を用いた磨製石斧。

78-9 は扁平な凝灰岩の両側縁を打ち欠いてくぼみを入れたもので、石錘と思われるが、わずかに打痕が見られ、磨っているように見える部分がある。 $79-1 \sim 5$ は、叩石・磨石と思われるが、79-2 は一面だけが極端に磨られているもの。79-4 は長さ 5.8cm、重さ 61g しかない小さなものに打痕が見えるもので、叩石として機能するか疑問である。周囲には、強い磨痕が見える。79-5 は、大きな擦石・叩石であるが、大きく欠損し、また、×印のように傷つけた痕跡が見られる。使用を終えた後に、故意に破砕されたものか。

79-6 は、玉髄製の石核。非常に硬い石で、周囲を打ち欠いた状態で放棄されている。

79-7 は凝灰岩の小さな円礫に磨痕が付いたもので一部が被熱している。呪術具だろうか。79-8 は硬質の片岩を使用した石製円盤。

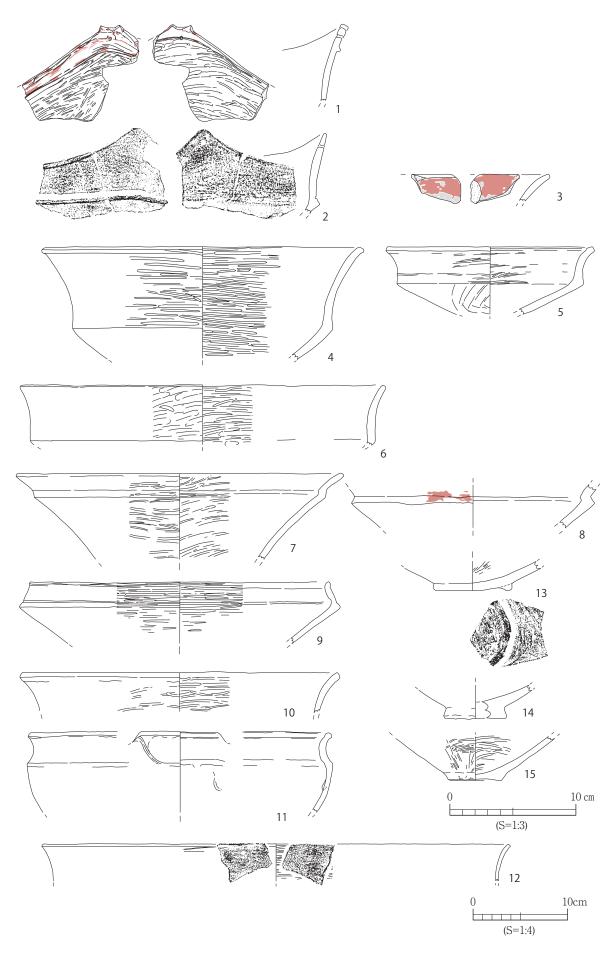
第80~83図には第6遺構面から出土した土器類を示している。

80-1 は方形浅鉢の口縁部で、波状の先端に三角形の突起を 2 基設け、外面側に口縁と併行する 隆帯をめぐらす。波状になった先端部近くには小さな穴が開けられる。外面の口縁部から隆帯の間 には赤彩が施されたと思われ、わずかに赤色顔料を残している。原田式併行か。80-2 も大きな波 状口縁を呈す方形浅鉢。外面の肩部以下は条痕。80-1 と同様に波状になった先端下側の位置に小 さな穿孔がある。また、外面肩部の直上に沈線が入れられ、肩部は鋭い。

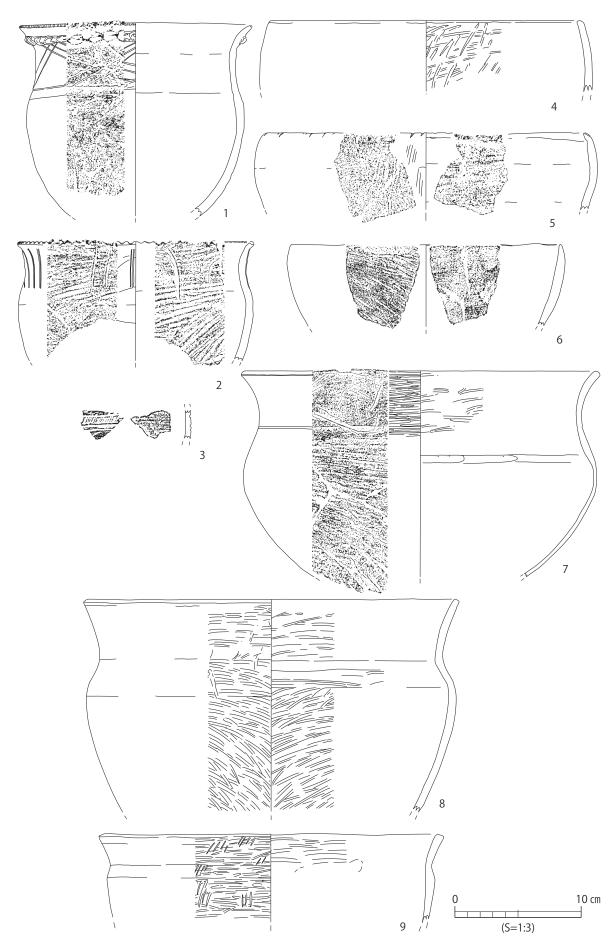
80-3 は口縁部が緩やかに外反する浅鉢。内外ともに赤色顔料が施されている。濃淡はあるが、文様は不明。80-4~6 は、肩部から口縁部が緩やかに外反する浅鉢。外面肩部以下は条痕で仕上げ、外面頸部、内面は横方向の丁寧なミガキを施す。80-10・12 も同様のものか。80-7・8 は直線的に開く体部と口縁部の間に大きな段を作るもの。80-8 は、頸部外面に赤色顔料を残している。80-9 は肩部を強く屈曲させ、口縁部を内傾させるもので口縁部をつまみ出し、肩部にも強いアクセントを入れる。内外面ともに横方向のミガキ。

80-11 は、肩部から口縁部が緩やかに外反する浅鉢であるが、片口風の注ぎ口を持ち、その外面に隆帯による文様を施すもの。

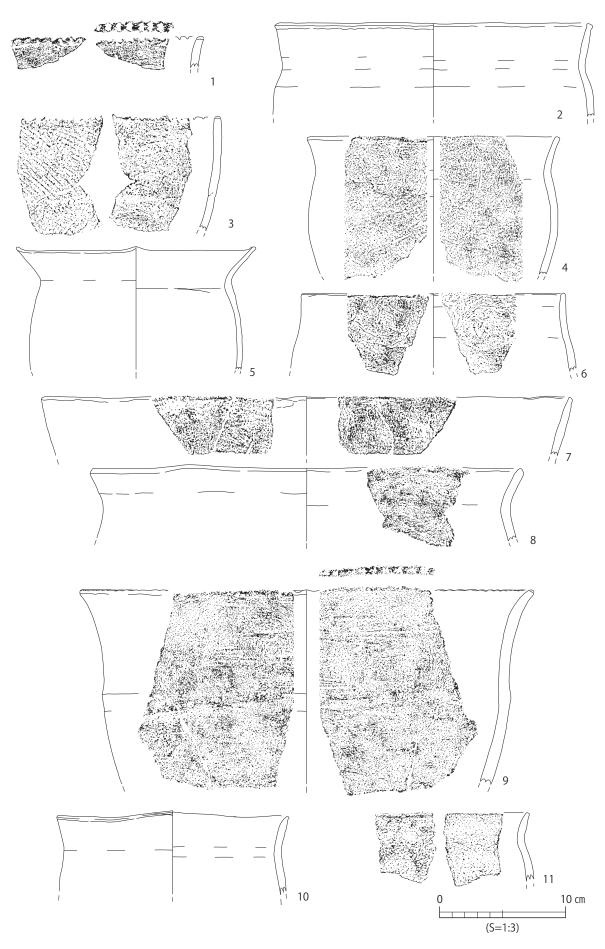
80-13~15 は底部の破片で、いずれも浅鉢か。80-13 は高台状の輪を貼り付け、内面調整はミ



第80図 第6遺構面出土土器実測図(1)(1:3、12のみ1:4)



第81 図 第6遺構面出土土器実測図(2)(1:3)



第82 図 第6遺構面出土土器実測図(3)(1:3)



第83 図 第6 遺構面出土土器実測図 (4)(1:3)

ガキ。80-14 は、円盤状高台を持つもの。80-15 は内外面ともにミガキが見える。

81-1・2 は丸みのある胴部から肩が張り、頸部から口縁部を緩やかに外反させる深鉢。81-1 は口縁端部に細かい刻みを入れ、そのやや下に刻目突帯をめぐらす。緩やかに外反する頸部にヘラ描きで2条の平行線による斜格子を描いている。刻目突帯は竹管の先端を斜めに切り落としたような工具を使用している。81-2 は刻目突帯のないもの。頸部外面にはヘラ描きの直線文を縦方向に入れる。直線文は、一定の間隔で連続するものではなく、2~3本単位で、不等間隔。肩部以下の内面には斜め方向の条痕を残す。いずれも外面にススが付着している。

81-3 は深鉢の肩部だろうか。横方向に引かれた併行沈線の間を細かい斜線で埋める。

 $81-4 \sim 6$ はボール形の深鉢。81-4 は内面ミガキ。81-5 は口縁端部に鋭い刻みをやや広い間隔で入れる。内面はナデで、外面は縦方向の条痕。

 $81-7 \sim 9 \cdot 82-2 \cdot 4$ は肩が張り、頸部から口縁部を緩やかに外反させる深鉢のうち無文のもの。 81-7 の口縁部は横方向の丁寧な磨き。肩部以下は内外面ともに条痕。

82-1・3・9 は口縁端部を刻むもの。82-3 の外面には、斜め方向の条痕が強く残る。

82-2~8・10・11 は、素文の深鉢で、82-2・4・5・8・11 は、頸部が強く屈曲するもの。82-5 は口縁部に三角形の小さな突起が付く。82-10 は緩やかな波状口縁。

83-1 は口縁端部の上面に竹管を加工した工具による押し引き文を施した深鉢。押し引きにより口縁部が外側につぶれた状態か。83-2 は口縁部に環状の飾りを貼り付けたもの。

83-3~7は口縁部の内面側に刺突を施すもの。83-3は棒状工具によって押し引き状に連続して刺突を施し、口縁部正面に83-2と同様の丸い飾りを貼り付けている。83-4・5は爪形の工具による刺突。83-7は刺突により外面側が盛り上がっている。

83-8 \sim 11 は口縁端部を刻み、外面のやや下がった位置に刻目突帯を貼り付けるもの。83-10 は、口縁部内面側にも竹管を加工した刺突を施している。

83-12・13・15・16 は、口縁端部を刻むもの。83-13 は、口縁部内面側から口縁端部にかけて刺突状の刻み。83-14 は口縁部外面に高い刻目突帯を貼り付けるもので、突帯貼り付けの際に、内面側に爪痕による条線が付いたもの。

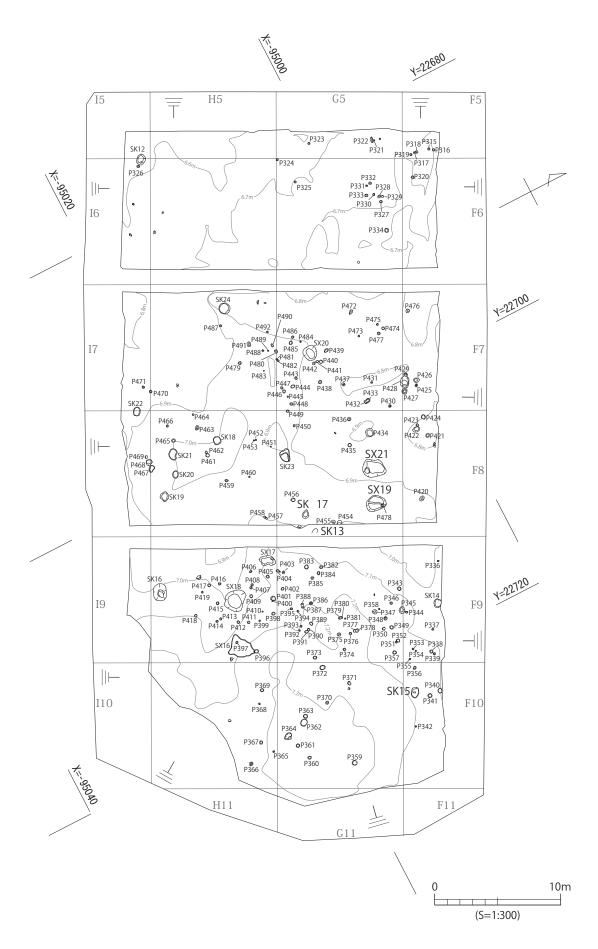
83-17~19 は底部。このうち、83-17・18 は高台状になり、底面をわずかに持ち上げる。

9. 第7遺構面の遺構・遺物

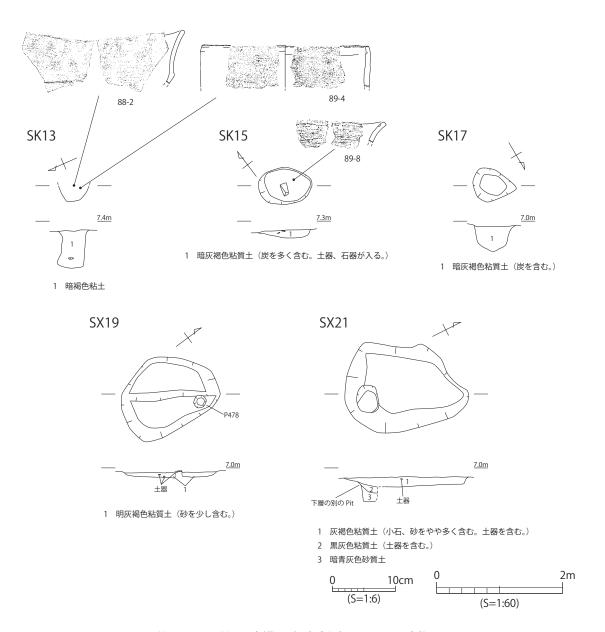
第7遺構面は、暗オリーブ粘質土を中心とした粘質土層を除去した面。西側で標高 6.6m、東側で標高 7.2m 付近で、大量のピットを面的に検出している。標高 6.8m 以下の南西側では遺構・遺物供に少なく、標高 6.8m より高いところで遺構を多く検出している(第84 図)。

第7遺構面の遺構 第7遺構面では南西側の一画を除いて多量のピット・土坑を検出し、SK13・15・17では遺物も出土している。また、壁のはっきりしない不定形の土坑 SX19 からは、多くの遺物が出土している。

SK13 は、9 ライントレンチ内の土坑で、9 ラインセクションで断面を確認できているが、平面的には底部形状しか判らない。底面の直径が約 40cm あるが、開口部がやや小さく断面フラスコ形となっている。底面近くから波状口縁の浅鉢 (88-2) と、口縁部に刻み目を持つ深鉢 (89-4) の小片が出土した。SK17 は SK13 に近い G8 東側で検出した小さな土坑で、直径約 50cm、深さ約 40cm



第84 図 第7 遺構面遺構配置図 (1:300)



第85図 第7遺構面土坑実測図 (1:60、遺物は1:6)

で、内部には炭を含んだ暗灰褐色土が充満していた。

SK15 は、F10 にある浅いくぼみで長径約 85cm、短径約 55cm で、深さは 10cm 程しかない。 口縁部内面に貫通しない孔列を持つ深鉢 (89-8) が出土した。

SX19 は G8 で検出した長径約 150cm、短径約 115cm の楕円形の土坑で、ごく浅い。西半は掘りすぎた。ピット 479 が重なっており、ピットの方が古い。内部には砂を含んだ明灰褐色粘質土が入っており、土器片 (89-6・9・12) を含んでいる。

SX21 は、SX19 の西隣で検出した長さ約 190cm、幅 140cm の不整長方形の土坑で、SX19 と同様にごく浅い。内部には小石や砂を含んだ灰褐色粘質土が入る。埋土から 88-7 が出土した。

第7遺構面出土石器 第86・87図には、第7遺構面から出土した石器・石製品を示した。

86-1 は五角形石鏃である。ガラス質安山岩を使用しており、0.5 gと軽く小型のもの。

86-2・3はガラス質安山岩製スクレーパーの破損品か。86-3は、板状剥離した素材の自然面を多く残すもの。

86-4 は凝灰岩製の擦石・叩石と見られ、上下両端部は欠損と考えられる。片面にわずかに打痕

があり、反対面に擦痕が残る。柔らかい石材のため、あまり使用されていないか。

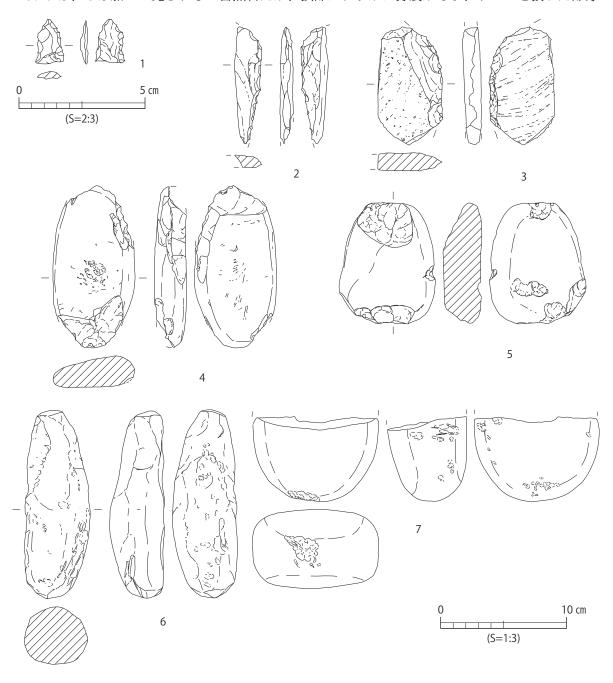
86-5 は石錘か。扁平な石の上下に打ち欠きが見られる。

86-6 は塩基性片岩を使用した、長さ 15cm 程の棒状の石材。磨製石斧の基部に似ているが、刃部が作られた形跡はなく、一部に敲打痕が見られる。叩石と考えているが、石棒の一種か。

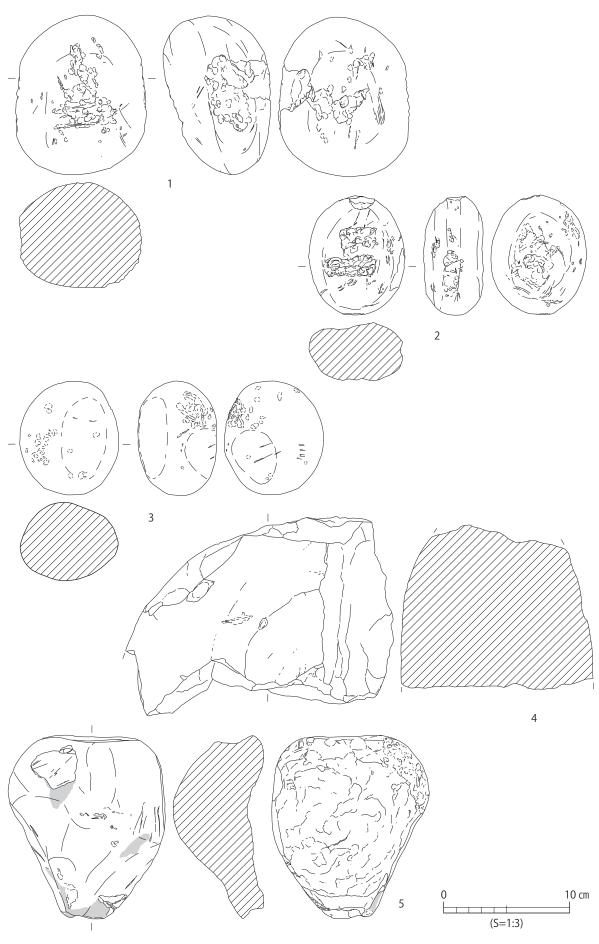
86-7、87-1~3は叩石・擦石。86-7は使用後に故意に叩き割られている可能性がある。縁辺部に打痕がある一方、擦痕はほとんど残っていない。87-1には、打面に直線的な傷が多く入っており、線を刻もうとしているか。

87-4 は大型の石皿。上面と思われる面に、わずかに打痕・擦痕が見られる。大きく欠損しており、 元の 1/4 程度の大きさか。

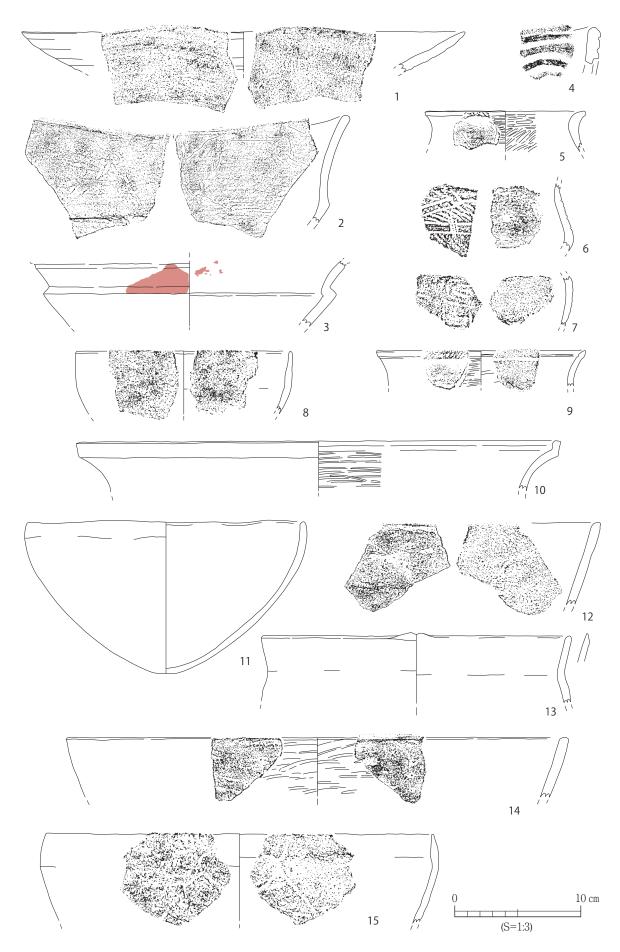
87-5 は、ほぼ加工の見られない自然石だが、頂部にわずかに打痕があり、トーンを張った部分



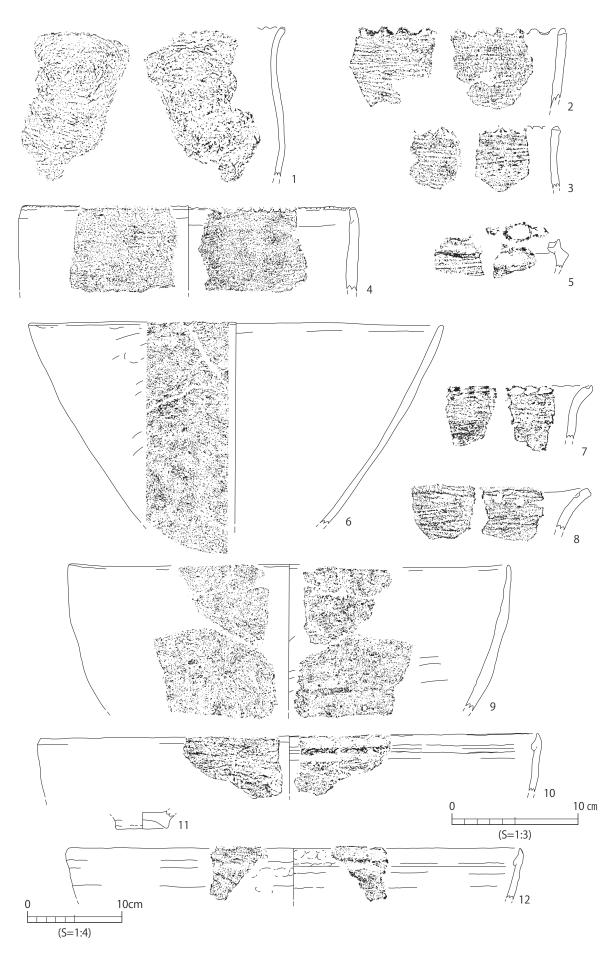
第86図 第7遺構面出土石器実測図(1)(1:3、1のみ2:3)



第87図 第7遺構面出土石器実測図(2)(1:3)



第88 図 第7遺構面出土土器実測図(1)(1:3)



第89図 第7遺構面出土土器実測図(2)(1:3、12のみ1:4)

は火を受けている。地床炉などで使用した石製の支脚のような使用方法が想像される。

第7遺構面出土土器 第88~89図には、第7遺構面から出土した土器を示した。

88-1 は口縁部が大きく開く浅鉢。88-2 は SK13 から出土した緩やかな波状口縁の浅鉢で、頸部以上はミガキ。外面の肩部以下は条痕である。

88-3 は肩部に大きな段を持つ浅鉢。頸部外面に赤色顔料が塗られるほか、内面側にもわずかに赤色顔料が残る。第6遺構面で出土した80-8に似る。

88-4 は、凹線文の口縁部で、円形の貫通孔が開くもの。

 $88-5 \sim 7$ は、壺と考えられるもの。88-5 は小型のもので、内外面とも丁寧にミガキが施され、口縁端部の外面には縄文が見える。88-6 は、肩部の小片で、縄文を沈線で区画しており、下側は磨消か。88-7 も肩部の小片。摩滅しているが、外面に渦文が見える。

88-8 はボール形の浅鉢だが、調整はナデ。外面にはススが付着している。88-9 は小型の浅鉢か。 口縁部外面には縄文を施し、内面側に浅い沈線をめぐらす。

88-10 は口縁部を折り曲げて直立させる浅鉢。内面は横方向のミガキ。

88-11・14 はボール形の浅鉢で、88-12 も同様のものか。88-14 の外面にはススが付着。

88-13 は無文の深鉢だが、口縁部の一部をつまみ出し三角形の小さな突起を付ける。内面の頸部以下は条痕。

89-1 \sim 4 は口縁部を刻む深鉢。89-2 は丸みを持った刻目で、棒状工具の側面を押しつけたものか。89-2・3 は内外面に横方向の条痕を明瞭に残す。89-4 は両面にススに付着している。

89-5 は、口縁部を内側に強く屈曲させ、環状の飾りを貼り付けたもの。外面の肩部以下には強く条痕を残す。

89-7・8 は口縁部の内面側に刺突をめぐらすもの。89-7 の刺突は竹管を斜めに切ったような工具を使用し、刺突に伴って外面側に凹凸が現れる。89-8 は口縁部がわずかに波状を呈す。外面にススの付着が見られる。いずれも内外面に条痕を残す。

89-6・9 は素文の深鉢。89-6 の内面は摩滅しているが、外面は斜め方向の条痕。

89-7・8は、口縁部内面側に刺突のある深鉢。89-7は棒状工具により押し引き状に連続して刺突される。89-8は緩い波状口縁。尖った工具で間隔を開けて刺突される。

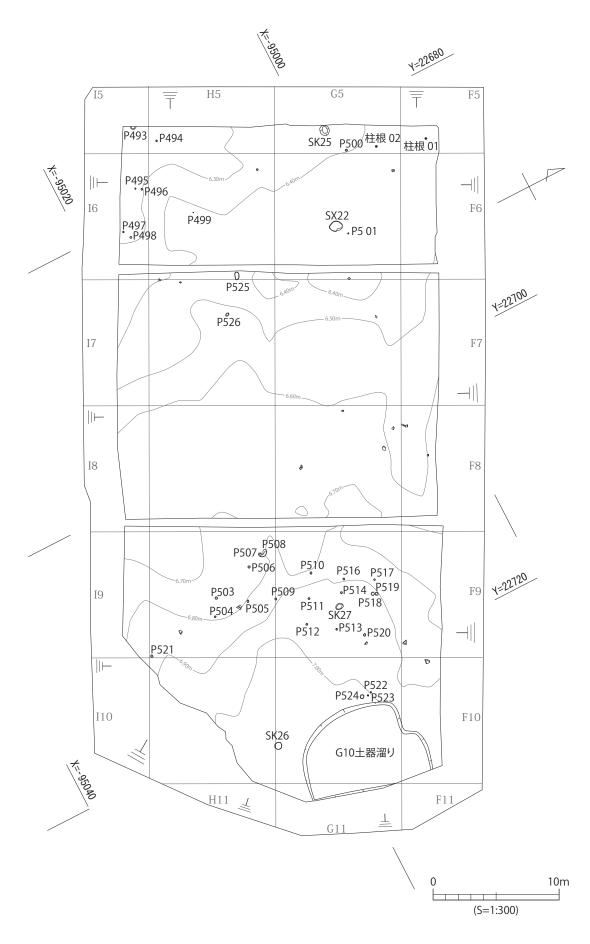
89-10・11 は口縁部内面を肥厚させ指頭圧痕を強く残す深鉢。肥厚させる部分の断面には粘土の接合痕を明瞭に残し、口縁部の内面側を強く押さえ、指頭圧痕を連続させる。外面は条痕。88-15 も同様のものだが、内面を肥厚させる部分の継ぎ目が見えない。

89-12 は非常に小さな底部で、底径は 3.8cm しかない。断面三角形の高台状を呈する。

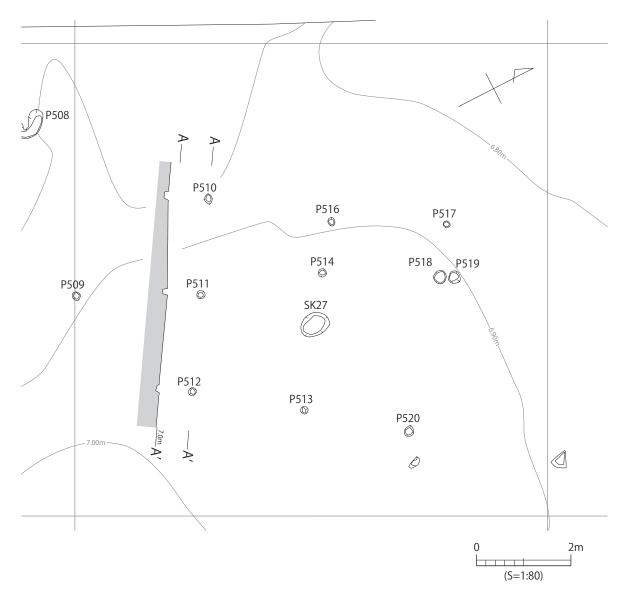
10. 第8遺構面の遺構・遺物

第8遺構面(第90図)は、東側で標高約7.0m付近から、西側の最深部で、標高約6.2m付近である。 遺物が比較的まとまって出土した調査区東端のG10付近で厚く堆積している明黒色粘質土中から 大量の土器が出土し、G10土器だまりとしたほか、小さな土坑4基、ピット約40基などを検出した。また、F5・G5では柱根を検出している。

G10 土器だまり 東側排水溝にかかる東西約 7m、南北約 9.5m、厚さ約 20cm の範囲に明黒色 粘質土が堆積しており、多量の土器を含むことから G10 土器だまりと呼んだ。この土器だまりは、



第90図 第8遺構面遺構配置図 (1:300)

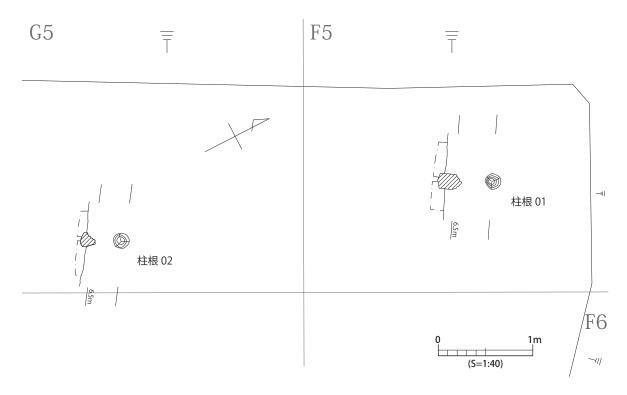


第91 図 第8遺構面 G9 付近実測図 (1:80)

平成 26 年 9 月に東側排水溝を掘削中に、大量の土器が出土したことから把握しており、G10 付近を中心に F10 から G11 に続き、さらに東へ延びると思われる。この土器だまりには土器類のほか、石皿・磨り石などの石器類を含んでいる。この付近は、上層に SRO1 自然流路が流れており、東壁の土層断面では土器だまりより上層は、自然流路の堆積となる。

第8遺構面の土坑・ピット 土坑・ピットは、第8遺構面の全面で見られるが、標高の高い G9 から H9 付近に多く、西側に向けて減少する傾向にある。G9 付近のピットは長径約 60cm の浅い土坑である SK27 を中心に、直径 7~8m の範囲に集中して見られることから、建物だった可能性もあるが、明確なまとまりは確認できない。この中で、P510・P511・P512(第 14 図) が、約 2. 1m 間隔で一直線に並んでいる。多くのピットは直径 20cm、深さ 10cm 程で浅く、断面に柱根等の痕跡は見られない。

柱根 F5・G5 で、柱根を検出し、それぞれ柱根 1(F5)・柱根 2(G5) と呼んだ。第8遺構面から約 10cm つきだした状態で検出していることから、第7面遺構面以上の面から打ち込まれたと思われる。2基の柱根は約4.0m 離れ、周囲に他のピット等は見えないが、調査区西側の平成27年度 I 区では、同様の柱根が見られる。それぞれ柱根にかかるようにサブトレンチを掘削し、断面を観察



第92 図 第8 遺構面柱根 1・2 実測図 (1:40)

したが、柱穴や埋め土の痕跡が全く見えなかった。このことから、柱穴を掘らずに打ち込まれたか、 自重で埋まったと考えられる。

第8遺構面出土木製品 第93 図には、F5・G5 で検出した柱根を示した。柱根1は直径15.9cm、 残存長25.8cm で、樹皮をわずかに残す。基部側は鈍い円錐形を呈し、加工痕を明瞭に残している。 この加工痕は、打ち込むために尖らせたものではなく、石斧を使用して伐採した時の形状のままと 思われる。柱根2は復元直径約16cm、残存長15.6cm で、基部を鈍い円錐形にするなど、柱根1 とほぼ同じ形状だが、腐朽が進み、残存状況は非常に悪い。

柱根 1・2 はいずれも杉材で、AMS 年代測定の結果、柱根 1 が 2,705 ± 20yrsBP、柱根 2 が 2,720

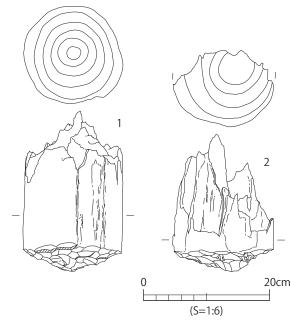
± 20yrsBP と測定された (註1)。

第8遺構面出土石器 第94図は、第8遺構面 から出土した石器類である。

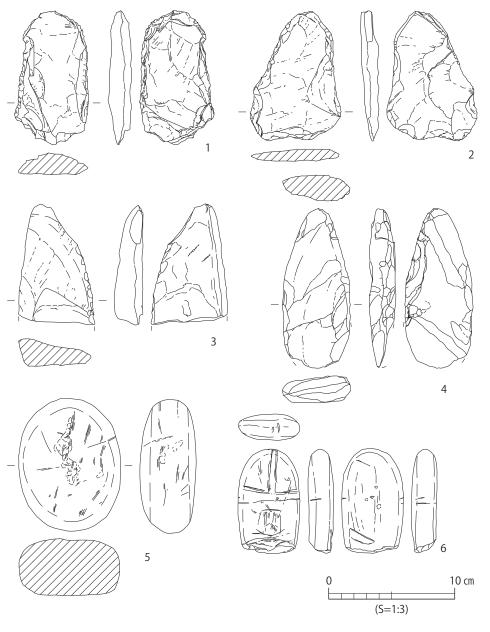
94-1・2・4 は打製石斧。94-1・2 は長さ 10cm 程しかない小型のもので、破損品の再利用か。

94-5 は磨石・叩石。

94-6 は線刻礫か。片面に 2 条の併行沈線などで文様を刻んでいる様に見える。図面上は、線を接ぎながら平行線による逆 T 字形を描き、その下に 1 辺を弧状にした四角形を作っている。四角形の内部を縦線で埋めているほか、周囲にも磨痕が見える。裏面には、明確な文様はない。



第93図 第8遺構面出土木製品実測図(1:6)



第8遺構面出土 土器 第95~ 98図は、第8 遺構面から出土 した土器類のう ち、G10土器だ まり以外から出 土した土器であ る。

95-1 は 口縁 部内面に 2条 の沈線を施す浅 鉢。沢田式併行 か。H10から出 土しており、 SR01 に接していることから、 上層の遺物が紛れ込んだ可能性がある。

95-2・3 は、 ボール形の浅 鉢。95-2 は ナ デ、95-3 は ミ ガキで調整され

る。

第94図 第8遺構面出土石器実測図(1:3)

95-4 は口縁が直立する浅鉢。内面調整はミガキで、外面はナデ。外面にススが付着している。

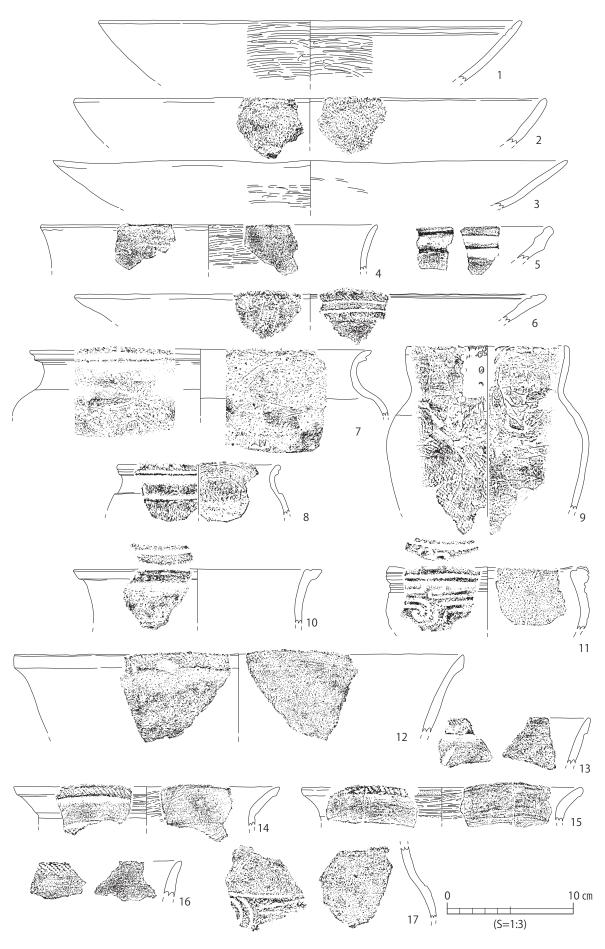
95-6 は、口縁部が大きく開く浅鉢。内面側をわずかに肥厚させ、施文するもので、2条の沈線間は磨消。

95-9 は縄文地の壺。口縁部と肩部以下に縄文を施し、口縁部から頸部の外面に 2 条併行した縦方向の刺突列を入れる。刺突は、巻き貝の頂部を使用したもの。95-11 は凹線で J 字文を入れた小型の深鉢。鐘崎 2。

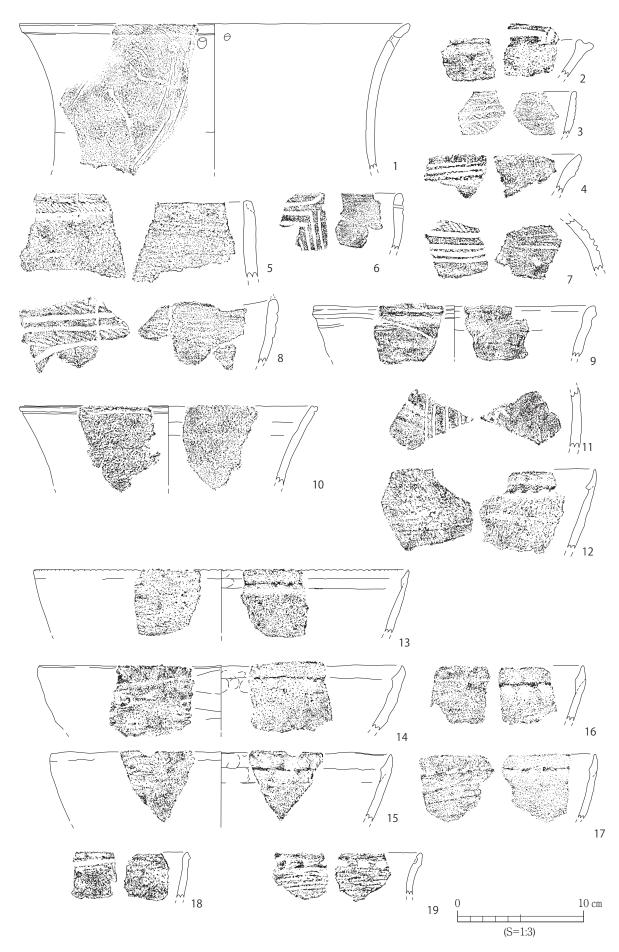
95-12 \sim 16、96-1 は、口縁部外面をわずかに肥厚させ縄文を施すもの。95-12 \sim 16 の内面は \gtrsim ガキ。96-1 は口縁部のやや下に補修孔を開ける。

95-17 は深鉢。肩部の外面に凹線を巻き込んだ文様を施す。摩滅しており、他の調整は不明。

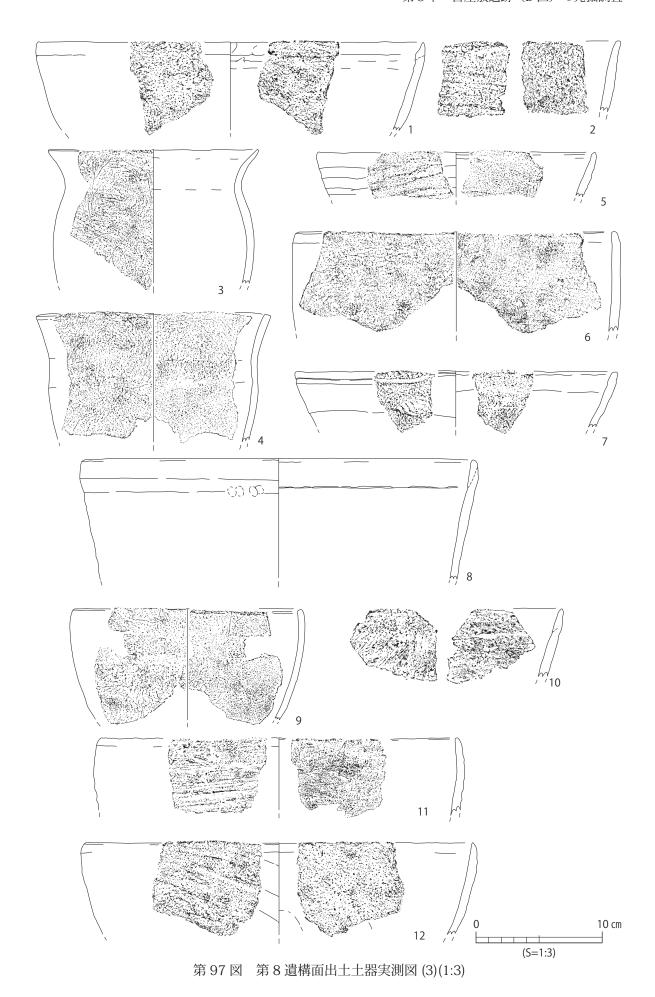
96-2 は口縁端部を拡張し凹線を施すもの。内外面ともナデ。96-3 は外面に擦消縄文を施す深鉢の口縁部。96-4 も深鉢の口縁部。外面側を拡張し、3条の凹線を入れている。内面はナデ。96-5 は、口縁端部に面を作り、外面側に縄文を入れるもの。口縁部は肥厚させない。断面には、口縁部を外



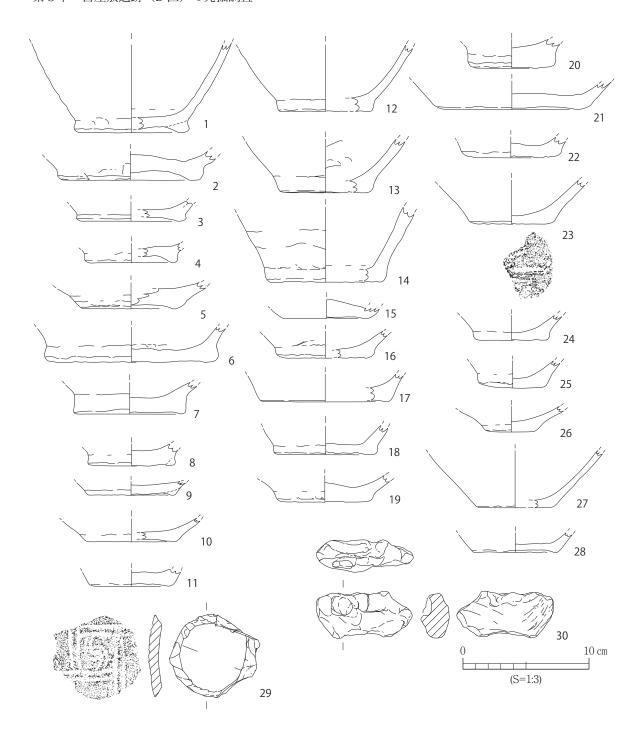
第95図 第8遺構面出土土器実測図(1)(1:3)



第 96 図 第 8 遺構面出土土器実測図 (2)(1:3)



111



第 98 図 第 8 遺構面出土土器実測図 (4)(1:3)

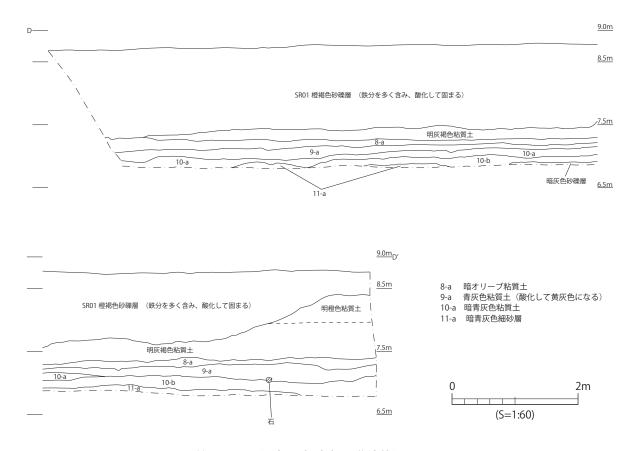
側に折り返したような接合痕が見える。

96-6 は凹線で方形の文様を重ねるもの。口縁端部近くに穿孔する。内面は丁寧なミガキ。

96-7・8 は磨消縄文の深鉢。96-8 は口縁部の破片だが、剥離痕があり、口縁部に装飾があったことが判る。

96-9 は口縁端部外面に面を持ち縄文を施す深鉢。体部は直線的に伸び、口縁部を外面側に折り返すように作っており、外面の口縁部直下に凹線状にくぼみがめぐる。

96-10 は、口縁部を緩やかに外反させる深鉢。口縁端部と外面に沈線を施す。内外面ともナデ。 96-11 は、体部の小片で深鉢だろうか。内湾気味に立ち上がる体部の外面に、4 乗以上の縦方向の凹線を入れている。



第99図 調査区東壁土層堆積状況 (1:60)

96-12~17は口縁部内面を肥厚させ指頭圧痕を残す深鉢。97-1・8は、口縁部内面の肥厚が明瞭でないが、口縁部直下の断面に接合痕が残っており、同様のものであろう。

96-19 は口縁部内面に連続刺突を施す深鉢。竹管の先端を加工した工具を用い、約 18mm 間隔で刺突している。外面側は内面側の刺突に押され、楕円形に隆起している。両面に横方向の条痕を強く残している。

97-2 は体部が直線的に延びる深鉢。外面には条痕を強く残す。97-3・4 は頸部がすぼまる深鉢。 97-3 の体部外面は条痕。他の調整はナデ。97-5 は小型の深鉢。外面には条痕を強く残している。 97-6 は無文の深鉢で、外面にススが厚く付着している。

97-7 は体部が直線的に延びる深鉢で、外面には縄文が見える。

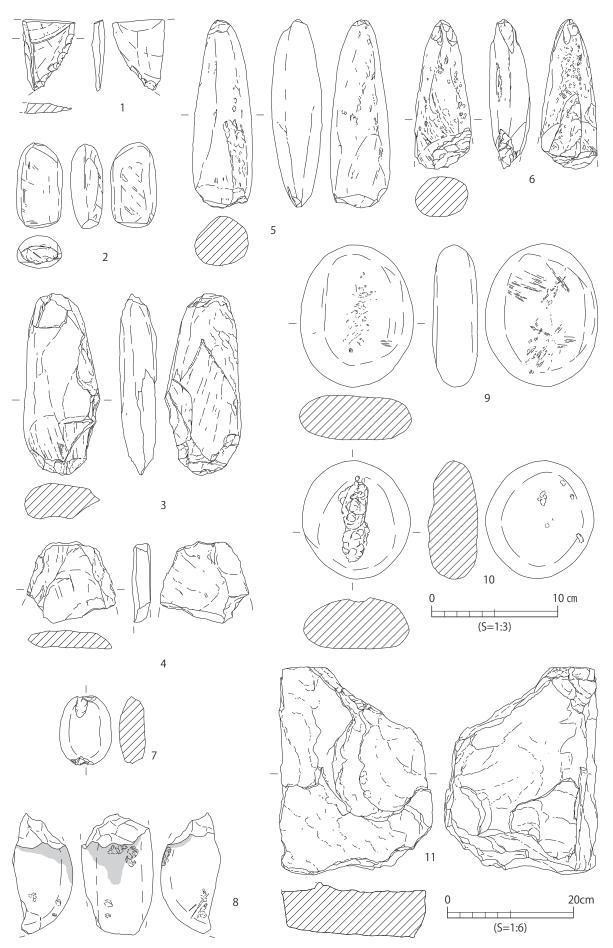
 $97-8 \sim 12$ は無文の深鉢。 $97-8 \cdot 10$ は体部が直線的に延びるもので、口縁部のやや下に接合痕を残す。 $97-9 \cdot 11 \cdot 12$ は緩やかに内湾するもの。

98-1 \sim 28 は底部。98-1 は、底面に高台状の輪を貼り付けたもの。98-2 \sim 5 も高台状に底を持ち上げている。98-23 の底面には繊維状の圧痕が見える。

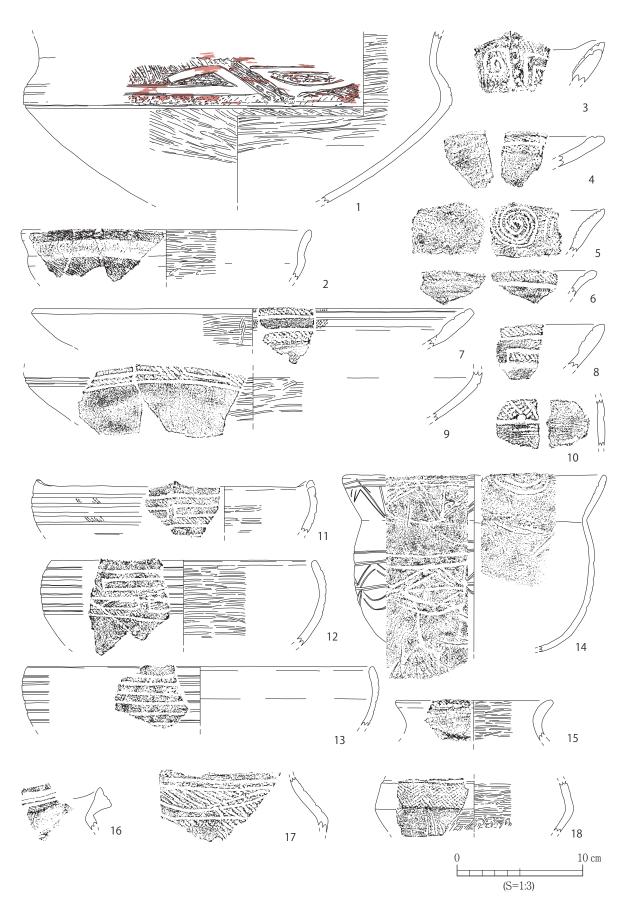
98-29 は土製円盤。井桁状の中に巻き込んだ文様のある深鉢の体部を外面側から打ち欠いたもので、円形に整形しようとしているように見える。文様が、ほぼ中央に配されていることから、文様を意識して整形しようとしているか。

98-30 は粘土塊である。握って固めたような粘土塊を、土器と同様に焼成したもの。G10 土だまりでも、やや小型の同様のものが出土している。

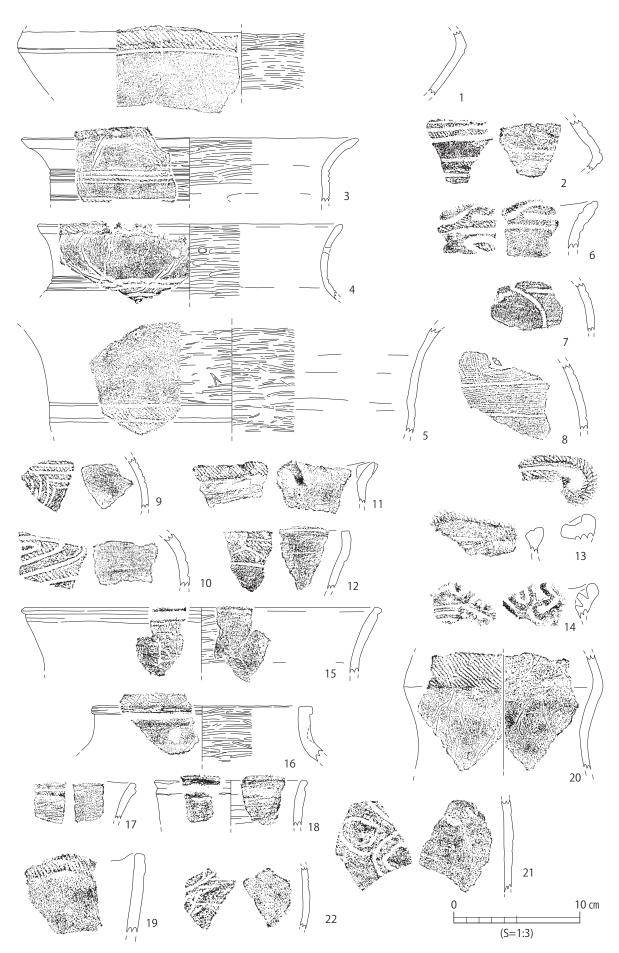
G10 土器だまり出土遺物 第 100 図には、G10 土器だまりから出土した遺物のうち、石器類を図示した。



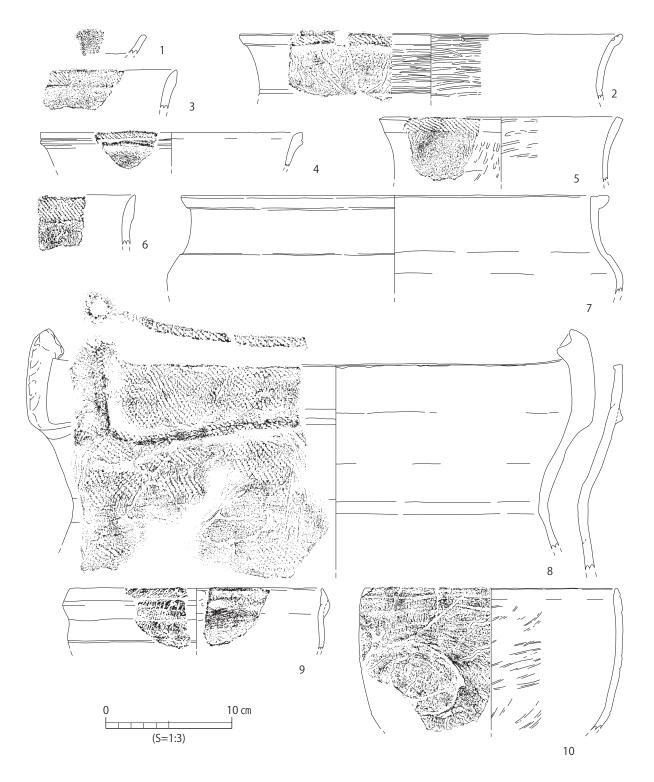
第 100 図 第 8 遺構面 G10 土器だまり出土石器実測図 (1:3、11 のみ 1:6)



第 101 図 第 8 遺構面 G10 土器だまり出土土器実測図 (1)(1:3)



第 102 図 第 8 遺構面 G10 土器だまり出土土器実測図 (2)(1:3)



第 103 図 第 8 遺構面 G10 土器だまり出土土器実測図 (3)(1:3)

100-1 はサヌカイト製のスクレーパーである。大きく欠損しているが、緩やかな弧を描く刃部は 丁寧に連続剥離されている。100-2 は磨痕のある石。凝灰岩質の柔らかい石材で、非常に小さいこ とから磨石として機能するのは困難と思われる。呪術具か。

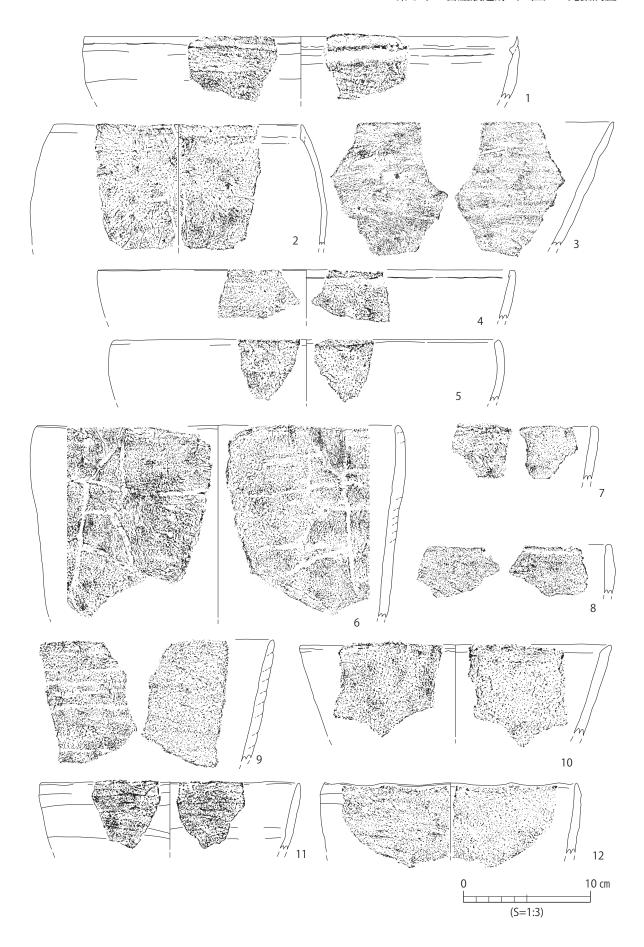
100-3・4 は打製石斧で石鍬か。100-4 は基部のみで、大半が欠損。100-5・6 は塩基性片岩製の磨製石斧。100-6 は大きく刃部を欠く。

100-7 は長さ 8cm 程の石の両端にくぼみを入れたもので石錘。重さは 68g。

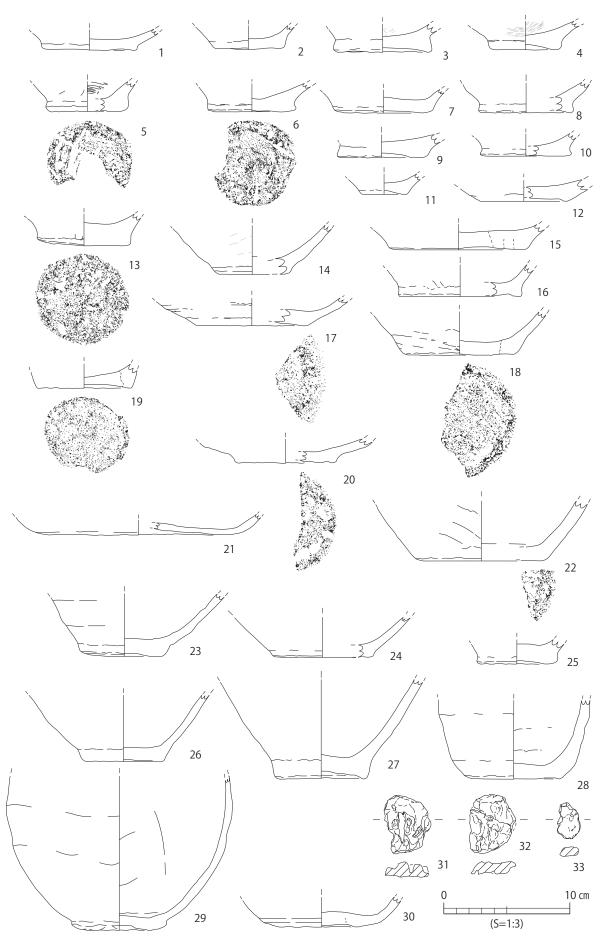
100-8~10は、磨石・叩石であるが、100-8は大きく欠損している上、被熱して赤変している



第104図 第8遺構面 G10 土器だまり出土土器実測図 (4)(1:3)



第 105 図 第 8 遺構面 G10 土器だまり出土土器実測図 (5)(1:3)



第 106 図 第 8 遺構面 G10 土器だまり出土土器実測図 (6)(1:3)

部分が見られる。使用後に破砕され、火に当てられたものか。100-10は磨痕がほとんど見えず、叩石。 片面は、縦線を引くように集中的に打痕が集まっており、意図的に直線を刻もうとしているように 思える。 呪術的な行為によるものか。

100-11 は石皿と考えられるものである。長さ 32cm、幅 24cm、厚さ 7.5cm の自然石で、一部 が被熱しているように見える。

第 $101 \sim 106$ 図には、G10 土器だまりから出土した土器類を図示した。

101-1 は肩が張り、口縁部を外反させる浅鉢。比較的大きな破片であるが、口縁端部は残していない。肩部に沈線を入れ、それより上位の頸部外面に磨消縄文を入れる。文様のくぼみには赤色顔料が残存している。外面の肩部以下と内面調整はミガキ。九州の影響によるものか。

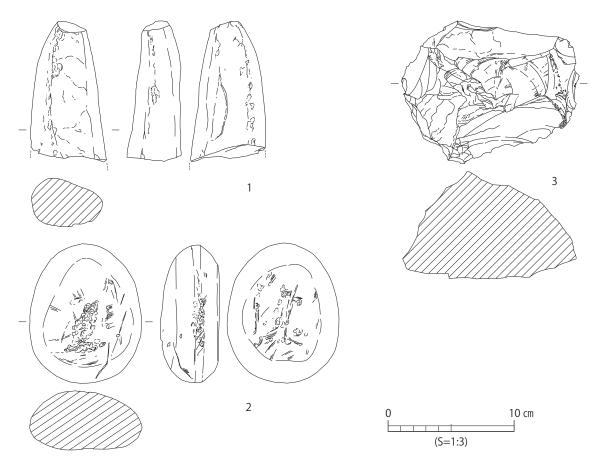
101-2 は小型の浅鉢。口縁部外面に縄文を施す。内面調整はミガキ。

101-3 は大きく開く浅鉢の口縁部の内面側に文様を入れる浅鉢。口縁部の突起から縦方向に刺突を連続させ、その両側に磨消縄文を入れる。

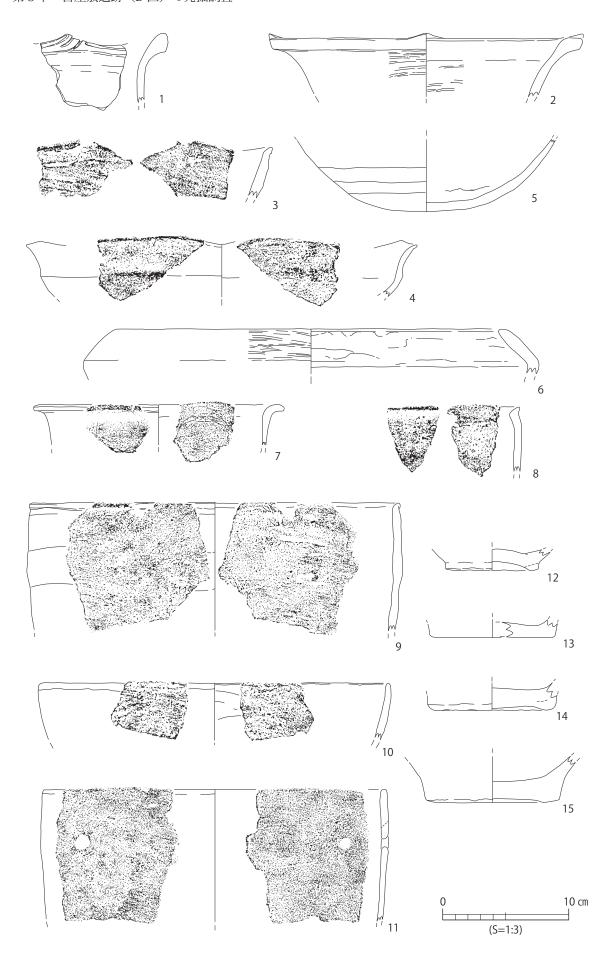
 $101-11 \sim 14$ はボール形の浅鉢。101-11 には、口縁部に突起を作るもの。外面はヘラ状工具で区画し磨消縄文。内面調整はミガキ。

101-15 は小型の壺。文様は見られず、内面の頸部より上位は横方向のミガキ。外面調整は摩滅のため不明。

102-1 は外面肩部に縄文をめぐらす浅鉢で、内面は横方向のヘラミガキ。101-1 と同様のものか。 102-2 も同様の浅鉢。外面には磨消縄文。102-3・4 は外反する口縁部外面に縄文を施し、頸部に 凹線をめぐらすもの。102-4 は、口縁部のやや下に補修孔が開けられている。106-5 も擦消縄文の



第 107 図 9 ライントレンチ下層出土石器実測図 (1:3)



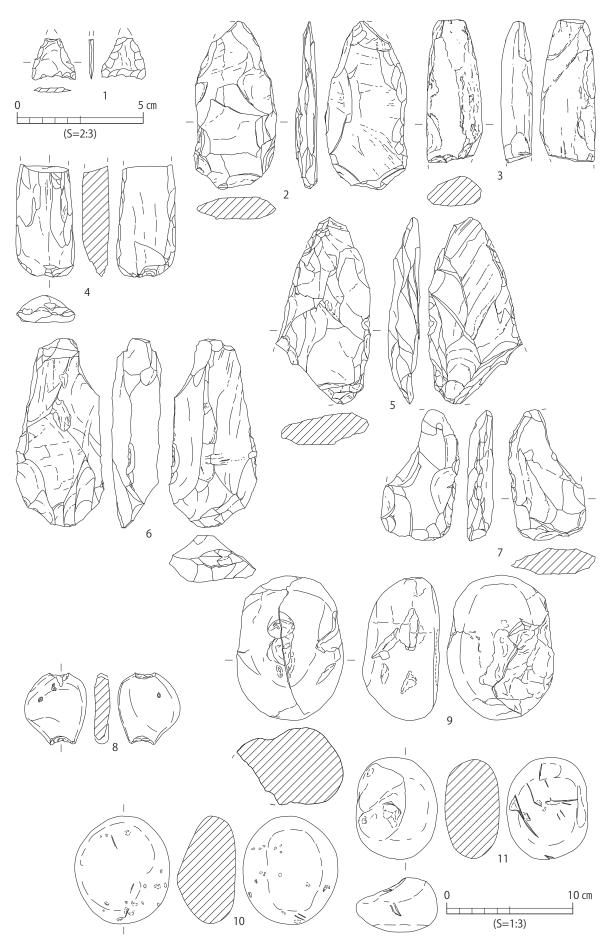
第 108 図 9 ライントレンチ下層出土土器実測図 (1:3)

深鉢の肩部。頸部は内外面ともミガキ。

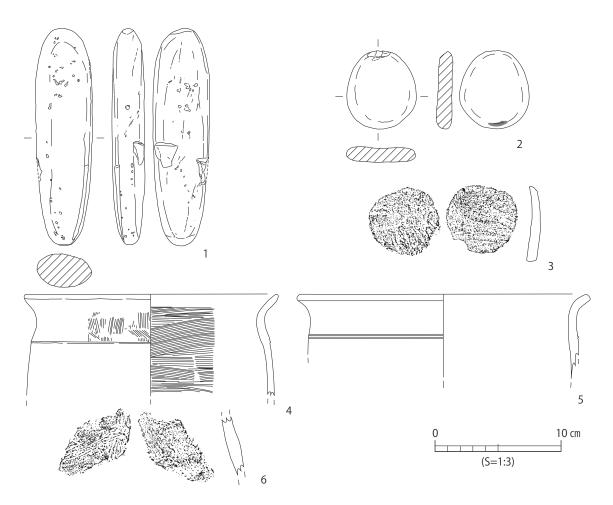
- 102-6 は深鉢の口縁部の小片で、内外面に磨消縄文を施す。小池原上層。
- 102-8 は深鉢の肩部。沈線で区画し、櫛状文を施す。注口土器か。
- 102-9 は深鉢の肩部。擦消縄文に見えるが、擬縄文か。
- 103-1 は浅鉢口縁部のリボン状突起の部分。
- $103-2 \sim 6$ は口縁部外面に縄文をめぐらす深鉢。このうち、103-2 は口縁部内面に細い棒状工具で刺突し、そのまま横に沈線を引いた文様が2 条ある。口縁部から頸部にかけては内外面ともミガキ。103-4 は、口縁部外面を肥厚させ面を作る。縄文帯の下部に沈線を引く。103-5 の外面はタテから斜め方向のミガキ。
- 103-7 は口縁部を強く外側に折り曲げ、上面に面を持つ鉢。内面はナデ。口縁部外面は摩滅しているが、ミガキか。
- 103-8 は縄文地の深鉢。肩部の隆帯が立ち上がり口縁部を越えて環状の飾りとなるもの。口縁部上面には面があり、その部分にも縄文が施される。内面はナデ。
- 103-9 は小型の深鉢の口縁部と思われるが、口縁部先端を貼り付けて延長し、外面にも、断面三角形の低い突帯を貼り付ける。刻みはないが、細いヘラ状工具で、口縁部は斜め方向に、突帯部分は縦方向に、密に線を入れる。口縁部内面には指頭圧痕を連続する。
- 103-10 はボール形の深鉢。口縁部外面に 2条の直線文を引き、体部外面にヘラ状工具による 2重楕円弧文を置く。内面調整は荒いミガキ。
- 104-1~8、105-1・2 は口縁部の内面を肥厚させ、指頭圧痕を残す深鉢である。肥厚させる部分の接合痕を明瞭に残すものが多い。このうち、104-1 は口縁部から底部までの全形が判るもので、口径約34cm、底径5.7cm、器高34.5cmに復元できる。外面は横方向のナデ、内面はナデ調整され、底面は未調整。口縁部内面に連続する指頭圧痕を残す。104-2 は小型のもので、復元口径は9cm程にしかならない。104-3 は口縁部内面側の肥厚した部分の上面に施される指頭圧痕が2段になるもの。
 - 105-3~12は無文の深鉢。105-6・9は断面に輪積みの痕跡を多く残す。
- $106-1\sim30$ は底部である。106-4 の内外面、106-5 の内面には細かいヘラミガキが残る。浅鉢か。 $106-5\cdot20$ の底面には繊維状の圧痕が見える。106-18 は内面側が黒変している。106-22 の底面には、5mm 程の粗い砂粒の圧痕が残る。106-30 は、粘土円盤を作らず、底部の中心から粘土紐を巻き上げていった様子が観察され、 $106-15\cdot19$ も同様のものか。
- $106-31 \sim 33$ は用途不明の粘土塊である。片面が凸凹で、反対面はやや平らになっている。3 点の関係は判らない。G10 土器だまりから出土し、土器と同様に焼かれているが、不定形で使用目的は判らない。植物繊維を練り込んで焼成したようにも見える。

〈註〉

(1) 柱根 1・2 については、文化財調査コンサルタント (株)に AMS 年代測定を依頼し、その結果を第5章に掲載した。 第5章「古屋敷遺跡 D 区発掘調査に係る AMS 年代測定」渡辺正巳(文化財調査コンサルタント(株))



第 109 図 各遺構面以外から出土した石器類実測図 (1:3、1のみ 2:3)



第110 図 各遺構面以外から出土した石製品・土製品・土器実測図 (1:3)

11. 第8遺構面より下層の遺物

第8遺構面より下層については、9ラインにトレンチを設定し、下層の状況を確認している。遺構は確認できなかったが、石器・土器が出土しており、第107・108図に示した。

9 ライントレンチ下層出土石器類 107-1 は、石斧の基部で、刃部を欠く。塩基性片岩を使用し、 側縁の稜を敲打して形状を整えている。

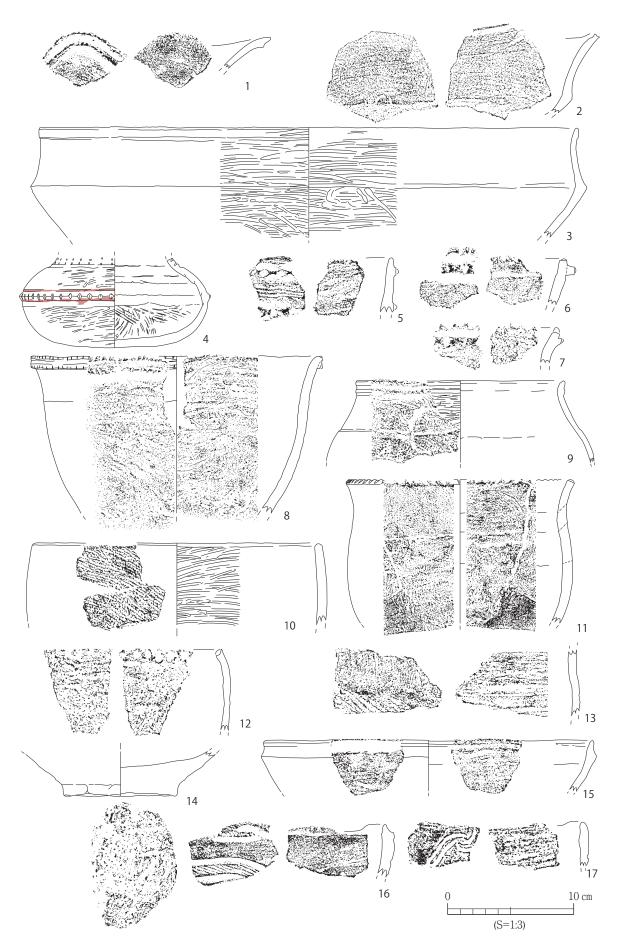
107-2 は安山岩を使用した磨石・叩石である。両面に磨り面があり、側縁部と磨り面に敲打痕がある。磨り面の敲打痕は、側縁部に比べ深く強く叩かれている。

107-3 は玉髄の石核と考えられるもので、長さ 14.4cm、厚さ 8.7cm の母岩の皮剥きまでを行った状態で廃棄されたものか。

9 ライントレンチ下層出土土器類 108-1 は深鉢の口縁部である。外面側に面を持ち、口縁端部から外面側にかけてヘラ状工具により2条の沈線を引き、文様を作っている。頸部は無文で内外面ともナデ調整する。108-2 は、浅鉢の口縁部と考えられる破片で、口縁部外面側に面を持ち、上端部の4カ所程度に突起が付くと思われるほかはほぼ無文。

108-3 は波状口縁の深鉢口縁部外面を、ナデによりわずかにくびれさせる。体部の外面調整は条痕。108-4 は、波状口縁の浅鉢で、薄く作られた頸部以上をナデ、体部は条痕か。

108-5 は、浅鉢の底部であろう。摩滅しており調整は見えない。被熱しており、内面側には高温により剥離している面が見られる。108-6 は大型の浅鉢か。内傾する口縁部は外面にミガキ。内面と体部はナデである。



第111図 各遺構面以外から出土した土器実測図 (1:3)

 $108-7 \sim 11$ は、粗製の深鉢で、108-7 は口縁端部を外面側に折り曲げるもの。 $108-8 \cdot 9$ は、口縁端部をつまみ出すように、小さく折り曲げるもの。

108-10 は緩やかに内湾するもので、ボール形になるか。内外面とも条痕。108-11 は直立する ものである。いずれも条痕。108-11 は、体部に外面側からの補修孔がある。

 $108-12 \sim 15$ は底部である $108-12 \cdot 14$ は、底部外周に粘土を貼り付けて高台状にして底部を持ち上げているもの。 108-13 は平底で、体部が直立気味に立ち上がる。 108-15 は底部側面が外反しながら立ち上がるもの。

12. 遺構・遺構面に伴わない遺物

第109~111 図には、トレンチ等から出土し、所属遺構面の判らない遺物を示している。

石器 109-1 は先端を欠く石鏃。ガラス質安山岩製。109-2 \sim 7 は石斧。109-2 は泥質片岩を使用した打製石斧で、刃部と基部の一部を欠く。109-3・4 は緑色片岩製の磨製石斧。109-5・6 は石鍬か。109-7 は基部側の一角を欠く打製石斧。小型で、破損品の再利用か。

109-8 は小型の石錘。凝灰岩を使用している。

109-9 はデイサイト製の敲石。大きく欠損し被熱している。109-10・11 も敲石・擦石。

110-1 は凝灰岩を使用した敲石状の製品。少量の打痕と擦痕が残るが、非常に軟質の凝灰岩で、製粉作業に使えるとは思えない。呪術具か。110-2 も磨石。

110-3 は深鉢の体部を使用した土製円盤。周縁は摩滅しており、成形時の剥離痕は明瞭ではない。内外面とも条痕。

110-4~6は弥生土器と考えられるもの。110-4は肩部に段のある甕。内面はヨコ方向のハケメを明瞭に残し、外面は、肩部以上に縦方向のハケメが見える。110-6は、肩部の段がなくなり2条の直線文をめぐらす。風化が進み調整は見えない。110-6は、壺の肩部か。線刻が見られ、文様と言うよりも絵か。内面側はナデ。

111-1 は波状口縁の浅鉢。口縁部の外面側に口縁部に沿った隆線をつまみ出している。111-2 も 波状口縁の浅鉢。肩部を尖らせ、頸部から口縁部を緩やかに外反させる。口縁端部に面を作り、内 面側にわずかにアクセントがある。頸部以上は丁寧なミガキ。体部の外面は条痕。111-3 は大型の 浅鉢。口縁部外面をわずかに肥厚させ、頸部以下は内外面ともヨコ方向の丁寧なミガキ。

111-4 は小型の壺。胴部が丸く、頸部以上は直線的に上に延びると思われる。胴部最大径付近に低い刻目突帯を貼り、頸部に細い刺突を2段以上めぐらす。胴部の刻目突帯の上下には赤彩が残る。外面調整はヨコ方向のミガキ。内面下半の調整は須恵器の押さえ具痕を思わせるような深い条痕を残す。内面上半はナデ。トレンチのため、出土層位が明確ではないが、第5~6遺構面に相当する位置から出土している。

111-5 は浅鉢の口縁部で、外面に 2 条の刻目突帯を施し、その間に 3 条の凹線が入る。中山 B 式。 111-6・7 は口縁部を刻み、外面に刻目突帯を貼り付けるもの。111-8 は口縁部を刻み、外面の わずかに下方に刻目突帯を貼り付けるもの。111-9 は口縁部をすぼませる深鉢で、口縁部を外反気味に作り、そのすぐ下に無刻の突帯を貼るもの。 頸部外面は横方向のナデ。

111-10 は深鉢の口縁部。外面は縄文で、内面は丁寧なミガキ。北側排水溝より出土しており、第6遺構面より下層に含まれる。111-11 は口縁部を刻むもの。頸部がくびれる。第4遺構面より

下層。111-12 は口縁端部に刺突を施す深鉢。SR01 に含まれる。111-13 は頸部がすぼまり肩が張る深鉢に肩部。内面は横方向の条痕。111-14 は縄文土器の底部。

111-15 は口縁端部をつまみ出す浅鉢。器壁がや厚い。

111-16 は口縁部の一部をつまみ出し、外面に擦消縄文を施す。102-6 と同文と思われ、小池原上層か。111-17 は、外面に櫛で文様を描くもの。内面側は横方向の条痕。いずれも北側排水溝から出土しており、第6遺構面より下層に含まれる。

第4章 自然化学分析

第1節 古屋敷遺跡 D 区発掘調査に係る A M S 年代測定

渡辺正巳(文化財調査コンサルタント(株))

1. はじめに

古屋敷遺跡は島根県中央部、大田市仁摩町大国に位置し、潮川の沖積平野上に立地する。

本報は、文化財調査コンサルタント株式会社が島根県教育庁埋蔵文化財調査センターの委託を受け、古屋敷遺跡 D 区 8 遺構面で検出された柱根 (柱根 1、柱根 2)及び、第 2 遺構面で検出された土坑墓 (SK01)第の年代を明らかにする目的で実施・報告した、AMS 年代測定業務報告書の概報である。

2. 分析資料について

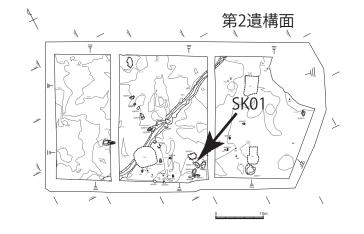
第 112 図の D 区平面図中に、分析試料の採取位置を示す。また、試料の詳細を表 2 に示す。 SKO1 からは土坑墓内の木棺(底板)を対象に 71 年輪を計数し、最内部(内 (0))と最外部(外 (71))を測定試料とした。

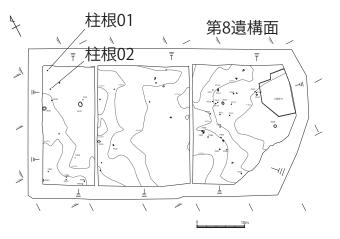
3. AMS 年代測定方法

塩酸による酸洗浄の後に水酸化ナトリウムによるアルカリ処理、更に再度酸洗浄を行った。この後、二酸化炭素を生成、精製し、グラファイトに調整した。¹⁴ C 濃度の測定にはタンデム型イオン加速器を用い、半減期:5568 年で年代計算を行った。暦年代較正には OxCalver. 4.2 (Bronk Ramsey, 2009) を用い、INTCAL13 (Reymer et al., 2013)を利用した。また、試料:内(0)と外(71)を対象としたウイグルマッチングには、D_Sequence()関数 (Bronk Ramsey et al., 2001)を使用した。

4. AMS 年代測定結果

測定結果を第2表、第113・114 図に示す。第2表には δ^{13} C 値の他、3 種類の年代を示している。第113 図には柱根 1 柱根 2 の確率分布と δ ~ 2 δ の較



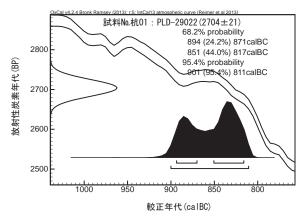


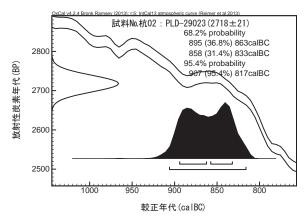
の年代を示している。第 113 図には柱 第 112 図 調査区 (D 区) 平面図 (試料採取地点) 根 1 柱根 2 の確率分布と $\delta \sim 2$ δ の較 上:第 2 遺構面 下:第 8 遺構面

| | 第2表 | AMS 年代測定結果 | Ę |
|--|-----|------------|---|
|--|-----|------------|---|

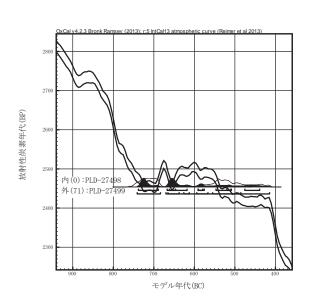
| | | 試料 | 1 | 測定年代*1 | δ ^{1 3} C | 曆年較正用年代 | 補正年代*2 | 曆年較 | 正年代 | 測定No. |
|--------|----|--------------------------------|------------------------|-----------------------|--------------------|--------------------------|--------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|--------|
| 試料No. | 種別 | 出土地点 | 重量(g) | $(yrBP \pm 1 \sigma)$ | (‰) | (yrBP \pm 1 σ) | (yrBP \pm 1 σ) | 1 σ暦年代範囲 | 2 σ暦年代範囲 | (PLD-) |
| 柱根 01 | 木片 | D区(第8遺構面 F5Gr) 150121 実 98 | 0.003 | 2807 ± 21 | -31.21 ± 0.14 | 2704 ± 21 | 2705 ± 20 | BC894 - 871(24.2%) BC851 - 817(44.0%) | BC901 — 811(95.4%) | 29022 |
| 柱根 02 | 木片 | D区(第8遺構面 F5Gr) 150121 実 99 | 0.008 | 2780 ± 22 | -28.76 ± 0.11 | 2718 ± 21 | 2720 ± 20 | BC895 — 863(36.8%) BC858 — 833(31.4%) | BC907 — 817(95.4%) | 29023 |
| 内 (0) | 木片 | DΚ | 0.026 | 2427 ± 19 | -23.32 ± 0.20 | 2454 ± 19 | 2455 ± 20 | BC746 - 686(32.6%) BC666 - 643(11.1%) BC553 - 507(21.1%) BC501 - 490(3.3%) | | 27498 |
| 外 (71) | | (第2遺構面 SK01: 土坑墓) | 土坑墓) 0.077 2443 ± 19 - | | | 2454 ± 19 | 2455 ± 20 | BC746 - 686(32.6%) BC666 - 643(11.1%) BC553 - 507(21.1%) BC501 - 490(3.3%) | BC669 - 636(13.2%) | 27499 |
| | • | 前処 超音波洗浄酸・アルカリ 水酸化ナトリウム: | ・酸洗 | | | 最外試料 | 月年代 | BC668 - 619(41.7%) BC591 - 576(8.4%) BC521 - 509(4.6%) BC476 - 440(13.5%) | BC671 — 613(45.5%) BC595 — 567(11.3%) BC556 — 415(38.6%) | |

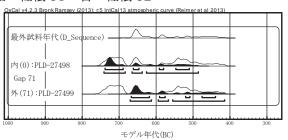
*1 δ ¹³ C 補正無年代 *2 δ ¹³ C 補正年代

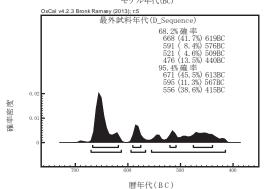




第113 図 暦年較正図 左:柱根01 右:柱根02







第114図 ウイグルマッチング結果

左:Curve-plot 右上:Multiple-plot 右下:D-Sequence

暦年較正結果 (確率分布) とウイグルマッチング結果との比較、D-Squence の結果 (確率分布と $\sigma \sim 2~\sigma$ の 較正範囲) を示している。

正範囲を示している。第 114 図にはウイグルマッチング結果を、INTCAL13 の曲線上にプロットしたもの、暦年較正結果(確率分布)とウイグルマッチング結果との比較、D-Sequence の結果(確率分布と $\delta \sim 2~\delta$ の較正範囲)を示している。

5. 年代測定値について

1.SK01(土坑墓)

得られた最外(年輪)試料年代値は 2 σ で BC671 \sim BC415 年を示した。この値は、おおよそ縄文時代晩期となる。

最外年輪の外部には更に年輪が存在したと考えられることから、この木の伐採は縄文時代晩期以降となる。このことは、発掘調査の結果から、この土坑墓が縄文時代晩期の土坑墓と考えられていることと、矛盾しない。

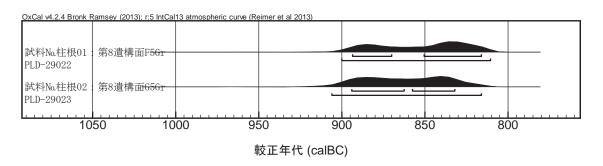
2. 柱根 1, 柱根 2

得られた年代値は柱根 01 が 2,705 ± 20yrsBP(BC901 \sim 811:2 σ)、柱根 02 が 2,720 ± 20yrsBP(BC907 \sim 817:2 σ)と、ほぼ一致した(第 115 図)。この値は、縄文時代晩期を示し、出土遺物から推定された時期と一致した。

参考文献

Bronk Ramsey, C., van der Plicht, J., Weninger, B. (2001) 'Wiggle matching' radiocarbon dates. Radiocarbon, 43(2A), 381-389.

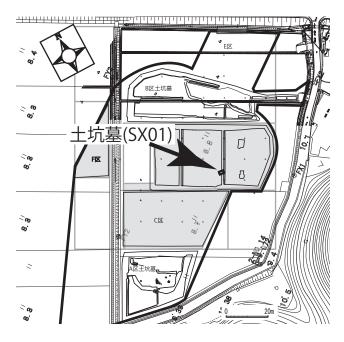
Bronk Ramsey, C. (2009). Bayesian analysis of radiocarbon dates. Radiocarbon, 51(1), 337-360. Reimer, P.J., Bard, E., Bayliss, A., Beck, J.W., Blackwell, P.G., Bronk Ramsey, C., Buck, C.E., Cheng, H., Edwards, R.L., Friedrich, M., Grootes, P.M., Guilderson, T.P., Haflidason, H., Hajdas, I., Hatte, C., Heaton, T.J., Hoffmann, D.L., Hogg, A.G., Hughen, K.A., Kaiser, K.F., Kromer, B., Manning, S.W., Niu, M., Reimer, R.W., Richards, D.A., Scott, E.M., Southon, J.R., Staff, R.A., Turney, C.S.M., and van der Plicht, J.(2013) IntCal13 and Marine13 Radiocarbon Age Calibration Curves 0-50,000 Years cal BP. Radiocarbon, 55(4), 1869-1887.



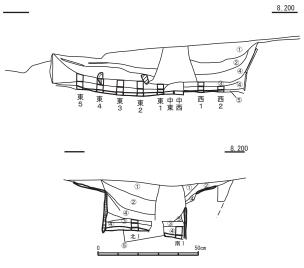
第115図 暦年較正年代の分布

第2節 古屋敷遺跡で検出された「土坑墓(SK01)」の自然科学的検証

渡辺正巳(文化財調査コンサルタント(株)



第116図 調査区配置及び試料採取地点 (D区 SK01:土抗幕)



①: 橙色砂礫層 ②: 白色細砂層 ③青灰色細砂層 ④: 暗灰色細砂層 ⑤: 暗褐色粘土

第 117 図 土抗 (SKO1) 断面図及び分析試料位置

図上:東西断面 下:南北断面

1. はじめに

古屋敷遺跡は、島根県中央部、大田市仁 摩町大国に位置し、潮川が成す沖積平野(仁 摩平野)上に立地する。

本報は、文化財調査コンサルタント株式会社が、島根県埋蔵文化財調査センターからの委託を受け、土坑(SK01)が土坑墓であることを、自然科学的に検証する目的で土坑内堆積物の化学分析(P、C、N分析)を実施・報告した、調査報告書の概報である。また、同時に行った木棺の樹種同定結果についても報告する。

2. 分析資料について

調査区の配置及び土坑 (SKO1) の位置を第116 図に、遺構の断面図及び試料採取位置を第117 図に示す。土坑中央に十字形に残された畦をブロック状に切り出して、分析試料とした。試料名は図2に示すように、中心から東1~5、西1~2、北1、南1の9地点で、分層に従って(3)~(5)の試料を採取した。さらに、これら9地点の間で⑤層を対象とした試料を・・「東1-2」、「中東」、「中西」、「西0-1」・・として採取した。

また、土坑中より(木棺の一部と考えられる)任意の木片を取り上げ、樹種同定を 行った。

3. 分析方法

リン濃度測定は、渡辺(2014)に従い、ICP 発光分光分析装置を用いた。炭素、窒素濃度測定 も同様に、渡辺(2014)に従い有機微量元素分析装置を用いた。

樹種同定では、渡辺(2010)に従い顕微鏡観察用永久プレパラートを作成した。作成した永久 プレパラートには整理番号を付け、文化財調査コンサルタント株式会社にて保管・管理をしている。 顕微鏡観察は、光学顕微鏡下で 4 倍~600 倍の倍率で行った。同定した分類群ごとに最も特徴的な試料について、顕微鏡写真撮影を行うとともに、島地ほか(1985)の用語に基本的に従い、記載を行った。

4. 分析結果

全リン分析結果及び CN 濃度測定結果 を第3表に示すと供に、第118、119 図にリン濃度、C/N の分布図を示す。

また、以下に濃度分布の特徴を示す。

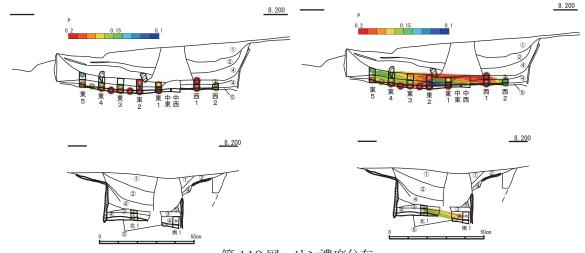
① リン (図 118)

上層(③層)の分析試料は少ないが、 西1地点で0.2、東2地点で0.19と高い値を示す。一方、東1、北1地点で0.17、 東5地点で0.15とやや低い値を示す。

中層(④層)では、西 1 地点で 0.19、南 1 地点で 0.18 を示すものの、その他の地点では $0.11\sim0.16$ と全体に低い傾向にある。

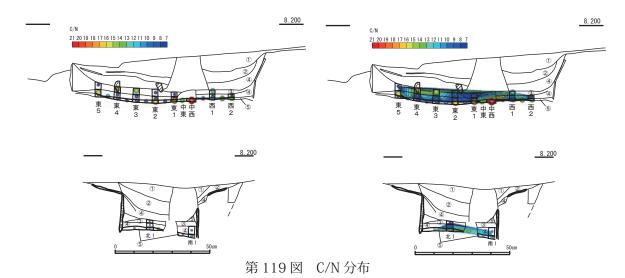
下層(⑤層)では、西2地点で0.16、 東4-5地点で0.17、北1地点で0.18と やや低いものの、その他の試料では0.2 か0.19と高い値を示す。

| | | | CN 測定約 | 洁果 | |
|---------|--------|--------|----------|-------|-------|
| 試料No. | リン含有量 | Carbon | Nitrogen | C/N | P/C |
| □八个十Ⅳ0. | (g/kg) | (%) | (%) | C/N | F/C |
| 西 2-(4) | 0.15 | 0.475 | 0.055 | 8.65 | 0.032 |
| 西 2-(5) | 0.16 | 1.018 | 0.073 | 13.87 | 0.016 |
| 西 1-2 | _ | 1.185 | 0.083 | 14.30 | _ |
| 西 1-(3) | 0.2 | 0.730 | 0.056 | 13.01 | 0.027 |
| 西 1-(4) | 0.19 | 0.473 | 0.052 | 9.10 | 0.040 |
| 西 1-(5) | 0.19 | 0.849 | 0.067 | 12.59 | 0.022 |
| 西 0-1 | _ | 0.777 | 0.072 | 10.82 | _ |
| 中西 | _ | 2.538 | 0.126 | 20.21 | _ |
| 中東 | _ | 1.144 | 0.083 | 13.84 | _ |
| 東 1-(3) | 0.17 | 0.463 | 0.057 | 8.10 | 0.037 |
| 東 1-(4) | 0.14 | 0.411 | 0.045 | 9.15 | 0.034 |
| 東 1-(5) | 0.2 | 1.256 | 0.073 | 17.17 | 0.016 |
| 東 1-2 | _ | 0.585 | 0.061 | 9.54 | _ |
| 東 2-(3) | 0.19 | 0.494 | 0.054 | 9.19 | 0.038 |
| 東 2-(4) | 0.11 | 0.494 | 0.054 | 9.16 | 0.022 |
| 東 2-(5) | 0.2 | 3.118 | 0.182 | 17.13 | 0.006 |
| 東 2-3 | 0.2 | 0.604 | 0.061 | 9.89 | 0.033 |
| 東 3-(3) | _ | 1.166 | 0.077 | 15.23 | _ |
| 東 3-(4) | 0.16 | 0.477 | 0.049 | 9.73 | 0.034 |
| 東 3-(5) | 0.19 | 0.433 | 0.045 | 9.54 | 0.044 |
| 東 3-4 | 0.2 | 0.569 | 0.062 | 9.23 | 0.035 |
| 東 4-(3) | _ | 1.148 | 0.071 | 16.07 | _ |
| 東 4-(4) | 0.16 | 0.475 | 0.052 | 9.09 | 0.034 |
| 東 4-(5) | 0.19 | 0.405 | 0.047 | 8.70 | 0.047 |
| 東 4-5 | 0.17 | 0.815 | 0.067 | 12.25 | 0.021 |
| 東 5-(3) | 0.15 | 0.402 | 0.049 | 8.26 | 0.037 |
| 東 5-(4) | _ | 1.624 | 0.101 | 16.00 | _ |
| 東 5-(5) | 0.18 | 0.478 | 0.058 | 8.26 | 0.038 |
| 南 1-(4) | 0.18 | 0.564 | 0.053 | 10.59 | 0.032 |
| 南 1-(5) | _ | 1.031 | 0.090 | 11.49 | _ |
| 南 0-1 | 0.16 | 0.722 | 0.064 | 11.28 | 0.022 |
| 北 0-1 | _ | 1.070 | 0.074 | 14.53 | _ |
| 北 1-(3) | 0.17 | 0.353 | 0.045 | 7.82 | 0.048 |
| 北 1-(4) | 0.15 | 0.378 | 0.047 | 8.10 | 0.040 |
| 北 1-(5) | 0.18 | 0.850 | 0.066 | 12.84 | 0.021 |
| 北1- | _ | 0.855 | 0.071 | 12.01 | _ |
| 平均 | 0.17 | 0.845 | 0.068 | 11.58 | 0.031 |
| 標準偏差 | 0.022 | 0.575 | 0.026 | 3.12 | 0.010 |
| 最大 | 0.20 | 3.118 | 0.182 | 20.21 | 0.048 |
| 最小 | 0.11 | 0.353 | 0.045 | 7.82 | 0.006 |



第 118 図 リン濃度分布

上:東西断面 下:南北断面 左:バブルグラフ 右:コンタマップ



上:東西断面 下:南北断面 左:バブルグラフ 右:コンタマップ

② 炭素

上層(③層)の分析試料は少ないが、多くは $0.4 \sim 0.5(\%)$ 程度である。しかし、東3、4地点では1.1を超えるなど、差が大きい。

中層(④層)では、0.3~0.5程度と安定している。

下層(⑤層)では、東3、4、5 地点で0.4 程度を示すものの、その他の地点の多くでは1.0 を超える。 特に東2 地点では3.118 と高い値を示す。

③ 窒素

上層(③層)の分析試料は少ないが、多くは $0.04 \sim 0.05(\%)$ 程度である。しかし、東 3、4 地点では 0.077、0.071 とやや高い値を示す。

中層(④層)では、0.05程度と安定しているが、東5地点で0.101と高い値を示す。

下層(⑤層)では、多くは $0.06 \sim 0.08$ 程度であるが、中西地点で 0.126、東 2 地点で 0.182 と高い値を示し、東 3 地点で 0.045、東 4 地点で 0.047 と低い値を示す。

④ C/N (図 119)

上層(③層)では8程度を示す試料と13以上を示す試料に2分される。

中層(④層)では、ほとんどの試料が9程度を示すものの、東5地点で16.00、南1地点で10.59と高い値を示す。

下層(⑤層)では、11 程度より高い値を示す試料と、10 程度より低い値を示す試料に 2 分される。 ⑤ P/C

上層(③層)では、0.03~0.05を示す。

中層(4層)では、0.02~0.04を示す。

下層(⑤層)では、0.04程度を示す試料と、0.02程度を示す試料、更に0.01に満たない試料に3分される。

5. 樹種同定結果

構成細胞は仮道管、樹脂細胞、放射柔細胞からなる。早材から晩材への移行はやや急で、晩材の幅は広い。樹脂細胞は主に晩材部に分布している。また、分野壁孔はスギ型で2~3個存在

| | | 炭素 (C) | 窒素 (N) | イオウ (S) | C/N | C/S | カルシウム (Ca) | リン (P) | P/C |
|------|--------|--------|--------|---------|------|-------|---------------|--------|-------|
| | 全体 | 22.9% | 2.6% | 0.20% | 8.9 | 114.3 | 1.4% | 1.1% | 0.049 |
| ١. ا | 骨 | 36.0% | 4.3% | 0.06% | 8.4 | 620.7 | 17.0% | 6.7% | 0.185 |
| 人 | 筋肉 | 67.0% | 7.2% | 0.32% | 9.3 | 209.4 | 0.04% | 0.58% | 0.009 |
| 153 | 毛 | 54.0% | 16.0% | 2.40% | 3.4 | 22.5 | 0.17% | 0.01% | 0.000 |
| | 肝臓 | 67.0% | 7.2% | 0.36% | 9.3 | 186.1 | 0.02% | 0.94% | 0.014 |
| 動 | 哺乳類 | 48.4% | 12.8% | 1.60% | 3.8 | 30.3 | - | - | - |
| 物 | 魚類 | 47.5% | 11.4% | 1.00% | 4.2 | 47.5 | 0.10% | 0.18% | 0.004 |
| | バクテリア | 54.0% | 9.6% | 0.53% | 5.6 | 101.9 | 0.51% | 3.0% | 0.056 |
| | 菌類 | - | 3.4% | 0.40% | - | - | 0.09% | 0.50% | - |
| | 蘚苔類 | - | 1.2% | 0.15% | - | - | 5.1% | 0.17% | - |
| 植物 | シダ類 | 45.0% | 2.0% | 0.25% | 22.5 | 180.0 | 0.37% | 0.20% | 0.004 |
| 123 | 裸子植物 | 45.0% | 3.2% | 0.11% | 14.1 | 409.1 | 0.85% | 0.20% | 0.004 |
| | 被子植物 | 45.0% | 2.5% | 0.53% | 18.0 | 84.9 | 0.85% | 0.11% | 0.002 |
| | 野菜類 | 45.0% | 5.3% | 0.33% | 8.6 | 136.4 | 2.5% | 0.51% | 0.011 |
| Γ. | 平均的土壌 | 2.00% | 0.20% | 0.07% | 10.0 | 28.6 | 1.5% | 0.080% | 0.040 |
| 土壌 | 堆積物の平均 | 2.94% | 0.05% | 0.22% | 62.6 | 13.4 | 6.6% | 0.067% | 0.023 |
| | 頁岩の平均 | 1.60% | 0.060% | 0.24% | 26.7 | 6.7 | 3.10% | 0.070% | 0.044 |
| 岩石 | 花崗岩の平均 | 0.036% | 0.002% | 0.03% | 17.1 | 1.3 | 1.6% | 0.070% | 1.9 |
| | 玄武岩の平均 | 0.061% | 0.003% | 0.03% | 20.3 | 2.4 | 6.7% | 0.140% | 2.3 |

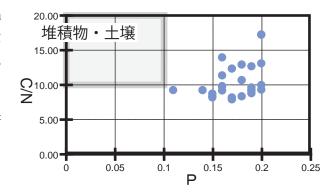
第4表 構成元素の割合と元素比

Bowen(1979) によって編集された、Iyengar et al. (1978), Koons and Helmke (1978), Tjell and Hovmand(1978), Casagrande and Erchall (1977), Hanawalt snd Whittaker (1977), Valkovic (1977), Wakatsuki et al. (1977), Chester and Aston (1976), Connor and Shacklette (1975), Synder (1975), Golley et al. (1969), Scharrer and Linser (1969), Wedepohl (1969-1974), Haller et al. (1968), Wedepohl (1968), Bowen (1966), Chapman (1966), Gorham and Swaine (1965), Taylor (1964), Hanna and Grant (1962), Vinogradov (1959), Vinogradov (1953), Rankama and Sahama (1950) のデータを使用した。ただし、幅を持って示された値については、最高値と最低値の中間の値を用いた。

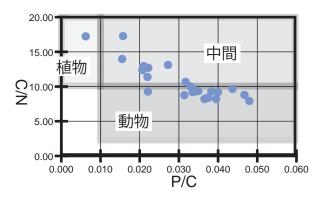
することなどから、スギ (Cryptomeria japonica D.Don) と同定した。また、第 122 図に顕微鏡写真を示す。作成したプレパラートは、整理No.: W14071108 として文化財調査コンサルタント株式会社にて保管・管理をしている。

6. 遺骸残存の可能性について

第4表に示すように、土壌、堆積物に比べ、有機物(動植物)に含まれるリンの割合はおおよそ2倍以上高い。このことから、堆積物(土壌)中に有機物が埋まっていた場合、有機物を中心としてリン濃度の高い部分が存在することが予想される。また、C/Nは、おおよそ10を境に動物と植物を分けることが可能である。一方、データが少ないもののP/Cではおおよそ0.01が動物と植物を分ける指標となりうることが示



第 120 図 C/N と P の相関図



第121図 C/NとP/Cの相関図

唆される。

今回の分析では、有機物の存在を示唆するリン濃度は、④層の一部で低いものの、第4表に示した「平均的な土壌」や「堆積物平均」に比べ、高い傾向にあった。

一方、図 119 に示すように、C/N は動物と植物を分ける 10 を挟んで分布し、リン濃度との関係では「平均的な土壌」や「堆積物平均」を示すエリアに属する試料は、存在しなかった。一方、図 121 に示すように、P/C と C/N は明らかな逆相関の関係を示し、C/N が高く P/C が低い植物を示すゾーンと、C/N が低く P/C が高い動物を示すゾーン、これらの中間的なゾーンがあることが分かる。

これらのことは、P/C 値の高い試料では、人間を含む動物由来の有機物を多く含む反面、P/C の低い試料では動物に加え、植物の影響を強く受けていることが分かる。採取試料に木棺(?)の破片が多量に含まれていたことから、C/N の高い試料(P/C の低い試料)では、木棺(?)の影響が強く表れていると考えられる。

今回の分析試料は土坑底部からのみ採取しており、上位には30cm以上の堆積物が存在していた。 現状ではこれらに含まれたP、C、Nの濃度分布が不明で、これらの元素が上位から浸透してきた 可能性を否定できない。また、データが木棺(?)の影響を強く受けていたなどの問題点が残る。し かし、得られたデータから判断して、土坑内に人間を含む動物が埋まっていた可能性が高いと言え る。

7. まとめ

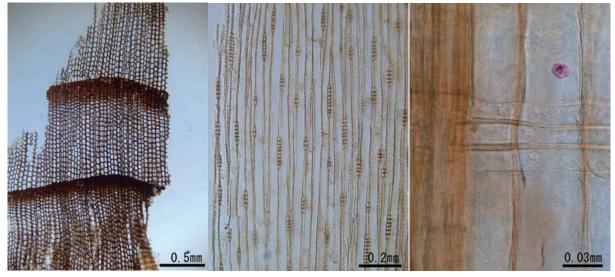
古屋敷遺跡 D 区土坑墓(SKO1)を対象に、全リン、有機炭素、全窒素測定を行った結果、得られたデータからは、土坑内に人間を含む動物が埋まっていた可能性が高いと言える。

木棺(?)の部材の一つとして、スギが用いられていた。

引用文献

Bowen, H. J. M. (1966) "Trace Elements in Biochemistry", Academic Press, London, New York

Bowen, H. J. M. (1979) "Environmental Chemistry of the Elements", Academic Press, London, New York



第 122 図 顕微鏡写真 左:横断面 中:接線断面 右:放射断面

Casagrande, D. J. and Erchall, L. D. (1977) Geochim. Cosmochim. Acta, 41, 1391

Chapman, H. D. (ed) (1966) "Diagnostic Criteria for Plants and Soils", Univ. California; Div. Agric. Sci.

Chester, R. and Aston, S. R. (1976) "Chemical Ocsanography", Vol. 6, p. 281 (Riley, J. P. and Skirrow, G., eds), Academic Press, London. New York

Connor, J. J. and Shacklette, H. T. (1975) U.S. Geol. Surv. Prof. Paper 574-F

Golley, F. B., McGinnis, J. T., Clements, R. G. I. and Duever, M. J. (1969) Bioscience, 19, 693 and 697

Gorham, E. and Swaine, D. J. (1965) Limnol. Oceanog. 10, 268

Haller, W. A., Rancitelli, L. A. and Cooper, J. A. (1968) J. Agric. Food Chem. 16, 1036

Hanawalt, R. B. and Whittaker, R. H. (1977) Sili. Sci. 123, 25

Hanna, W. J. and Grant, C. L. (1962) Bull. Torrey Bot. Club, 89, 293

Iyengar, G., Kollmer, W. E. and Bowen.H. J. M. (1978) "Elemental Composition of Human Tissues and Body Fluids", Springer Verlag, Berlin, Heidelberg, New York

Koons, R. D. and Helmke, P. A. (1978) Soil Sci. Soc. Amer. J. 42, 237

Rankama, K. and Sahama, T. (1950) "Geochemistry", Chicago University Press

Scharrer, K. H. and Linser, H. (eds) (1969) "Handbuch der Pflanzenernahrung und Dungung", Springer Verlag, Berlin, Heidelberg, New York

島地 謙・佐伯 浩・原田 浩・塩倉高義・石田茂雄・重松頼生・須藤彰司(1985)木材の構造。276p., 文永堂, 東京.

Snyder, W. S. (ed) (1975) "Report of Task Group on Reference Man", argamon Press Ltd, Oxfofd, New York

Taylor, S. R. (1964) Geochim. Cosmochim. Acta, 28, 1273

Tjell, J. C. and Hovmand, M. F. (1978) Acta Agric. Scand. 28, 81

Valkovic, V. (1977) "Trace Elements in Human Hair", Garland S. T. P. M.

Vinogradov, A. P. (1953) "The Elementary Chemical Composition of Marine Organisms", Sears Foundation, New Haven, Conn.

Vinogradov, A. P. (1959) "Geochemistry of Rare and Dispersed Elements in Soils", Chapman and Hall, London

Wakatsuki, T., Furukawa, H. and Kyuma, H. (1977) Geochim. Cosmochim. Acta, 41, 891

Wedepohl, K. H. (1968) "Origin and Distribution of the Elements", p. 999(Ahrens, L. H., ed), Pergamon Press Ltd., Oxford, New York

Wedepohl, K. H. (1969-1974) "Handbook of Geochemistry", Springer Verlag, Berlin, Heidelberg, New York

渡辺正巳(2010)木質遺物(埋没樹木)樹種同定.必携 考古資料の自然科学調査法, 194 - 198. ニュー・サイエンス社.

渡辺正巳(2014) 庵寺古墳群におけるリン、炭素及び窒素分析. 庵寺古墳群・大迫ツリ遺跡・小釜野遺跡, 一般国道9号(仁摩温泉津道路) 改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書5.201-207.

第3節 古屋敷遺跡(D区)から出土した赤色顔料付着遺物について

大田市古屋敷遺跡からは赤色顔料の付着した縄文時代後期から晩期にかけての土器が出土した。 古墳時代以前の赤色顔料は、硫化第二水銀 (HgS) を主成分とする鉱物の辰砂に由来する水銀朱(朱)、 酸化第二鉄 (Fe2O3) を多く含むとされるベンガラが知られている (註1)。これらの遺物の性格を知 る手がかりとして、蛍光 X 線分析による元素定性分析を行なった。

1. 分析の方法

分析方法は、蛍光 X 線分析による元素定性分析である。使用機器は島根県古代文化センター所有、島根県埋蔵文化財調査センター設置の「エスアイアイ・ナノテクノロジー(現;日立ハイテクサイエンス)社製 X SEA1200X 卓上型ケイ光 X 線分析計(エネルギー分散型)」である。測定条件は、測定時間 X 200 秒(うち測定可能な有効時間は X 120~142 秒)、試料室雰囲気は大気/真空、測定範囲は直径 X 8.0 mm、管電圧 X 50 kV(測定室雰囲気真空時には X 15 kV)、管電流 X 64~1000 X 4(管電圧による自動設定)、X 線管球は X Rh(ロジウム)、検出器は X Si 半導体検出器(X SSD)である。一次フィルタとして X Pb フィルタ(真空雰囲気での測定時には X Cl X 7 であるいは X 20 を設定した。なお、装置の仕様上、マイラーカバーを使用している。測定は肉眼、あるいは X 10~40 倍の実体顕微鏡観察にて赤色顔料の付着がみられた箇所と、比較対照資料として胎土部分(土器の破断面)で行なった。このうち、水銀(X 16 と硫黄(X 26 を高く検出したものを水銀朱、鉄(X 66 を高く検出し、水銀と硫黄を検出しなかったものは胎土部分のスペクトルピークの比較と顕微鏡観察の結果から、ベンガラ(X 2 であると判断した。

2. 結果

測定を行なった試料とその結果を第5表と蛍光 X 線分析スペクトルピークに示す。測定No. D2・D3・D4・D5・D6・D7・D8・D9 は Hg と S のスペクトルピーク(以下、ピーク)を示した。これらの試料では、Fe の高いピークも検出しているが、Hg の高いピークを示す箇所では、Fe のピークは追随を許さないことや、Fe は胎土部分からも高いピークが検出されていることからも、Fe は胎土に由来しているものとみられる。したがって、水銀朱による塗彩は確実に行なわれていることが推測される。しかし、ベンガラとの混合の可能性の有無については、今回の分析では断言できない。また、Fe の高いピークを示した、測定No. D1・D10・D11・D12・D13・D14・D15 については、胎土部分のピークとの比較と顕微鏡観察の結果から、ベンガラが塗布されていると推測される。

〈註〉

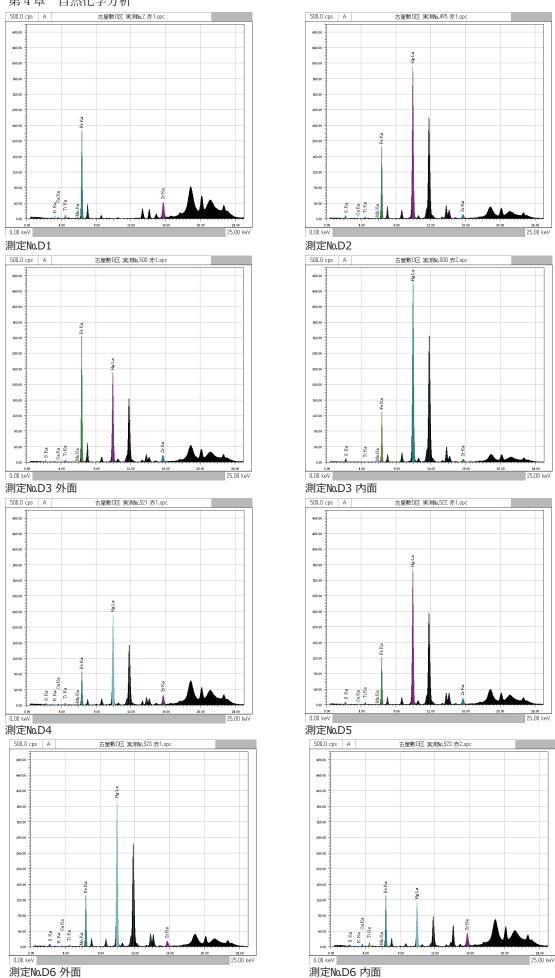
- (1) 市毛勲 『新版 朱の考古学』 1998 雄山閣
- (2) 註1に同じ

| 細木口 | SHILE-NI | 14 DAM | 1 €□0 | HH 146 | | 検出 | 元素 | | 推測される | /#= +x |
|-------|----------|--------|-------------------|----------------|------|-----|----|----|-------|-------------|
| 調査区 | 測定No. | 挿図No. | 種別 | 器種 | 測定箇所 | Fe | Hg | S | 顔料 | 備考 |
| DE | D1 | 1114 | 畑 | ± 2000 | 外面 | ++ | - | - | ベンガラ | |
| D区 | D1 | 111-4 | 縄文土器 | 壺・注口か? | 内面 | × | × | × | - | 試料形状により測定不可 |
| D I | Do | 50.4 | 681 → 1 00 | 7047 | 外面 | ++ | ++ | ++ | 水銀朱 | |
| D区 | D2 | 52-4 | 縄文土器 | 浅鉢 | 内面 | × | × | × | - | 赤彩なし |
| DE | DO | 00.0 | /细-大-1. HI | 74.44 10.44 | 外面 | ++ | ++ | ++ | 水銀朱 | |
| D区 | D3 | 80-3 | 縄文土器 | 浅鉢 | 内面 | + | ++ | ++ | 水銀朱 | |
| DE | D4 | 50.0 | 细子工印 | X244 | 外面 | + | ++ | ++ | 水銀朱 | |
| D区 | D4 | 52-3 | 縄文土器 | 浅鉢 | 内面 | × | × | × | - | 赤彩なし |
| D EZ. | D5 | 90.9 | 细子士明 | 浅鉢 | 外面 | + | ++ | ++ | 水銀朱 | |
| D区 | נטט | 80-8 | 縄文土器 | (文) | 内面 | × | × | × | - | 赤彩なし |
| D区 | D6 | 88-3 | 縄文土器 | 浅鉢 | 外面 | + | ++ | ++ | 水銀朱 | |
| | סטן | 00-3 | 神又 上 | (文) | 内面 | + | + | ++ | 水銀朱 | |
| D区 | D7 | 63-1 | 縄文土器 | 浅鉢 | 外面 | + | ++ | ++ | 水銀朱 | |
| | זען | 03-1 | 神义工品 | (文) | 内面 | + | ++ | ++ | 水銀朱 | |
| D区 | D8 | 74-1 | 縄文土器 | 浅鉢 | 外面 | + | ++ | ++ | 水銀朱 | |
| | ро | 74-1 | 神又上的 | (文) | 内面 | + | ++ | ++ | 水銀朱 | |
| D区 | D9 | 52-2 | 縄文土器 | 浅鉢 | 外面 | + | ++ | ++ | 水銀朱 | |
| | DJ | 52-2 | /电人工位 | 1人里午 | 内面 | + | ++ | ++ | 水銀朱 | |
| D区 | D10 | 102-3 | 縄文土器 | 深鉢 | 外面 | ++ | - | - | ベンガラ | |
| | DIO | 102-3 | /电人工位 | 1小型 | 内面 | × | × | × | - | 赤彩なし |
| D区 | D11 | 102 10 | 縄文土器 | 深鉢 | 外面 | + + | - | - | ベンガラ | |
| | DII | 102-10 | / PEX | 1/小型中 | 内面 | × | × | × | - | 赤彩なし |
| D区 | D12 | 102-4 | 縄文土器 | 深鉢 | 外面 | + + | - | - | ベンガラ | |
| | D12 | 102-4 | /电人工位 | 1/小型中 | 内面 | × | × | × | - | 赤彩なし |
| D区 | D13 | 80-9 | 縄文土器 | 浅鉢 | 外面 | + + | - | - | ベンガラ | |
| | סוט | 00-0 | 小电人上自首 | 12,24 | 内面 | × | × | × | - | 試料形状により測定不可 |
| D区 | D14 | 101-1 | 縄文土器 | 浅鉢 | 外面 | + + | - | - | ベンガラ | |
| | D14 | 101-1 | 小电人上自首 | 12,24 | 内面 | × | × | × | - | 試料形状により測定不可 |
| D区 | D15 | 80-1 | 縄文土器 | 浅鉢 | 外面 | + + | - | - | ベンガラ | |
| | 1510 | | 小七人上日日 | 1~2T | 内面 | + + | - | - | ベンガラ | |

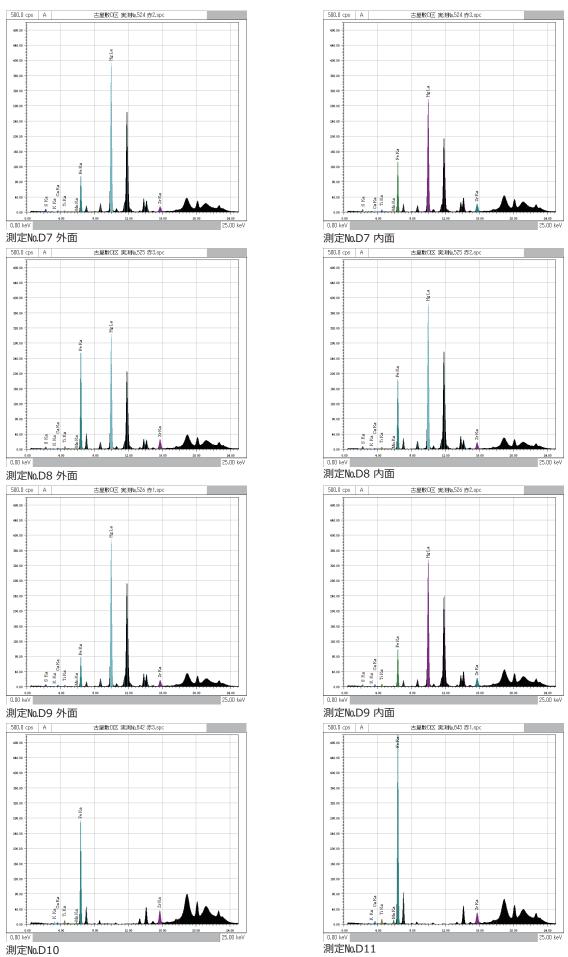
検出元素凡例;++…スペクトルピークが高く検出 / +…検出 /-…検出せず / ×…測定せず (赤彩なし・試料形状により測定不可)

第5表 古屋敷遺跡 D 区出土赤色顔料付着遺物蛍光 X 線分析結果

第4章 自然化学分析

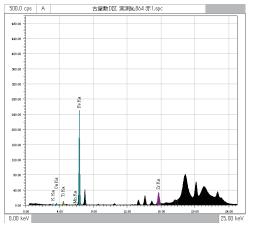


第 123 図 蛍光 X 線分析スペクトルピーク

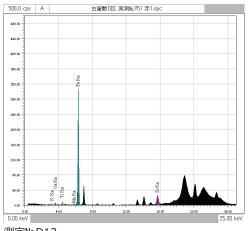


第 124 図 蛍光 X 線分析スペクトル (1)

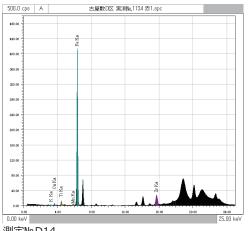
蛍光 X 線分析スペクトル



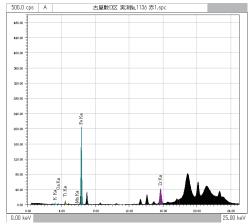




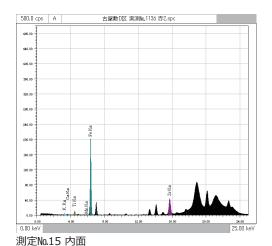
測定No.D13



測定No.D14



測定No.D15 外面



第 125 図 蛍光 X 線分析スペクトル (2)

第5章 総 括

1. 古屋敷遺跡 (D区) の調査成果

古屋敷遺跡(D区)では、縄文時代後期後葉から晩期、弥生時代前期初頭に至る8面の遺構面を確認した。このうち、第1遺構面は弥生前期、第2~5遺構面は突帯文期、第6・7面が晩期前葉、第8遺構面と9ライントレンチ下層は縄文後期に遡る。

第1遺構面は弥生前期の土器を中心に、少量の突帯文土器が混じっている。この面では、弥生前期の土器と炭の詰まった土坑2基など検出したほか、第1遺構面を東西に横断する溝(SD01)を検出している。SD01は人工的な水路と考えられる。このSD01を挟み、東西で遺構の検出密度が異なるように見え、水田などの生産の場と墓地や生活面など、土地利用が異なっていた可能性も考えられる。旧仁摩町が市道際で行った調査では墓の可能性もある土坑などが出土しており、水路や水田遺構など、周辺の土地利用の状況について資料が蓄積されつつある。また、突帯文土器を含んだ木棺墓(SK01)と、弥生土器が入った土坑(SK02・SX01・02)などがあり、縄文から弥生時代への推移を検討する上で重要な資料を提供した。

第2遺構面では木棺墓と考えられる遺構 (SKO1) を検出し、第3遺構面で石冠と見られる石製品が突帯文土器とともに出土している。これらの面では、非常に多くの地床炉を検出し、繰り返し火が焚かれていたことを確認した。また、第4遺構面などで検出した配石遺構の位置が、層位の異なる第2遺構面の SKO1 に近接していることから、長期間にわたって、この付近が墓などを造る場所として認識されていた可能性もあり注意される。第2・3遺構面は突帯文土器を中心とし、第4・5遺構面でも、少量の突帯文土器を含んでいる。

第4・5 遺構面は、古屋敷遺跡 (D区) で最も多くの遺物が出土し、特に、第5 遺構面では、水 さらし場遺構や貯蔵穴、炭だまりなど特徴的な遺構を検出した。また、出土遺物に彩文土器が含ま れている点は注目される。

第6・7 遺構面では、突帯文土器はほとんど見られず、口縁部に刻目を入れる土器が中心となる。この面では地床炉はほとんど見られなくなり、変わって調査区全面に、たくさんの柱穴が展開する。確実な建物を確認することはできなかったが、数棟以上の建物が建っていたことは確実であろう。第8 遺構面で検出した柱根は、AMS 年代測定によって、BC900 年頃の年代が測定され、第6~7 遺構面から打ち込まれた可能性を考えているが、この柱根には柱穴がなく、地面に直接打ち込まれたか、自重で埋没した可能性が高い。これは、古屋敷遺跡が海岸線に近く、決して強固でない砂地に位置していることとも関係すると思われるが、当時の建物の構造を考えるヒントになると思われる。

第8遺構面より下層は縄文後期に遡る。この中でG10土器溜まりは、黒褐色の粘質土に覆われた一括性の高い遺物群と思われ、九州の影響を受けた可能性がある土器を含むなど、活発な交流をうかがわせる。この土器群は、沖丈式併行と考えられる。

2. 石製呪術具と考えられる石製品

古屋敷遺跡 (D区) の発掘調査では石製円盤や線刻礫など呪術具と考えられる石製品が多く出土している。主だったものをあげるとすれば、第2遺構面のくぼみ石(34-7・8)や鉄石英の玉石(34-6)。

第3遺構面からは石冠 (41-4)、石刀と見れる石 (42-7) や、くぼみ石 (43-3)。第4遺構面からは、石棒 (50-9・51-8)、線刻礫 (50-5)、磨石・くぼみ石 (50-10~12)。第5遺構面では炭だまり1からは有孔石製品 (61-9)、磨石 (69-8) が土製円盤 (61-5・6) とともに出土したほか、節理をなぞったような異形の線刻礫 (73-8)、明らかに火を受けた小さな線刻礫 (73-9) や磨石 (73-4・5・7) がある。それ以外にも、線刻礫 (73-1)、磨石 (72-3、73-2・3)、石棒 (73-5) がある。第6遺構面から線刻礫 (79-7)、石製円盤 (79-8)。第8遺構面の線刻礫 (94-6) などである。こうした呪術的な石製品は、第4・5遺構面に多く見られ、特に有孔石製品などを出土した第5遺構面の炭だまり1と隣接する地床炉 107・108 等との関係は、供宴や儀礼を思わせる。

第3遺構面では、石冠と称される半円形の石製品 (41-4) が出土している。この石冠は2条突帯の深鉢(41-5) とともに出土し、出土状況から、地床炉47に伴う可能性が高い。石冠とされる石製品は、県内では、三田谷 I 遺跡、沖ノ原遺跡、下西海岸遺跡 (駐1) で知られているが、いずれも半球形の頭部を持つもので、装飾的な加工のない半円形の頭部を持つ古屋敷遺跡例とは形状が異なる。土器や焼土面に伴って出土しており、時期の検討や使用方法の解明に良好な資料を提供したと言える。

ところで、古屋敷遺跡 (D区) で出土した石器類のうち、磨石・叩石や石皿に欠損しているものが多く見られるほか、火を受けていると思われるものが一定量見られた点は注意される。79-5 など、明らかに破断面から独立した位置に、×印を刻むように線を引く行為も見られ、廃棄時に再使用できないように破砕する行為があったかもしれない。

3. 彩文土器について

平成 25 年度に調査を行った A 区に続いて、D 区でも同様の彩文土器 (52-4) が出土した。暗褐色の顔料を漆状の樹脂で塗り描いたもので、大洞 C2/A1 式などに特徴的な C 字文を描いている。この土器が出土した第 4 遺構面は口縁部を刻む深鉢に少量の突帯文土器が伴っており、縄文時代晩期後葉と思われる。彩文土器の出土は、前年度 A 区出土彩文土器 (註2) と併せ、県内では雲南市の万場 I 遺跡 (註3) に続く 2 遺跡目となる。大洞 C2/A1 式の段階は、亀ヶ岡系の遺物が西日本各地へ移動することが知られており、古屋敷遺跡での出土も、そうした西日本的な動きの中で持ち込まれたものかもしれない。古屋敷遺跡の A 区と D 区で出土した彩文土器は、出土位置は離れているものの、出土層位はきわめて近く、文様そのものもよく似ていることから、両者は近い時期に持ち込まれたものと想像される。

A区で出土した彩文土器は、C字文の間に朱文による列点文を置いていることが特徴的だが、C字文の間を列点文で埋める文様は、西日本地域で知られる大洞式土器には見ることができない (註4)。 同様の文様は、福岡県の雀居遺跡 (註5) 出土の飾り弓や高知県居徳遺跡 (註6) 出土の木胎漆器など、木製品だけにあることから、木製品の文様が土器に写された可能性がある。こうした点は、古屋敷遺跡の彩文土器の出自や持ち込まれた経緯を考える上で注視される。

なお、前年度 A 区で出土した彩文土器は、鉄由来の赤色顔料が使用されていたが、D 区から出土した 52-4 は、蛍光 X 線分析によって、水銀朱の使用が明らかになった。

4. 木棺墓について

第3遺構面のH8付近では木棺墓(SK01)を検出した。SK01は長さ135cmの土坑の中に針葉樹の板材で木棺を組んでおり、側板・小口板・床板、床板の下に組まれた桟がほぼ完全な状態で残されていた。土坑内には土器片2点が流れ込んでおり、副葬品と思われる滑石製の管玉1点が見られた。人骨などは残っていないが、全長1m程と小さいことから、小児墓と考えられる。D区SK01の特徴としては、底板の下面に3本の棒状木製品があり、底板を持ち上げる桟があった点、側板・小口板を杭によって固定している点、墓標状に打たれた杭があった可能性がある点などがある。また、土層の観察から墓坑の棺外を完全には埋め戻していない可能性がある。また、副葬品と見られる玉は、管玉としているが、実際には長さがなく、丸玉に近い形状となっている。荒割り時の面を僅かに残し、周囲の研磨も十分でないことから、古墳時代の管玉のような形状からはかけ離れている。

SK01 周辺では、地床炉と見られる火を焚いた痕跡が点々と見られ、周囲が当時の生活空間の一画だった可能性がある。近接して同様の土坑は見られず、墓域は形成していない。一方、第 4 遺構面で検出した配石遺構も、層位は異なるものの、平面的には近接した位置に見られることは注意される。この周辺の狭い範囲の機能が、墓や配石遺構など葬儀や祭祀的な施設を置く場所として特定されていた可能性も捨てきれない。

同時期の木棺墓と見られる遺構は、平成 25 年度 A 区の SKO2 のほか、平成 25 年度調査の B 区でも小型の土坑(SK11)の床面に溝状のくぼみが見られる遺構があり、木棺墓の可能性がある。前年度 A 区の SK2 は小口側の棺材の固定に石を使用し、側板で小口板を挟み込む配置と想定されている。また、墓坑底面に側板を立てる溝が切られ、側板を立てているが、小口板は底板の上に乗せるなどの特徴があり、D 区 SKO1 とは構造が異なっている。全長約 1.9m と大きく、出土した人骨から成人女性の可能性がある。また、A 区 SK2 からは石鏃 2 点が出土している。この石鏃はガラス質安山岩ではなく、碧玉製で、実用品ではない可能性もあり、副葬品であろう。石鏃は、1 点が蓋板上、もう 1 点が側板の外側からの出土であり、蓋の上に乗せられていた可能性がある。D 区 SKO1 の管玉が、側板外側から出土し、蓋の上に置かれていたという想定に一致する。

縄文晩期から弥生時代初頭にかけて見られる木棺墓に、SK01 で見られるような、杭を使用して側板・小口板を支える構造は知られていない。また、A 区 SK2 のように川原石を詰めて小口板を固定している例は、滋賀県金屋遺跡などが知られている。

岐阜県の荒尾南遺跡 SZ155 (駐7) では、木棺墓の床板下面に3本の棒材が置かれ、床板を持ち上げるような構造になっていたことが知られており、SK01 に共通する。SK01 の床材下面は、水が湧き、材が浮きやすい状態となっていたため、3本の桟が、元々どのような位置にあったかは判らないが、荒尾南遺跡 SZ155 の状況は示唆的である。

三重県の中谷遺跡 (註8) では、14 基の土坑墓が検出され、このうちの13 基について、直接的な物証は無いものの、木棺墓だと推定されている。中谷遺跡の木棺墓は、110×60cm程の規模と考えられており、古屋敷遺跡 (D区)SK01 に近い。滋賀里遺跡では墓坑の切り合いが認められることから墓標などはなかったと想定されているが、中谷遺跡の木棺墓は長軸を揃えて隣接するものが2 組あるほか、他の木棺墓にも切り合いが見られないことから、何らかの墓標があった可能性が想定されている。ところで、中谷遺跡では土坑墓とともに、土器棺墓6 基が発見されており、

土器棺墓は乳幼児用、木棺墓を小児用と推定されている。

東海・近畿地方から中国地方で発見されいる同時代の木棺墓では、荒尾南遺跡などが側板が小口板を挟み込む形状、龍川五条遺跡 (柱9)・御堂遺跡 (柱10) などで小口板が側板を挟み込む形状を推定されている。一角が判別できない例は少なくないが、変則的な組み方をしている例は知られていない。

滋賀県の金屋遺跡 (註11) では川原石を詰めて棺材を固定した突帯文期の木棺墓と考えられる遺構 2 基が発見されているが、これら 2 基には水銀朱が塗布されている。水銀朱などの希少品の副葬は、木棺墓の意味の考える上で重要と思われるが、古屋敷遺跡の木棺墓からは水銀朱などの希少品は発見されていない。

SK01 の墓坑からは突帯文土器の破片が出土している。棺外埋土中の出土で小片であることから、 混入の可能性も低くはないが、AMS 年代測定の結果からも、縄文晩期の最終末から弥生時代への 移行期と考えることに矛盾はないと思われる。

県内で近い時期の木棺墓としては、堀部第 1 遺跡 $^{(\pm 12)}$ があるが、堀部第 1 遺跡では多数の土坑墓が集中して墓域を形成していることが知られている。また、墓坑の上に配石が見られる点でも古屋敷遺跡とは異なっている。堀部第 I 遺跡は、供献土器が弥生時代 I $-2 \sim 3$ 様式に位置付けられ、古屋敷遺跡 D 区では SKO2 や SXO1・O2 と同時期と見られる。

古屋敷遺跡 D 区 SK01 は、北側では側板が小口板を挟み込んでいるが、南側では変則的になっている。すなわち、南西側で側板が小口板を挟み込んでいるが、南東側は小口板の方が外側に出ており、左右対称になっていない。また、それぞれの側板・小口板を杭によって固定している点は特徴的である。第3章でも説明したとおり、棺の外側を完全には埋め戻していない可能性もあることから、側板・小口板を固定するのに杭が必要となったことが考えられる。前年度に調査されたA区 SK2 は、近い時期の木棺墓と推定されるが、両側板で小口板を挟み込む構造と推定され、小口板の裏込めに石を詰めるなど、滋賀県金屋遺跡などと同様の構造が推定される一方、小口板を床板の上に乗せ、小口板を立てるための溝を切らない等の特徴もある。A区 SK2 と D 区 SK01 は、成人墓と小児墓の違いはあるかもしれないが、ほぼ同時期に造られ、僅か 60m ほどしか離れていない位置にありながら全く構造が異なっている点は、木棺墓を導入する過程を検討する上で興味深い。

5.水さらし場遺構

古屋敷遺跡 (D区) 第5遺構面のI9 南壁からは水さらし場遺構を検出した。SR01 の岸に近い自然の湧水点に、自然木を使用して枠状に組み、外果皮を取り除いたトチやクルミの実を水漬けにしたもので、導水路 (SD04) を伴う可能性がある。水さらし場遺構は、東日本では50 例ほどが知られているが、西日本地域では、岐阜県のたのもと遺跡 (註13)、カクシクレ遺跡 (註14)、福井県の四方谷岩伏遺跡 (註15)、奈良県の観音寺本馬遺跡 (註16)、鳥取市の布勢第1遺跡 (註17) が知られているほか、北九州市では弥生時代に下る、長野小西田遺跡 (註18) が知られている。このうち、カクシクレ遺跡では、導水路を伴うことが知られているほか、鳥取県の布勢第1遺跡では木組み水路が検出されている。

水さらし場遺構は、外果皮を取り除いたトチや,クルミを水漬けし、虫殺しに使用 (註19) した施設だと想定されるが、同一面には、貯蔵穴や袋状土坑 (Pit68) もあり、同様に木の実を貯蔵した施

設が点在する。前年度調査のB区でも貯蔵穴と考えられる袋状土坑が検出されており、SR01周辺で、 その伏流水を利用した木の実の保存・水さらしなどが行われていた様子がうかがわれる。

水さらし場遺構を検出した第5遺構面では、炭だまり $1\cdot 3\cdot 4$ を検出している。これらの遺構については、直径 $5\sim 7$ mという大きさや形状から、住居跡ではないかという意見を、多くの研究者から受けた。しかし、屋根が乗るような柱穴が不明確であり、また、遺構内部から出土する土器片が、意外なほど接合できなかったことなどから考えると、住居跡と断定することは躊躇される。同一面で近接して検出した貯蔵穴や袋状土坑、地床炉 $107\cdot 108$ などが無関係に存在したとも思えず、当時の建物の構造、炉や食物の貯蔵場所との位置関係など検討すべき課題は多い。

古屋敷遺跡 (D区) の調査では、縄文後期後葉から弥生前期初頭に至る多くの遺構・遺物を検出した。中でも、各部材が良好に残る木棺墓の検出や、西日本では発見例の少ない水さらし場遺構、水銀朱を使用して施文された彩文土器など注目される遺構・遺物の発見が続いた。3 カ年、1 万㎡近くの発掘調査を実施した古屋敷遺跡では、標高の低い西側へ向かうほど遺構・遺物の検出が少なくなる傾向があることから、遺跡の中心は潮川の自然堤防に近い東側にあり、B・D区近くが中心であったと考えられる。古屋敷遺跡の西側には、かつては入海が入り込んでいたと考えられ、食料の獲得や海を介した交流の拠点となっていたことが判る。

〈註〉

- (1) 『三田谷 I 遺跡 Vol.3』島根県教育委員会 2000 年 『匹見町内遺跡詳細分布調査報告書 XV』匹見町教育委員会 2003 年 『隠岐』関西大学・島根大学共同隠岐調査会 1968 年
- (2) 『古屋敷遺跡 (A·E区)』島根県教育委員会 2017年
- (3) 『万場 I 遺跡』雲南市教育委員会 2009 年
- (4) 設楽博己・小林青樹「板付 I 式土器成立における亀ヶ岡系土器の関与」『新弥生時代のはじまり 第2巻 縄文時代から弥生時代へ』雄山閣 2007 年
- (5) 『雀居遺跡 3』福岡市教育委員会 1995 年 『雀居 9』福岡市教育委員会 2003 年
- (6) 『居徳遺跡群 IV』財団法人高知県文化財団埋蔵文化財センター 2003 年
- (7) 『荒尾南遺跡 B 地区 Ⅱ』財団法人岐阜県文化財保護センター 2003 年
- (8) 『丸野・中谷遺跡発掘調査報告書』三重県埋蔵文化財センター 2003 年
- (9) 『龍川五条遺跡 1』財団法人香川県埋蔵文化財調査センター 1996年
- (10) 『御堂遺跡』下関市教育委員会 1991年
- (11) 『金屋遺跡』滋賀県教育委員会 2000年
- (12) 『堀部第1遺跡』鹿島町教育委員会 2005年
- (13) 『たのもと遺跡』財団法人岐阜県文化財保護センター 1998年
- (14) 『カクシクレ遺跡』財団法人岐阜県文化財保護センター 1997年
- (15) 『四方谷岩伏遺跡』福井県教育庁埋蔵文化財調査センター 2003年
- (16) 『観音寺本馬遺跡』橿原市教育員会 2012年
- (17) 『布勢遺跡発掘調査報告書』財団法人鳥取県教育文化財団 1981年
- (18) 『長野小西田遺跡 3』 財団法人北九州市芸術文化振興財団 2010 年
- (19) 水さらし場遺構とされるものには、あく抜きや貯蔵など様々な機能が想定されるが、外果皮を取り除いたトチの実が大量に入り込んでいたことから、虫殺しと判断した。首都大学東京山田昌久教授に現地で指導を受けた。

| fert man | E-MC | 2831 10 | | | | Ι | | | 計 | 則値 | - | | |
|----------|------|----------------|------|--------------|--------|-----|------------|------------|-----------|------------|-----------|----------------|--------------------------|
| 挿図 番号 | 番号 | グリッド 日付 | Pno. | 遺構名 | 出土層位 | 種別 | 器種 | 長さ (cm) | 幅 (cm) | 厚さ (cm) | 重量 (g) | 石材 | 備考 |
| 12-1 | 8 | 140702 | | SD01 | 褐色砂礫層 | 石器 | 敲石 | 12.7 | 9.6 | 4.8 | 715 | 安山岩 | 片面: 敲打痕 / 鉄分付着 |
| 15-1 | 14 | 140701 | | SX01 | | 石器 | 石鏃 | 2.4 | 1.9 | 0.6 | 0.28 | ガラス質安山 岩 | 剥離不明瞭 / 未製品か |
| 17-1 | 15 | 140624 | | SX02 | 褐色砂礫層 | 石器 | 石包丁 | 8.8 | (8.2) | 0.5 | 43 | 頁岩 | 刃部:ヨコ方向磨痕多/ 穿孔1ヶ所 |
| 17-2 | 15 | 140704 | | SX02 | | 石器 | 磨製石斧 | 12.2 | 6.1 | 3.4 | 377 | 緑色片岩 | 刃部:欠損 |
| 17-3 | 15 | F10 140704 | | SX02 | | 石器 | 磨製石斧 | 13.6 | 6.1 | 1.6 | 228 | 泥質片岩 | 全面: 研磨痕 |
| 19-1 | 16 | I9 140617 | | | 灰色粘質土 | 石器 | 剥片 | 7.4 | 2.2 | 1.1 | 17 | ガラス質安山 岩 | 縦割剥片 |
| 19-2 | 16 | H8 140617 | | | 暗灰黄色土 | 石器 | 剥片 | 3.5 | 4.6 | 0.7 | 8 | 玉髄 | 使用痕剥片 |
| 19-3 | 16 | G6 140606 | | | 灰色粘土層 | 石器 | スクレー パー | 5.3 | 2.1 | 0.8 | 8 | ガラス質安山 岩 | 使用痕剥片 |
| 19-4 | 16 | F6 140605 | | | 明黄色礫層 | 石器 | 偏平片刃 石斧 | (4.7) | 2.8 | 0.9 | 20 | 凝灰岩 | |
| 19-5 | 16 | I9 140617 | | | 灰色粘質土 | 石器 | 砥石 | 11.3 | 7.1 | 1.4 | 179 | 砂岩 | 鉄分付着 |
| 19-6 | 16 | I5 140603 | | | 黄褐色シルト | 石器 | 敲石 | (6.6) | 10.0 | 7.4 | 662 | 花崗岩 | 周縁部: 敲打痕 |
| 32-3 | 30 | 140818 | | SK01 | SK01 F | 石製品 | 管玉 | 1.4 | 長径 1.3 | 短径 1.0 | 3 | 滑石(蛇紋岩) | 四角柱状石材の角を研磨 |
| 34-1 | 32 | 140710 | | SK02 | | 石器 | 剥片 | 7.1 | 2.6 | 1.3 | 24 | 凝灰岩 | |
| 34-2 | 32 | H8 140717 | | | 暗灰黄色土 | 石器 | 石斧 | 10.6 | 7.9 | 3.9 | 373 | デイサイト | 大形磨石を被砕か |
| 34-3 | 32 | H6 140728 | | | 灰色砂層 | 石器 | 打製石斧 | (8.2) | (6.2) | 2.0 | 138 | 流紋岩 | |
| 34-4 | 32 | I9 140725 | | | 暗灰黄色土 | 石器 | 磨製石斧 | 14.4 | 4.3 | 2.9 | 290 | 緑色片岩 | 刃部:欠損 |
| 34-5 | 32 | F10 140630 | | SD02 | 褐色砂礫層 | 石器 | 磨製石斧 | 15.6 | (4.3) | 4.5 | 429 | 緑色片岩 | 刃部:使用痕顕著 |
| 34-6 | 32 | H7 140701 | | | 暗灰黄色土 | 石製品 | 磨石 | 4.7 | 4.1 | 3.2 | 89 | 鉄石英 (赤色 碧玉) | 全面:研磨/部分的:敲 打痕 |
| 34-7 | 32 | 140702 | 47 | | 暗灰黄色土 | 石製品 | くぼみ石 | 14.5 | 12.9 | 8.1 | 869 | 凝灰岩 | 頂部:くぼみ3ヶ所/呪 術具か |
| 34-8 | 32 | F8 140714 | | | 暗灰黄色土 | 石製品 | くぼみ石 | 11.8 | 7.6 | 2.1 | 149 | 凝灰岩 | 中央: くぼみ |
| 41-1 | 38 | 140827 | 169 | 土器だま り 01 | | 石器 | 磨製石斧 | 13.7 | 4.2 | 3.4 | 270 | 緑色片岩 | |
| 41-2 | 38 | 140827 | 170 | 土器だま り 01 | | 石器 | 打製石斧 | 10.7 | 4.7 | 1.0 | 69 | 泥質片岩 | 刃部:使用による欠損 |
| 41-3 | 38 | 140827 | 167 | 土器だま り 01 | | 石器 | 敲石 | 10.1 | 8.6 | 4.0 | 503 | デイサイト | |
| 41-4 | 38 | 140827 | 168 | 土器だま り 01 | | 石製品 | 石冠 | 9.1 | 6.9 | 5.2 | 644 | 安山岩 | 全面: 研磨痕 / 下面: 敲 打痕・磨痕 |
| 42-1 | 40 | G6 140829 | | | 褐色粘質土 | 石器 | 石鏃 | (1.7) | 1.4 | 0.3 | 0.27 | 凝灰岩 | 先端:欠損 |
| 42-2 | 40 | 140821 | | 地床炉 23 | | 石器 | 石鏃 | (1.8) | 1.4 | 0.4 | 0.63 | ガラス質安山 岩 | 先端:欠損/全面:磨滅 |
| 42-3 | 40 | H9 140829 | | | 第3遺構面 | 石器 | 石鏃 | 1.8 | 1.4 | 0.4 | 1 | ガラス質安山 岩 | |
| 42-4 | 40 | G6 140829 | | | 暗褐色粘土 | 石器 | 石錐 | (2.2) | 1.1 | 0.4 | 0.8 | ガラス質安山 岩 | 先端:欠損 |
| 42-5 | 40 | H8 140905 | | | 暗褐色粘土層 | 石器 | 石錐 | (4.4) | 1.4 | 0.5 | 2.9 | ガラス質安山 岩 | 先端: 欠損 |
| 42-6 | 40 | 140905 | | SX10 | | 石器 | スクレー パー | 4.3 | 7.7 | 1.4 | 44 | 流紋岩 | |
| 42-7 | 40 | H6 140811 | | | 青灰色砂層 | 石製品 | 石棒 | (10.4) | 2.7 | 1.7 | 80 | 片岩 | 打痕 / 研磨痕 |
| 42-8 | 40 | H6 140811 | | | 青灰色砂層 | 石器 | 打製石斧 | 11.6 | 9.8 | 2.2 | 322 | 泥質片岩 | |
| 42-9 | 40 | H8 140910 | 243 | SX10 | | 石器 | 石斧 | 13.4 | 4.7 | 1.7 | 134 | 片岩 | |
| 42-10 | 40 | F5/6 140806 | | | 青灰色砂層 | 石器 | 磨製石斧 | 12.3 | 4.3 | 2.2 | 160 | 緑色片岩 | 打痕 / 研磨痕 |
| 42-11 | 40 | H6 140811 | | | 青灰色砂層 | 石器 | 打製石斧 | (6.7) | (7.4) | 2.1 | 132 | 泥質片岩 | 刃部:欠損 |
| 42-12 | 40 | F6 140807 | | | 青灰色砂層 | 石器 | 石核 | 7.0 | 7.5 | 3.7 | 235 | 流紋岩 | スクレーパー未製品か |

| 挿図 | 図版 | グリッド | | | | | | | | 則値 | | | |
|-------|----|----------------|------|---------------|---------|-----|------------|------------|-----------|------------|-----------|-------------|--------------------------------------|
| 番号 | 番号 | 日付 | Pno. | 遺構名 | 出土層位 | 種別 | 器種 | 長さ (cm) | 幅 (cm) | 厚さ (cm) | 重量 (g) | 石材 | 備考 |
| 43-1 | 40 | H5 140811 | | | 青灰色砂層 | 石器 | 擦石 | 12.3 | 9.5 | 5.6 | 879 | 安山岩 | 打痕 / 研磨痕 |
| 43-2 | 40 | H6 140903 | 197 | | 暗褐色粘質土 | 石器 | 敲石 | 8.3 | 4.6 | 3.8 | 178 | 凝灰岩 | |
| 43-3 | 40 | H6 140903 | 198 | | 暗褐色粘質土 | 石製品 | くぼみ石 | 11.4 | 8.4 | 3.2 | 246 | 凝灰岩 | 敲打痕 / 祭器か |
| 50-1 | 47 | G6 141006 | | | 暗青灰色粘質土 | 石器 | 打製石斧 | 15.7 | 7.2 | 2.5 | 398 | 塩基性片岩 | 未製品か |
| 50-2 | 47 | F8 141016 | | | 暗青灰色粘質土 | 石器 | 打製石斧 | (6.3) | (4.4) | 0.9 | 32 | 流紋岩 | 薄手 |
| 50-3 | 47 | F6 141003 | | | 暗青灰色粘質土 | 石器 | 打製石斧 | 12.6 | 5.8 | 1.6 | 159 | 泥質片岩 | |
| 50-4 | 47 | I10 140922 | | SX12周 り | | 石器 | 磨製石斧 | 7.8 | 4.7 | 1.3 | 66 | 泥質片岩 | 刃部:欠損/欠損後再利 用か |
| 50-5 | 47 | H6 141015 | 452 | | 第4遺構面 | 石製品 | 線刻礫 | (8.4) | 4.3 | 2.3 | 81 | 凝灰岩 | 複数回なぞる直線/頂部 斜線3条 |
| 50-6 | 47 | F10 140922 | | | 暗青灰色粘質土 | 石器 | 剥片 | 9.5 | 5.3 | 1.2 | 103 | 塩基性片岩 | 磨製石斧破損後再利用な |
| 50-7 | 47 | H8 140910 | 244 | SX10 | | 石器 | 磨製石斧 | (11.4) | 3.8 | 1.5 | 93 | 塩基性片岩 | 刃部:欠損 |
| 50-8 | 48 | F10 141020 | | | 黒灰色粘質土 | 石器 | 磨製石斧 | 14.2 | 4.4 | 3.2 | 324 | 緑色片岩 | 周縁部:使用痕 |
| 50-9 | 48 | H9 141007 | 355 | | | 石製品 | 石棒 | 12.9 | 5.8 | 4.1 | 465 | 塩基性片岩 | 敲打痕 |
| 50-10 | 48 | H6 141015 | 456 | | 第4遺構面 | 石器 | 敲石 | 13.3 | 6.4 | 2.2 | 179 | 凝灰岩 | 端部:スス付着 |
| 50-11 | 48 | F10 140922 | | | 暗青灰色粘質土 | 石製品 | くぼみ石 | 11.4 | 6.2 | 2.3 | 165 | 凝灰岩 | 中央:打痕/発火具か明 術具 |
| 50-12 | 47 | H9 140924 | | | 暗青灰色粘質土 | 石製品 | 磨石 | (8.7) | (9.6) | 2.1 | 155 | 安山岩 | 端部:くぼみ2ヶ所 |
| 51-1 | 48 | H7 141015 | | | 暗青灰色粘質土 | 石器 | スクレーパー | (2.8) | 2.7 | 0.7 | 7 | ガラス質安山 岩 | 破損 |
| 51-2 | 48 | G7 141014 | | | 暗青灰色粘質土 | 石器 | スクレーパー | (2.2) | (7.4) | 0.9 | 18 | ガラス質安山 岩 | 破損 |
| 51-3 | 48 | G6 140910 | | 7 ライン トレンチ | 黒灰色粘質土 | 石器 | 打製石斧 | (8.7) | 5.3 | 1.2 | 73 | 泥質片岩 | 破損 |
| 51-4 | 48 | G•H8 140117 | | | 第4遺構面 | 石器 | 磨製石斧 | (8.2) | 5.7 | 1.6 | 109 | 緑色片岩 | 基部:欠損 |
| 51-5 | 48 | H6 141001 | 338 | | 第4遺構面 | 石器 | 敲石 | 10.9 | (12.4) | 5.3 | 747 | デイサイト | 部分的: 敲打痕集中/被 熱黒変/鉄分付着 |
| 51-6 | 48 | F7 141010 | | | 暗青灰色粘質土 | 石器 | 擦石 | 7.9 | 7.2 | 4.7 | 374 | デイサイト | |
| 51-7 | 48 | H6 141015 | 459 | | 第4遺構面 | 石器 | 敲石 | 8.5 | 3.9 | 3.5 | 129 | 凝灰岩 | 編布の錘 |
| 51-8 | 48 | H8 140929 | 281 | | 第4遺構面 | 石製品 | 多角柱状 石棒 | 20.7 | 2.9 | 2.3 | 160 | 凝灰岩 | 破損か |
| 51-9 | 48 | I6 140910 | | | 黒灰色粘質土 | 石製品 | くぼみ石 | 20.3 | 14.5 | 8.7 | 4340 | 安山岩 | 周縁部: 敲打痕/中央: 研磨によるくぼみ/呪術 具未製品か |
| 51-10 | 46 | H8 141001 | 334 | | 第4遺構面 | 石器 | 石皿 | 32.0 | 18.7 | 1.7 | 1636 | 砂岩 | 片面:擦痕/鉄分付着 |
| 61-7 | 62 | 141127 | 903 | 炭溜り 01 | 第5遺構面 | 石製品 | 磨石 | 6.7 | 7.1 | 3.3 | 228 | 砂岩 | |
| 61-8 | 62 | 141127 | 904 | 炭溜り 01 | 第5遺構面 | 石製品 | 線刻礫 | (10.0) | 5.3 | 2.2 | 110 | 凝灰岩 | 細かい線刻 / 被熱・スス 付着 |
| 61-9 | 62 | 141127 | 905 | 炭溜り 01 | 第5遺構面 | 石製品 | 有孔石製 品 | 7.7 | 7.3 | 2.2 | 130 | 安山岩 | 中央: 穿孔 1 ヶ所 / スス 付着 |
| 61-16 | 63 | 141127 | 862 | 炭溜り 03 | 第5遺構面 | 石器 | 石斧 | (7.6) | (3.2) | (3.1) | 71 | 緑色片岩 | |
| 61-17 | 63 | 141127 | 867 | 炭溜り 03 | 第5遺構面 | 石器 | 敲石 | (10.1) | (7.4) | 6.5 | 664 | デイサイト | 敲打痕多 |
| 63-6 | 65 | 141120 | 783 | | 暗黒灰色粘質土 | 石器 | スクレー パー | (3.4) | (6.7) | 0.6 | 21 | ガラス質安山 岩 | |
| 63-7 | 65 | 141120 | 772 | | 暗黒灰色粘質土 | 石器 | 石斧 | (9.7) | 4.6 | 4.0 | 242 | 緑色片岩 | 基部・刃部:欠損/敲打 痕多 |
| 72-1 | 77 | H8 141110 | | | 黒灰色粘質土 | 石器 | スクレー パー | 7.7 | 3.2 | 0.7 | 20 | ガラス質安山 岩 | |
| 72-2 | 77 | G8 141104 | | | 黒灰色粘質土 | 石器 | 磨製石斧 | (11.8) | 4.8 | 2.3 | 176 | 泥質片岩 | 刃部:欠損/研磨痕 |
| 72-3 | 77 | G10 141121 | | | 暗黒灰色粘質土 | 石製品 | 線刻礫 | (10.2) | 9.2 | 2.3 | 243 | 凝灰岩 | 被熱黒変・破砕 |
| 72-4 | 77 | H7 | Ι - | 1 | 暗黒灰色粘質土 | 石器 | 磨製石斧 | (7.2) | (5.3) | (2.5) | 122 | 泥質片岩 | 1 |

| 1E107 | DATE: | #11 1° | | | | | | | 計 | 則値 | | | |
|----------|----------|------------------------|----------|-------------|---------------|-----|------------|------------|-----------|------------|-----------|---------|-------------------------|
| 挿図 番号 | 図版 番号 | グリッド 日付 | Pno. | 遺構名 | 出土層位 | 種別 | 器種 | 長さ (cm) | 幅 (cm) | 厚さ (cm) | 重量 (g) | 石材 | 備考 |
| 72-5 | 77 | F10 140918 | | 北~東側 排水溝 | 第5遺構面黒 色粘土 | 石器 | 石錘 | 7.0 | 5.9 | 2.0 | 62 | 凝灰岩 | 切目石錘 |
| 72-6 | 77 | G7 141105 | | | 黒灰色粘土 | 石器 | 敲石 | 10.7 | 8.4 | 4.7 | 561 | 安山岩 | 強い敲打痕 |
| 72-7 | 77 | H8 141110 | | | 黒灰色粘質土 | 石器 | 擦石 | (6.5) | (6.5) | (2.5) | 97 | 凝灰岩 | 擦痕 / 敲打痕 / 使用痕顕 著 |
| 72-8 | 77 | H10 141015 | | | 暗青灰色粘質土 | 石器 | | (4.4) | (7.0) | (7.6) | 296 | 安山岩 | |
| 72-9 | 77 | H9 141020 | | | 黒灰色粘質土 | 石製品 | 磨石 | (8.0) | (4.3) | (5.3) | 214 | 安山岩 | 平行線2条全周線刻/呪 術具か |
| 72-10 | 77 | F10 141021 | | | 黒灰色粘質土 | 石器 | 敲石 | (13.2) | (9.5) | (6.0) | 934 | 安山岩 | 面:磨痕/周縁部:敲打 痕 |
| 73-1 | 78 | H9 141112 | 石 2 | 地床炉 107 | 第5遺構面 | 石製品 | 線刻礫 | 8.0 | 4.4 | 3.0 | 89 | 凝灰岩 | 片面:深い直線1条・細 い線刻 |
| 73-2 | 78 | G7 141105 | | | 黒灰色粘質土 | 石製品 | 磨石 | (6.0) | (5.0) | (2.3) | 54 | 凝灰岩 | 磨痕 |
| 73-3 | 78 | G9 141021 | | | 黒灰色粘質土 | 石器 | 敲石 | 13.1 | 4.9 | 2.6 | 173 | 凝灰岩 | |
| 73-4 | 78 | H7 141030 | | | 黒灰色粘質土 | 石製品 | 石棒 | 11.3 | 3.3 | 1.8 | 67 | 凝灰岩 | 敲打痕 / 研磨痕 / 両端: 被熱黒変 |
| 73-5 | 78 | F9 141020 | | | 黒灰色粘質土 | 石製品 | 線刻礫 | 12.0 | 6.9 | 2.1 | 174 | 凝灰岩 | 片面:わずかな線刻/他面:打痕 |
| 73-6 | 77 | H6 141024 | | | 黒灰色粘質土 | 石製品 | 多角柱状 石棒 | 19.8 | 4.9 | 4.2 | 576 | 凝灰岩 | 部分的: 敲打痕 |
| 73-7 | 78 | G8 141117 | 665 | | 第5遺構面 | 石製品 | 線刻礫 | 6.5 | 5.3 | 2.9 | 77 | 凝灰岩 | 片面: わずかな線刻 / 被 熱黒変 |
| 73-8 | 77 | G10 141029 | 619 | | 第5遺構面 | 石製品 | | 8.0 | 9.0 | 7.9 | 586 | 安山岩 | 呪術具か |
| 73-9 | 78 | G9 141128 | | | 暗黒灰色粘質土 | 石製品 | 線刻礫 | 5.6 | 3.3 | 1.3 | 18 | 凝灰岩 | 被熱黒変 |
| 73-10 | 78 | G8 141104 | | | 黒灰色粘質土 | 石器 | 石皿 | (14.9) | (13.7) | (4.9) | 781 | デイサイト | 研磨痕顕著 / 敲打痕 |
| 73-11 | 78 | G6 141028 | 石 23 | | 第4遺構面 | 石器 | 石皿 | 37.7 | 21.5 | 4.4 | 4020 | 凝灰岩 | |
| 78-1 | 84 | G8 141121 | | | 暗黒灰色粘質土 | 石器 | 石鏃 | 2.6 | 1.8 | 0.3 | 1 | ガラス質安山岩 | |
| 78-2 | 84 | G9 141205 | | | 暗黒灰色粘質土 | 石器 | 磨製石斧 | 8.7 | (6.3) | 1.4 | 118 | 泥質片岩 | 刃部:欠損 |
| 78-3 | 84 | G9 141205 | | | 暗黒灰色粘質土 | 石器 | 打製石斧 | 19.7 | 8.0 | 2.3 | 401 | 凝灰岩 | 片面:研磨によるくぼみ |
| 78-4 | 84 | G7 141121 | | | 暗黒灰色粘質土 | 石器 | 打製石斧 | (13.7) | 7.4 | 1.8 | 243 | 流紋岩 | 基部:欠損 |
| 78-5 | 84 | G5 140909 | | 先行トレ ンチ | 黒灰色粘質土 | 石器 | 磨製石斧 | (9.7) | 5.6 | 2.7 | 207 | 緑色片岩 | 未製品 |
| 78-6 | 84 | G9 141205 | | | 暗黒灰色粘質土 | 石器 | 打製石斧 | 17.9 | 4.9 | 1.3 | 161 | 片岩 | |
| 78-7 | 84 | H7 141203 | 973 | | 第6遺構面 | 石器 | 磨製石斧 | 13.6 | 4.4 | 3.3 | 304 | 緑色片岩 | フ部:使用痕/全面:敲 打痕 |
| 78-8 | 84 | G7 141202 | 974 | | 第6遺構面 | 石器 | 磨製石斧 | 11.6 | 3.9 | 2.7 | 186 | 泥質片岩 | 刃部:使用痕わずか |
| 78-9 | 84 | F5 141114 | | | 暗黒灰色粘質土 | 石器 | 石錘 | 14.9 | 8.5 | 2.3 | 316 | 凝灰岩 | 使用痕顕著 |
| 79-1 | 85 | H8 141202 | 972 | | 第6遺構面 | 石器 | 擦石 | 10.7 | 8.8 | 5.2 | 774 | デイサイト | |
| 79-2 | 85 | H8 141202 | 967 | | 第6遺構面 | 石製品 | 磨石 | 10.5 | 6.5 | 5.1 | 322 | 凝灰岩 | 片面:1ヶ所に使用痕集 中 |
| 79-3 | 85 | Н8 | 971 | | 第6遺構面 | 石器 | 擦石 | 14.9 | 11.4 | 7.4 | 1785 | デイサイト | 111 |
| 79-4 | 84 | 141202 F8 | | | 暗黒灰色粘質土 | 石製品 | くぼみ石 | 5.8 | 3.8 | 1.7 | 61 | 斑糲岩 | 全面: 研磨顕著 |
| 79-5 | 85 | 141121 141127 | 石 47 | | 第6遺構面 | 石器 | 擦石 | (14.1) | (10.5) | (7.2) | 1222 | 安山岩 | 全面:研磨顕著/片面: |
| 79-6 | 85 | 141127 | 石 46 | | 第6遺構面 | 石器 | 石核 | 14.8 | 15.4 | 5.3 | 1250 | デイサイト | 強い擦痕 |
| 79-7 | 84 | Н8 | | | 暗黒灰色粘質土 | 石製品 | 磨石 | 7.1 | 5.5 | 2.1 | 79 | 凝灰岩 | 端部:被熱・スス付着 |
| 79-8 | 84 | 141126 G7 141121 | | | 暗黒灰色粘質土 | 石製品 | 石製円盤 | 長径 6.3 | 短径 6.1 | 0.8 | 51 | 頁岩 | |
| 86-1 | 94 | H10 | <u> </u> | SX15 | | 石器 | 石鏃 | 1.7 | 1.2 | 0.3 | 0.5 | ガラス質安山 | 五角形石鏃 |
| | | 141215 | | | | | | | | | | 岩 | |

| 挿図 | 図版 | グリッド | | | | | | | 計測 | 則値 | | | |
|--------|-----|---------------|----------|---------------|--------------|-----|------------|------------|-----------|------------|-----------|-------------|------------------------|
| 番号 | 番号 | 日付 | Pno. | 遺構名 | 出土層位 | 種別 | 器種 | 長さ (cm) | 幅 (cm) | 厚さ (cm) | 重量 (g) | 石材 | 備考 |
| 86-2 | 94 | I9 141222 | | | 暗オリーブ粘質 土 | 石器 | 打製石斧 | (9.3) | (2.2) | (1.1) | 25 | ガラス質安山 岩 | |
| 86-3 | 94 | I9 141222 | | | 暗オリーブ粘質 土 | 石器 | スクレー パー | (9.4) | (5.1) | 1.4 | 107 | デイサイト | |
| 86-4 | 95 | F9 150107 | | SK14 | 第7遺構面 | 石器 | 敲石 | 12.8 | 6.5 | 2.5 | 184 | 凝灰岩 | |
| 86-5 | 95 | G9 141225 | | | 暗オリーブ粘質 土 | 石器 | 石錘 | 9.5 | 7.6 | 3.1 | 257 | 凝灰岩 | |
| 86-6 | 95 | I8 141215 | | | 暗オリーブ粘質 土 | 石製品 | 石棒 | 14.9 | 5.1 | 4.3 | 550 | 泥質片岩 | 全面:細かい敲打痕 |
| 86-7 | 95 | G9 141226 | 石 104 | | 第7遺構面 | 石器 | 擦石 | (6.7) | 9.9 | 6.3 | 684 | 安山岩 | |
| 87-1 | 96 | H7 141226 | 石 89 | | 第7遺構面 | 石器 | 敲石 | 12.6 | 10.4 | 8.6 | 1397 | デイサイト | 敲打痕 / 研磨痕 |
| 87-2 | 96 | H6 150115 | 1056 | | 第7遺構面 | 石器 | 敲石 | 9.5 | 7.6 | 4.6 | 440 | デイサイト | 敲打痕 |
| 87-3 | 96 | G8 141219 | 997 | | 第7遺構面 | 石器 | 擦石 | 9.1 | 7.8 | 6.2 | 604 | 安山岩 | 敲打痕 / 研磨痕 |
| 87-4 | 96 | G8 141226 | 石 75 | | 第6遺構面 | 石器 | 石皿 | (14.4) | (21.2) | (15.2) | 6050 | デイサイト | 大形石皿使用後破砕 |
| 87-5 | 96 | G9 150105 | 石 108 | | 第6遺構面 | 石製品 | 磨石 | 14.4 | 12.4 | 5.9 | 1114 | デイサイト | 半球状磨石を割った後袖 熱か |
| 94-1 | 101 | H8 150109 | | | 暗オリーブ粘質 土 | 石器 | 打製石斧 | 10.6 | 5.8 | 1.8 | 128 | 安山岩 | 小型品 / 刃部: 欠損 |
| 94-2 | 101 | G5 150121 | 1085 | SK25 | 第8遺構面 | 石器 | 打製石斧 | 10.1 | 7.2 | 1.4 | 109 | 安山岩 | 小型品 |
| 94-3 | 101 | I6 150108 | | | 青灰色粘質土 | 石器 | 打製石斧 | (9.4) | 5.9 | 2.3 | 134 | 安山岩 | 全面:鉄分付着/未製品 の破損品 |
| 94-4 | 101 | G10 150129 | 1283 | | 第8遺構面 | 石器 | 打製石斧 | 12.6 | 5.4 | 2.1 | 188 | 流紋岩 | 刃部:欠損 |
| 94-5 | 101 | I9 150129 | 1517 | | 第8遺構面 | 石器 | 敲石 | 10.6 | 8.1 | 4.5 | 651 | デイサイト | |
| 94-6 | 101 | G8 150128 | | | 青灰色粘質土 | 石製品 | 線刻礫 | 8.3 | 4.9 | 2.1 | 76 | 凝灰岩 | 片面:線刻画 |
| 100-1 | 109 | G11 140919 | | | 第7層黒色粘質 | 石器 | スクレーパー | (5.6) | (4.1) | 1.1 | 22 | ガラス質安山岩 | |
| 100-2 | 109 | G10 150130 | 1558 | | 第8遺構面 | 石製品 | 磨石 | 6.8 | 3.6 | 2.6 | 62 | 凝灰岩 | |
| 100-3 | 109 | G9 150128 | 1132 | | 第8遺構面 | 石器 | 磨製石斧 | 14.4 | 6.0 | 3.0 | 375 | 緑色片岩 | 使用痕顕著 |
| 100-4 | 109 | G10 150129 | 1443 | | 第8遺構面 | 石器 | 打製石斧 | (6.3) | (7.1) | 1.4 | 68 | デイサイト | |
| 100-5 | 109 | G10 150129 | 1282 | | 第8遺構面 | 石器 | 磨製石斧 | 14.8 | 4.7 | 3.9 | 405 | 塩基性片岩 | 敲打痕 / 刃部 : 使用によ る欠損 |
| 100-6 | 109 | G10 150129 | 1486 | | 第8遺構面 | 石器 | 磨製石斧 | (11.9) | (4.5) | 3.2 | 239 | 緑色片岩 | 刃部:欠損 |
| 100-7 | 109 | G10 150129 | 1393 | | 第8遺構面 | 石器 | 石錘 | 5.4 | 4.1 | 2.1 | 68 | デイサイト | |
| 100-8 | 109 | G10 150129 | 1223 | | 第8遺構面 | 石器 | 擦石 | (9.6) | (4.8) | (5.6) | 285 | 安山岩 | 研磨痕 / 被熱破砕 |
| 100-9 | 109 | G10 150129 | 1341 | | 第8遺構面 | 石器 | 敲石 | 11.3 | 8.9 | 3.5 | 618 | 砂岩 | 敲打痕 / 磨痕 |
| 100-10 | 109 | G10 150129 | 1239 | | 第8遺構面 | 石製品 | 磨石 | 9.4 | 8.5 | 3.9 | 461 | 安山岩 | 呪術具か |
| 100-11 | 109 | G10 150129 | 1510 | | 第8遺構面 | 石器 | 石皿 | 32.9 | 24.4 | 7.8 | 8460 | 流紋岩 | 部分的被熱黒変 |
| 107-1 | 120 | 150129 | | 9 ライン 下層 | | 石器 | 磨製石斧 | (10.7) | (5.7) | 4.3 | 389 | 塩基性片岩 | 敲打痕 / 刃部: 欠損 |
| 107-2 | 120 | 150129 | | 9 ライン 下層 | | 石器 | 敲石 | 11.1 | 8.8 | 4.7 | 682 | 安山岩 | 敲打痕 / 研磨痕 |
| 107-3 | 120 | | 1245 | 9 ライン トレンチ | | 石器 | 石核 | 11.4 | 14.2 | 8.4 | 1269 | 玉髄 | |
| 109-1 | 124 | 140905 | | / | 北側排水路 | 石器 | 石鏃 | (1.7) | 1.7 | 0.1 | 0.65 | ガラス質安山岩 | 先端:欠損 |
| 109-2 | 123 | 140909 | | 5~8ラ イン間 | 北側排水路 | 石器 | 打製石斧 | 13.4 | 6.3 | 1.7 | 177 | 塩基性片岩 | 刃部:使用による摩滅 |
| 109-3 | 123 | 140725 | | 1 ~ 141 | 北側排水路 | 石器 | 磨製石斧 | (11.2) | 5.5 | 2.5 | 203 | 緑色片岩 | 未製品/破損品/片面: 敲打痕集中 |
| 109-4 | 123 | 140708 | | 7 ライン トレンチ | | 石器 | 打製石斧 | (8.7) | 4.5 | 2.1 | 145 | 塩基性片岩 | 刃部:使用による欠損 |

第5章 総 括

| 挿図 | 図版 | グリッド | | | | | | | 計 | 則値 | | | |
|--------|-----|----------------|------|----------------|-------|-----|------|------------|-----------|------------|-----------|------|---------------------|
| 番号 | 番号 | 日付 | Pno. | 遺構名 | 出土層位 | 種別 | 器種 | 長さ (cm) | 幅 (cm) | 厚さ (cm) | 重量 (g) | 石材 | 備考 |
| 109-5 | 123 | 140708 | | 7 ライン トレンチ | | 石器 | 打製石斧 | 14.9 | (7.2) | 2.5 | 276 | 泥質片岩 | 刃部: 欠損 |
| 109-6 | 123 | G5 140910 | | | 西側排水溝 | 石器 | 打製石斧 | 14.9 | 6.8 | 3.7 | 394 | 流紋岩 | 未製品か |
| 109-7 | 123 | 141028 | | 5~7ラ イン間 | 北側排水溝 | 石器 | 打製石斧 | 10.3 | (5.6) | 2.0 | 129 | 流紋岩 | 未製品の欠損品 |
| 109-8 | 124 | G·H8 140917 | | 9 ライン トレンチ | | 石器 | 石錘 | 5.6 | 4.9 | 1.2 | 27 | 凝灰岩 | |
| 109-9 | 123 | 150128 | | 9 ライン トレンチ | | 石製品 | くぼみ石 | 11.4 | 8.6 | 6.0 | 591 | 安山岩 | 全体的:被熱赤・黒変・ ヒビ割れ |
| 109-10 | 123 | G5 140910 | | | 西側排水溝 | 石器 | 擦石 | 8.6 | 7.5 | 4.6 | 307 | 安山岩 | |
| 109-11 | 123 | 140909 | | | 北側排水溝 | 石製品 | 線刻礫 | 8.1 | 6.4 | 4.3 | 196 | 凝灰岩 | 片面:不定方向の直線線 刻 |
| 110-1 | 123 | 140916 | | 9 ライン トレンチ | 第5遺構面 | 石製品 | 石棒 | 17.3 | 4.5 | 2.6 | 212 | 凝灰岩 | 敲打痕 / 磨痕わずか |
| 110-2 | 124 | 141028 | | F ~ H ラ イン間 | 西側排水溝 | 石製品 | 呪術具 | 6.2 | 5.5 | 1.2 | 41 | 凝灰岩 | 端部: スス付着 |

| 任 [5] | 1204 (TC; | ₩11 1° | | 事様力 | | | 計測値 | | | |
|--------------|-----------|--------------|------|--------------|--------|------------|-----------|------------|-----|---------------|
| 挿図 番号 | 図版 番号 | グリッド 日付 | Pno. | 遺構名・ 出土層位 | 種別 | 長さ (cm) | 幅 (cm) | 厚さ (cm) | 木取り | 備考 |
| 23-12 | 20 | 140710 | 65 | SK02 | 杭か | (28.7) | 5.6 | 3.2 | 柾目 | |
| 28-1 | 27 | 140807 | 11 | SK01 | 木棺墓・部材 | 101.4 | 22.4 | 3.3 | 柾目 | 南側板 |
| 28-2 | 27 | 140821 | 22A | SK01 | 木棺墓・杭 | 65.9 | 7.0 | 3.6 | 柾目 | |
| 28-3 | 27 | 140821 | 21 | SK01 | 木棺墓・杭 | (62.4) | 5.7 | 4.2 | 柾目 | |
| 28-4 | 28 | 140821 | 20 | SK01 | 木棺墓・杭 | 73.2 | 3.6 | 2.3 | 柾目 | |
| 28-5 | 28 | 140807 | 8 | SK01 | 木棺墓・杭 | 67.7 | 5.9 | 3.0 | 柾目 | |
| 28-6 | 29 | 140807 | 7 | SK01 | 木棺墓・杭 | 61.5 | 4.0 | 3.2 | 柾目 | |
| 28-7 | 29 | 140807 | 6 | SK01 | 木棺墓・杭 | 60.6 | 7.6 | 1.9 | 柾目 | |
| 29-1 | 27 | 140807 | 4 | SK01 | 木棺墓・部材 | (29.6) | (8.7) | 1.8 | 板目 | 蓋板 |
| 29-2 | 28 | 140807 | 12 | SK01 | 木棺墓・部材 | 45.0 | 23.0 | 1.8 | 柾目 | 西小口板 |
| 29-3 | 28 | 140814 | 13 | SK01 | 木棺墓・部材 | 49.3 | 26.6 | 2.6 | 柾目 | 東小口板 |
| 29-4 | 27 | 140807 | 14 | SK01 | 木棺墓・部材 | 104.1 | 25.2 | 2.8 | 柾目 | 北側板 |
| 30-1 | 29 | 140807 | 10 | SK01 | 木棺墓・杭 | 61.8 | 3.7 | 3.3 | 柾目 | |
| 30-2 | 29 | 140807 | 9 | SK01 | 木棺墓・杭 | 25.9 | 5.7 | 2.2 | 柾目 | 西小口内側中央杭 / 墓標 |
| 30-3 | 30 | 140703 | 19 | SK01 | 木棺墓・部材 | 51.8 | 25.5 | 2.5 | 柾目 | 底板 |
| 30-4 | 30 | 140814 | 18 | SK01 | 木棺墓・部材 | 43.5 | 27.4 | 2.3 | 板目 | 底板 |
| 30-5 | 29 | 140807 | 2 | SK01 | 木棺墓・桟 | 73.5 | 6.1 | 2.5 | 柾目 | |
| 31-1 | 29 | 140807 | 3 | SK01 | 木棺墓・桟 | (79.9) | 8.2 | 1.9 | 柾目 | 一部欠損 |
| 31-2 | 29 | 140807 | 1 | SK01 | 木棺墓・桟 | 44.3 | 8.4 | 2.6 | 柾目 | |
| 70-5 | 75 | 141216 | | SD04 | 芯持材 | 43.2 | 8.7 | 4.5 | | 両端:粗い切断痕 |
| 93-1 | 101 | F5 150121 | 杭 01 | 第8遺構面 | 柱根 | (25.5) | 直径 15.6 | | 芯持ち | 一部欠損 |
| 93-2 | 101 | G5 150121 | 杭 02 | 第8遺構面 | 柱根 | (16.8) | 直径 (15.9) | | 芯持ち | 一部欠損 |

| 挿図 番号 | | Pno. | グリッ ド日付 | 遺構名 | 出土 層位 | | 器種 | 口径 | 最大 径 | 器高 | 底径 | 調整及び手法 | 胎土 | 焼成 | | 備考 |
|----------|---|------|------------------|------|-----------|----------|----|--------|---------|----|--------|------------------------------------------------------------------|-----------------------|----|--------------------------------------------|------------------------------|
| 12-2 | 8 | | 140702 | SD01 | 褐色砂 礫層 | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外) 貼付刻目 突帯・ナデ (内) ナデ | 白色小砂粒わず かに含む | 良好 | (外)赤黒 2.5YR2/1 (内)赤黒 2.5YR2/1 | |
| 12-3 | 8 | | 140702 | SD01 | 褐色砂 礫層 | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外) 突帯・ナ デ (内) ナデ | 白色小砂粒やや 多く含む | 良好 | (外) 黒褐 10YR3/2 (内) 黄灰 2.5Y6/1 | 内面:鉄分付着 |
| 12-4 | 8 | | H8 140818 | SD01 | | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外) 刻目突帯 ・丁寧なナデ (内) 条痕・摩 滅 | 1 ~ 4mm白色砂 粒含む | 良好 | (外)黒褐 2.5Y3/2 (内)にぶい黄橙 10YR6/3 | |
| 12-5 | 8 | | 140627 | SD01 | | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)口縁端部 折曲げ・条痕 (内)ナデ・条 痕 | 1㎜以下白色砂 粒やや多く含む | 良好 | (外)暗赤褐 5YR3/2 (內)赤黒 2.5YR2/1 | |
| 12-6 | 8 | | 140708 | SD01 | | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外) 竹管状刺 突突帯・ヨコ方 向ナデ (内) ヨコ方向 ナデ | l | 良好 | (外)灰褐 7.5YR4/2 (内)灰黄褐 10YR4/2 | 外面:被熱 黒変 |
| 12-7 | 8 | | H • I7 140701 | SD01 | | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)条痕・刻 目突帯・条痕後 ナデ (内) ヨコ方向 条痕後ナデ | | 良好 | (外)灰褐 7.5YR6/2 (内)灰褐 7.5YR5/2 | 外面: スス 付着 |
| 12-8 | 8 | | H • I7 140701 | SD01 | | 縄文 土器 | 深鉢 | (16.6) | (16.8) | | | (外)口縁端部 強い砂粒移動・ 刻目突帯・斜め 方向条痕後ナデ (内)ナデ・条 痕 | 1 ~ 2mm白色砂 粒含む | 良好 | (外) 褐 10YR4/6 (内) 灰黄褐 10YR6/2 | |
| 12-9 | 8 | | 140702 | SD01 | 褐色砂 礫層 | 縄文 土器 | 浅鉢 | (23.8) | | | | (外)ナデ・ヨ コ方向ミガキ (内)ヨコ方向 ミガキ | 白色小砂粒含む | 良好 | (外)灰白 10YR8/2 (内)黒 2.5GY2/1 | 内面: 黒色 化処理 |
| 13-1 | 9 | | 150702 | SD01 | 褐色砂礫層 | 弥生 土器 | 壺 | | (13.8) | | | (外)有軸木葉 文・直線文4条 ・ヨコ方向ミガ キ (内)ナデ | l | 良好 | (外)灰白 2.5Y8/2 (内)黄灰 2.5Y5/1 | |
| 13-2 | 9 | | 140704 | SD01 | 褐色砂 礫層 | 弥生 土器 | 壺 | | | | | (外) ミガキ後 直線文2段(2・3 条)・山形文2 段 (内) 粗いミガ キ | l | 良好 | (外) にぶい黄橙 10YR6/3 (内) 灰黄 2.5Y7/2 | |
| 13-3 | 9 | | 140722 | SD01 | | 弥生 土器 | 壺 | | (21.6) | | | | | | (外)灰白 2.5Y8/1 (内)淡黄 2.5Y8/3 | |
| 13-4 | 9 | 104 | 140807 | SD01 | | 弥生 土器 | 壺 | | | | | | 1 ~ 3mm白色砂 粒多く含む | 良好 | (外)灰白7.5Y7/1 (内)灰白5Y8/1 | 大形壺 |
| 13-5 | 9 | 61 | H7 140704 | SD01 | 褐色砂 礫層 | 弥生 土器 | 底部 | | | | (10.0) | , . | 1 ~ 2mm白色砂 粒やや多く含む | 不良 | (外)橙 5YR7/6 (内)にぶい黄橙 10YR6/4 | |
| 13-6 | 9 | 28 | 140701 | SD01 | 褐色砂 礫層 | 弥生 土器 | 甕 | (22.8) | (21.6) | | | (外) ヨコナデ ・タテ方向ハケ 目 (内) ヨコナデ ・指頭圧痕・ヨ コ方向ハケ目後 ナデ | 2mm以下白色砂 粒含む | 良好 | (外)にぶい褐 7.5YR6/3 (内)にぶい黄橙 10YR7/4 | 粘土接合 部剥離 / 外面:スス 付着 |
| 13-7 | 9 | 26 | 140701 | SD01 | 褐色砂 礫層 | 弥生 土器 | 甕 | (20.0) | (18.0) | | | (外) ヨコナデ ・タテ方向ハケ 目・ハケ目原体 段 (内) ヨコナデ ・斜め方向ナデ | 2mm白色砂粒多 く含む | 良好 | (外) にぶい黄橙 10YR6/3 (内) 灰白 2.5YR8/2 | 外面: スス 付着 |

| 挿図 番号 | 図版 番号 | Pno. | グリッ ド日付 | 遺構名 | 出土 層位 | 種別 | 器種 | 口径 | 最大 径 | 器高 | 底径 | 調整及び手法 | 胎土 | 焼成 | 色調 | 備考 |
|-----------|----------|--------------|----------------------------------|------|-----------|----------------|----|--------|---------|------|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|------------------------------------------------------|--------------|
| 13-8 | | 26 | 140701 | SD01 | 褐色砂礫層 | 弥生 土器 | 甕 | (29.2) | (27.4) | | | (外) ヨコナデ ・指頭圧痕・斜 め方向ハケ目・ ハケ目原体段 (内) ヨコナデ ・ナデ・指頭圧 痕 | 2mm白・灰・赤 色砂粒やや多く 含む | 良好 | (外) 淡橙 5YR8/4 (内) 橙 5YR7/8 | |
| 13-9 | 9 | | H • I7 140701 | SD01 | | 弥生 土器 | 甕 | (27.0) | (25.0) | | | (外) ヨコナデ・ハケ目原体段・タテ方向ハケ目(内) ヨコナデ・摩滅 | 2mm赤色砂粒や や多く含む | 良好 | (外) 橙 2.5YR6/6 (内) 灰白 10YR8/2 | |
| 13- 10 | | | H • I7 140701 | SD01 | | 弥生 土器 | 甕 | (27.0) | | | | (外) 口縁頂部 | 1 ~ 2mm白色砂 粒やや多く含む | 良好 | (外)浅黄橙 10YR8/3 (内)浅黄橙 10YR8/3 | |
| 15-2 | -2 14 | | 140625 | SX01 | | 弥生 土器 | 壺 | (16.0) | | | | (外)摩滅(内)ミガキ・斜め方向ハケ目 | 1 ~ 2mm白色砂 粒やや多く含む | 良好 | (外) 明黄褐 10YR7/6 (内) 橙 7.5YR7/6 | 口縁部:ス ス付着 |
| 15-3 | 14 | 29 ~ 31 | 140701 | SX01 | | 弥生 土器 | 壺 | | (29.2) | | | (外)段・有軸 羽状文2段・摩 滅 (内)ミガキ・ 摩滅 | 1 ~ 2mm白色砂 粒多く含む | 良好 | (外) 橙 7.5YR7/6 (内) 橙 5YR7/8 | |
| 15-4 | 14 | 30 · 34 ~ 36 | 140701 | SX01 | | 弥生 土器 | 甕 | (39.8) | (35.6) | | | (外) 口縁端部 羽状文 2条・沈 線 2段 (2・1条) 間刺突文 2段・ ハケ目 (内) ヨコナデ・ヘラケズリ | | 良好 | (外) 浅黄橙 10YR8/4 (内) 浅黄橙 10YR8/4 | |
| 15-5 | 14 | | 140627 | SX01 | | 弥生 土器 | 甕 | (11.0) | (9.0) | | | (外) ヨコナデ ・タテ方向ハケ 目 (内) ヨコナデ ・ヨコ方向ハケ | 3㎜白色砂粒多く含む | 良好 | (外)灰 2.5Y8/2 (内)浅黄橙 10YR8/3 | 外面:被熱 黒変 |
| 15-6 | 14 | 25 | H9 140619 140625 140626 | SX01 | 灰色粘 質土 | 弥生 土器 | 底部 | | | | 7.7 | (外)摩滅 (内)ナデ | 赤色砂粒わず か、5mm以下白 色砂粒非常に多 く含む | 良好 | (外) 明黄褐 10YR7/6 (内) にぶい橙 5YR7/4 | 外内面:強 く被熱 |
| 15-7 | 14 | 25 | Н9 140619 | SX01 | 灰色粘 質土 | 弥生 土器 | 底部 | | | | (5.1) | (外) タテ方向 ハケ目・粗いナ デ (内) ナデ | 5mm小石、白・ 赤色小砂粒多く 含む | 良好 | (外) 黒 10YR2/1 (内) にぶい黄橙 10YR7/3 | |
| 17-4 | 15 | | 140627 | SX02 | | 弥生 土器 | | (21.0) | | | | | 1~3mm白色砂 粒多く含む | 良好 | (外)赤橙 10R6/8 (内)赤 10R5/8 | |
| 17-5 | 15 | | G10 140630 | SX02 | | 水生 土器 | _ | (21.6) | | | | (外) 摩滅・段 (内) 摩滅 | 1~4mm自色砂 粒多く含む | 良好 | (外)浅黄橙 10YR8/4 (内)浅黄橙 10YR8/3 | |
| 17-6 | 15 | | G10 140630 140704 | SX02 | | 弥生 土器 | 甕 | 15.2 | 14.2 | 18.8 | 6.5 | (外) 沈線 1 条 ・ハケ目 (内) ヨコ方向 ハケ目・摩滅 | 利率 (含む) (含む) (含む) (含む) (含む) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた) (できまた | 良好 | (外)赤褐10R5/3 (外)赤褐10R5/3 (内)橙5YR6/6 | |
| 17-7 | 15 | | G10 140630 | SX02 | | 弥生 土器 | 甕 | (15.6) | (13.4) | | | (外) ヨコナデ・摩滅(内) ヨコナデ・摩滅 | 1~3mm白色砂 粒多く含む | 良好 | (外) 橙 5YR7/6 (内) 灰黄 2.5Y7/2 | 全面:被熱 赤黒変 |
| 17-8 | 3 15 | | F•G10 140703 | SX02 | | 弥生 土器 | 底部 | | | | 7.4 | (外)摩滅 (内)摩滅 | 3㎜以下砂粒多く含む | 良好 | (外)赤褐 10R5/4 (内)にぶい赤橙 10R6/4 | |
| 17-9 | 15 | | F • G10 140623 | SX02 | | 弥生 土器 | 底部 | | | | 8.6 | (外)摩滅 (内)摩滅 | 3mm以下白色砂 粒多く含む | 良好 | (外)橙 5YR6/8 (内)橙 5YR6/6 | |
| 17- 10 | 15 | 48 | F10 140703 | SX02 | | | 底部 | | | | (9.2) | (外) 摩滅 (内) 摩滅 | 2mm白色小砂粒 多く含む | 良好 | (外)橙5YR7/6 (内)橙5YR7/8 | |
| 17- | 15 | | F • G10 | SX02 | | 弥生 | 底部 | | | | 7.5 | (外)摩滅 | 3mm以下砂粒多 | 良好 | (外)淡赤橙 2.5YR7/4 | |
| 20-1 | 17 | | 140627 F8 140610 | | 灰色粘質土 | 土器 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (内)摩滅(外)口縁端部刻目突帯・直線文2条(内)摩滅 | く含む 1m自色小砂粒 多く含む | 良好 | (内) 橙 2.5YR6/8 (外) 明黄褐 10YR7/6 (内) 灰黄褐 10YR6/2 | |
| 20-2 | 17 | | G10 140620 | | 灰色粘 質土 | 縄文 土器 | 浅鉢 | | | | | (外)口縁端部 刻目突帯・摩滅 (内)摩滅 | 2mm白・灰色砂 粒含む | 良好 | (外) 褐灰 7.5YR6/1 (内) 橙 7.5YR6/6 | 外面:被熱 黒変 |

| 挿図 番号 | 図版 番号 | Pno. | グリッ ド日付 | 遺構名 | 出土 層位 | 種別 | 器種 | 口径 | 最大 径 | 器高 | 底径 | 調整及び手法 | 胎土 | 焼成 | 色調 | 備考 |
|-----------|----------|------|------------------------|--------------|-----------|----------|----|--------|---------|------|-----|-----------------------------------------------------------|----------------------------|----|----------------------------------------|-----------------------|
| 20-3 | 17 | | H8 140616 | | 灰色粘 質土 | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)貼付竹管 状刺突突帯・ナ デ (内)条痕後ナ デ | 5m以下白色砂 粒含む | 良好 | (外)暗褐 10YR3/3 (内)褐 10YR4/4 | |
| 20-4 | 17 | | G10 140620 | | 灰色粘質土 | 縄文土器 | 深鉢 | | | | | (外) ヨコ方向 条痕・竹管状刺 突突帯・条痕 (内) ヨコ方向 条痕 | 1㎜以下白色小砂粒多く含む | 良好 | (外) 褐 7.5YR4/3 (内) 黒褐 7.5YR2/2 | 波状口縁 が 外面:スス 付着 |
| 20-5 | 17 | | H9 140617 | | 灰色粘 質土 | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)口縁端部 刻目・巻貝条痕 (内)巻貝条痕 | 白色小砂粒含む | 良好 | (外)褐7.5YR4/4 (内)明褐7.5YR5/6 | |
| 20-6 | 17 | | F8 140610 | | 灰色粘 質土 | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)無刻突帯 ・ナデ (内)ヨコ方向 条痕 | 1㎜以下白色砂 粒やや多く含む | 良好 | (外) 灰褐 5YR5/2 (内) にぶい赤褐 5YR4/4 | |
| 20-7 | 17 | | G6 140603 | | 黄褐色シルト | | 壺 | (28.4) | (27.6) | | | (外)口縁部折曲げ・2枚貝条痕 (内)斜め方向 | 2mm以下白色砂 粒多く含む | 良好 | (外)浅黄 2.5Y7/4 (内)にぶい黄褐 10YR5/3 | |
| 20-8 | 17 | | G10 140620 | | 灰色粘質土 | 縄文土器 | 壺 | | (19.4) | | | 条痕 (外) 突帯・直 線文2条 (内) 摩滅 | 自色小砂粒含む | 良好 | (外) 明黄褐 10YR7/6 (内) 黒褐 2.5Y3/2 | |
| 20-9 | 17 | | H8 140613 | | 灰色粘質土 | 弥生 土器 | 甕 | (28.2) | | | | (外) ヨコ・斜 め方向ハケ目後 ナデ (内) 口縁頂部 刺突文・ナデ | 1 ~ 2mm白色砂 粒やや多く含む | 良好 | (外)淡橙 5YR8/4 (内)橙 5YR6/8 | 口縁部:被 熱黒 |
| 20- 10 | 16 | 24 | G9 140619 | | 灰色粘 質土 | 土器 | | | (32.4) | | | (外) ヨコ方向 ミガキ・直線文 1条 (内) 摩滅 | 2m以下砂粒多 く含む | 良好 | (外) 明黄褐 10YR7/6 (内) 明黄褐 10YR7/6 | 1 |
| 20- 11 | 16 | | G9 140624 | | 暗灰黄 色土 | 弥生 土器 | 底部 | | | | 7.7 | (外)タテ方向 ハケ目 (内)摩滅 | 1 ~ 4mm白・赤 色砂粒多く含む | 良好 | (外)橙7.5YR7/6 (内)黄橙7.5YR8/8 | |
| 23-1 | 19 | | H6 140709 | SK02 | | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)口縁頂部 刻目・端部刻目 突帯・ナデ (内)ナデ | 1㎜以下白色砂 粒やや多く含む | 良好 | (外)灰褐 5YR5/2 (内)灰褐 5YR5/2 | 刻目:鋸歯 状 |
| 23-2 | 19 | | H6 140709 | SK02 | | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)口縁頂部 刻目・端部刻目 突帯・ナデ (内)ナデ | 1mm以下白色砂 粒多く含む | 良好 | (外)灰褐7.5YR5/2 (内)黒褐2.5Y3/1 | |
| 23-3 | 19 | | H6 140709 | SK02 | | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | | 1mm白色砂粒多 く含む | 良好 | (外)褐灰 7.5YR5/1 (内)褐灰 7.5YR5/1 | |
| 23-4 | 19 | 67 | H6 140710 | SK02 | | 弥生 土器 | | 9.1 | | | | (外)摩滅・段 (内)摩滅 | 3mm以下砂粒含 む | 良好 | (外)灰白 10YR8/1 (内)黒 10YR2/1 | |
| 23-5 | 19 | | H6 140709 | SK02 南 水路 | 青灰色 砂層 | 弥生 土器 | 壺 | | | | | (外)ナデ・ヘ ラ描き線刻 (内)ナデ・摩 滅 | 1 ~ 2mm白色砂 粒やや多く含む | 良好 | (外)褐7.5YR4/4 (内)にぶい黄褐 7.5YR4/3 | 外面:線刻 絵画か |
| 23-6 | 19 | 69 | H6 140710 | SK02 | | 弥生 土器 | 底部 | | | | 7.2 | (外) ヨコ方向 ミガキ・ナデ (内) 摩滅 | 1 ~ 5mm白色砂 粒非常に多く含 む | 良好 | (外)明黄褐 10YR7/6 (内)灰褐 5YR5/2 | 外面:被熱 黒変 |
| 23-7 | 19 | 68 | H6 140710 | SK02 | | 弥生 土器 | 鉢 | (10.1) | 9.4 | 11.0 | 6.2 | (外) ヨコナデ ・タテ方向ハケ 目 (内) ヨコナデ ・ヨコ方向ハケ 目・指頭圧痕 | 1 ~ 3mm白・赤 色砂粒多く含む | 良好 | (外) 橙 2.5YR7/6 (内) 橙 2.5YR7/6 | 外面:被熱 黒変・ス ス付着 |
| 23-8 | 20 | 74 | H6 140709 140710 | SK02 | | 弥生 土器 | 甕 | (15.8) | (14.4) | | | (外) ヨコナデ ・タテ方向ハケ 目 (内) ヨコナデ ・ヨコ方向ハケ | 4㎜以下砂粒含む | 良好 | (外) 赤褐 10YR4/4 (内) にぶい橙 7.5YR6/4 | |
| 23-9 | 20 | 72 | H2 140709 140710 | SK02 | | 弥生 土器 | | | 18.4 | | 6.8 | 目 (外)タテ方向 ハケ目・ナデ (内)摩滅 | 4mm以下砂粒含 む | 良好 | (外)浅黄橙 10YR8/4 (内)浅黄橙 7.5YR8/4 | |

| 挿図 番号 | 図版 番号 | Pno. | グリッ ド日付 | 遺構名 | 出土層位 | 種別 | 器種 | 口径 | 最大 径 | 器高 | 底径 | 調整及び手法 | 胎土 | 焼成 | 色調 | 備考 |
|-----------|----------|------|------------------|------|-----------|----------|----|--------|---------|-----|--------|----------------------------------------------------------------------------|------------------------------|----|---------------------------------------------------|--------------------------|
| 23- 10 | 19 | | H6 140709 | SK02 | 7812 | 弥生 土器 | 底部 | | 122 | | 9.3 | (外)ナデ・底 面未調整 (内)ナデ | 4㎜以下砂粒含む | 良好 | (外) にぶい橙 7.5YR7/4 (内) にぶい褐 7.5YR6/3 | 外面: 黒斑 / 内面: ス ス付着 |
| 23- 11 | 19 | 70 | H6 140710 | SK02 | | 弥生 土器 | 底部 | | | | 10.0 | (外)ナデ (内)ナデ・磨 滅 | 3㎜以下砂粒含む | 良好 | (外) にぶい黄褐 10YR5/3 (内) 褐灰 7.5YR5/1 | 外面: スス 付着 |
| 32-1 | 30 | | Н8 | SK01 | SK01 H | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外) 口縁頂部 刻目・端部刻目 突帯・タテ方向 ナデ (内) ヨコ方向 ナデ | 2mm以下砂粒含 む | 良好 | (外) 黑褐 10YR3/1 (内) 黒 2.5Y2/1 | |
| 32-2 | 30 | | H8 140818 | SK01 | SK01 G | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)無刻突帯 ・ヨコ方向ナデ (内)ヨコ方向 ナデ | 2mm以下砂粒含む | 良好 | (外)灰白 2.5Y8/2 (内)黒 2.5Y2/1 | 2条突带 |
| 35-1 | 33 | 49 | H7 140702 | | 褐色砂 礫層 | 弥生 土器 | 蓋 | (13.8) | | 5.4 | | (外)ナデ・磨 滅 (内)ナデ | 1 ~ 2mm白・橙 色砂粒非常に多 く含む | 良好 | (外)橙5YR7/8 (内)橙5YR7/8 | 下方 : 刺突 穿孔 2 ヶ 所 |
| 35-2 | 33 | | H6 140728 | | 暗灰黄 色土 | 弥生 土器 | 壺 | | | | | (外)ミガキ・ヘラ描き線刻(内)ナデ | 1 ~ 2mm白色砂 粒やや多く含む | 良好 | (外) 赤灰 2.5YR4/1 (内) にぶい橙 5YR6/3 | 外面:線刻 絵画か |
| 35-3 | 33 | | H5 140728 | | 暗灰黄 色土 | 弥生 土器 | 壺 | | | | | (外)ナデ・ミ ガキ・ヘラ描き 線刻 (内)ヨコナデ | 2mm白色砂粒や や多く含む | 良好 | (外) 灰黄褐 10YR6/2 (内) にぶい黄橙 10YR6/3 | 外面:線刻 絵画か |
| 35-4 | 33 | | I9 140728 | | 暗灰黄 色土 | 弥生 土器 | 壺 | | | | | (外)ミガキ・ ヘラ描き線刻 (内)ヨコ方向 ハケ目 | 1㎜白色砂粒含 む | 良好 | (外) にぶい黄橙 10YR6/3 (内) 灰黄褐 10YR4/2 | 外面:沈線 状連弧文 |
| 35-5 | 33 | | F9 140808 | | 暗灰黄 色土 | 弥生 土器 | 壺 | | | | | (外)貼付無刻 突帯2条・ナデ (内)ナデ | 白色小砂粒やや 多く含む | 良好 | (外)橙 5YR7/8 (内)橙 5YR6/8 | 2条突带 |
| 35-6 | 33 | | H10 140729 | | 暗灰黄 色土 | 弥生 土器 | 壺 | (18.6) | | | | (外) ヨコナデ・貼付無刻突帯(内) ヨコ方向ミガキ・ナデ | 白色小砂粒非常 に多く含む | 良好 | (外)浅黄橙 7.5YR8/4 (内) 灰黄 2.5YR6/2 | |
| 35-7 | 33 | | G11 140630 | SD02 | 褐色砂 礫層 | 弥生 土器 | 甕 | (20.9) | (19.8) | | | (外)摩滅 (内)摩滅 | 1~2mm白色砂 粒多く含む | 良好 | (外)暗赤褐 5YR5/6 (内)橙 7.5YR6/6 | |
| 35-8 | 34 | | 140725 | SD02 | | 弥生 土器 | 甕 | (21.6) | (21.6) | | | (外) ヨコナデ ・タテ方向ハケ 目 (内) ヨコナデ ・斜め方向ハケ | 1~2㎜灰色砂 粒含む | 良好 | (外) にぶい黄褐 10YR5/3 (内) にぶい黄橙 10YR7/3 | |
| 35-9 | 33 | | F10 140630 | SD02 | 褐色砂 礫層 | 弥生 土器 | 甕 | (21.0) | (26.0) | | | (外) ヨコナデ ・斜め方向ハケ 目 (内) ヨコナデ ・ヨコ方向ハケ 目 | 白色小砂粒含む | 良好 | (外) にぶい橙 5YR6/4 (内) 橙 5YR6/8・褐 灰 10YR4/1 | |
| 35- 10 | 34 | | 140725 | SD02 | | 弥生 土器 | 甕 | (31.8) | (30.2) | | | (外) ヨコナデ | 1 ~ 2mm灰色砂 粒わずかに含む | 良好 | (外)灰白 2.5Y8/1 (内)灰白 2.5Y8/2 | |
| 35- 11 | 35 | | H • I8 140801 | | 暗灰黄 色土 | 弥生 土器 | 甕 | (33.2) | (31.4) | | | (外) ヨコナデ・摩滅(内) ヨコナデ・摩滅 | 2mm白色砂粒非常に多く含む | 良好 | (外) 灰白 2.5GY8/1 (内) 明オリーブ灰 5GY7/1 | 頸部外面: 被熱黒変 |
| 35- 12 | 34 | | 140725 | SD02 | | 弥生 土器 | 底部 | | | | (9.2) | (外) タテ方向 ハケ目・ナデ (内) ヨコ方向 ハケ目 | 白・灰色砂粒含む | 良好 | (外)橙7.5YR7/6 (内)橙7.5YR6/6 | |
| 35- 13 | 34 | 83 | I6 140714 | | | 弥生 土器 | 底部 | | | | (10.8) | (外) タテ方向 ハケ目・ナデ (内) ナデ | | | (外)灰白 2.5Y8/2 (内)黒褐 2.5Y3/2 | |
| 35- 14 | 34 | | G9 140805 | | 暗灰黄 色土 | 土器 | | | | | | (外)タテ方向 ハケ目(内)摩滅 | 赤色小砂粒やや 多く含む | | (外) 橙 5YR6/6 (内) にぶい赤褐 2.5YR4/3 | |
| 35- 15 | 34 | 85 | G8 140714 | | 第2遺 構面 | 弥生 土器 | 底部 | | | | (8.6) | (外) タテ方向 ハケ目・ナデ (内) ナデ | 3㎜以下砂粒多く含む | 良好 | (外) にぶい橙 7.5YR7/4 (内) 灰黄褐 10YR5/2 | |

| 挿図 番号 | 図版 番号 | Pno. | グリッ ド日付 | 遺構名 | 出土 層位 | 種別 | 器種 | 口径 | 最大 径 | 器高 | 底径 | 調整及び手法 | 胎土 | 焼成 | 色調 | 備考 |
|-----------|----------|------|------------------------|--------|-----------------|----------|----|--------|---------|----|-------|------------------------------------------------------------------------|------------------------------|----|----------------------------------------------|--------------|
| 35- 16 | 34 | | G6 140804 | | 青灰色 砂層 | 弥生 土器 | 底部 | | | | (8.6) | (外) タテ方向 ハケ目 (内) ヨコ方向 ミガキ | 1㎜白・褐色砂 粒含む | | (外) 黄灰 2.5Y6/1 (內) 淡黄 2.5Y8/3 | |
| 35- 17 | 34 | | I9 140728 | | 暗灰黄 色土 | 弥生 土器 | 底部 | | | | 4.6 | (外) ナデ・ヘ ラケズリ (内) ナデ | 1mm以下白色小 砂粒含む | 良好 | (外) 黄橙 7.5YR7/8 (内) にぶい黄橙 10YR6/3 | |
| 36-1 | 34 | | 140724 | SD02 | | 縄文 土器 | 鉢 | (24.0) | | | | (外) ヨコ方向ミガキ(内) 斜め方向ミガキ・磨滅 | 白色小砂粒多く含む | 良好 | (外)にぶい橙 5YR6/4 (内)褐灰 10YR4/1 | |
| 36-2 | 34 | | G6 140803 | | 暗青灰 色粘質 土 | | 深鉢 | (22.2) | | | | (外)口縁端部 刻目・条痕 (内)ヨコ方向 条痕 | 白・赤色小砂粒 多く含む | 良好 | (外) にぶい黄橙 10YR7/3 (内) にぶい黄橙 10YR7/3 | |
| 36-3 | 34 | | I8 140717 | | 暗灰黄 色土 | 縄文 土器 | 深鉢 | | (27.8) | | | (外) ヨコ方向 条痕・刻目突帯 (内) ヨコ方向 条痕 | 2~3mm白色砂 粒非常に多く含 む | 良好 | (外)褐灰 10YR5/1 (内)褐灰 10YR5/1 | |
| 36-4 | 34 | | H • I9 140821 | 地床炉 11 | | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)口縁端部 刻目突帯・ナデ (内)ヨコ方向 条痕 | 1 ~ 2mm白色・ 透明砂粒やや多 く含む | 良好 | (外)浅黄橙 10YR8/3 (内)黒 5Y2/1 | |
| 36-5 | 35 | | I9 140725 140728 | | 暗灰黄 色土 | 縄文 土器 | 深鉢 | (35.6) | (35.6) | | | (外)口縁端部 貼付刻目突帯・ 条痕 (内)ナデ・指 頭圧痕・条痕 | 2~3mm白色砂 粒やや多く含む | 良好 | (外)灰白 10YR8/1 (内)褐灰 10YR4/1 | |
| 36-6 | 35 | | H • I8 140801 | | 暗灰黄 色土 | 縄文 土器 | 浅鉢 | | | | | (外)条痕後ナ デ (内)ミガキ・ 沈線2条 | 白色・透明小砂 粒やや多く含む | 良好 | (外) 黒褐 10YR3/1 (内) にぶい黄褐 10YR4/3 | |
| 36-7 | 35 | | H8 140717 | | 暗灰黄 色土 | 縄文 土器 | 浅鉢 | | | | | (外)ナデ・条 痕・摩滅 (内)ミガキ・ 沈線3条 | 透明小砂粒わずかに含む | 良好 | (外)にぶい黄褐 10YR5/3 (内)黒 5Y2/1 | 内面: 黒色 磨研 |
| 36-8 | 35 | | H • I8 140801 | | 暗灰黄 色土 | 縄文 土器 | 浅鉢 | | | | | (外)ミガキ (内)ミガキ・ 沈線2条 | 白色小砂粒多く 含む | 良好 | (外)褐灰 7.5YR4/1 (内)褐灰 7.5YR4/1 | 方形浅鉢 |
| 36-9 | 35 | | G5 140804 | | 青灰色 砂層 | 縄文 土器 | 浅鉢 | | | | | (外) ヨコ方向 ミガキ・ヘラ描 き線刻 (内) ミガキ | 1 ~ 2mm灰色砂 粒やや多く含む | 良好 | (外) にぶい褐 7.5YR5/4 (内) 灰黄 2.5Y7/2 | 外面:線刻 絵画か |
| 36- 10 | 35 | | I8 140701 | | 暗灰黄 色土 | 縄文 土器 | 浅鉢 | (19.0) | | | | (外) ヨコ・斜め方向ミガキ(内) 斜め方向ミガキ | 白色小砂粒やや 多く含む | 良好 | (外)褐灰 10YR5/1 (内)黒褐 10YR3/1 | |
| 36- 11 | 35 | | I8 140717 | | 暗灰黄 色土 | 縄文 土器 | 浅鉢 | (27.6) | | | | (外)ナデ・斜め方向ミガキ(内)ナデ・ヨコ方向ミガキ | 白色小砂粒・金 雲母含む | 良好 | (外) 褐灰 10YR5/1 (内) 灰黄褐 10YR6/2 | |
| 36- 12 | 35 | | 140725 | SD02 | | 縄文 土器 | 浅鉢 | (26.0) | (27.6) | | | (外)ナデ (内)ヨコ方向 ミガキ | 白・赤色小砂粒 わずかに含む | 良好 | (外)灰白 10YR8/2 (内)浅黄橙 10YR8/3 | 大きく歪 む |
| 37-1 | 35 | | I9 140725 | | 暗灰黄 色土 | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)口縁端部 貼付無刻突帯・ ヨコ方向巻貝条 痕 (内)ヨコ方向 | 白色小砂粒含む | 良好 | (外) 黒褐 10YR3/2 (内) 灰黄褐 10YR5/2 | |
| 37-2 | 35 | | H5 140728 | | 暗灰褐 色土 | 縄文土器 | 深鉢 | | | | | 巻貝条痕 (外)摩滅 (内)摩滅 | 1㎜白色小砂粒 やや多く含む | 良好 | (外)にぶい黄橙 10YR6/4 (内)暗赤褐2.5YR3/2 | |
| 37-3 | 35 | | F•G9 140818 | | 青灰色 砂層 | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)口縁端部 貼付刻目突帯・ ミガキ・ヘラ描 き線刻 (内)ヨコ方向 条痕 | 1 ~ 2mm白色砂 粒やや多く含む | 良好 | (外) にぶい赤褐 5YR4/4 (内) 明褐 7.5YR5/6 | 外面:線刻 絵画か |
| 37-4 | 35 | | 140724 | SD02 | | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)ナデ・ロ 緑端部貼付刻目 突帯 (内)ナデ | 白色微砂粒含む | 良好 | (外)黒 5Y2/1 (内)オリーブ黒 7.5Y3/1 | |

| 挿図 番号 | 図版 番号 | Pno. | グリッ ド日付 | 遺構名 | 出土 層位 | 種別 | 器種 | 口径 | 最大径 | 器高 | 底径 | 調整及び手法 | 胎土 | 焼成 | 色調 | 備考 |
|-----------|----------|--------------|---------------|--------|-----------|----------|----|--------|--------|----|----|---------------------------------------------------------------|---------------------|----|-----------------------------------------|---------------------|
| 37-5 | | | I8 140717 | | | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)口縁端部 刻目突帯・条痕 (内)ヨコ方向 | 1 ~ 2mm灰色砂 粒含む | 良好 | (外) にぶい黄褐 10YR5/4 (内) 褐灰 7.5YR4/1 | |
| 37-6 | 35 | | G8 140715 | | 暗灰黄 色土 | 縄文土器 | 深鉢 | (20.6) | (20.6) | | | ナデ・条痕 (外)口縁端部 貼付刻目突帯・ 条痕 (内)ミガキ・ | 1~2mm白色砂 粒含む | 良好 | (外) 暗赤褐 5YR3/3 (内) 黒褐 5YR3/1 | |
| 37-7 | 35 | | H6 140627 | | 暗灰黄 色土 | 縄文土器 | 浅鉢 | (20.2) | (18.0) | | | 条痕 (外)ナデ・丁 寧な条痕・粗い 条痕 (内)ナデ・斜 め方向条痕 | 1㎜白色砂粒非常に多く含む | 良好 | (外) にぶい褐 7.5YR5/3 (内) 浅黄橙 10YR8/3 | |
| 37-8 | 35 | | H7 140704 | | 暗黄色 土 | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)丁寧なナ デ・口縁端部刻 目突帯・斜め方 向ナデ (内)ナデ・ヨ コ方向条痕 | 1 ~ 5mm白色砂 粒多く含む | 良好 | (外) にぶい黄橙 10YR6/3 (内) 灰白 10YR8/2 | 外面:被熱 黒変 |
| 37-9 | 35 | | F9 140806 | | 暗灰黄 色土 | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)ナデ・ロ 縁端部刻目突帯・ヘラ描き線刻・ミガキ (内)ヨコ方向 条痕 | 1mm白色小砂粒 多く含む | 良好 | (外) 灰黄褐 10YR4/2 (内) 灰黄褐 10YR5/2 | |
| 37- 10 | 35 | | F9 140804 | | 暗灰黄 色土 | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)ナデ・刻 目突帯 (内)ナデ | 白・灰色小砂粒 やや多く含む | 良好 | (外) にぶい黄褐 10YR5/4 (内) 褐灰 7.5YR4/1 | 外面 : スス 付着 |
| 37- 11 | 35 | 119 · 120 | G10 140819 | 地床炉 25 | | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)ナデ・ロ 縁端部下刻目突 帯 (内)ナデ | 白色小砂粒含む | 良好 | (外)暗赤褐 5YR3/2 (内)にぶい赤褐 5YR5/3 | |
| 37- 12 | 35 | | H8 140711 | 地床炉 7 | | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外) 口縁端部 刻目突帯・ナデ (内) ヨコ方向 条痕 | 灰色小砂粒含む | 良好 | (外)淡黄 2.5Y8/3 (内)灰黄 2.5Y7/2 | 外内面:被 熱黒変 |
| 37- 13 | 36 | | H8 140717 | | 暗灰黄 色土 | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)口縁頂部 刻目・端部貼付 刻目突帯・ヨコ 方向ナデ (内)ヨコ方向 ナデ・条痕 | 透明小砂粒含む | 良好 | (外) 灰黄褐 10YR4/2 (内) 黒 2.5Y2/1 | |
| 37- 14 | 36 | | H8 140717 | | 暗灰黄 色土 | 縄文土器 | 深鉢 | | | | | (外)口縁頂部 刻目・端部下貼 付刻目突帯・ナ デ (内)ナデ・ヨ | | 良好 | (外) 黒褐 10YR3/2 (内) 黒褐 2.5Y3/1 | 外面: スス 付着 |
| 37- 15 | 36 | | H8 140711 | | 暗灰黄 色土 | 縄文土器 | 深鉢 | | | | | コ方向条痕 (外)) 口縁頂部 刻目・端部貼付 刻目突帯・ナデ (内)ナデ | | 良好 | (外) にぶい赤褐 5YR5/3 (内) 黒 5YR7/1 | |
| 37- 16 | 36 | 127 | H9 140821 | | 第2遺構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | (43.6) | | | | (外) 口縁端部 沈線 2 条・刻目 ・沈線 1 条・ナ デ (内) ヨコ方向 ミガキ・ナデ | 白色小砂粒・金 雲母多く含む | 良好 | (外) にぶい褐 7.5YR5/3 (内) 灰黄褐 10YR4/2 | |
| 37- 17 | - 1 | | H9 140801 | | 暗灰黄 色土 | 縄文 土器 | 浅鉢 | | | | | | | 良好 | (外) 黑 7.5YR2/1 (内) 黑褐 7.5YR3/1 | |
| 37- 18 | 36 | 86 | H9 140731 | | | 縄文 土器 | 深鉢 | (23.2) | (28.0) | | | (外)刻目突帯 ・直線文2段(3 条)・刻目突帯 (内)摩滅 | 2mm以下白色小砂粒含む | 良好 | (外)浅黄橙 10YR8/3 (内)褐灰 10YR5/1 | 2条突带 |
| 37- 19 | 36 | | H6 140804 | | 青灰色 砂層 | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)隆帯文・ 刺突文 (内)ナデ | 1mm白色砂粒非常に多く含む | 良好 | (外) 明赤褐 5YR5/8 (内) にぶい黄橙 10YR7/2 | 突帯文期 の装飾的 深鉢か |

| 挿図 番号 | 図版 番号 | Pno. | グリッ ド日付 | 遺構名 | 出土 層位 | 種別 | 器種 | 口径 | 最大 | 器高 | 底径 | 調整及び手法 | 胎土 | 焼成 | 色調 | 備考 |
|-----------|----------|--------------------------|------------------|------------|-----------------|----------|----|--------|--------|----|-------|----------------------------------------------------------|----------------------------|----|----------------------------------------------|---------------------|
| 38-1 | 36 | | H9 140725 | | 暗青灰 色粘質 土 | 土器 | 深鉢 | | ,,,,, | | | (外) ナデ・ロ 縁端部下刻目突 帯・条痕 (内) ナデ・条 痕 | | | (外) にぶい黄橙 10YR7/4 (内) にぶい黄橙 10YR7/2 | 2条突帯か |
| 38-2 | 36 | 96 | 140801 | 地床炉 13 | | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)口縁端部 下貼付刻目突帯 ・ヨコ方向ナデ (内)ナデ | 1mm以下透明小砂粒多く含む | 良好 | (外) にぶい黄褐 10YR4/3 (内) 黒 10YR2/1 | 外面:スス 付着 |
| 38-3 | 36 | | I8 140717 | | 暗灰黄 色土 | 縄文 土器 | 深鉢 | (24.2) | (23.6) | | | (外)口縁端部 貼付刻目突帯・ ヨコ方向条痕 (内)ナデ・ヨ コ方向条痕 | 1 ~ 5mm白色砂 粒多く含む | 良好 | (外)灰黄 2.5Y7/2 (内)黄灰 2.5Y5/1 | |
| 38-4 | 36 | | H7 140729 | | 暗黄灰 色土 | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)ナデ・口 縁端部刻目突帯 ・直線文2条 (内)ナデ・ヨ コ方向条痕 | 1mm白色砂粒含む | 良好 | (外) 褐灰 10YR4/1 (内) 褐灰 10YR5/1 | |
| 38-5 | 36 | | I8 140717 | | 暗灰黄 色土 | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)口縁頂部 鋸歯状刻目・端 部下貼付刻目突 帯・条痕 (内)ナデ | 1 ~ 2mm白色砂 粒含む | 良好 | (外) 褐灰 10YR6/1 (内) 褐灰 10YR5/1 | |
| 38-6 | 36 | | H8 140708 | 地床炉 7 | | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)ナデ・貼 付刻目突帯・条 痕 (内)ナデ | 2mm以下白色砂 粒多く含む | 良好 | (外) にぶい橙 7.5YR6/4 (内) にぶい褐 7.5YR5/3 | |
| 38-7 | 36 | | H7 140729 | | 暗黄灰 色土 | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)ミガキ・ 直線文1条 (内)ヨコ方向 ナデ | 1㎜白色砂粒多く含む | 良好 | (外)明褐 7.5YR5/6 (内)褐灰 10YR4/1 | |
| 41-5 | 38 | 161 ~ 163 • 276 | 140827 140925 | 土器溜り 01 | | 縄文 土器 | 深鉢 | (28.9) | (30.0) | | | (外)口縁端部 下貼付刻目突帯 2段・条痕・貼 付刻目突帯 (内)条痕 | 2㎜以下白色砂 粒わずかに含む | 良好 | (外) 橙 7.5YR7/6 (内) 浅黄橙 10YR8/3 | 2条突带 |
| 44-1 | 41 | 99 | 140805 | SX04 | | 弥生 土器 | 底部 | | | | (6.8) | (外) タテ方向ハケ目・ナデ(内) 磨滅 | 1 ~ 2mm白色砂 粒含む | 良好 | (外) にぶい橙 7.5YR7/4 (内) 黄灰 2.5Y6/1 | |
| 44-2 | 41 | | H6 140811 | | 青灰色 砂層 | 弥生 土器 | 底部 | | | | (9.8) | (外)ナデ・摩 滅 (内)ナデ・摩 滅 | 白・赤色砂粒や や多く含む | 良好 | (外)にぶい橙 5YR7/4 (内)灰白 10YR8/2 | |
| 44-3 | 41 | | H5 140811 | | 青灰色 砂層 | 縄文 土器 | 深鉢 | (38.4) | | | | (外) ヨコ方向 ナデ・条痕 (内) 丁寧なナ デ | 1 ~ 2mm白色砂 粒多く含む | 良好 | (外) にぶい褐 7.5YR5/3 (内) 黒褐 7.5YR3/2 | 外面: スス 付着 |
| 44-4 | 41 | | F•G7 140821 | | 青灰色 砂層 | 縄文 土器 | 壺 | (21.0) | | | | (外) ヨコ方向 ナデ・磨滅 (内) ヨコ方向 ナデ・磨滅 | 1mm白色小砂粒 非常に多く含む | 良好 | (外) 明褐灰 7.5YR7/2 (内) 橙 5YR7/6 | 弥生晩期 最終末の 可能性 |
| 44-5 | 41 | | G6 140901 | | 暗褐色 粘土 | 縄文 土器 | 浅鉢 | (20.8) | | | | (外) 斜め方向 ミガキ・摩滅 (内) ヨコ方向 ミガキ・摩滅 | 1mm以下白色小砂粒含む | 良好 | (外) 黒褐 10YR3/1 (内) 黒褐 10YR3/1 | |
| 44-6 | 41 | | I9 140828 | | 青灰色 砂層 | 縄文 土器 | 浅鉢 | (21.8) | | | | (外)粗いヨコ 方向ミガキ (内)ヨコ方向 ミガキ | 1㎜白色・ガラ ス質小砂粒含む | 良好 | (外) 褐灰 10YR5/1 (内) 褐灰 10YR5/1 | |
| 44-7 | | 160 | H10 140827 | | 明灰色 粘土 | 土器 | | | | | | (外) ヨコ方向 ミガキ (内) 口縁端部 沈線 2 条・磨滅 | 砂粒やや多く含む | | (外)暗灰黄 2.5Y5/2 (内)灰白 2.5Y7/1 | |
| 44-8 | 41 | | G6 140811 | | 青灰色 砂層 | 縄文 土器 | 浅鉢 | (35.6) | | | | (外) ヨコ方向 条痕 (内) 条痕後ナ デ | 1 ~ 2mm白色砂 粒やや多く含む | 良好 | (外) にぶい赤褐 5YR4/4 (内) にぶい赤褐 5YR5/3 | 外内面:被 熱黒変 |
| 44-9 | 41 | 187 | H6 140903 | | 暗褐色 粘質土 | ı | 深鉢 | (30.4) | (28.4) | | | (外)ナデ・条 痕 (内)ナデ・条 痕 | 1 ~ 4mm白色砂 粒非常に多く含 む | 良好 | (外)浅黄橙 7.5YR8/4 (内)褐灰 5YR4/1 | 口縁部:ス ス付着 |
| 44- 10 | 41 | 147 | G7 140822 | | 青灰色 砂層 | 縄文 土器 | 浅鉢 | | | | | (外)磨滅 (内)磨滅 | 白色・透明小砂 粒含む | 良好 | (外)褐7.5YR4/3 (内)黒褐7.5YR3/2 | |

| 挿図 番号 | 図版 番号 | Pno. | グリッ ド日付 | 遺構名 | 出土 層位 | 種別 | 器種 | 口径 | 最大 径 | 器高 | 底径 | 調整及び手法 | 胎土 | 焼成 | 色調 | 備考 |
|-----------|----------|------|------------------|--------------|-----------|----------|----|----|---------|----|----|------------------------------------------------------------|-----------------------|----|----------------------------------------------------|--------------|
| 44- 11 | 41 | | G10 140825 | | 明灰色 粘土 | 縄文 土器 | 浅鉢 | | | | | (外)口縁端部 直線文3条・竹 管状横刻目突帯 ・指頭圧痕 (内)ミガキ | 透明微砂粒多く 含む | 良好 | (外) 褐 7.5YR4/4 (内) 黒褐 5YR3/1 | 中山 B |
| 44- 12 | 41 | | H9 140828 | | 青灰色 砂層 | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)口縁端部 櫛描き凹線文2 条・端部下刻目 突帯 (内)ナデ | 1~3mm白色砂 粒やや多く含む | 良好 | (外) 黒褐 10YR3/2 (内) 暗褐 10YR3/3 | 中山 B |
| 44- 13 | 41 | | H9 140828 | | 青灰色 砂層 | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外) 櫛描き凹 線文7条 (内)ナデ | 1 ~ 3mm白色砂 粒やや多く含む | 良好 | (外) 明黄褐 10YR6/6 (内) 黒褐 10YR3/3 | 中山 B |
| 44- 14 | 41 | | F10 140825 | | 青灰色 砂層 | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)口縁端部 貼付刻目突帯・ 条痕 (内)ナデ・条 痕後ナデ | 1 ~ 2mm白色砂 粒含む | 良好 | (外) 黒褐 10YR3/2 (内) 灰白 10YR8/2 | |
| 44- 15 | 41 | 174 | H9 140829 | 地床炉 42 西隣 | 構面 | 土器 | | | | | | (外)口縁端部 貼付刻目突帯・ ナデ (内)ナデ | 白色小砂粒やや 多く含む | | (外) にぶい黄 2.5Y6/3 (内) 黄灰 2.5Y5/1 | |
| 44- 16 | 41 | | F • G8 140821 | | 青灰色 砂層 | 土器 | | | | | | (内) ヨコ方向 条痕後ナデ | 1 ~ 2mm白色砂 粒やや多く含む | 良好 | (内) 褐灰 7.5YR5/1 | |
| 17 | 41 | | H8 140902 | | 暗褐色 粘土 | 土器 | | | | | | (外)口縁端部 貼付刻目突帯・ 条痕(内)条痕 | 2m以下白色砂 粒多く含む | | (外) 灰白 5Y8/2・灰 5Y5/1 (内) 灰白 5Y8/2・灰 5Y5/1 | |
| 44- 18 | 41 | | H7 140818 | | 青灰色 砂層 | 土器 | | | | | | (外)口縁端部 貼付刻目突帯・ ナデ (内)ナデ | 3mm以下白色砂 粒多く含む | 良好 | (外)にぶい黄褐 10YR5/3 (内)にぶい黄褐 10YR5/3 | 外面: スス 付着 |
| 44- 19 | 41 | | H8 140818 | | 青灰色 砂層 | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)ナデ・ロ 縁端部刻目突帯 ・条痕 (内)ナデ・条 痕 | 1 ~ 2mm白色砂 粒含む | 良好 | (外)褐7.5YR4/3 (内)黒7.5YR2/1 | |
| 45-1 | 42 | | H9 140829 | | 青灰色 砂層 | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)口縁端部 貼付刻目突帯・ ナデ (内)ナデ | 2mm以下砂粒多 く含む | 良好 | (外)灰黄 2.5Y7/2 (内)灰 5Y4/1 | |
| 45-2 | 42 | | I8 140812 | 地床炉 17 | | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)口縁端部 刻目突帯・磨滅 (内) ヨコ方向ミガキ | | 良好 | (外) 灰黄褐 10YR5/2 (内) 黒褐 5YR2/1 | |
| 45-3 | 42 | | H8 140819 | | 青灰色 砂層 | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)ナデ・口 縁端部下貼付刻 目突帯 (内)ナデ | 1m以下白色砂 粒多く含む | 良好 | (外) 黄灰 2.5Y4/1 (內) 黒褐 2.5Y3/1 | |
| 45-4 | 42 | | F8 140826 | 地床炉 33 | | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)ナデ・ロ 縁端部下貼付刻 目突帯 (内)ナデ・ヨ コ方向条痕 | 白色小砂粒含む | 良好 | (外) 灰黄 2.5Y7/2 (内) 灰黄 2.5Y6/2 | |
| 45-5 | 42 | | H6 140829 | | 暗褐色 粘土 | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)口縁端部 貼付刻目突帯・ 磨滅 (内)条痕 | 3mm以下白色砂 粒多く含む | 良好 | (外)灰白 2.5Y8/2 (內)黄灰 2.5Y5/1 | |
| 45-6 | 42 | | H8 140822 | | 青灰色 砂層 | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)ナデ・ロ 縁端部貼付刻目 突帯 (内)条痕後ナ デ | 2mm以下砂粒わずかに含む | 良好 | (外)灰黄褐 10YR4/2 (内) 黒褐 10YR3/1 | |
| 45-7 | 42 | 207 | H8 140905 | | 青灰色 砂層 | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)口縁端部 貼付刻目突帯・ ナデ (内)ナデ・磨 滅 | 3mm以下白色砂 粒わずかに含む | 良好 | (外) にぶい黄橙 10YR7/4 (内) にぶい黄橙 10YR7/4 | |

| 挿図 番号 | 図版 番号 | Pno. | グリッ ド日付 | 遺構名 | 出土 層位 | 種別 | 器種 | 口径 | 最大 径 | 器高 | 底径 | 調整及び手法 | 胎土 | 焼成 | 色調 | 備考 |
|-----------|----------|------|---------------|--------|-----------|----------|----|--------|---------|----|----|----------------------------------------------------------|---------------------|----|----------------------------------------------|--------------|
| 45-8 | | | H6 140829 | | 暗褐色粘土 | 縄文土器 | 深鉢 | | 1-11 | | | (外)口縁頂部 刻目・端部貼付 刻目突帯・条痕 (内)条痕後ナ デ | 1mm以下白色砂 粒多く含む | 良好 | (外) 灰黄褐 10YR5/2 (内) 黒褐 10YR3/2 | |
| 45-9 | 42 | | H5 140811 | | 青灰色 砂層 | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)口縁端部 貼付刻目突帯・ 条痕 (内)磨滅 | 2㎜灰色砂粒多く含む | 良好 | (外)浅黄橙7.5YR8/4 (内)橙7.5YR7/6 | |
| 45- 10 | 42 | 186 | H6 140903 | | 暗褐色 粘土 | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)ナデ・ロ 縁端部下貼付刻 目突帯・条痕後 ナデ (内)条痕後ナ デ | 3㎜以下砂粒多く含む | 良好 | (外) 浅黄橙 10YR8/3 (内) にぶい黄橙 10YR7/2 | |
| 45- 11 | 42 | | G6 140901 | | 暗褐色 粘土 | 縄文土器 | 深鉢 | | | | | (外)ナデ・ロ 縁端部貼付刻目 突帯・条痕 (内)ナデ・条 痕 | 1mm白色小砂粒 含む | 良好 | (外) にぶい褐 7.5YR5/3 (内) にぶい黄褐 10YR5/3 | |
| 45- 12 | 42 | 141 | 140821 | 地床炉 11 | | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)口縁端部 貼付刻目突帯・ ナデ (内)ナデ・ヨ コ方向条痕 | 白色小砂粒多く 含む | 良好 | (外) 黒褐 5YR2/2 (内) 明赤褐 5YR5/6 | 外面突带: 被熱 |
| 45- 13 | 42 | | H10 140827 | | 明灰色 粘土 | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)口縁端部 刻目突帯・条痕 (内)ナデ | l | 良好 | (外) 黒褐 10YR3/2 (内) にぶい黄褐 10YR5/4 | |
| 45- 14 | 42 | 224 | H8 140910 | SX10 | | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)口縁端部 刻目突帯・ナデ (内)ヨコ方向 条痕 | 3mm白色砂粒・ 金雲母多く含む | 良好 | (外)灰白 10YR7/1 (内)にぶい黄橙 10YR7/4 | 外面: スス 付着 |
| 45- 15 | 42 | 175 | 17 140829 | | 青灰色 砂層 | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)ナデ・ロ 縁端部刻目突帯 ・ヨコ方向条痕 (内)ナデ・ヨ コ方向条痕・摩 滅 | 2mm以下白・黒 色砂粒含む | 良好 | (外)褐灰7.5YR6/1 (内)灰白7.5YR8/2 | |
| 45- 16 | 42 | | G6 140828 | | 青灰色 砂層 | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)口縁端部 刻目突帯・ナデ (内)丁寧なナ デ | | 良好 | (外)暗赤褐 5YR3/3 (内)赤褐 5YR4/6 | |
| 45- 17 | 42 | | G6 140807 | | 青灰色 砂層 | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)口遠端部 下刻目突帯・磨 滅 (内)磨滅 | 2mm以下白色砂 粒わずかに含む | 良好 | (外) にぶい橙 7.5YR7/4 (内) にぶい橙 7.5YR7/4 | |
| 46-1 | 42 | 337 | H6 141001 | | 第5遺 構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)口縁頂部 刻目・端部下貼 付刻目突帯・条 痕 (内)条痕後ナ デ | 1㎜以下砂粒わずかに含む | 良好 | (外) 灰黄褐 10YR6/2 (内) 灰黄褐 10YR6/2 | |
| 46-2 | 42 | 366 | G8 141010 | | 第3遺構面 | 縄文土器 | 深鉢 | (24.4) | | | | (外)口縁頂部 刻目・端部下貼 付刻目突帯・ナ デ (内)ナデ・条 | 2㎜以下白色砂 粒多く含む | 良好 | (外) にぶい黄橙 10YR4/3 (内) にぶい黄橙 10YR6/3 | |
| 46-3 | 43 | | H8 140819 | | 青灰色砂層 | 縄文土器 | 深鉢 | | | | | 痕 (外)口縁頂部 刻目・端部下貼 付刻目突帯・条 痕後ナデ (内)ナデ | l | 良好 | (外) にぶい黄橙 10YR6/3 (内) にぶい黄橙 10YR7/3 | |
| 46-4 | 43 | | I8 140901 | | 青灰色 砂層 | 縄文土器 | 深鉢 | | | | | | l | 良好 | (外) にぶい黄褐 10YR4/3 (内) 黒褐 5YR2/1 | |
| 46-5 | 43 | | H6 140829 | | 暗褐色 粘土 | 縄文 土器 | 深鉢 | (26.2) | | | | (外)口縁頂部 刻目・端部下貼 付刻目突帯・ナ デ | l | 良好 | (外) にぶい黄褐 10YR6/4 (内) 黄灰 2.5Y5/1 | 外面: スス 付着 |
| | | | | | | | | | | | | (内)ナデ・条 痕 | | | | |

| 挿図 番号 | 図版 番号 | Pno. | グリッ ド日付 | 遺構名 | 出土層位 | 種別 | 器種 | 口径 | 最大径 | 器高 | 底径 | 調整及び手法 | 胎土 | 焼成 | 色調 | 備考 |
|-----------|----------|-----------|--------------------|--------|-----------------|----------|----|--------|--------|----|------|-----------------------------------------------------------|-----------------------|----|----------------------------------------------|-----------------------------------------------|
| 46-6 | | | H6 140829 | | 暗褐色 粘土 | 縄文土器 | 深鉢 | | , | | | (外)口縁頂部 刻目・端部下貼 付刻目突帯・ナ デ (内)ナデ | 2mm以下砂粒わずかに含む | 良好 | (外) 灰黄 2.5Y7/2 (内) 黄灰 2.5Y6/1 | |
| 46-7 | 43 | | G6 140811 | | 青灰色 砂層 | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)ナデ・ロ 縁端部刻目・斜 め方向条痕 (内)ヨコ方向 条痕 | 1 ~ 4mm白色砂 粒含む | 良好 | (外)にぶい赤褐 5YR4/3 (内)橙 5YR6/6 | |
| 46-8 | 43 | | H6 140901 | | 暗褐色 粘土 | 縄文 土器 | 浅鉢 | (27.0) | | | | (外)口縁頂部 ・端部刻目・ヨ コ方向条痕・タ テ方向沈線2条 (内)ヨコ方向 条痕 | 白色砂粒含む | 良好 | (外) にぶい黄褐 10YR5/3 (内) 黒褐 10YR3/1 | 中山Bの 影響 |
| 46-9 | 43 | | H8 140819 | | 青灰色 砂層 | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)ナデ・口 縁端部刻目・条 痕 (内)ナデ・条 痕 | 1 ~ 5mm白色砂 粒多く含む | 良好 | (外) 灰褐 7.5YR4/2 (内) 黒褐 5YR2/1 | |
| 46- 10 | 43 | | F7 140822 | | 青灰色 砂層 | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)口縁端部 刻目突帯・条痕 (内)条痕後ナ デ | 1mm以下白色砂 粒含む | 良好 | (外) 橙 2.5YR7/6 (内) 暗赤灰 10R3/1 | 外面:被熱 黒変 |
| 46- 11 | 43 | | I7 140905 | 地床炉 52 | 第3遺構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)口縁端部 貼付刻目突帯・ ナデ (内)条痕後ナ デ | 1㎜以下砂粒多く含む | 良好 | (外)灰白 2.5Y8/2 (内)黄灰 2.5Y6/1 | |
| 46- 12 | 43 | 191 | H6 140803 | | 暗褐色 粘土 | 土器 | | | | | | ・条痕 (内)条痕 | 4 ~ 5mm以下白 色砂粒多く含む | | (外) 灰白 2.5Y8/2 (内) 灰白 2.5Y8/2 | 補修孔か |
| 46- 13 | 43 | | H8 140902 | | 粘土 | 土器 | | | | | | (外)ナデ・条 痕 (内)ナデ・巻 貝条痕 | 1㎜白色砂粒含む | | (外) にぶい褐 7.5YR5/4 (内) 褐 7.5YR4/4 | 外面: スス 付着 |
| 46- 14 | 43 | 97 | H8 140801 | | 第2遺 構面 | 縄文 土器 | 浅鉢 | | | | | (外)磨滅 (内)磨滅 | 2mm以下砂粒多 く含む | 良好 | (外)浅黄 2.5Y7/3 (内)橙 7.5YR6/6 | |
| 46- 15 | 43 | 187 | H6 140903 | | 暗褐色 粘土 | 縄文 土器 | 深鉢 | (25.4) | (26.0) | | | (外)条痕 (内)条痕 | 3㎜以下砂粒多く含む | | (外) にぶい黄橙 10YR7/2 (内) にぶい黄橙 10YR7/2 | 口縁部突起 |
| 46- 16 | 43 | 94 | 140801 | | | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | 4.0 | (外) タテ方向 条痕後ナデ (内) ヨコ方向 条痕・ナデ | 2mm以下砂粒多 く含む | 良好 | (外) 浅黄橙 10YR8/3 (内) 灰黄褐 10YR6/2 | |
| 52-1 | 49 | 365 | G9 141009 | | 暗青灰 色粘質 土 | 1 | 鉢 | | | | 20.9 | (外)ナデ (内)ナデ | 1㎜以下白色砂 粒やや多く含む | 良好 | (外) 灰黄褐 10YR6/2 (内) 灰黄褐 10YR6/2 | 1 |
| 52-2 | 126 | | H7 141021 | 土器溜り | | 縄文 土器 | 浅鉢 | | | | | (外)赤彩 (内)赤彩 | 黒・白色微砂粒 含む | 良好 | (外)灰黄 2.5Y7/2 (内)灰黄 2.5Y7/2 | 赤彩 (赤 7.5R4/8) |
| 52-3 | 126 | 479 付近 | 141021 | | | 縄文 土器 | 浅鉢 | | | | | (外) ミガキ・ 下地漆・赤彩 (内) ヨコ方向 ミガキ | 白色小砂粒わず かに含む | 良好 | (外) 黄灰 2.5Y4/1 (内) 黄灰 2.5Y4/1 | 下地漆 (赤黒 5R2/1)· 赤彩 (赤 7.5R4/5) |
| 52-4 | | | H10 140922 | | 暗青灰 色粘質 土 | 1 | 浅鉢 | | | | | (外)ナデ・彩 文 C 字文 (内)ナデ | 白色小砂粒わず かに含む | 良好 | (外) 明赤褐 2.5YR5/6 (内) 明赤褐 2.5YR5/8 | 彩文(極 |
| 52-5 | 50 | 265 | G10 140917 | | | 土器 | 浅鉢 | | | | | (外)ミガキ・ 条痕 (内)口縁端部 沈線1条・ミガ キ | 含む | 良好 | (外) にぶい黄褐 10YR4/3 (内) 褐 10YR4/1 | 口縁部突起 |
| 52-6 | 50 | 653 | H7 1031 1110 | | 黒灰色 粘質土 | | 浅鉢 | | | | | (外)ミガキ (内)口遠端部 沈線1条・ヨコ 方向ミガキ | 1m以下白色小砂粒含む | 良好 | (外) 黒褐 7.5YR3/1 (内) 黒褐 7.5YR3/1 | 方形浅鉢 |

| 挿図 番号 | 図版 番号 | Pno. | グリッ ド日付 | 遺構名 | 出土 層位 | 種別 | 器種 | 口径 | 最大 径 | 器高 | 底径 | 調整及び手法 | 胎土 | 焼成 | 色調 | 備考 |
|-----------|----------|--------------|---------------------|------------|-----------------|----------|----|--------|---------|----|-----|-----------------------------------------------------------------------|------------------------|----|------------------------------------------------------|------------------------------|
| 52-7 | 50 | 655 | H7 141110 | | 第4遺 構面 | 縄文 土器 | 浅鉢 | | | | | (外) ミガキ・ 沈線 1 条・条痕 | 1mm以下白色砂 粒含む | 良好 | (外)にぶい黄 2.5Y6/3 | |
| 52-8 | 50 | 383 | 141015 | | 第4遺構面 | 縄文 土器 | 浅鉢 | | | | | (内) ミガキ(外) ミガキ・条痕(内) ミガキ | 白色微砂粒多く 含む | 良好 | (内) 黄褐 2.5Y5/3 (外) 黒褐 7.5YR3/1 (内) 褐灰 7.5YR4/1 | 方形浅鉢 |
| 52-9 | 50 | | G8 141014 | | 暗青灰 色粘質 土 | | 浅鉢 | (26.4) | (27.7) | | | (外)ナデ (内)ヨコ方向 ミガキ | 1㎜以下白色小砂粒やや多く含む | 良好 | (外) にぶい褐 7.5YR5/4 (内) にぶい黄褐 10YR5/3 | 口縁部外 面:スス付 着 |
| 52- 10 | 50 | 564 | H7 141023 | 土器溜り 03 | 第 4 遺 構面 | 縄文 土器 | 浅鉢 | (22.4) | (24.0) | | | (外)ミガキ・ 条痕後ナデ(内)ヨコ方向 ミガキ | 1㎜以下自色砂 粒含む | 良好 | (外) 灰黄褐 10YR5/2 (内) 黒褐 10YR3/1 | 黒色磨研 / 口縁部外 面:スス付 着 |
| 52- 11 | 50 | 405 | H6 141015 | | 第 4 遺 構面 | 縄文 土器 | 浅鉢 | (17.9) | (18.2) | | | (外)ナデ・条 痕 (内)ヨコ方向 ミガキ | 1㎜以下自色砂 粒わずかに含む | 良好 | (外)灰褐 7.5YR6/2 (内)褐灰 7.5YR4/1 | 黒色磨研 |
| 52- 12 | 50 | 404 | H6 141015 | | 第4遺構面 | 縄文 土器 | 浅鉢 | (23.6) | (24.2) | | | (外) ヨコ方向 ミガキ・条痕後 ナデ (内) 丁寧なヨ コ方向ミガキ | 1mm以下白色小砂粒含む | 良好 | (外) 灰褐 10YR6/2 (内) 褐灰 10YR4/1 | |
| 52- 13 | 49 | 323 | 141001 | 地床炉 56 | | 縄文 土器 | 浅鉢 | (32.8) | (36.6) | | | (外) ヨコ方向 ミガキ・条痕 (内) ヨコ方向 ミガキ | 2mm以下砂粒わずかに含む | 良好 | (外)灰黄褐 10YR5/2 (内)灰黄褐 10YR5/2 | |
| 52- 14 | 50 | | H5 141009 | | 暗青灰 色粘質 土 | 1 | 浅鉢 | (46.0) | (44.4) | | | (外)ヨコ方向 ミガキ (内)口縁端部 沈線1条・ヨコ 方向ミガキ | 0.5mm以下砂粒 わずかに含む | 良好 | (外) 黒褐 5YR2/1 (内) 黒褐 5YR2/1 | 口縁端部: 穿孔 |
| 52- 15 | 50 | 437 • 405 | H6 141015 | | 第 4 遺 構面 | 縄文 土器 | 浅鉢 | (43.0) | (40.8) | | | (外) ヨコ方向 ミガキ・条痕後 ミガキ (内) 口縁端部 沈線 1 条・ヨコ 方向ミガキ | 1㎜以下砂粒わずかに含む | 良好 | (外) 黒褐 10YR3/2 (内) 黒褐 10YR3/1 | |
| 52- 16 | 50 | 376 | 141015 | | 第4遺構面 | 縄文 土器 | 浅鉢 | (52.2) | (53.4) | | | (外)ナデ・条 痕後ナデ (内)ヨコ方向 ミガキ | 白色・透明微砂 粒含む | 良好 | (外)褐灰 10YR4/1 (内)褐灰 10YR4/1 | |
| 53-1 | 51 | 357 | G6 141007 | | | 縄文 土器 | 浅鉢 | | (49.2) | | | (外)条痕 (内)ヨコ方向 ミガキ | 2㎜以下砂粒多く含む | 良好 | (外)灰黄褐 10YR5/2 (内)灰黄褐 10YR5/2 | |
| 53-2 | 51 | 292 · 310 | | 地床炉 66 | 第3遺 構面 | 縄文 土器 | 浅鉢 | (22.0) | | | | | 1㎜以下砂粒わずかに含む | 良好 | (外) 黒褐 2.5Y3/1 (内) 暗灰黄 2.5Y5/2 | |
| 53-3 | 51 | 376 | G6 141015 | | 第 4 遺 構面 | 縄文 土器 | 浅鉢 | | | | 8.6 | (外)条痕後ナデ・ナデ(内)ヨコ方向ミガキ | 1 ~ 2mm 白色砂 粒わずかに含む | 良好 | (外) 黄灰 2.5Y6/1 (内) 褐灰 10YR5/1 | |
| 53-4 | 51 | | H5 • 6 141001 | | 暗青灰 色粘質 土 | | 浅鉢 | (17.2) | (17.0) | | | (外) ヨコ方向 ミガキ・ナデ (内) 細いヨコ 方向ミガキ | 1㎜白色砂粒や や多く含む | 良好 | (外) 灰褐 7.5YR4/2 (内) 褐灰 7.5YR4/1 | |
| 53-5 | 51 | 404 | H6 141015 | | 第4遺構面 | 縄文 土器 | 鉢 | (13.2) | (12.4) | | | (外)ナデ・ヨ コ方向ミガキ (内)ヨコ方向 ミガキ | 1㎜以下白色砂 粒わずかに含む | 良好 | (外)褐灰 10YR4/1 (内)褐灰 10YR5/1 | |
| 53-6 | 49 | 275 | H10 140925 | | 暗青灰 色粘質 土 | | 壺 | | (33.8) | | | (外) ヨコ方向ミガキ(内)ナデ・条痕・指頭圧痕 | 1mm以下砂粒わずかに含む | 良好 | (外) 黄褐 10YR5/6 (内) 黄褐 10YR5/6 | |
| 53-7 | 52 | 633 | I7 141031 | | 第4遺構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | (20.0) | (27.4) | | | (外)口縁頂部 刻目・端部下貼 付刻目突帯・条 痕 (内)ナデ | 1㎜以下砂粒わずかに含む | 良好 | (外) 黒褐 7.5YR3/1 (内) 灰黄褐 10YR5/2 | |

| 挿図 番号 | 図版 番号 | Pno. | グリッ ド日付 | 遺構名 | 出土 層位 | 種別 | 器種 | 口径 | 最大 径 | 器高 | 底径 | 調整及び手法 | 胎土 | 焼成 | 色調 | 備考 |
|-----------|----------|--------------|--------------------------------------------------|------------|-----------------|----------|----|--------|---------|----|----|---------------------------------------------------------|-----------------------|----|----------------------------------------------|---------------|
| 53-8 | | | ! | 地床炉 83 | 71-71-11 | 縄文 土器 | 深鉢 | | 1.22 | | | (外)口縁頂部 刻目・端部下貼 付刻目突帯・ナ デ・条痕 (内)条痕 | 2mm以下砂粒わずかに含む | 良好 | (外) 明褐灰 7.5YR7/2 (内) 褐灰 7.5YR4/1 | |
| 53-9 | 51 | 439 | H6 141015 | | 第 4 遺 構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)口縁頂部 刻目・端部下貼 付刻目突帯・ナ デ (内)条痕後ナ デ | 2㎜以下砂粒多く含む | 良好 | (外) 灰白 5Y7/1 (内) 灰白 2.5Y8/2 | |
| 53- 10 | 51 | 515 | H7 141023 | 土器溜り 03 | 第 4 遺 構面 | 縄文土器 | 深鉢 | | | | | (外)口縁頂部 刻目・端部下貼 付刻目突帯・ナ デ (内)ナデ・条 痕 | 1mm以下砂粒わずかに含む | 良好 | (外) 灰黄褐 10YR5/2 (内) にぶい黄橙 10YR5/3 | |
| 53- 11 | 51 | 440 | H6 141015 | | 第4遺構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)口縁頂部 刻目・端部下貼 付刻目突帯・条 痕 (内)条痕後ナ デ | 4㎜以下砂粒わずかに含む | 良好 | (外) にぶい黄橙 10YR7/2 (内) にぶい橙 5YR6/4 | |
| 53- 12 | 51 | | H6 141008 | | 暗青灰 色粘質 土 | | 深鉢 | (30.1) | | | | (外)口縁頂部 刻目・端部下貼 付刻目突帯・ナ デ (内)ナデ | | 良好 | (外) 黑 7.5YR2/1 (内) 灰褐 7.5YR5/2 | |
| 54-1 | 53 | 433 • 434 | H6 141015 | | 第 4 遺 構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | (51.6) | | | | (外)口縁頂部 刻目・端部下貼 付刻目突帯・ナ デ・条痕 (内)条痕 | 3mm以下砂粒多 く含む | 良好 | (外) 黒褐 10YR3/1 (内) 黒褐 10YR3/1 | |
| 54-2 | 53 | 532 | H7 141023 | 土器溜り 03 | 第 4 遺 構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | (30.2) | | | | | 2mm以下砂粒多く含む | 良好 | (外) 灰白 10YR8/2 (内) にぶい橙 7.5YR7/3 | |
| 54-3 | 52 | 345 · 346 | H5 • 6 141001 | | 暗青灰 色粘質 | | 深鉢 | (44.4) | (41.8) | | | (外)口縁端部 巻貝刺突刻目・ タテ・ヨコ方向 条痕 (内)ナデ・ヨ コ方向条痕 | 3㎜以下砂粒多く含む | 良好 | (外) 浅黄橙 10YR8/3 (内) 浅黄橙 10YR8/3 | |
| 54-4 | 53 | 522 | H7 141023 | | 第4遺構面 | 縄文土器 | 深鉢 | (41.0) | | | | (外)口縁頂部 | 1 ~ 2mm白色砂 粒やや多く含む | | (外)灰白 2.5Y7/1 (内)黄灰 2.5Y5/1 | |
| 54-5 | 53 | 562 | H7 141023 | 土器溜り 03 | 第4遺構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)口縁頂部 刻目・端部貼付 刻目突帯・ナデ ・斜め方向条痕 (内)ナデ | 1㎜以下砂粒多く含む | 良好 | (外) 黒褐 7.5YR3/1 (内) 浅黄 2.5YR7/3 | |
| 54-6 | 53 | | G6 140904 | | 暗褐色 粘土 | 土器 | | | | | | (外) 口縁端部 刻目突帯・条痕 (内)ナデ・条 痕 | 1 ~ 2mm白色砂 粒含む | 良好 | (外) にぶい黄橙 10YR7/4 (内) にぶい黄褐 10YR5/3 | |
| 54-7 | | | H8 140925 | | 暗青灰 色粘質 土 | 土器 | | | (23.8) | | | (外)口縁端部 貼付刻目突帯・ 条痕 (内)条痕 | 1mm以下砂粒わずかに含む | | (外) にぶい黄橙 10YR6/3 (内) にぶい黄橙 10YR6/3 | 外面 : スス 付着 |
| 54-8 | 53 | 417 | H6 141015 | | 第4遺構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | (23.2) | | | | (外)口縁端部 下貼付刻目突帯 ・ナデ・条痕 (内)ナデ・条 痕 | 3㎜以下砂粒わずかに含む | 良好 | (外) 灰黄褐 10YR5/2 (内) 褐灰 10YR4/1 | |
| 54-9 | 53 | | H6 141009 | | 暗青灰 色粘質 土 | | 深鉢 | | | | | (外) 口縁端部 下貼付刻目突帯 ・ナデ (内) ナデ | 4mm以下砂粒多 く含む | 良好 | (外) にぶい黄橙 10YR7/2 (内) にぶい黄橙 10YR7/2 | |

| 挿図 番号 | 図版 番号 | Pno. | グリッ ド日付 | 遺構名 | 出土層位 | 種別 | 器種 | 口径 | 最大 径 | 器高 | 底径 | 調整及び手法 | 胎土 | 焼成 | 色調 | 備考 |
|-----------|----------|------|--------------|------------|-----------------|----------|----|--------|---------|----|----|---------------------------------------------------------------------|---------------------|----|----------------------------------------------|---------------|
| 54- 10 | 53 | | H8 140926 | | 暗青灰 色粘質 土 | | 深鉢 | | | | | (外)口縁端部 下貼付刻目突帯 ・摩滅 (内)条痕 | 3㎜以下砂粒多く含む | 良好 | (外)灰 5Y6/1 (内)オリーブ黒 5Y3/1 | |
| 54- 11 | 53 | | G9 140925 | | 暗青灰 色粘質 土 | ı | 深鉢 | | | | | (外) 口縁端部 貼付刻目突帯・ ナデ (内) ナデ | 1㎜以下砂粒わずかに含む | 良好 | (外) 灰黄褐 10YR5/2 (内) 褐灰 10YR4/1 | |
| 54- 12 | 53 | | G9 140925 | | 暗青灰 色粘質 土 | ı | 深鉢 | | | | | (外) 口縁端部 貼付刻目突帯・ ヨコ方向条痕 (内)ナデ・摩 滅 | 3㎜以下砂粒多く含む | 良好 | (外) にぶい黄橙 10YR7/4 (内) にぶい黄橙 10YR7/4 | 外面: スス 付着 |
| 54- 13 | 53 | | H9 140924 | | 暗青灰 色粘質 土 | ı | 深鉢 | | | | | (外)口縁端部 貼付刻目突帯・ 丁寧なナデ (内)ナデ | 1㎜以下砂粒わずかに含む | 良好 | (外) 灰黄褐 10YR5/2 (内) 褐灰 10YR4/1 | |
| 55-1 | 53 | | H6 141008 | | 暗青灰 色粘質 土 | ı | 深鉢 | | | | | (外) 口縁頂部 刻目・端部下刻 目突帯・刺突文 ・条痕 (内) 条痕 | 5mm小石・白色 砂粒含む | 良好 | (外)灰褐7.5YR5/2 (内)黒褐7.5YR3/1 | |
| 55-2 | 53 | 372 | G6 141015 | | 第4遺構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | (23.2) | | | | (外)口縁頂部 刻目・端部下貼 付刻目突帯・ナ デ・条痕 (内)ナデ | 2㎜以下砂粒わずかに含む | 良好 | (外) 灰白 2.5Y8/1 (内) にぶい黄橙 10YR7/3 | |
| 55-3 | 54 | | H8 140926 | | 暗青灰 色粘質 土 | ı | 壺 | (11.2) | (12.4) | | | (外)口縁頂部 刻目・端部下貼 付刻目突帯・ナ デ (内)ナデ | 1㎜以下砂粒わずかに含む | 良好 | (外) にぶい黄橙 10YR6/3 (内) 黒 2.5Y2/1 | 外面: スス 付着 |
| 55-4 | 54 | 510 | H7 141023 | 土器溜り 03 | 第4遺構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)口縁頂部 刻目・端部下貼 付刻目突帯・ナ デ (内)ナデ | 2㎜以下砂粒多く含む | 良好 | (外)灰白 2.5Y8/2 (内)灰黄 2.5Y7/2 | |
| 55-5 | 54 | | G6 141007 | | 暗青灰 色粘質 土 | ı | | | | | | (外) 口縁頂部 刻目・貼付刻目 突帯・ナデ (内) ナデ | 3㎜以下砂粒多く含む | 良好 | (外)にぶい黄橙 10YR7/2 (内)黄灰 2.5Y5/1 | |
| 55-6 | 54 | | G9 140925 | | 暗青灰 色粘質 土 | 土器 | | | | | | (外)口縁端部下貼付刻目突帯・条痕(内)条痕 | | | (外) にぶい橙 7.5YR6/4 (内) 黒褐 7.5YR3/2 | 外面: スス 付着 |
| 55-7 | 54 | | G9 140925 | | 暗青灰 色粘質 土 | 土器 | | | | | | 下貼付刻目突帯 ・ナデ (内)ナデ | 粒多く含む | | (外)灰黄 2.5Y7/2 (内)黄灰 2.5Y4/1 | |
| 55-8 | 54 | | G9 140925 | | 暗青灰 色粘質 土 | | | | | | | (外)口縁頂部 刻目・端部下貼 付刻目突帯・ナ デ (内)ナデ | | 良好 | (外)にぶい黄橙 10YR7/3 (内)灰黄褐 10YR6/2 | |
| 55-9 | 54 | 570 | H7 141023 | 土器溜り 03 | 第4遺構面 | 縄文 土器 | | | | | | (外)口縁頂部 刻目・端部下貼 付刻目突帯・条 痕 (内)ナデ | 2mm以下砂粒多 く含む | 良好 | (外) 褐 7.5YR4/3 (内) にぶい黄褐 10YR5/3 | |
| 55- 10 | 54 | | G9 140924 | | 暗青灰 色粘質 | | | | | | | | 2m以下砂粒含 む | 良好 | (外)褐灰 7.5YR4/1 (内)灰黄褐 10YR5/2 | |
| 55- 11 | 54 | 296 | 141001 | 地床炉 56 | | 縄文土器 | 深鉢 | | | | | | I | 良好 | (外)灰白 2.5Y7/1 (内)灰白 5Y7/1 | 内面:被熱 黒変 |
| 55- 12 | 54 | 298 | 141001 | 地床炉 66 | | 縄文土器 | 深鉢 | | | | | (外)口縁端部 | 3mm以下白色砂 粒わずかに含む | 良好 | (外) 黒褐 10YR3/2 (内) にぶい黄橙 10YR7/3 | 外面 : スス 付着 |

| 挿図 番号 | 図版 番号 | Pno. | グリッ ド日付 | 遺構名 | 出土 層位 | 種別 | 器種 | 口径 | 最大 径 | 器高 | 底径 | 調整及び手法 | 胎土 | 焼成 | 色調 | 備考 |
|-----------|----------|--------------|---------------|------------|-----------------|----------|----|--------|---------|----|----|----------------------------------------------------------|-----------------------------|----|----------------------------------------------|--------------------------------|
| 55- 13 | 54 | | H8 140929 | | 色粘質土 | 土器 | | | | | | (外)口縁端部 無刻突帯・ナデ ・条痕 (内)ナデ・条 痕 | | | (外) 灰黄褐 10YR6/2 (内) 褐灰 10YR5/1 | |
| 55- 14 | 54 | 540 | H7 141023 | 土器溜り 03 | 第4遺構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | (34.4) | (35.2) | | | (外)口縁頂部 刻目・ナデ・条 痕 (内)ナデ | 2㎜以下砂粒多く含む | 良好 | (外) 灰黄 2.5Y7/2 (内) 黒褐 10YR3/1 | |
| 55- 15 | 54 | 407 • 408 | H6 141015 | | 第 4 遺 構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | (30.4) | (31.2) | | | (外) 口縁頂部 刻目・ナデ・条 痕 (内) ナデ | 1 ~ 2mm白・赤 色砂粒やや多く 含む | 良好 | (外)灰白 10YR8/2 (内)にぶい黄橙 10YR7/2 | 口縁部外 面:スス付 着/内面: 被熱黒変 |
| 55- 16 | 54 | 566 | H7 141023 | 土器溜り 03 | 第4遺構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)口縁頂部 刻目・条痕後ナ デ (内)ナデ | 3mm以下自色砂 粒多く含む | 良好 | (外) にぶい褐 7.5YR5/3 (内) にぶい黄橙 10YR6/4 | 外面: スス 付着 |
| 56-1 | 55 | 917 | G8 141127 | 炭溜り 04 | 暗黒灰 色粘質 土 | | 深鉢 | (28.5) | (28.8) | | | (外)条痕(内)口縁頂部刻目・ナデ・条痕 | 3㎜以下砂粒わずかに含む | 良好 | (外) 灰黄褐 10YR5/2 (内) 灰黄褐 10YR5/2 | |
| 56-2 | 54 | 484 | H7 141023 | 土器溜り 03 | 第 4 遺 構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | (27.2) | (26.6) | | | (外)口縁頂部 刻目・ヨコ・タ テ方向条痕 (内)条痕 | 3㎜以下砂粒わずかに含む | 良好 | (外)浅黄橙 10YR8/3 (内)浅黄橙 10YR8/3 | 1 |
| 56-3 | 54 | 543 | H7 141023 | 土器溜り 03 | 第4遺構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | (20.4) | (26.2) | | | (外)口縁頂部 刻目・ヨコ・タ テ方向条痕 (内)ナデ・ヨ コ方向条痕 | 3㎜以下砂粒多く含む | 良好 | (外) にぶい黄橙 10YR7/3 (内) にぶい黄橙 10YR7/2 | |
| 56-4 | 55 | 526 | H7 141023 | 土器溜り 03 | 第 4 遺 構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)口縁頂部 刻目・条痕 (内)ナデ・条 痕 | 2㎜以下砂粒わずかに含む | 良好 | (外) 黒褐 5YR3/1 (内) 黒褐 10YR3/2 | 外面: スス 付着 |
| 56-5 | 55 | | G10 140926 | | 暗青灰 色粘質 土 | 土器 | | | | | | (外)口縁頂部 刻目・条痕 (内)条痕 | 白・灰色小砂粒 ・金雲母やや多 く含む | 良好 | (外) 黄灰 2.5Y6/1 (内) 灰黄 2.5Y6/2 | |
| 56-6 | 55 | 517 | H7 141023 | 土器溜り 03 | 第4遺構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | (14.4) | (15.2) | | | (外)口縁頂部 刻目・ヨコ・斜 め方向条痕 (内)ナデ・ヨ コ・斜め方向条 痕 | 2㎜以下砂粒わずかに含む | 良好 | (外)褐灰 7.5YR4/1 (内)灰褐 7.5YR4/2 | |
| 56-7 | 55 | 430 | H6 141015 | | 第4遺 構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)口縁頂部 刻目・条痕 (内)条痕 | 1mm以下透明小 砂粒含む | 良好 | (外)暗褐 7.5YR3/3 (内)黄灰 2.5Y4/1 | |
| 56-8 | 55 | 483 | H7 141023 | 土器溜り 03 | 第4遺構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | (21.3) | (21.0) | | | (外)口縁頂部 刻目・条痕 (内)ヨコ方向 条痕 | 2㎜灰色砂粒含む | 良好 | (外)にぶい黄橙 10YR6/3 (内)にぶい黄褐 10YR4/3 | 外面:スス 付着/内 面:被熱黒 変 |
| 56-9 | 55 | 400 | H6 141015 | | 第4遺 構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | (21.0) | | | | (外)口縁頂部 刻目・ナデ (内)ナデ | 3㎜以下砂粒多く含む | 良好 | (外)浅黄 2.5Y7/3 (内)灰 5Y4/1 | |
| 56- 10 | 55 | | G7 141014 | | 暗青灰 色粘質 土 | | 深鉢 | (34.8) | | | | (外)口縁端部 刻目・ナデ (内)ナデ | 1 ~ 4mm白色砂 粒やや多く含む | 良好 | (外) 黄灰 2.5Y4/1 (内) 黒褐 2.5Y3/2 | 外面: スス 付着 |
| 56- 11 | 55 | 571 | H7 141023 | 土器溜り 03 | 第4遺 構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)口縁頂部 刻目・条痕 (内)ナデ | 2㎜以下砂粒多く含む | 良好 | (外)灰黄褐 10YR5/2 (内)黒褐 10YR3/1 | 外面: スス 付着 |
| 56- 12 | 55 | 569 | H7 141023 | 土器溜り 03 | 第 4 遺 構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | (26.2) | | | | (外)口縁頂部 刻目・タテ方向 条痕 (内)ナデ | 1㎜白色砂粒多く含む | 良好 | (外)浅黄橙 10YR8/4 (内)浅黄橙 10YR8/3 | 1 |
| 56- 13 | 55 | 423 | H6 141015 | | 第4遺 構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)口縁頂部 刻目・条痕 (内)ナデ | 3mm以下砂粒わずかに含む | 良好 | (外)灰黄褐 10YR6/2 (内)にぶい褐 7.5YR6/3 | |
| 56- 14 | 55 | | H5 141008 | | 暗青灰 色粘質 土 | | 深鉢 | | | | | (外)条痕・摩 滅 (内)口縁頂部 刻目・条痕・摩 滅 | 2.5mm以下砂粒 わずかに含む | 良好 | (外) にぶい黄橙 10YR7/2 (内) にぶい黄橙 10YR7/3 | |

| 挿図 番号 | 図版 番号 | Pno. | グリッ ド日付 | 遺構名 | 出土 層位 | 種別 | 器種 | 口径 | 最大 径 | 器高 | 底径 | 調整及び手法 | 胎土 | 焼成 | 色調 | 備考 |
|-----------|----------|------------|----------------|------------|-----------------|----------|----|--------|---------|----|-------|-----------------------------------------------------|-------------------------|----|----------------------------------------|--------------------------------|
| 56- 15 | 55 | 435 | H6 141015 | | 第4遺構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外) 口縁頂部 刻目・条痕・摩 滅 (内)ナデ・摩 滅 | 2mm以下白色砂 粒わずかに含む | 良好 | (外) 灰白 5Y7/1 (内) にぶい黄橙 10YR7/2 | |
| 57-1 | 55 | | H7 141029 | 土器溜り 03 | 黒灰色 粘質土 | ı | 深鉢 | (20.4) | | | | (外) 口縁頂部 刻目・条痕後ナ デ (内) 条痕後ナ デ | 1 | 良好 | (外)灰黄 2.5Y7/2 (内)黄灰 2.5Y4/1 | |
| 57-2 | 55 | | H5•6 141001 | | 暗青灰 色粘質 | 1 | 深鉢 | | | | | (外) 口縁頂部 鋸歯状刻目・ヨ コ方向条痕 (内) ヨコ方向 条痕 | 1~2mm白色小砂粒含む | 良好 | (外) 黒褐 10YR3/2 (内) にぶい黄褐 10YR5/4 | |
| 57-3 | 55 | | G•H8 141017 | | 第4遺構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)口縁頂部 刻目・条痕 (内)ナデ | 2㎜以下砂粒わずかに含む | 良好 | (外) 黒褐 10YR3/2 (内) 黒褐 10YR3/1 | 外面: スス 付着 |
| 57-4 | 55 | 432 | H6 141015 | | 第4遺 構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | (28.5) | | | | (外)口縁頂部 刻目・ナデ (内)ナデ | 1 ~ 2mm白色砂 粒多く含む | 良好 | (外) 黒褐 7.5YR2/2 (内) 褐 7.5YR4/3 | |
| 57-5 | | 499 | H7 141029 | 土器溜り 03 | 黒灰色 粘質土 | 土器 | | (20.2) | | | | (外)口縁頂部 刻目・条痕 (内)条痕・摩 滅 | 2~3mm白・灰 色砂粒含む | | (外) 赤褐 5YR4/6 (内) にぶい褐 7.5YR5/4 | 口縁部外 面:スス付 着/内面: 被熱黒変 |
| 57-6 | 55 | 597 | G6 141028 | | 第4遺構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | | (23.4) | | | (外)条痕・刺 突文・粗い条痕 (内)条痕・摩 滅 | 1㎜以下白色小砂粒やや多く含む | 良好 | (外) 黒褐 7.5YR3/2 (内) 灰黄褐 10YR6/2 | 外面: スス 付着 |
| 57-7 | 56 | 383 | H6 141015 | | 第4遺構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | (15.4) | (17.8) | | | (外)口縁頂部 刻目・端部刻目 突帯・刺突文2 段・ナデ・条痕 (内)ナデ・条 | I | 良好 | (外)明褐灰7.5YR7/2 (内)にぶい黄橙 10YR7/3 | 内面: スス 付着 |
| 57-8 | 56 | 654 | H7 141110 | | 第4遺構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | | (19.2) | | | (外)ナデ・刻 目・条痕・ナデ (内)ナデ・条 痕 | 1㎜白・赤色砂 粒やや多く含む | 良好 | (外)灰褐 5YR4/2 (内)黒褐 7.5YR3/1 | |
| 57-9 | 55 | | G6 141007 | | 暗青灰 色粘質 土 | | 壺か | | | | | (外)刻目・条 痕 (内)条痕 | 3㎜以下砂粒わずかに含む | 良好 | (外)灰黄 2.5Y6/2 (内)灰黄褐 10YR5/2 | |
| 57- 10 | 56 | 246 | G5 140911 | | 第4遺 構面 | 土器 | | | | | | (外)ナデ・め 方向条痕 (内)ナデ | 2㎜以下ガラス 質砂粒含む | | (外) 黄灰 2.5Y5/1 (内) にぶい黄 2.5Y6/3 | 外面: スス 付着 |
| 57- 11 | 56 | 301 313 | H8 140930 | 地床炉 66 | 第4遺構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | (25.6) | (27.0) | | | (外)条痕 (内)条痕 | 3㎜以下砂粒多 く含む | 良好 | (外) にぶい黄橙 10YR7/2 (内) 褐灰 10YR6/1 | |
| 57- 12 | 56 | | G5 141008 | | 暗青灰 色粘質 土 | | 深鉢 | | | | | (外)口縁端部 押引状刺突文・ ヨコ方向条痕 (内)ナデ | 白色小砂粒・金 雲母わずかに含 む | 良好 | (外)褐灰 5YR5/1 (内)灰黄褐 10YR5/2 | |
| 57- 13 | 56 | | F6 141003 | | 暗青灰 色粘質 土 | | 浅鉢 | | | | (9.7) | (外) ヨコ方向 ミガキ・丁寧な ミガキ (内) ヨコ方向 ミガキ | 白色小砂粒含む | 良好 | (外) 黄灰 2.5Y4/1 (内) 黄灰 2.5Y4/1 | |
| 57- 14 | 56 | 504 | H7 141029 | 土器溜り 03 | 黒灰色 粘質土 | ı | 底部 | | | | (5.0) | (外)ナデ (内)ミガキ | 2㎜以下砂粒多く含む | 良好 | (外) にぶい黄橙 10YR7/3 (内) 黒褐 10YR3/1 | |
| 57- 15 | 56 | 339 | H6 141001 | | 第 4 遺 構面 | 土器 | | | | | (6.9) | (外) タテ方向 条痕・ナデ (内) ナデ | に多く含む | | (外)灰黄 2.5Y7/2 (内)黒褐 2.5Y3/1 | |
| 57- 16 | 56 | | H10 140922 | | 暗青灰 色粘質 土 | 土器 | | | | | (7.6) | (外)ナデ・摩 滅 (内)ミガキ・ 摩滅 | 白色砂粒含む | | (外) 褐灰 5YR4/1 (内) 褐灰 5YR5/1 | |
| 57- 17 | 56 | 406 | H6 141015 | | 第 4 遺 構面 | 土器 | | | | | (6.6) | (外)ナデ(内)ミガキ・摩滅 | 1㎜以下砂粒わずかに含む | | (外)灰黄褐 10YR4/2 (内)灰黄褐 10YR4/2 | |
| 57- 18 | 56 | 429 | H6 141015 | | 第4遺構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)条痕 (内)条痕・ナ デ・指頭圧痕 | 2㎜以下砂粒わずかに含む | 良好 | (外)灰黄褐 10YR6/2 (内)灰黄褐 10YR5/2 | |

| 挿図 番号 | 図版 番号 | Pno. | グリッ ド日付 | 遺構名 | 出土 層位 | 種別 | 器種 | 口径 | 最大 径 | 器高 | 底径 | 調整及び手法 | 胎土 | 焼成 | 色調 | 備考 |
|-----------|----------|------|--------------|--------|-----------------|----------|----------|-----------|-----------|-------|----|-----------------------------------------------------------|----------------------------|----|------------------------------------|----------------------------|
| 57- 19 | 56 | | F8 141010 | | 暗青灰 色粘質 土 | | 土製 円盤 | 長径 4.9 | 短径 4.8 | 厚 0.8 | | (外)条痕・摩滅 (内)摩滅 | 1~2mm白・赤 色砂粒やや多く 含む | 良好 | (外)灰白 7.5YR8/2 (内)橙 7.5YR6/6 | 深鉢の転 用品 / 使 用痕顕著 |
| 61-1 | 62 | 899 | 141127 | 炭溜り 01 | | 縄文土器 | 浅鉢 | | | | | (外)ミガキ (内)口縁端部 沈線1条・ミガ キ | 自・灰色小砂粒 含む | 良好 | (外)橙 5YR7/6 (内)橙 5YR6/6 | 方形浅鉢 / 口縁端部: 穿孔 |
| 61-2 | 62 | 891 | 141127 | 炭溜り 01 | 第 5 遺 構面 | 縄文 土器 | 浅鉢 | | | | | (外)ナデ・ミ ガキ (内)口縁端部 沈線1条・ミガ キ | 1~4mn白色砂 粒含む | 良好 | (外) にぶい黄 2.5Y6/3 (内) 灰 5Y4/1 | 方形浅鉢 |
| 61-3 | 62 | 881 | 141127 | 炭溜り 01 | 第 5 遺 構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)口縁頂部 半裁竹管状刻目 ・端部下貼付刻 目突帯・ナデ (内)条痕 | 2㎜以下砂粒多く含む | 良好 | (外) 灰黄褐 10YR6/2 (内) 灰黄褐 10YR5/2 | |
| 61-4 | 62 | 886 | 141127 | 炭溜り 01 | 第 5 遺 構面 | 縄文 土器 | 浅鉢 | | | | | (外)ナデ (内)口縁端部 沈線1条・ミガ キ | 砂粒多く含む | 良好 | (外)暗黄灰 2.5Y5/2 (内)黄灰 2.5Y5/1 | |
| 61-5 | 62 | 910 | 141127 | 炭溜り 01 | 第 5 遺 構面 | 土製品 | 土製 円盤 | | 短径 4.1 | 厚 0.6 | | (外)条痕・摩 滅 (内)ナデ・摩 滅 | 白色小砂粒やや 多く含む | 良好 | (外) 黒褐 2.5Y3/1 (内) 黄灰 2.5Y4/1 | 深鉢の転 用品 / 使 用痕顕著 |
| 61-6 | 62 | 907 | 141127 | 炭溜り 01 | 第5遺 構面 | 土製品 | 土製 円盤 | ı | 短径 4.3 | 厚 0.7 | | (外)条痕後ミガキ・摩滅(内)ミガキ・摩滅 | ガラス質小砂粒 含む | 良好 | (外) 黒褐 10YR3/1 (内) 黒 10YR2/1 | 浅鉢の転 用品 / 使 用痕顕著 |
| 61- 10 | 63 | 849 | 141127 | 炭溜り 03 | 第 5 遺 構面 | 縄文 土器 | 浅鉢 | | | | | (外)ナデ・ミガキ・条痕(内)ナデ・ミガキ・摩滅 | 1 ~ 3mm白色砂 粒非常に多く含 む | 良好 | (外)明褐 7.5YR5/6 (内)赤褐 5YR4/6 | |
| 61- 11 | 63 | 839 | 141127 | 炭溜り 03 | 第5遺構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)口縁頂部 刻目・条痕 (内)条痕 | 2㎜以下砂粒多く含む | 良好 | (外)灰白 2.5Y7/1 (内)灰黄褐 10YR6/2 | |
| 61- 12 | 63 | 813 | 141126 | 炭溜り 03 | 第 5 遺 構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | (24.5) | (25.6) | | | (外)口縁頂部 刻目・条痕・半 裁竹管状刺突文 (内)条痕 | | 良好 | (外) 灰黄褐 10YR6/2 (内) 灰黄褐 10YR6/2 | ı |
| 61- 13 | 63 | 832 | 141127 | 炭溜り 03 | 第 5 遺 構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | (30.4) | | | | (外) 口縁頂部 刻目・ヨコ方向 ミガキ (内) ヨコ方向 ミガキ | 1㎜以下砂粒わずかに含む | 良好 | (外) 黒褐 10YR3/1 (内) 黒褐 10YR3/1 | |
| 61- 14 | 63 | 844 | 141127 | 炭溜り 03 | 第5遺構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | (30.0) | | | | (外)口縁頂部 刻目・端部下貼 付刻目突帯・ナ デ・条痕 (内)条痕 | | 良好 | (外)淡黄 2.5Y8/3 (内)黑 2.5Y2/1 | |
| 61- 15 | 63 | 797 | 141127 | 炭溜り 01 | 第 5 遺 構面 | 縄文土器 | 深鉢 | | | | | (外)口縁頂部 刻目・端部下貼 付刻目突帯・ナ デ (内)ナデ | 2㎜以下砂粒多く含む | 良好 | (外)灰白 10YR8/1 (内)灰白 10YR8/1 | |
| 63-1 | 126 | 690 | G8 141120 | | 暗黒灰 色粘質 土 | | 浅鉢 | | | | | (外) ミガキ・ 条痕・赤彩 (内) ミガキ・ 赤彩 | 白色微砂粒わず かに含む | 良好 | (外) 黒褐 5YR3/1 (内) 黒褐 5YR3/1 | 方形浅鉢 / 赤彩 (赤 10R3/6) |
| 63-2 | 65 | 718 | G8 141120 | | 暗黒灰 色粘質 土 | | 浅鉢 | | | | | (外)ミガキ (内)ミガキ・ ナデ | 1 ~ 4mm白色砂 粒やや多く含む | 良好 | (外)浅黄 2.5Y7/3 (内)黄灰 2.5Y4/1 | 方形浅鉢 / 外面:被熱 黒変 |
| 63-3 | 65 | 262 | 141120 | | | 縄文土器 | 深鉢 | (20.6) | (21.8) | | | (外)ナデ・条 痕 (内)口縁端部 押引状刺突文・ 条痕 | 2㎜以下砂粒多く含む | 良好 | (外) 灰黄褐 10YR5/2 (内) 黒褐 2.5Y3/1 | - |
| 63-4 | 65 | 712 | G8 141120 | | 暗黒灰 色粘質 土 | | 深鉢 | (32.6) | (30.2) | | | (外) 口縁頂部 刻目・条痕 (内) ナデ・条 痕 | 1㎜以下白色小砂粒やや多く含む | 良好 | (外) 灰黄 2.5Y6/2 (内) 灰黄 2.5Y6/2 | 口縁部外 面:スス付 着 |

| 挿図 番号 | 図版 番号 | Pno. | グリッ ド日付 | 遺構名 | 出土層位 | 種別 | 器種 | 口径 | 最大 | 器高 | 底径 | 調整及び手法 | 胎土 | 焼成 | 色調 | 備考 |
|-----------|----------|---------|---------------|-------------|------------|----------|----|--------|--------|----|----|--------------------------------------------------------------------|--------------------------|----|---------------------------------------------|-----------------------|
| 63-5 | | 720 | 141120 | | 暗黒灰 色粘質 | 縄文 土器 | 深鉢 | (35.8) | (35.0) | | | (外) 刺突文 2 段・条痕 (内) 口縁頂部 刻目・ナデ・条 痕 | 1㎜以下砂粒わ ずかに含む | 良好 | (外) 黒褐 10YR3/1 (内) 黒 10YR2/1 | |
| 70-1 | 75 | 1048 | 19 150109 | 水さらし 場 | | 縄文 土器 | 深鉢 | (27.8) | | | | (外) ミガキ・ 条痕後ミガキ(内) ヨコ方向ミガキ | 白色小砂粒わず かに含む | 良好 | (外)黒7.5YR1.7/1 (内)にぶい褐 7.5YR5/3 | |
| 70-2 | 75 | 1050 | I9 150109 | 水さらし 場 | | 縄文 土器 | 深鉢 | (20.4) | (21.4) | | | (外)口縁端部 貼付刻目突帯・ 条痕 (内)ナデ | 1mm以下砂粒わずかに含む | 良好 | (外)褐灰 10YR4/1 (内)にぶい黄橙 10YR5/3 | |
| 70-3 | 75 | 1049 | I9 150109 | 水さらし 場 | | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)口縁端部 刻目突帯・ナデ (内)ナデ・条 痕 | 1mm白色砂粒や や多く含む | 良好 | (外)黒10YR2/1 (内)黒10YR2/1 | |
| 70-4 | 75 | | 141219 | 水さらし 場 I | | 縄文 土器 | 浅鉢 | | | | | (外)ミガキ (内)ミガキ | 1mm以下白色小 砂粒わずかに含 む | 良好 | (外) 黒 2.5Y2/2 (内) 黒褐 2.5Y3/1 | 波状口縁 |
| 74-1 | 126 | | I6 141027 | | | 縄文 土器 | 浅鉢 | | | | | (外)ナデ・赤 彩 (内)ナデ・赤 彩 | 白色小砂粒含む | 良好 | (外) 黒褐 7.5YR3/1 (内) 褐灰 7.5YR4/1 | 赤彩 (赤 10YR4/6) |
| 74-2 | 79 | | G8 150128 | | 青灰色 粘質土 | 1 | ı | | | | | (外)ナデ・摩 滅 (内)ナデ・摩 滅 | 1mm白色小砂粒 多く含む | 良好 | (外)灰白 2.5Y7/1 (内)灰黄 2.5Y7/2 | |
| 74-3 | 79 | 669 | H8 141110 | | 黒灰色 粘質土 | ı | 浅鉢 | | | | | (外) ミガキ・ 条痕 (内) ヨコ方向 ミガキ | 1 ~ 2mm白色砂 粒やや多く含む | 良好 | (外)暗灰黄 2.5Y5/2 (内)黄灰 2.5Y6/1 | 方形浅鉢 |
| 74-4 | 79 | | F8 141104 | | 黒灰色 粘質土 | 1 | 浅鉢 | | | | | (外)ナデ・ミ ガキ・条痕 (内)ヨコ方向 ミガキ | 1 ~ 2㎜白色小 砂粒含む | 良好 | (外) 黄灰 2.5Y4/1 (内) オリーブ黒 5Y3/1 | 方形浅鉢 |
| 74-5 | 79 | 627 | G10 141030 | | 第5遺構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)ナデ・条 痕 (内)口縁端部 沈線1条・ミガ キ | 1 ~ 3㎜白色砂 粒含む | 良好 | (外) にぶい黄褐 10YR5/4 (内) にぶい黄 2.5Y6/3 | 方形浅鉢 / 外面:スス 付着 |
| 74-6 | 79 | 土器 ⑤ | 141113 | 地床炉 110 | | 縄文 土器 | 浅鉢 | (30.0) | (27.0) | | | (外) ヨコ方向 ミガキ・条痕後 ナデ (内) ヨコ方向 ミガキ | l | 良好 | (外)灰白 2.5Y8/2 (内)灰白 2.5Y8/2 | 波状口縁 |
| 74-7 | 80 | 608 | G9 141029 | | 黒灰色 粘質土 | | 浅鉢 | (43.2) | (44.0) | | | (外)ナデ・ケ ズリ (内)口縁端部 沈線1条・ヨコ 方向ミガキ | 砂粒やや多く含 む | 良好 | (外) 黑褐 7.5YR3/1 (内) 褐灰 7.5YR4/1 | 波状口縁 |
| 74-8 | 79 | | H6 141024 | | 黒灰色 粘質土 | 1 | 浅鉢 | (26.6) | (28.4) | | | (外)丁寧なナ デ (内)丁寧なナ デ | 1mm以下白色砂 粒やや多く含む | 良好 | (外) 暗灰黄 2.5Y5/2 (内) 黒褐 10YR3/2 | |
| 74-9 | 79 | | G10 141020 | | 黒灰色 粘質土 | 1 | 浅鉢 | (23.9) | | | | (外)摩滅・ミ ガキ (内)ヨコ方向 ミガキ | 白色小砂粒含む | 良好 | (外) 褐灰 5YR4/1 (内) 褐灰 5YR4/1 | |
| 74- 10 | 79 | 632 | H8 141031 | | 第4遺構面 | 縄文 土器 | 浅鉢 | (28.2) | | | | (外)口縁頂部 刻目・ヨコ方向 ミガキ・刻目突 帯 (内)ヨコ方向 ミガキ | 白色小砂粒含む | 良好 | (外) 黒褐 10YR3/1 (内) 褐灰 10YR4/1 | |
| 74- 11 | 79 | | F8 141104 | | 黒灰色 粘質土 | ı | 浅鉢 | (35.4) | (34.4) | | | (外)ナデ・条 痕 (内)ミガキ・ 摩滅 | 1mm以下白色小 砂粒多く含む | 良好 | (外) 黄褐 2.5Y5/3 (内) 黄灰 2.5Y5/1 | |
| 74- 12 | 80 | 670 | H8 141119 | | 第5遺 構面 | 縄文 土器 | 浅鉢 | (31.2) | (32.3) | | | (外) ヨコ方向 ミガキ・条痕 (内) ヨコ方向 ミガキ | 1mm以下白色小 砂粒わずかに含 む | 良好 | (外) 黒灰黄 2.5Y5/2 (內) 黒褐 2.5Y3/2 | 黒色磨研 / 補修孔か |

| 挿図 | 図版 | Pno. | グリッ | 遺構名 | 出土 | 種別 | 器種 | 口径 | 最大 | 器高 | 底径 | 調整及び手法 | 胎土 | 焼成 | 色調 | 備考 |
|-----------------|-------|-----------------------|---------------------|------------|-------------------|----------|-----------|---------|-------------|-----|-------|-------------------------------------------------|---------------------------|------------|-----------------------------------------|------------------------|
| 番号 74- 13 | 番号 80 | 477 | ド日付 I9 141021 | | 層位 第 5 遺 構面 | 縄文土器 | 浅鉢 | (18.3) | 径 (15.0) | | | (外) ヨコ方向 ミガキ・条痕 (内) ヨコ方向 | 1㎜白色砂粒やや多く含む | 良好 | (外) 黄灰 2.5Y6/1 (内) 黒 2.5Y2/1 | |
| | | 050 | | | m == 4 | AW L. | 1042 | (1.1.0) | | | | ミガキ | a special delication | 417 | (A) #F 0 5774 (4 | |
| 74- 14 | 80 | 650 | H7 141106 | | 黒灰色 粘質土 | | 浅鉢 | (11.9) | | 4.5 | 4.3 | (外) ミガキ・ナデ(内) ナデ後ミガキ | 1㎜以下砂粒わずかに含む | 艮好 | (外) 黄灰 2.5Y4/1 (内) 黄灰 2.5Y4/1 | |
| 74- 15 | 80 | | F•G7 141031 | | 黒灰色 粘質土 | | 浅鉢 | | | | 5.8 | (外)ナデ・ケ ズリ (内)ナデ | 1mm白色砂粒非常に多く含む | 良好 | (外) 黒 2.5Y2/1 (内) 黄灰 2.5Y4/1 | |
| 74- 16 | 79 | | H7 141113 | | 第5遺 構面 | 縄文 土器 | 浅鉢 | | | | (5.2) | (外)条痕(内)ミガキ | 1mm以下白色砂 粒含む | 良好 | (外)灰黄 2.5Y7/2 (内)黄灰 2.5Y6/1 | |
| 74- 17 | 79 | 663 | F8 141117 | | 第5遺 構面 | 縄文 土器 | 浅鉢 | | | | 4.2 | (外)条痕・ケ ズリ (内)ナデ・ミ ガキ | 1mm以下砂粒わずかに含む | 良好 | (外) 灰黄 2.5Y7/3 (内) 灰黄 2.5Y6/2 | |
| 74- 18 | 79 | | H7 141029 | 土器溜り 03 | 暗灰色 粘質土 | | 底部 | | | | (4.6) | (外)ナデ (内)条痕 | 2mm以下砂粒わずかに含む | 良好 | (外)灰黄 2.5Y6/2 (内)黒褐 2.5Y3/1 | |
| 75-1 | 79 | 621 | G10 141029 | | | - | 浅鉢 | (29.6) | (31.4) | | | (外) ヨコ方向 ミガキ (内) ヨコ方向 ミガキ | 1㎜以下砂粒わずかに含む | 良好 | (外) 灰黄褐 10YR5/2 (内) 灰黄褐 10YR5/2 | 補修孔か |
| 75-2 | 79 | | F9 141128 | | 暗黒灰 色粘質 土 | | 深鉢 | (27.1) | | | | (外)口縁頂部 刻目・条痕 (内)条痕 | 白色小砂粒多く 含む | 良好 | (外) 褐灰 10YR5/1 (内) 黒 10YR2/1 | |
| 75-3 | 79 | 476 | F10 141020 | | 第5遺構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | (25.0) | | | | (外)ナデ・摩 滅 (内)ナデ・摩 滅 | 3㎜以下砂粒多く含む | 良好 | (外) 明黄褐 10YR7/6 (内) にぶい黄橙 10YR7/4 | 外面:鉄分 付着 |
| 75-4 | 79 | | H8 141031 | | 黒灰色 粘質土 | | 深鉢 | | | | | (外)口縁頂部 鋸歯状刻目・端 部下貼付刻目突 帯・ナデ (内)条痕 | 2~3㎜白・灰 色小砂粒含む | 良好 | (外)灰白 2.5Y8/1 (内)明赤褐 5YR5/8 | |
| 75-5 | 81 | 土器 ⑤ | 141112 | 地床炉 108 | | 縄文土器 | 深鉢 | | | | | (外)ナデ・条 痕 (内)口縁端部 竹管状刺突文・ 斜め方向条痕 | 1~2㎜白色砂 粒非常に多く含 む | 良好 | (外) オリーブ褐 2.5Y4/3 (内) 黄褐 2.5Y5/3 | 孔列文土 器 |
| 75-6 | 81 | | H9 141031 | | 黒灰色 粘質土 | | 深鉢 | | | | | (外)口縁頂部 D形刻目・条痕 (内)斜め方向 条痕 | 1㎜白色砂粒わずかに含む | 良好 | (外) 灰白 5Y7/1 (内) 灰白 7.5Y7/1 | |
| 75-7 | 81 | | H8 141031 | | 黒灰青 色粘質 土 | | 深鉢 | | | | | (外) 口縁頂部 刻目・条痕 (内) 条痕・ナ デ | 2.5㎜以下砂粒 わずかに含む | | (外) 黒褐 10YR3/1 (内) 黒褐 10YR3/1 | |
| 75-8 | 81 | | I7 141113 | | 暗黒灰 色粘質 土 | | 浅鉢 | (17.8) | (18.6) | | | (外)ナデ (内)ナデ | 1mm以下白色小 砂粒非常に多く 含む | 良好 | (外)褐灰 7.5YR4/1 (内)褐灰 10YR4/1 | |
| 75-9 | 81 | 270 | H10 140918 | | 黒灰色 粘質土 | | 深鉢 | | | | 8.2 | (外)ナデ (内)条痕後ナ デ | 3㎜以下砂粒多く含む | 良好 | (外) にぶい黄橙 10YR7/4 (内) 黄灰 2.5Y4/1 | |
| 75- 10 | 81 | 663 • 2• 793 | F8 141113 | 地床炉 118 | 黒灰色 粘質土 | | 深鉢 | | (21.8) | | (1.8) | (外)ナデ・条 痕 (内)ナデ | 1㎜以下砂粒多く含む | 良好 | (外) 黄灰 2.5Y5/1 (内) にぶい黄橙 10YR6/3 | |
| 80-1 | 127 | 735 | 141120 | | 暗黒灰 色粘質 土 | | 浅鉢 | | | | | (外) 口縁部隆 起・ミガキ・赤 彩 (内) 口縁部沈 線・ミガキ・赤 | 1㎜灰色砂粒わずかに含む | 良好 | (外)褐灰 10YR5/1 (内)黄灰 2.5Y4/1 | 口縁部突 起・穿孔 / 方形浅鉢 |
| 80-2 | 86 | 728 | G8 141120 | | 黒灰色 粘質土 | | 浅鉢 | | | | | (外)ミガキ・ 沈線1条・ナデ (内)ミガキ | | 良好 | (外) 褐灰 5YR4/1 (内) 黒褐 5YR3/1 | 端部:穿孔 /方形浅鉢 |
| 80-3 | 127 | 677 | H7 141119 | | 暗黒灰 色粘質 土 | | 浅鉢 | | | | | (外)ミガキ (内)下地漆・ 赤漆 | 白色小砂粒含む | 良好 | (外)赤黒2.5YR1.7/1 (内)赤7.5R4/8 | |
| 80-4 | 87 | 761 • 763 • 764 | H8 141120 | | 暗黒灰 色粘質 土 | | 浅鉢 | (24.8) | (20.6) | | | (外)条痕後ヨ コ方向ミガキ・ ナデ (内)ヨコ方向 ミガキ | 1㎜以下砂粒わずかに含む | 良好 | (外) 褐灰 10YR4/1 (内) 褐灰 10YR4/1 | |

| 挿図 番号 | 図版 番号 | Pno. | グリッ ド日付 | 遺構名 | 出土 層位 | 種別 | 器種 | 口径 | 最大 径 | 器高 | 底径 | 調整及び手法 | 胎土 | 焼成 | 色調 | 備考 |
|-----------|----------|------|---------------|------------|-----------------|----------|------------|--------|---------|----|-------|---------------------------------------------------------------------|----------------------------|----|----------------------------------------------|----------------------------------------|
| 80-5 | 86 | | F8 141211 | | 第6遺 構面 | 土器 | | | (14.8) | | | (外)ナデ・ヨ コ方向ミガキ・ 条痕 (内)ナデ・ヨ コ方向ミガキ・ 摩滅 | 1mm白色砂粒多 く含む | 良好 | (外) 黄灰 2.5Y4/1 (内) 黄灰 2.5Y4/1 | |
| 80-6 | 86 | | H10 141218 | 地床炉 134 | 第6遺構面 | 縄文 土器 | 浅鉢 | (28.6) | (27.4) | | | (外) ヨコ方向 ミガキ (内) ヨコ方向 ミガキ | 1㎜以下白色小砂粒含む | 良好 | (外) 黑 7.5YR2/1 (内) 褐灰 7.5YR4/1 | 波状口縁か |
| 80-7 | 86 | | F6 141114 | | 暗黒灰 色粘質 土 | ı | 浅鉢 | (25.4) | (23.2) | | | (外) ヨコ方向 ミガキ (内) ヨコ方向 ミガキ | 1 ~ 2mm 白色砂 粒やや多く含む | 良好 | (外) 黒褐 10YR3/1 (内) 黒 2.5Y2/1 | |
| 80-8 | 127 | | G9 141205 | | 暗黒灰 色粘質 | ı | 浅鉢 | | (19.2) | | | (外)ナデ・条 痕・赤彩 (内)ナデ | 透明微砂粒含む | 良好 | (外) 灰黄 2.5Y6/2 (内) 黄褐 2.5Y5/3 | 外面:被 熱黒変/ 肩部:赤 彩(赤 10R4/8) |
| 80-9 | 127 | 979 | G9 141210 | | 色粘質土 | 土器 | | (23.6) | (25.4) | | | (外) ヨコ方向 ミガキ・赤彩 (内) ヨコ方向 ミガキ | 1㎜以下砂粒わずかに含む | | (外) 灰黄 2.5Y6/2 (内) 灰黄 2.5Y6/2 | |
| 80- 10 | 86 | | 141224 | Pit277 | 第6遺構面 | 土器 | | | | | | (外) ヨコ方向ミガキ(内) ヨコ方向ミガキ | 1㎜白色・ガラス質砂粒含む | | (外) 黒褐 10YR3/2 (内) 褐灰 10YR4/1 | |
| 80- 11 | 86 | | G9 141205 | | 暗黒灰 色粘質 土 | ı | 浅鉢 | (23.6) | (24.2) | | | (外)ナデ・条 痕 (内)ナデ | 5mm自色小石、 1mm自色小砂粒 含む | 良好 | (外) 褐灰 10YR4/1 (内) 黒褐 10YR3/1 | 片口状注 口 |
| 80- 12 | 86 | | G10 141203 | | 暗黒灰 色粘質 土 | ı | 浅鉢 | (49.0) | | | | (外)丁寧なナ デ (内)ヨコ方向 ミガキ | 1m以下自色小砂粒含む | 良好 | (外)にぶい橙 5YR6/4 (内)にぶい橙 5YR6/4 | |
| 80- 13 | 86 | 694 | G8 141120 | | 暗黒灰 色粘質 土 | | 浅鉢 | | | | (5.4) | (外)条痕・ナ デ (内)ミガキ | 1mm以下砂粒多 く含む | 良好 | (外)灰黄褐 10YR4/2 (内)灰黄褐 10YR5/2 | |
| 80- 14 | 86 | 955 | G5 141127 | | 第6遺構面 | 土器 | | | | | (4.7) | (外)ナデ (内)ナデ | 2㎜以下砂粒多く含む | | (外) 灰白 2.5Y8/2 (内) 灰白 2.5Y7/1 | |
| 80- 15 | 86 | 987 | 17 141212 | | 第6遺構面 | 縄文 土器 | 浅 鉢 | | | | (4.2) | (外)ケズリ後 ミガキ・ケズリ (内)ヨコ方向 ミガキ | 1㎜白色砂粒多く含む | 艮好 | (外) 黒褐 10YR3/1 (內) 黒褐 10YR3/1 | |
| 81-1 | 87 | 978 | 141210 | | 暗黒灰 色粘質 土 | | 深鉢 | (18.2) | (17.2) | | | (外)口縁頂部 刻目・端部下貼 付刻目突帯・ヘ ラ描き格子文・ 条痕 (内)ナデ | 2mm以下砂粒わずかに含む | 良好 | (外) 黑 10YR2/1 (内) 黑 10YR2/1 | 外面:スス ・炭化物付 着/内面: 被熱黒変 |
| 81-2 | 86 | 963 | G10 141202 | | 暗黒灰 色粘質 土 | ı | 深鉢 | (18.1) | (18.6) | | | (外)口縁頂部 刻目・タテ方向 沈線7条・条痕 (内)条痕 | | 良好 | (外) にぶい褐 7.5YR5/3 (内) にぶい橙 7.5YR6/4 | 外面: スス 付着 |
| 81-3 | 86 | | G6 141117 | | 暗黒灰 色粘質 土 | | 浅鉢 | | | | | (外)丁寧なナ デ・ヘラ描き直 線文・斜行文 (内)ヨコ方向 ミガキ | | 良好 | (外) 灰黄 2.5Y7/2 (内) オリーブ黒 5Y3/1 | |
| 81-4 | 86 | | F5 141114 | | 暗黒灰 色粘質 土 | ı | 浅鉢 | (24.4) | (26.4) | | | (外)丁寧なナ デ (内)斜め方向 ミガキ | 2㎜以下砂粒わずかに含む | 良好 | (外) にぶい黄橙 10YR7/2 (内) 灰黄褐 10YR4/2 | |
| 81-5 | 86 | | H6 141112 | | 暗黒灰 色粘質 土 | ı | 深鉢 | (25.0) | (27.2) | | | (外)口縁頂部 刻目・ナデ・条 痕 (内)ナデ・条 | 2㎜以下砂粒わずかに含む | 良好 | (外) 暗灰黄 2.5Y5/2 (内) 黒褐 2.5Y3/1 | 外面 : スス 付着 |
| 81-6 | 86 | 927 | G5 141127 | | 暗黒灰 色粘質 土 | ı | 深鉢 | (11.2) | (12.0) | | | (外)斜め方向 条痕 (内)ナデ | 1mm以下砂粒含 む | 良好 | (外) 黒褐 10YR3/2 (内) にぶい黄橙 10YR6/3 | |

| 挿図 番号 | 図版 番号 | Pno. | グリッ ド日付 | 遺構名 | 出土 層位 | 種別 | 器種 | 口径 | 最大 径 | 器高 | 底径 | 調整及び手法 | 胎土 | 焼成 | 色調 | 備考 |
|-----------|----------|------|--------------|--------|-----------------|----------|----|--------|---------|----|----|-----------------------------------------------------------------------|-------------------------|----|-----------------------------------------|------------------------------|
| 81-7 | 88 | 1024 | 141222 | | 第6遺構面 | 縄文 土器 | 浅鉢 | (27.3) | (28.0) | | | (外) ヨコ方向 ミガキ・沈線 1 条・条痕 (内) ヨコ方向 ミガキ・ナデ | 2㎜以下砂粒多く含む | 良好 | (外) 黄灰 2.5Y4/1 (內) 褐灰 10YR4/1 | |
| 81-8 | 89 | 928 | F5 141127 | | 第6遺構面 | 縄文 土器 | 浅鉢 | (29.2) | (29.4) | | | (外)条痕後斜 め方向ミガキ (内)条痕後ヨ コ・斜め方向ミ ガキ | 1 ~ 2mm白色砂 粒やや多く含む | 良好 | (外) 灰黄 2.5Y6/2 (内) 淡黄 2.5Y7/3 | 外面: スス 付着 |
| 81-9 | 86 | 928 | F5 141127 | | 第6遺構面 | 縄文 土器 | 浅鉢 | (26.4) | (26.0) | | | (外) ヨコ方向 ミガキ (内) ヨコ方向 ミガキ・条痕後 ナデ | 1㎜白色小砂粒 やや多く含む | 良好 | (外) 灰黄褐 10YR4/2 (内) 灰黄褐 10YR6/2 | |
| 82-1 | 89 | | G5 141201 | | 暗黒灰 色粘質 土 | | 深鉢 | | | | | (外)口縁頂部半竹管状刻目・条痕後ナデ(内)条痕 | 1㎜以下の砂粒 わずかに含む | 良好 | (外) 黑 7.5YR2/1 (内) 黑 7.5YR2/1 | |
| 82-2 | 89 | | F6 141114 | | 暗黒灰 色粘質 土 | | 深鉢 | (24.3) | (25.4) | | | (外)ナデ (内)ナデ | 白・灰・赤色微 砂粒わずかに含 む | 良好 | (外) にぶい褐 7.5YR5/3 (内) 褐灰 5YR6/1 | |
| 82-3 | 89 | 718 | G8 141120 | | 暗黒灰 色粘質 土 | | 深鉢 | | | | | (外) 口縁頂部 刻目・斜め方向 条痕・摩滅 (内) ヨコ方向 条痕 | 1mm白色砂粒含む | 良好 | (外) にぶい黄橙 10YR6/4 (内) 灰黄褐 10YR6/2 | 外面 : スス 付着 |
| 82-4 | 89 | 926 | G5 141127 | | 暗黒灰 色粘質 土 | ı | 深鉢 | (19.4) | (19.8) | | | (外)条痕・ナ デ (内)条痕・ナ デ | 1mm以下砂粒わずかに含む | 良好 | (外) 黒褐 10YR3/1 (内) 黒褐 10YR3/1 | 外面: スス 付着 |
| 82-5 | 89 | 952 | G6 141127 | | 第6遺構面 | 縄文土器 | 深鉢 | (18.8) | (16.8) | | | (外)ナデ・摩 滅 (内)ナデ・条 痕・摩滅 | 3㎜以下砂粒多く含む | 良好 | (外)にぶい黄橙 10YR7/4 (内)黄 灰 2.5Y6/1 | 口縁部突起 |
| 82-6 | 88 | 942 | F5 141127 | | 第6遺構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | (20.5) | (22.6) | | | (外)ナデ (内)ナデ | 1㎜白色砂粒や や多く含む | 良好 | (外) オリーブ褐 2.5Y4/3 (内) 暗灰黄 2.5Y5/2 | |
| 82-7 | 88 | | F6 141114 | | 暗黒灰 色粘質 土 | l | 深鉢 | (41.5) | | | | (外)条痕後粗いナデ(内)条痕後丁寧なナデ | 白・灰色小砂粒 含む | 良好 | (外)灰白 10YR7/1 (内)灰白 10YR8/2 | 外面: スス 付着 |
| 82-8 | 88 | 1018 | 141222 | | 第6遺構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | (34.0) | | | | (外)ナデ (内)ナデ・条 痕 | 1㎜以下砂粒多く含む | 良好 | (外)灰黄褐 10YR5/2 (内)灰黄褐 10YR4/2 | |
| 82-9 | 89 | 988 | H9 141216 | Pit263 | 第6遺構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | (35.4) | (32.4) | | | (外)口縁頂部 刻目・条痕・指 頭圧痕 (内)ナデ・条 痕 | | 良好 | (外)灰黄 2.5Y7/2 (内)浅黄 2.5Y7/3 | |
| 82- 10 | 88 | 933 | F5 141127 | | 第6遺構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | (18.2) | (18.0) | | | (外)条痕後ヨ コ方向ナデ (内)ヨコ方向 ナデ | 黒・赤色小砂粒 含む | 良好 | (外) 褐灰 10YR5/1 (内) にぶい黄橙 10YR7/2 | 口縁端部: スス付着 / 口縁部突 起 |
| 82- 11 | 88 | | G9 141205 | | 暗黒灰 色粘質 土 | | 深鉢 | | | | | (外) ヨコ方向 ナデ・条痕 (内) ヨコ方向 ナデ・条痕 | 白色小砂粒含む | 良好 | (外)灰N6/1 (内)灰N6/1 | |
| 83-1 | 88 | | F8 141119 | | 暗黒灰 色粘質 土 | ı | 深鉢 | | | | | (外)口縁頂部 竹管状刺突文・ 条痕 (内)ナデ | 白色小砂粒含む | 良好 | (外) 黑 7.5YR7/1 (内) 黑褐 2.5Y3/1 | |
| 83-2 | 88 | | G8 141121 | | 暗黒灰 色粘質 土 | ı | 深鉢 | | | | | | 1 ~ 2mm白色砂 粒やや多く含む | 良好 | (外)灰白 2.5Y8/2 (内)黒 10Y2/1 | 外面 : スス 付着 |
| 83-3 | 88 | | Н9 141205 | | 暗黒灰 色粘質 土 | | 深鉢 | | | | | | | 良好 | (外)灰黄 2.5Y7/2 (内)灰黄 2.5Y7/2 | |

| 挿図 番号 | 図版 番号 | Pno. | グリッ ド日付 | 遺構名 | 出土 層位 | 種別 | 器種 | 口径 | 最大 径 | 器高 | 底径 | 調整及び手法 | 胎土 | 焼成 | 色調 | 備考 |
|-----------|----------|------|---------------|------|-----------------|----------|----|--------|---------|----|-------|-----------------------------------------------|--------------------------------|----|----------------------------------------------|---------------|
| 83-4 | 88 | 702 | G8 141120 | | 暗黒灰 色粘質 土 | | 深鉢 | | | | | (外)ナデ・ヨ コ方向条痕 (内)口縁端部 刺突文・ナデ・ 条痕 | 2~3㎜白色砂 粒含む | 良好 | (外) 黒褐 10YR3/2 (内) にぶい黄褐 10YR | 外面 : スス 付着 |
| 83-5 | 90 | | G8 141121 | | 暗黒灰 色粘質 土 | | 深鉢 | | | | | (外)条痕 (内)口縁頂部 D形刺突文・ナ | 2㎜以下砂粒わずかに含む | 良好 | (外)にぶい黄橙 10YR6/3 (内)にぶい黄橙 10YR6/3 | |
| 83-6 | 90 | | H9 141205 | | 暗黒灰 色粘質 土 | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)ナデ (内)口縁頂部 刺突文・ナデ | 1mm以下砂粒多 く含む | 良好 | (外)褐灰 10YR6/1 (内)にぶい黄橙 10YR7/2 | |
| 83-7 | 90 | 726 | G8 141120 | | 暗黒灰 色粘質 土 | 1 | 深鉢 | | | | | (外)ナデ・条 痕 (内)ナデ・口 縁端部刺突文 | 1 ~ 4mm白色小砂粒多く含む | 良好 | (外)暗灰黄 2.5Y5/2 (內)黄灰 2.5Y5/1 | 孔列文土 器 |
| 83-8 | 90 | | H10 141222 | SX15 | 第6遺構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)口縁頂部 刻目・端部下貼 付刻目突帯・磨 滅 (内)ナデ | 2mm以下砂粒多 く含む | 良好 | (外) にぶい黄橙 10YR7/3 (内) にぶい黄橙 10YR7/3 | |
| 83-9 | 90 | 401 | H6 141015 | | 第6遺構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | (32.6) | (31.4) | | | (外)口縁頂部 刻目・端部下貼 付刻目突帯・条 痕 (内)ナデ | 2㎜以下砂粒わずかに含む | 良好 | (外)灰黄褐10YR5/2 (内)灰黄2.5Y6/2 | |
| 83- 10 | 90 | | G9 141205 | | 暗黒灰 色粘質 土 | | 深鉢 | | | | | (外)口縁頂部 刻目・端部下貼 付刻目突帯・条 痕 (内)竹管状刺 | 1㎜白色砂粒少し含む | 良好 | (外)灰黄褐 10YR6/2 (内)にぶい黄橙 10YR6/3 | |
| 83- 11 | 90 | | 141208 | | 第6遺構面 | 縄文土器 | 深鉢 | | | | | , | 2 ~ 3mm白色砂 粒やや多く含む | 良好 | (外) オリーブ褐 2.5Y4/3 (内) 黄灰 2.5Y4/1 | |
| 83- 12 | 90 | | G8 141120 | | 暗黒灰 色粘質 土 | | 深鉢 | (17.9) | | | | | 1 | 良好 | (外) 黑 10YR2/1 (内) 黑褐 10YR3/1 | |
| 83- 13 | 90 | 741 | H8 141120 | | 暗黒灰 色粘質 土 | | 深鉢 | | | | | (外)ナデ (内)口縁頂部 刻目・条痕 | 2mm以下砂粒多 く含む | 良好 | (外)浅黄 2.5Y7/3 (内)灰白 5Y7/1 | |
| 83- 14 | 90 | 692 | G8 141120 | | 暗黒灰 色粘質 土 | | 深鉢 | | | | | | 1~2㎜白色砂 粒非常に多く含 む | | (外)灰黄褐 10YR4/2 (内)黒 2.5Y2/1 | |
| 83- 15 | 90 | 960 | G10 141202 | | 暗黒灰 色粘質 土 | | 深鉢 | (33.2) | (31.0) | | | (外)口縁頂部 刻目・ナデ (内)ナデ | 2mm以下白色砂 粒多く含む | 良好 | (外)褐灰 10YR4/1 (内)黄灰 2.5Y4/1 | 外面 : スス 付着 |
| 83- 16 | 90 | 975 | H8 141210 | | 暗黒灰 色粘質 土 | | 深鉢 | (36.0) | (32.6) | | | (外)口縁頂部 刻目・条痕 (内)条痕 | 2㎜以下砂粒多く含む | 良好 | (外)灰黄 2.5Y7/2 (内)黄灰 2.5Y6/1 | |
| 17 | 90 | 992 | G8 141218 | SK07 | 第6遺構面 暗黒灰 | 土器 | | | | | (8.5) | (外)ナデ (内)ナデ | 3㎜以下砂粒多く含む | | (外)浅黄橙 10YR8/3 (内)浅黄橙 10YR8/3 | 1 |
| 83- 18 | 90 | | G8 141121 | | 暗黒灰 色粘質 土 | | 広部 | | | | (9.8) | (外)ナデ(内)ナデ | 3mm以下白色砂 粒多く含む | 及好 | (外)灰黄 2.5Y7/2 (内)黄灰 2.5Y4/1 | |
| 83- 19 | 90 | 977 | 141210 | | 暗黒灰 色粘質 土 | | 底部 | | | | (5.0) | (外)ナデ (内)ナデ | 2㎜以下砂粒わずかに含む | 良好 | (外) にぶい黄橙 10YR7/4 (内) にぶい黄橙 10YR7/4 | |
| 88-1 | 97 | | G11 140919 | | 第7遺構面 | 縄文 土器 | 浅鉢 | (35.0) | | | | (外)粗いナデ (内)丁寧なナ デ | 3~4mm白色砂 粒わずか、黒色 微砂粒多く含む | 良好 | (外) にぶい橙 7.5YR6/4 (内) 灰黄 2.5Y7/2 | |
| 88-2 | 97 | 1039 | G8 141226 | SK13 | 第7遺構面 | 縄文 土器 | 浅鉢 | | | | | (外) ミガキ・ 条痕後ナデ(内) ミガキ | 1mm自色砂粒含 む | 良好 | (外)褐灰7.5YR4/1 (内)黒7.5YR1.7/1 | 方形浅鉢 |

| 挿図 番号 | 図版 番号 | Pno. | グリッ ド日付 | 遺構名 | 出土 層位 | 種別 | 器種 | 口径 | 最大 径 | 器高 | 底径 | 調整及び手法 | 胎土 | 焼成 | 色調 | 備考 |
|-----------|----------|------|---------------|------------|------------------|----------|----|--------|---------|------|-----|--------------------------------------------------------------------|-----------------------------|----|----------------------------------------------|----------------------|
| 88-3 | 126 | | I9 141222 | | 暗才 リーブ 粘質土 | 縄文 土器 | 浅鉢 | | (23.2) | | | (外)沈線1条 ・ナデ・条痕・ 赤彩 (内)ミガキ・ 赤彩 | 透明・白色小砂 粒わずかに含む | 良好 | (外) にぶい黄 2.5Y6/4 (内) 暗灰黄 2.5Y5/2 | 赤彩(赤 10R5/8) |
| 88-4 | 97 | | G7 150105 | | 暗オ リーブ 粘質土 | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)円孔・円 文 (内)ナデ | 1mm以下白色砂 粒やや多く含む | 良好 | (外) 黄灰 2.5Y6/1 (内) 灰黄 2.5Y6/2 | |
| 88-5 | 97 | | G11 140919 | | 第7遺構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | (12.3) | | | | (外)口縁端部 | 1 ~ 2mm灰色砂 粒わずかに含む | 良好 | (外) 灰黄 2.5Y7/3 (内) 浅黄 2.5Y7/3 | |
| 88-6 | | | G10 141224 | | 暗オ リーブ 粘質土 | 縄文 土器 | | | | | | (外)磨消縄文・ナデ(内)条痕後丁寧なナデ | 2㎜白色砂粒わずかに含む | | (外) 灰黄 2.5Y6/2 (内) 暗灰黄 2.5Y5/2 | |
| 88-7 | 97 | | 150120 | SX21 | 第7遺構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外) ヘラ描き 雷文風渦文2段 (内) ナデ | 1mm以下白・暗 赤色小砂粒多く 含む | 良好 | (外)浅黄橙 10YR8/4 (内)にぶい黄橙 10YR7/3 | |
| 88-8 | 97 | | G7 150105 | | 暗オ リーブ 粘質土 | 縄文 土器 | 深鉢 | (16.8) | (17.2) | | | (外)ナデ (内)ナデ | 1 ~ 2mm白色砂 粒含む | 良好 | (外)灰黄褐 10YR4/2 (内)にぶい黄褐 10YR4/3 | 外面: スス 付着 |
| 88-9 | 97 | | G8 150113 | | 暗オ リーブ 粘質土 | 縄文 土器 | 深鉢 | (16.6) | | | | (外)口縁端部 縄文・ヨコ方向 ミガキ (内)沈線1条 ・ミガキ | 1 ~ 2mm白色砂 粒含む | 良好 | (外) 灰黄 2.5Y6/2 (内) 灰黄 2.5Y6/2 | |
| 88- 10 | 97 | | G7 150107 | | 暗オ リーブ 粘質土 | 縄文 土器 | 浅鉢 | (37.4) | (38.0) | | | (外)丁寧なナ デ (内)ヨコ方向 ミガキ | 1㎜以下白色小砂粒やや多く含む | 良好 | (外) にぶい黄橙 10YR6/3 (内) 黒 10YR2/1 | |
| 88- 11 | 97 | 999 | 141222 | | 第7遺構面 | 縄文 土器 | 浅鉢 | (22.0) | (22.4) | 12.0 | 1.4 | (外)ミガキ・ 摩滅(内)ミガキ・摩滅 | 3㎜以下砂粒わずかに含む | 良好 | (外) にぶい黄橙 10YR7/2 (内) にぶい黄橙 10YR7/4 | |
| 88- 12 | 97 | | G9 150106 | | 第7遺構面 | 縄文 土器 | 浅鉢 | | | | | (外)ナデ・条 痕後丁寧なナデ(内)ナデ | 1mm白色小砂粒 多く含む | 良好 | (外) にぶい褐 7.5YR6/3 (内) 灰白 10YR8/2 | 外面:スス 付着・被 熱黒変 |
| 88- 13 | 97 | | G6 141208 | | 暗オ リーブ 粘質土 | 縄文 土器 | 深鉢 | (24.2) | | | | (外)ナデ (内)ナデ・条 痕 | 白色小砂粒含む | 良好 | (外)灰黄褐 10YR5/2 (内)灰黄褐 10YR5/2 | |
| 88- 14 | 97 | | G8 150106 | | 暗オ リーブ 粘質土 | 縄文 土器 | 浅鉢 | (38.4) | | | | (外) ヨコ方向 ミガキ (内) ヨコ方向 ミガキ | ガラス質微砂粒 含む | 良好 | (外) にぶい黄橙 10YR7/3 (内) 褐灰 10YR5/1 | 外面 : スス 付着 |
| 88- 15 | 97 | | G7 150105 | | 暗オ リーブ 粘質土 | 縄文 土器 | 深鉢 | (30.3) | (31.6) | | | (外)条痕 (内)ナデ | 1 ~ 2mm白色砂 粒やや多く含む | 良好 | I | 外面: スス 付着 |
| 89-1 | 97 | | 141210 | Pit274 | | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)口縁頂部 刻目・条痕 (内)条痕・摩 滅 | 1 ~ 4mm白色砂 粒多く含む | 良好 | (外)褐7.5YR4/3 (内)黄灰2.5Y4/1 | |
| 89-2 | 98 | | 141217 | 地床炉 133 | | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)口縁頂部 刻目・条痕 (内)条痕 | 1㎜以下砂粒わずかに含む | 良好 | (外)にぶい黄橙 10YR7/2 (内)褐灰 10YR4/1 | |
| 89-3 | 97 | | H9 141225 | | 暗オ リーブ 粘質土 | | 深鉢 | | | | | (外) 口縁頂部 刻目・条痕 (内) 条痕 | 2mm以下砂粒多 く含む | 良好 | (外) にぶい黄橙 10YR7/2 (内) 褐灰 10YR4/1 | |
| 89-4 | 98 | 1040 | G8 141226 | SK13 | 第7遺構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | (26.2) | (27.0) | | | (外) 口縁頂部 刻目・条痕 (内) 条痕後ナ デ | 1~2mm白・赤 色・ガラス質微 砂粒含む | 良好 | (外) 灰黄 2.5Y7/2 (内) 暗灰黄 2.5Y5/2 | 外内面 : ス ス付着 |
| 89-5 | 98 | | I6 141201 | | 暗才 リーブ 粘質土 | 縄文 土器 | | | | | | (外)条痕 (内)口縁頂部 楕円形装飾貼付 ・ナデ | 1mm以下褐色小砂粒含む | 良好 | (外) 灰白 5Y8/1 (内) 灰白 5Y7/1 | |
| 89-6 | 98 | | G8 140119 | SX19 | 第 7 遺 構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | (32.6) | | | | (外)条痕後ナデ(内)丁寧なナデ・ナデ | 3㎜以下砂粒多く含む | 良好 | (外)浅黄 2.5Y7/3 (内)浅黄 2.5Y8/3 | |

| 挿図 番号 | 図版 番号 | Pno. | グリッ ド日付 | 遺構名 | 出土層位 | 種別 | 器種 | 口径 | 最大 | 器高 | 底径 | 調整及び手法 | 胎土 | 焼成 | 色調 | 備考 |
|-----------|----------|------|---------------|------|------------------|----------|----|--------|--------|----|-----|----------------------------------------------------------|-----------------------------|----|----------------------------------------------|---------------------------|
| 89-7 | | | G9 141226 | | 暗オ リーブ 粘質土 | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)条痕 (内)口縁頂部 竹管状斜め刺突 文・条痕 | 2 ~ 3㎜褐色砂 粒わずかに含む | 良好 | (外)オリーブ黒 5Y3/1 (内)オリーブ黒 5Y3/1 | |
| 89-8 | 98 | 1044 | F10 150108 | SK15 | | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)条痕 (内)口縁端部 刺突文・条痕 | ガラス質微砂粒 やや多く含む | 良好 | (外)灰黄褐 10YR4/2 (内)黒褐 10YR3/1 | 波状口縁 / 外面 : スス 付着 |
| 89-9 | 98 | | G8 150119 | SX19 | 第7遺構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | (34.6) | | | | (外)条痕・磨 滅 (内)条痕 | 2㎜以下砂粒多く含む | 良好 | (外) にぶい橙 5YR7/3 (内) 黄灰 2.5Y5/1 | |
| 89- 10 | 98 | 1057 | 150116 | SK17 | 第7遺構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | (39.4) | | | | (外)ナデ・条 痕 (内)指頭圧痕 ・ナデ | 1㎜白色砂粒や や多く含む | 良好 | (外)浅黄 2.5Y7/4 (內)黄灰 2.5Y6/1 | 口縁部内 面肥厚指 頭圧痕土 器 |
| 89- 11 | 98 | | G5 141208 | | 暗オ リーブ 粘質土 | 縄文 土器 | 底部 | | | | 3.8 | (外)ナデ (内)ナデ | 2mm以下白色砂 粒多く含む | 良好 | (外)にぶい橙 5YR6/4 (内)にぶい赤褐 5YR5/4 | |
| 89- 12 | 98 | | G8 150118 | SX19 | 第7遺構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | (47.6) | | | | (外)斜め方向 条痕後ナデ (内)口縁端部 折曲げ・指頭圧 痕・ナデ | 2 ~ 3mm白・褐 色砂粒やや多く 含む | 良好 | (外)褐灰 10YR4/1 (内)灰黄褐 10YR4/2 | 口縁部内 面肥厚指 頭圧痕土 器 |
| 95-1 | 102 | | H10 150116 | | 青灰色 粘質土 | | 浅鉢 | (33.6) | | | | (外) ヨコ方向 ミガキ (内) 沈線 2 条 ・ヨコ方向ミガ キ | 1 ~ 2㎜白色砂 粒含む | 良好 | (外) 黄灰 2.5Y4/1 (内) 暗灰黄 2.5Y4/2 | |
| 95-2 | 102 | | G8 150128 | | 青灰色 粘質土 | ı | 浅鉢 | (37.2) | | | | (外)ナデ・摩 滅 (内)ナデ・摩 滅 | 1mm白色砂粒含む | 良好 | (外) にぶい黄橙 10YR7/2 (内) 灰黄褐 10YR5/2 | |
| 95-3 | 102 | 1087 | F6 150122 | | 第8遺構面 | 縄文 土器 | 浅鉢 | (40.8) | | | | (外)ナデ・ヨ コ方向ミガキ (内)ナデ・磨 滅 | 3㎜以下砂粒多く含む | 良好 | (外) にぶい黄橙 10YR6/3 (内) にぶい黄橙 10YR7/2 | |
| 95-4 | 102 | | I9 150116 | | 青灰色 粘質土 | ı | 浅鉢 | (26.6) | | | | (外)ナデ (内)ヨコ方向 ミガキ | 1mm白色砂粒含 む | 良好 | (外) 黒褐 10YR3/2 (内) にぶい黄褐 10YR5/3 | 外面: スス 付着 |
| 95-5 | 102 | | G9 141226 | | 暗才 リーブ 粘質土 | 縄文 土器 | 浅鉢 | | | | | (外)ミガキ (内)ミガキ | 1㎜白色砂粒や や多く含む | 良好 | (外)暗灰黄 2.5Y4/2 (内)黒 2.5Y2/1 | 黒色磨研 |
| 95-6 | 102 | | G8 150128 | | 青灰色 粘質土 | 1 | 浅鉢 | (36.6) | | | | (外)条痕後ナデ(内)磨消縄文・沈線2条 | 黒・灰色小砂粒 含む | 良好 | (外) 灰白 2.5Y8/2 (內) 灰白 2.5Y8/2 | |
| 95-7 | 102 | 1126 | G7 150128 | | 第8遺 構面 | 縄文 土器 | 壺 | (27.1) | (29.8) | | | (外)口縁端部 縄文・沈線1条 ・ナデ (内)ナデ | 3㎜以下砂粒多く含む | 良好 | (外) にぶい黄橙 5YR7/4 (内) 黄灰 2.5Y6/1 | |
| 95-8 | 102 | 1104 | F6 150128 | | 第8遺 構面 | 縄文 土器 | 福 | (12.8) | | | | (外)口縁端部 縄文・沈線1条 ・ナデ・縄文 (内)ナデ・条 痕後ナデ | 1㎜以下白色小砂粒やや多く含む | 良好 | (外) にぶい黄褐 10YR5/3 (内) 灰黄褐 10YR6/2 | |
| 95-9 | 107 | | G6 150106 | | 青灰色 粘質土 | ı | 深鉢 | (12.2) | (16.2) | | | (外)口縁端部 縄文・ヨコ方向 ナデ・円形刺突 文2列・縄文 (内)ナデ | 1㎜白色砂粒や や多く含む | 良好 | (外) 灰黄褐 10YR5/2 (内) 黒褐 10YR3/1 | |
| 95- 10 | 102 | | F8 150123 | | 青灰色 粘質土 | ı | 深鉢 | (17.2) | | | | (外)口縁頂部 沈線1条・ナデ (内)ナデ・摩 滅 | 1 ~ 3mm白色砂 粒含む | 良好 | (外) にぶい黄褐 10YR5/3 (内) 浅黄橙 10YR8/4 | |
| 95- 11 | 102 | | 150128 | | 廃土 | 縄文 土器 | 深鉢 | (13.2) | (14.2) | | | (外)口縁頂部 縄文・沈線状 J 字文・縄文 (内)ナデ | 1 ~ 2mm白色砂 粒含む | 良好 | (外) 橙 7.5YR6/8 (内) オリーブ黒 5Y3/1 | |
| 95- 12 | 102 | | G7 150127 | | 青灰色 粘質土 | ı | 深鉢 | (35.6) | | | | (外)口縁端部 縄文・ナデ・摩 滅 (内)条痕後ナ デ | 1 ~ 2mm白色小砂粒多く含む | 良好 | (外) にぶい黄橙 10YR7/4 (内) にぶい黄橙 10YR5/4 | |

| 挿図 番号 | 図版 番号 | Pno. | グリッ ド日付 | 遺構名 | 出土 層位 | | 器種 | 口径 | 最大 径 | 器高 | 底径 | 調整及び手法 | 胎土 | 焼成 | 色調 | 備考 |
|-----------|----------|------|---------------|--------|------------|----------|----|--------|---------|----|----|-----------------------------------------------|---------------------------|----|---------------------------------------------------------|---------------------------------|
| 95- 13 | 102 | | F8 150123 | | 青灰色 粘質土 | | 深鉢 | | | | | (外)口縁端部 縄文・ナデ (内)ナデ | 1㎜自・灰色砂 粒わずかに含む | 良好 | (外) 灰褐 7.5YR6/2 (内) 灰白 2.5Y8/2 | |
| 95- 14 | 102 | | H8 150123 | | 青灰色 粘質土 | | 栅 | (21.0) | | | | (外)口縁端部 | 1㎜以下白色小砂粒やや多く含む | 良好 | (外) にぶい黄褐 10YR5/3 (内) 黒褐 2.5Y3/1 | |
| 95- 15 | 102 | | G10 150128 | Pit524 | 第8遺 構面 | 縄文 土器 | 浅鉢 | (22.0) | | | | (外) 口縁端部 縄文・ヨコ方向 ミガキ (内) ヨコ方向 ミガキ | | 良好 | (外) 灰褐 7.5YR5/2 (内) 褐灰 10YR4/1 | |
| 95- 16 | 102 | | G8 150126 | | 青灰色 粘質土 | 1 | 深鉢 | | | | | (外)口縁端部 縄文・磨消 (内)ミガキ | 5mm白色小石・ ガラス質微砂粒 含む | 良好 | (外)褐灰 10YR4/1 (内)黒褐 10YR3/1 | |
| 95- 17 | 102 | | 150128 | Pit524 | | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外) 摩滅・沈線 1条・円形文 2・直線文 2条 (内) 磨滅 | 1 | 良好 | (外) 褐灰 10YR5/1 (内) にぶい黄橙 10YR7/3 | 縁帯文の 深鉢 |
| 96-1 | 102 | | G8 150126 | | 青灰色 粘質土 | 1 | 深鉢 | (30.8) | | | | 1 | | 良好 | (外) 灰黄 2.5Y7/2 (内) 淡黄 2.5Y8/3 | 補修孔か |
| 96-2 | 102 | | H6 150108 | | 青灰色 粘質土 | 1 | 浅鉢 | | | | | (外) 口縁頂部 沈線状文様・ナ デ (内) ナデ | 1mm白色砂粒多 く含む | 良好 | (外) にぶい黄橙 10YR7/2 (内) 灰白 10YR8/2 | |
| 96-3 | 102 | | H9 150121 | | 青灰色 粘質土 | | 深鉢 | | | | | (外)磨消縄文 (内)ナデ | 1mm白色砂粒多 く含む | 良好 | (外)暗灰黄 2.5Y5/2 (内)灰黄 2.5Y7/2 | 外面:被熱 黒変 |
| 96-4 | 102 | | G9 150115 | | 青灰色 | 縄文 | 深鉢 | | | | | (外) ナデ・凹 線文3条・ナデ (内) ナデ | 2㎜以下白色砂 | 良好 | (外) 炭寅 2.517/2 (外) 黄灰 2.5Y6/1 (内) にぶい黄 2.5Y6/4 | 羔 发 |
| 96-5 | 102 | | G7 150126 | | 第8遺構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外) 口縁端部 折曲げ・縄文・ ナデ (内) ナデ | 1 ~ 5mm白・赤 色砂粒含む | 良好 | (外) 灰黄褐 10YR5/2 (内) 灰 5Y6/1 | |
| 96-6 | 103 | | G8 150128 | | 青灰色 粘質土 | 1 | 深鉢 | | | | | (外) 沈線状雷 文風文様 (内) ミガキ | 1 ~ 2mm白色砂 粒やや多く含む | 良好 | (外)灰 5Y4/1 (内)灰 5Y4/1 | 口縁端部: 焼成前穿 孔 |
| 96-7 | 103 | | H7 150122 | | 青灰色 粘質土 | 1 | 深鉢 | | | | | (外)磨消縄文 (内)条痕後ナ デ | 1㎜白色小砂粒 やや多く含む | 良好 | (外) にぶい黄橙 10YR7/4 (内) 明黄褐 10YR6/6 | 外面: スス 付着 / 内 面: 被熱黒 変 |
| 96-8 | 103 | | F7 150123 | | 青灰色 粘質土 | | 深鉢 | | | | | (外)口縁端部 装飾貼付痕跡・ 磨消縄文 (内)条痕後ナ デ | 白色微砂粒含む | 良好 | (外) 橙 5YR6/6 (内) 明黄褐 5YR5/6 | |
| 96-9 | 103 | | H7 150122 | | 青灰色 粘質土 | | 深鉢 | (22.2) | | | | (外) 口縁端部 縄文・条痕後ナ デ (内) 条痕後ナ デ | 1㎜以下白色小砂粒やや多く含む | 良好 | (外) にぶい黄褐 10YR5/3 (内) 黒褐 10YR3/2 | |
| 96- 10 | 103 | | G8 150128 | | 青灰色 粘質土 | 1 | 深鉢 | (22.8) | | | | (外)口縁頂部 沈線状くぼみ・ 端部沈線1条・ ナデ (内)ナデ | 白色微砂粒・金 雲母多く含む | 良好 | (外) 灰黄褐 10YR5/2 (内) にぶい黄褐 10YR5/3 | |
| 96- 11 | 103 | | G7 150126 | | 第8遺構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | | 2㎜以下砂粒わずかに含む | 良好 | (外) 灰黄 2.5Y7/2 (内) にぶい黄橙 10YR7/4 | |
| 96- 12 | 103 | | G9 150121 | | 青灰色 粘質土 | 1 | 深鉢 | | | | | (外)ナデ・条 痕 (内)指頭圧痕 ・ナデ | 1 ~ 2mm白色砂 粒含む | 良好 | (外) にぶい黄橙 10YR6/3 (内) 灰黄褐 10YR5/2 | 口縁部内 面肥厚指 頭圧痕土 器 |
| 96- 13 | 103 | | G7 150128 | | 青灰色 粘質土 | 1 | 深鉢 | (29.6) | | | | (外)口縁頂部 刻目・ナデ (内)丁寧なナ デ・指頭圧痕 | 1 ~ 4mm白色砂 粒含む | 良好 | (外)灰白 10YR8/2 (内)浅黄橙 10YR8/3 | 口縁部内 面肥厚指 頭圧痕土 器 |

| 挿図 番号 | 図版 番号 | Pno. | グリッ ド日付 | 遺構名 | 出土 層位 | 種別 | 器種 | 口径 | 最大 径 | 器高 | 底径 | 調整及び手法 | 胎土 | 焼成 | 色調 | 備考 |
|-----------|----------|------|---------------|-----|------------------|----------|----|--------|---------|----|-------|------------------------------------------------------------|--------------------------------|----|----------------------------------------------|---------------------------|
| 96- 14 | 103 | | F6 150128 | | 第8遺 構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | (28.7) | | | | (外)粗い条痕 (内)指頭圧痕 ・ナデ | 1 ~ 5mm白色砂 粒多く含む | 良好 | (外) 明赤褐 2.5YR5/6 (内) にぶい黄橙 10YR7/4 | 口縁部内 面肥厚指 頭圧痕土 器 |
| 96- 15 | 103 | | F6 150128 | | 第8遺 構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | (26.8) | | | | (外)条痕 (内)指頭圧痕 ・ナデ | 2㎜以下白色小砂粒やや多く含む | 良好 | (外)褐灰 10YR6/1 (内)にぶい橙 5YR6/4 | 口縁部内 面肥厚指 頭圧痕土 器 |
| 96- 16 | 103 | | G8 150126 | | 青灰色 粘質土 | ı | 深鉢 | | | | | (外)ナデ (内)指頭圧痕 ・ナデ | 1 ~ 2mm白色砂 粒含む | 良好 | (外) にぶい橙 7.5YR7/4 (内) にぶい褐 7.5YR6/3 | 口縁部内 面肥厚指 頭圧痕土 器 |
| 96- 17 | 103 | | G7 150127 | | 青灰色 粘質土 | | 深鉢 | | | | | (外)ナデ・条痕(内)指頭圧痕・ナデ | 1㎜白色砂粒非常に多く含む | 良好 | (外) 黄褐 2.5Y5/3 (内) にぶい黄褐 10YR5/3 | 口縁部内 面肥厚指 頭圧痕土 器 |
| 96- 18 | 103 | | H8 150123 | | 青灰色 粘質土 | ı | 深鉢 | | | | | (外)口縁端部 沈線状くぼみ・ ナデ(内)ナデ | 1m以下白色小砂粒少し含む | 良好 | (外)黄灰 2.5Y4/1 (內)黄灰 2.5Y5/1 | 口縁部:ス ス付着 |
| 96- 19 | 103 | | G9 141226 | | 暗オ リーブ 粘質土 | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)条痕 (内)条痕・口 縁端部半裁竹管 状刺突文 | 2mm以下自色小砂粒含む | 良好 | (外) にぶい黄褐 10YR5/4 (内) にぶい黄褐 10YR5/3 | 外面: スス 付着 |
| 97-1 | 104 | | G8 150128 | | 青灰色 粘質土 | | 深鉢 | (30.6) | | | | (外)磨滅 (内)指頭圧痕 ・ナデ | 1㎜褐・灰色砂 粒やや多く含む | 良好 | (外)灰白 2.5Y8/2 (内)灰白 2.5Y8/2 | 口縁部内 面肥厚指 頭圧痕土 器 |
| 97-2 | 104 | | G8 150128 | | 青灰色 粘質土 | ı | 深鉢 | | | | | (外)条痕(内)ナデ | 1mm以下白色砂 粒含む | 良好 | (外) にぶい黄橙 10YR7/4 (内) にぶい黄橙 10YR7/3 | 外面: スス 付着 |
| 97-3 | 104 | 1071 | G5 150121 | | 第8遺構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | 16.5 | (16.0) | | | (外)ナデ・ヨ コ・斜め方向条 痕 (内)ナデ | 1 ~ 3mm 白色砂 粒含む | 良好 | (外) にぶい黄橙 10YR6/3 (内) 黄灰 2.5Y5/1 | 外面: スス 付着 |
| 97-4 | 104 | 1067 | G5 150121 | | 第8遺 構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | (17.6) | (16.6) | | | (外)ナデ (内)ナデ | 1 ~ 4mm白色砂 粒多く含む | 良好 | (外) 黒褐 10YR3/2 (内) 黒 2.5Y2/1 | 全面: スス 付着 |
| 97-5 | 104 | | G9 150115 | | 青灰色 粘質土 | ı | 深鉢 | (22.0) | | | | (外)条痕 (内)ナデ | 白色微砂粒やや 多く含む | 良好 | (外) 黒褐 10YR3/1 (内) にぶい黄褐 10YR5/3 | |
| 97-6 | | 1078 | G5 150121 | | 第8遺構面 | 土器 | | | (26.0) | | | (外)ナデ (内)ナデ | 5mm白色小石、 1mm以下白色小 砂粒多く含む | | (外)褐灰 10YR4/1 (内)灰黄褐 10YR4/2 | 外面:ス ス・コゲ 付着 |
| 97-7 | 104 | | F10 150115 | | 青灰色 粘質土 | | 深鉢 | (24.7) | | | | (外)ナデ・縄 文 (内)ナデ・縄 文 | 1㎜以下白色・ガラス質小砂粒含む | | (外) 黄橙 10YR8/8 (内) 黄橙 10YR8/6 | |
| 97-8 | 104 | 1105 | F6 150128 | | 第8遺 構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | (30.7) | | | | (外)指頭圧痕 ・ナデ (内)段・ナデ | 3㎜以下砂粒多く含む | 良好 | (外) にぶい褐 7.5YR5/3 (内) 浅黄橙 10YR8/3 | |
| 97-9 | | 1068 | G5 150121 | | 第8遺構面 | 土器 | | (18.0) | (18.7) | | | (外)ナデ・条 痕 (内)ナデ | 1mm自色砂粒含 む | | (外)灰黄褐 10YR4/2 (内)褐 10YR4/4 | 付着 / 口 縁部 : コゲ |
| 97- 10 | 104 | | G8 150128 | | 青灰色 粘質土 | 土器 | | | | | | (外)条痕 (内)条痕後ナ デ | 5mm以下白色砂 粒含む | | (外) 黒褐 10YR3/1 (内) 灰黄褐 10YR6/2 | |
| 97- | 104 | 1077 | 150121 | | 第8遺構面 | 土器 | | , , | (29.4) | | | (外)ナデ・条 痕 (内)ナデ | 2m以下砂粒わずかに含む | | (外) 灰黄褐 10YR5/2 (内) にぶい黄橙 10YR6/4 | |
| 97- 12 | 104 | | F7 150126 | | 青灰色 粘質土 | 土器 | | (30.6) | | | | (外)ナデ・斜 め方向条痕 (内)ナデ・指 頭圧痕 | 2㎜自色砂粒や や多く含む | | (外) 黄橙 10YR8/8 (内) 黄橙 10YR8/6 | |
| 98-1 | | | G7 150126 | | 青灰色 粘質土 | 土器 | | | | | (7.8) | (外)ナデ (内)ナデ | 3mm以下砂粒多 く含む | | (外)褐灰 10YR5/1 (内)黄灰 2.5Y4/1 | |
| 98-2 | | 1130 | 150128 | | 第8遺構面 | 土器 | | | | | 9.4 | (外)ナデ (内)ナデ・指 頭圧痕 | 5mm以下砂粒多 く含む | | (外)灰黄 2.5Y6/2 (内)淡黄 2.5Y8/3 | |
| 98-3 | 105 | | G7 150126 | | 青灰色 粘質土 | ı | 底部 | | | | (7.4) | (外)ナデ (内)ナデ | 1mm以下砂粒多 く含む | 良好 | (外)灰白 5Y7/1 (内)灰白 2.5Y8/2 | |
| 98-4 | 105 | 1472 | G9 150129 | | 第8遺 構面 | 縄文 土器 | 底部 | | | | (6.6) | (外)ナデ (内)ナデ | 2mm以下砂粒多 く含む | 良好 | (外)灰黄 2.5Y7/2 (内)黄灰 2.5Y4/1 | 内面:被熱 黒変 |

| 挿図 番号 | 図版番号 | Pno. | グリッ ド目付 | 遺構名 | 出土 層位 | 種別 | 器種 | 口径 | 最大 径 | 器高 | 底径 | 調整及び手法 | 胎土 | 焼成 | 色調 | 備考 |
|------------------|------------|------|------------------------|-----|-------------------|----------------|------|-----------|-----------|-----------|--------|-----------------------------------------------------------|-------------------------------|------|------------------------------------------------------|--------------|
| 98-5 | 105 | | G8 150128 | | 青灰色 粘質土 | 縄文 土器 | 底部 | | | | 7.5 | (外)ナデ (内)ナデ | 2mm以下砂粒多 く含む | 良好 | (外)灰白 2.5Y8/2 (内)灰 N4/ | |
| 98-6 | 106 | | G8 150129 | | 青灰色粘質土 | 縄文 | 底部 | | | | (11.6) | (外)ナデ (内)ナデ・指 頭圧痕 | 6mm以下砂粒多 く含む | 良好 | (外) 暗灰黄 2.5Y5/2 (内) 暗灰黄 2.5Y5/2 | |
| 98-7 | 106 | 1123 | G7 150128 | | 第8遺 構面 | 縄文 土器 | 底部 | | | | 8.0 | (外)ナデ (内)丁寧なナ デ | 2㎜以下砂粒多く含む | 良好 | (外) 暗灰黄 2.5 Y 5/2 (内) 灰黄褐 10 Y R | |
| 98-8 | 108 | 1478 | G9 150129 | | 第8遺 構面 | 縄文 土器 | 底部 | | | | (6.8) | (外)ナデ (内)ミガキ・ 摩滅 | 2mm以下砂粒多 く含む | 良好 | (外) 灰黄褐 10YR6/2 (内) 灰黄褐 10YR6/2 | 1 |
| 98-9 | 106 | | G8 150126 | | 青灰色 粘質土 | | 底部 | | | | (6.8) | (外)ナデ・磨 滅 (内)ナデ・磨 滅 | 4㎜以下砂粒多く含む | 良好 | (外) 灰白 2.5Y7/1 (内) 灰黄 2.5Y7/2 | |
| 98- 10 | 105 | | G6 150119 | | 青灰色 粘質土 | | 底部 | | | | (7.0) | (外)ナデ (内)ミガキ・ 摩滅 | 1mm以下砂粒多 く含む | 良好 | (外) 黒褐 2.5Y3/1 (内) にぶい黄橙 10YR7/4 | |
| 98- 11 | 106 | | G6 150108 | | 青灰色 粘質土 | | 底部 | | | | (5.8) | (外)ナデ (内)ナデ | 2㎜以下砂粒多く含む | 良好 | (外) にぶい黄橙 10YR7/3 (内) 褐灰 10YR5/1 | |
| 98- 12 | 106 | | F7 150126 | | 青灰色 粘質土 | 土器 | | | | | (7.2) | (外)ナデ (内)ナデ | 1㎜以下砂粒わずかに含む | 良好 | (外)灰黄褐 10YR6/2 (内)灰白 10YR8/2 | |
| 98- 13 98- | 106 106 | | H8 150123 F7 | | 青灰色 粘質土 青灰色 | 土器 縄文 | 底部深鉢 | | | | (7.2) | (外)ナデ(内)ナデ(外)ナデ | 3mm以下白色砂 粒多く含む 2mm以下砂粒多 | | (外) 灰黄褐 10YR5/2 (内) 褐灰 10YR5/1 (外) 灰黄褐 10YR6/2 | |
| 98- 15 | 105 | | 150126 G7 150127 | | 粘質土 青灰色 粘質土 | 土器 縄文 土器 | 底部 | | | | 6.6 | (内)ナデ(外)ナデ(内)ナデ | く含む 3mm以下砂粒多 く含む | 良好 | (内) 黄灰 2.5Y5/1 (外) 灰白 2.5Y8/1 (内) 灰白 2.5Y8/1 | |
| 98- 16 | 104 | | G6 150109 | | 青灰色 粘質土 | 縄文 土器 | 浅鉢 | | | | (7.6) | (外)ナデ(内)ミガキ・磨滅 | 2㎜以下砂粒多く含む | 良好 | (外) にぶい黄橙 10YR7/2 (内) にぶい黄橙 10YR7/2 | |
| 98- 17 | 104 | | G7 150127 | | 青灰色 粘質土 | | 底部 | | | | (9.7) | (外)ナデ (内)ミガキ・ 磨滅 | 1㎜以下砂粒多く含む | 良好 | (外) 褐灰 10YR5/1 (内) 灰黄 2.5Y7/2 | |
| 98- 18 | 104 | 1125 | G7 150128 | | 第8遺構面 | 縄文 土器 | 底部 | | | | (8.0) | (外)ナデ・底 面未調整 (内)ナデ | 4mm以下砂粒多 く含む | 良好 | (外) にぶい黄橙 10YR7/2 (内) 褐灰 10YR5/1 | |
| 98- 19 | 105 | | G8 150128 | | 青灰色 粘質土 | 土器 | 底部 | | | | 7.3 | (外)ナデ (内)ナデ | 2mm以下砂粒多 く含む | 良好 | (外)浅黄橙 10YR8/3 (内)灰 5Y4/1 | 底面:繊維 状圧痕 |
| 98- 20 | 105 | | G8 150126 | | 青灰色 粘質土 | 縄文 土器 | 底部 | | | | (6.5) | (外)ナデ (内)ナデ | 3㎜以下砂粒多く含む | 良好 | (外) にぶい黄橙 10YR7/2 (内) 浅黄橙 10YR8/4 | |
| 21 | 105 105 | 1077 | G6 150121 G8 | | 第8遺 構面 第8遺 | 土器 | | | | | (10.8) | (外)ナデ(内)ナデ(外)ナデ | 2mm以下砂粒多 く含む 2mm以下砂粒わ | 良好良好 | (外)灰黄褐 10YR5/2 (内)灰白 10YR8/2 (外)灰白 10YR8/2 | |
| 98- 22 98- | 105 | 1516 | 150129 G8 | | 構面 青灰色 | 土器 縄文 | | | | | (5.2) | (内)ナデ(外)ナデ・底 | ずかに含む 2mm以下砂粒わ | | (内)浅黄橙 10YR8/3 (外)にぶい黄橙 | 底面:繊維 |
| 98- | 105 | | 150127 H9 | | 粘質土 青灰色 | 縄文 | 底部 | | | | (5.6) | 面未調整 (内)ナデ (外)ナデ | ずかに含む 1m以下砂粒わ | 良好 | 10YR7/2 (内) 褐灰 10YR5/1 (外) 灰黄褐 10YR6/2 | 状圧痕 |
| 98- 25 | 105 | | H9 150120 | | 粘質土 青灰色 粘質土 | 縄文 | 底部 | | | | (5.3) | (内)ナデ(外)ナデ・磨滅(内)ナデ・摩滅 | ずかに含む 2mm以下砂粒わ ずかに含む | 良好 | (内) 黄灰 2.5Y5/1 (外) 灰黄 2.5Y7/2 (内) 灰 5Y5/1 | |
| 98- 26 | 106 | | G8 150126 | | 青灰色 粘質土 | | 底部 | | | | 4.0 | (外)ナデ (内)ミガキ・ 磨滅 | 2mm以下砂粒多 く含む | 良好 | (外)浅黄 2.5Y7/3 (内)灰黄 2.5Y6/2 | |
| 98- 27 | 106 | | G8 150126 | | 青灰色 粘質土 | 土器 | | | | | (6.0) | (外)ナデ (内)ナデ | 2mm以下砂粒わずかに含む | 良好 | (外)褐灰 10YR6/1 (内)黄灰 2.5Y5/1 | |
| 98- 28 98- | 106 106 | | G7 150127 G7 | | 青灰色 粘質土 | 土器 | 底部 | 巨包 | | 厚さ | (6.2) | (外)ナデ (内)ナデ (外)卍状文様 | 1㎜以下砂粒わずかに含む | 良好 | (外)浅黄 2.5Y7/3 (内)灰白 2.5Y8/2 | 文様に |
| 29 | | | 150126 | | 第8遺構面 | 品 | 円盤 | 6.9 | 短径 6.5 | 0.8 | | (内)ナデ | 1㎜白色砂粒やや多く含む | 良好 | (外) 灰黄 2.5Y7/2 (内) 暗褐 10YR3/3 | 沿って打 ち欠く |
| 98- 30 | 106 | | G9 150115 | | 青灰色 粘質土 | | | 長さ 7.6 | 幅 3.7 | 厚さ 2.6 | | 指による調整 | 1mm以下自色砂 粒含む | 艮好 | 灰白 2.5Y7/1 | 全面:被熱 黒変 |

| 挿図 番号 | 図版 番号 | Pno. | グリッ ド日付 | 遺構名 | 出土 層位 | | 器種 | 口径 | 最大 径 | 器高 | 底径 | 調整及び手法 | 胎土 | 焼成 | | 備考 |
|------------|----------|------------------------------------|---------------|-----|-----------------|----------|----|--------|---------|----|----|-------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|----|----------------------------------------------|---------------------------------|
| 101- | 128 | 1324 | G10 150129 | | 第8遺構面 | 縄文 土器 | 浅鉢 | | (34.1) | | | (外)ナデ・磨 消縄文・楕円形 刺突文・斜め方 向ミガキ・赤彩 (内) ヨコ方向 ミガキ | 1㎜白色小砂 粒・金雲母含む | 良好 | (外) 黄灰 2.5Y6/1 (内) にぶい黄橙 10YR6/3 | 外面:ス ス付着/ 赤彩(赤 10R5/8) |
| 101- 2 | 110 | 1174 | G10 • 11 | | 第7・ 8遺構 面 | 縄文土器 | 浅鉢 | (22.8) | (23.2) | | | (外)口縁端部 縄文・ナデ・縄 文 (内)ヨコ方向 ミガキ | 1m以下灰色微砂粒含む | 良好 | (外)浅黄 2.5Y7/3 (內)灰黄 2.5Y7/2 | |
| 101- 3 | 110 | | G10 150130 | | 第8遺構面 | 縄文 土器 | 浅鉢 | | | | | (外)丁寧なナ デ (内)磨消縄文 ・ミガキ | 1mm白色砂粒含む | 良好 | (外) にぶい黄橙 10YR6/3 (内) にぶい黄橙 10YR6/3 | 口縁部突起 |
| 101- 4 | 110 | | G10 150127 | | 第8遺 構面 | 縄文 土器 | 浅鉢 | | | | | (外)条痕後ナ デ (内)口縁頂部 沈線1条・縄文 ・ミガキ | 1~2mm灰褐色 砂粒含む | 良好 | (外)灰 5Y6/1 (内)灰白 5Y8/1 | |
| 101- 5 | 110 | 1519 | G10 150129 | | 第8遺 構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)ナデ(内)縄文ヘラ 描き渦文・ナデ | 2㎜以下褐・灰色砂粒やや多く含む | 良好 | (外)灰白 2.5Y8/2 (内)灰白 2.5Y8/2 | |
| 101- 6 | 110 | | G10 150126 | | 第8遺構面 | 縄文 土器 | 浅鉢 | | | | | (外)口縁端部 縄文・ミガキ (内)縄文・沈 線1条・ミガキ | 1mm以下白色微 砂粒多く含む | 良好 | (外) 黒褐 2.5Y3/2 (内) 暗灰黄 2.5Y5/2 | |
| 101- 7 | 110 | | G10 150129 | | 第8遺 構面 | 縄文 土器 | 浅鉢 | (34.6) | | | | (外)ナデ・ヨコ方向ミガキ(内)磨消縄文 | 1mm以下ガラス 質砂粒含む | 良好 | (外)灰黄褐 10YR5/2 (内)褐灰 10YR4/1 | 補修孔か |
| 101- 8 | 110 | | G10 150126 | | 第8遺構面 | 縄文 土器 | 浅鉢 | | | | | (外)ミガキ(内)磨消縄文・ミガキ | 2mm白色砂粒含む | 良好 | (外)灰黄 2.5Y7/2 (内)褐灰 10YR5/1 | |
| 101- 9 | 110 | 1437 | G10 150129 | | 第8遺 構面 | 縄文土器 | 浅鉢 | | (30.4) | | | (外)磨消縄文 ・ヨコ方向ミガ キ (内)ヨコ方向 ミガキ | 1mm以下白色微砂粒多く含む | 良好 | (外)灰黄褐 10YR5/2 (内)黒 10YR2/1 | |
| 101- 10 | 110 | | G10 150127 | | 第8遺構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)縄文・斜 行直線文・円形 文・沈線 1条・ ナデ (内)ナデ | 1㎜以下白色微 砂粒多く含む | 良好 | (外)灰黄褐 10YR5/2 (内)暗灰黄 2.5Y4/2 | |
| 101- 11 | 110 | | G10 150129 | | 第8遺 構面 | 縄文 土器 | 浅鉢 | (21.2) | (22.7) | | | (外)磨消縄文 ・方形区画文 (内)ミガキ・ 磨滅 | 1 ~ 2mm白色砂 粒やや多く含む | 良好 | (外) 灰黄褐 10YR5/2 (内) 褐灰 7.5YR4/1 | 波状口縁 |
| 101- 12 | 110 | | G10 150129 | | 第8遺 構面 | 縄文 土器 | 浅鉢 | (20.4) | (22.7) | | | (外)磨消縄文・方形区画文・ナデ(内)ナデ・ヨコ方向ミガキ | 1 ~ 2mm白色小砂粒やや多く含む | 良好 | (外) 灰黄褐 10YR5/2 (内) 灰黄褐 10YR4/2 | 1 |
| 101- 13 | 110 | 1271 | G10 150129 | | 第8遺 構面 | 縄文 土器 | 浅鉢 | (27.4) | (28.4) | | | (外)ナデ・磨 消縄文・直線区 画文 (内)丁寧なナ デ | 1 ~ 3mm灰色砂 粒多く含む | 良好 | (外) 明赤褐 5YR5/6 (内) 灰黄褐 10YR6/2 | |
| 101- 14 | 117 | 1259 · 1292 · 1305 · 1306 | G10 150129 | | 第8遺構面 | 縄文土器 | 深鉢 | (20.6) | (19.2) | | | (外)口縁端部 二重弧文・ヘラ 描き連続三角形 文・ナデ (内)ナデ | 1㎜以下砂粒多く含む | 良好 | (外) 橙 7.5YR7/6 (内) にぶい黄橙 10YR7/3 | |
| 101- 15 | 110 | | G11 140919 | | 第8遺構面 | 縄文 土器 | 浅鉢 | (12.0) | | | | (外) 口縁端部 縄文・ミガキ (内) ヨコ方向 ミガキ | 白色小砂粒少し 含む | 良好 | (外)褐灰 10YR5/1 (内)黒褐 10YR3/1 | |
| 101- 16 | 110 | | G11 140919 | | 黒色粘 質土 | 縄文 土器 | 浅鉢 | | | | | (外)口縁端部 平行線文・縄文 ・ナデ (内)ナデ | 1 ~ 2mm白色砂 粒やや多く含む | 良好 | (外) 黄橙 10YR8/8 (内) 黄橙 10YR8/6 | 波状口縁 |
| 101- 17 | 10 | 1506 | G10 150129 | | 第8遺 構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)磨消縄文 ・斜行線文 (内)ミガキ | 5㎜小石、1㎜ 以下小砂粒含む | 良好 | (外)浅黄 2.5Y7/4 (内)灰黄 2.5Y6/2 | |

| 挿図 番号 | 図版 番号 | Pno. | グリッ ド日付 | 遺構名 | 出土 層位 | 種別 | 器種 | 口径 | 最大 径 | 器高 | 底径 | 調整及び手法 | 胎土 | 焼成 | 色調 | 備考 |
|------------|----------|------|---------------|-----|------------|----------|----|--------|---------|----|----|-----------------------------------------------------------|-----------------------------|----|----------------------------------------------|------------------------------|
| 101- 18 | 110 | | G11 140919 | | 第8遺構面 | 縄文 土器 | 浅鉢 | | (15.8) | | | (外)沈線1条 ・縄文・ミガキ (内)ヨコ方向 ミガキ | 灰色小砂粒含む | 良好 | (外) 黒褐 2.5Y3/2 (内) 黒褐 2.5Y3/1 | |
| 102- 1 | 111 | 1384 | G10 150129 | | 第8遺構面 | 縄文 土器 | 浅鉢 | | (35.6) | | | (外)縄文・ミ ガキ (内)ヨコ方向 ミガキ | 1mm以下ガラス 質微砂粒含む | 良好 | (外)暗灰黄 2.5Y4/2 (内)黒褐 10YR3/1 | 内面: コケ 付着 |
| 102- 2 | 111 | | G10 150126 | | 第8遺 構面 | 縄文 土器 | 鉢 | | | | | (外)磨消縄文 (内)ナデ | 1 ~ 2mm白色砂 粒やや多く含む | 良好 | (外) にぶい黄褐 10YR5/4 (内) 褐灰 10YR4/1 | |
| 102- 3 | 126 | 1145 | 150129 | | 第8遺構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | (26.2) | | | | (外)口縁端部 縄文・ヨコ方向 ミガキ (内)ヨコ方向 ミガキ・ナデ | 白色小砂粒含む | 良好 | (外) にぶい黄橙 10YR6/3 (内) 灰黄 2.5Y7/2 | 縄目:赤色 顔料わず かに残存 |
| 102- 4 | 126 | | G10 150130 | | 第8遺構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | (24.0) | | | | (外)口縁端部 縄文・ヨコ方向 ミガキ・磨消縄 文 (内)ヨコ方向 ミガキ | 1㎜白色小砂粒 やや多く含む | 良好 | (外) にぶい黄 2.5Y6/3 (内) 灰黄褐 10YR6/2 | 口縁部外 面:赤色顔 料か/補 修孔か |
| 102- 5 | 111 | | G11 140919 | | 第8遺構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | | (31.0) | | | (外)ヨコ方向 | 1 ~ 2㎜白色・ ガラス質砂粒少 し含む | 良好 | (外) にぶい黄 2.5Y6/3 (内) 黄灰 2.5Y6/1 | |
| 102- 6 | 111 | 1452 | G10 150129 | | 第8遺 構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)磨消縄文 (内)棒状工具 刺突文・ナデ | 1mm白色砂粒含 む | 良好 | (外) 黒褐 5YR2/1 (内) 黄褐 10YR5/6 | |
| 102- 7 | 111 | | G10 150130 | | 第8遺構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)磨消縄文・ミガキ(内)ナデ | 1mm白色砂粒含 む | 良好 | (外)灰黄褐 10YR6/2 (内)灰黄褐 10YR5/2 | 1 |
| 102- 8 | 111 | 1395 | G10 150129 | | 第8遺 構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外) 沈線区画・条痕・ミガキ(内) ナデ | 1mm以下白色小 砂粒やや多く含 む | 良好 | (外)灰黄 2.5Y7/2 (内)灰白 2.5Y8/2 | |
| 102- 9 | 111 | | G10 150129 | | 第8遺構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)磨消縄文 (内)ヨコ方向 ミガキ | 1mm以下白色砂 粒含む | 良好 | (外)灰黄褐 10YR4/2 (内)黒褐 10YR3/1 | |
| 102- 10 | 126 | 1395 | G10 150129 | | 第8遺構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)磨消縄文 (内)ミガキ | 1mm以下白色小 砂粒やや多く含 む | 良好 | (外) 黒 2.5Y2/2 (内) にぶい黄 2.5Y6/3 | 縄目:赤色 顔料残存 |
| 102- 11 | 111 | | G10 150130 | | 第8遺構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)口縁端部縄文・ミガキ(内)ミガキ | 2 ~ 5mm白・褐 色砂粒含む | 良好 | (外)にぶい黄橙 10YR6/3 (内)にぶい黄橙 10YR7/2 | 口縁部内面突起 |
| 102- 12 | 111 | | G10 150228 | | 第8遺構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)縄文・直 線文・ナデ (内)ナデ | 2㎜自色砂粒わずかに含む | 良好 | (外) にぶい黄橙 10YR6/3 (内) 暗灰黄 2.5Y5/2 | |
| 102- 13 | 111 | 1465 | G9 150129 | | 第8遺 構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)口縁頂部 縄文・渦巻状装 飾 (内)ナデ | 1 ~ 2mm白色砂 粒やや多く含む | 良好 | (外)灰黄 2.5Y7/2 (内)灰黄 2.5Y7/2 | |
| 102- 14 | 111 | | G10 150129 | | 第8遺 構面 | 縄文 土器 | 壺 | | | | | (外)ナデ (内)口縁端部 縄文・孔2 | 白色微砂粒やや 多く含む | 良好 | (外)浅黄 2.5Y7/3 (内)浅黄 2.5Y7/3 | 九州系か |
| 102- 15 | 112 | | G10 150114 | | 青灰色 粘質土 | ı | 深鉢 | (27.5) | | | | (外)口縁端部 沈線1条・条痕 後ナデ (内)ヨコ方向 ミガキ | 1㎜白色砂粒少し含む | 良好 | (外) にぶい橙 7.5YR7/4 (内) 浅黄 2.5Y7/3 | |
| 102- 16 | 111 | | G11 140919 | | 黒色粘 質土 | 縄文 土器 | 壺 | (15.2) | | | | (外)ナデ (内)口縁頂部 縄文・ヨコ方向 ミガキ | 1mm以下白色砂 粒含む | 良好 | (外) 黄灰 2.5Y5/1 (内) にぶい黄 2.5Y6/3 | 頸部穿孔 途中か |
| 102- 17 | 111 | | G10 150127 | | 第8遺 構面 | 縄文 土器 | 浅鉢 | | | | | (外)口縁端部 縄文・ミガキ (内)ナデ | 1mm以下白色小砂粒少し含む | 良好 | (外) にぶい黄橙 10YR6/3 (内) にぶい黄褐 10YR5/4 | |
| 102- 18 | 111 | | G10 150114 | | 青灰色 粘質土 | l | 深鉢 | (11.2) | | | | (外)ナデ (内)ナデ・ヨ コ方向ミガキ | 1mm以下白色小砂粒含む | 良好 | (外) にぶい黄褐 10YR5/3 (内) にぶい黄橙 10YR7/2 | |

| 挿図 番号 | 図版 番号 | Pno. | グリッ ド日付 | 遺構名 | 出土 層位 | 種別 | 器種 | 口径 | 最大 径 | 器高 | 底径 | 調整及び手法 | 胎土 | 焼成 | 色調 | 備考 |
|------------|----------|-----------------------|---------------|-----|------------|----------|----|--------|---------|------|-----|-----------------------------------------------------------------|-----------------------------|----|----------------------------------------------------|---------------------------|
| 102- 19 | 112 | 1288 | G10 150129 | | 第8遺構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)口縁端部 縄文・条痕後ナ デ | 1mm以下灰色小 砂粒多く含む | 良好 | (外)淡黄 2.5Y8/3 (内)灰白 2.5Y8/1 | 波状口縁 |
| 102- 20 | 112 | 1522 | G10 150129 | | 第8遺構面 | 縄文土器 | 深鉢 | | (17.8) | | | (内)ナデ(外)縄文・ナデ(内)ナデ | 1㎜以下ガラス 質砂粒非常に多 く含む | 良好 | (外)灰黄褐 10YR5/2 (内)褐灰 10YR4/1 | |
| 102- 21 | 112 | 1308 | G10 150129 | | 第8遺 構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外) ナデ・ヘ ラ描き線刻文 (内) ナデ | 2mm以下砂粒わ ずかに含む | 良好 | (外)灰黄褐 10YR4/2 (内)褐灰 10YR4/1 | |
| 102- 22 | 112 | 1294 | G10 150129 | | 第8遺構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)ナデ・ヘ ラ描き線刻文 (内)ナデ | 1㎜以下砂粒わずかに含む | 良好 | (外)にぶい褐 7.5YR5/3 (内)にぶい黄褐 10YR5/3 | |
| 103- 1 | 112 | | G10 150126 | | 第8遺構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)ナデ (内)ナデ・線 刻文 | 1mm以下白色小 砂粒含む | 良好 | (外)灰褐 7.5YR4/2 (内)明褐 7.5YR5/6 | 口縁部突起 |
| 103- 2 | 112 | 1231 · 1262 | G10 150129 | | 第8遺構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | (30.2) | | | | (外)口縁端部 縄文・ヨコ方向 ミガキ・直線文 2条 (内)刺突文2 段・ヨコ方向ミ ガキ | 1㎜以下白色砂 粒少し含む | 良好 | (外) 灰黄褐 10YR5/2 (内) 黒褐 10YR3/1 | |
| 103- 3 | 112 | | G10 150130 | | 第8遺構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)口縁端部 縄文・ナデ (内)ミガキ | 1mm以下白色小砂粒含む | 良好 | (外) にぶい橙 7.5YR6/4 (内) にぶい黄橙 10YR6/4 | |
| 103- 4 | 112 | | G11 140919 | | 黒色粘 質土 | 縄文 土器 | 浅鉢 | (20.7) | | | | (外)口縁端部 縄文・沈線1条 ・ナデ (内)ナデ | 白色微砂粒わず かに含む | 良好 | (外)灰白 2.5Y8/1 (内)灰白 2.5Y8/2 | |
| 103- 5 | 112 | | G10 150129 | | 第8遺構面 | 縄文 土器 | 壺 | (18.3) | | | | (外)口縁端部 | 1 ~ 2mm白色砂 粒わずかに含む | 良好 | (外) にぶい黄橙 10YR6/3 (内) 褐灰 10YR5/1 | |
| 103- 6 | 112 | | G10 150130 | | 第8遺 構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)口縁端部 縄文・ナデ (内)ミガキ | 白色小砂粒多く 含む | 良好 | (外)にぶい褐 7.5YR5/4 (内)灰褐 7.5YR5/2 | |
| 103- 7 | 112 | | F7 150126 | | 青灰色 粘質土 | | 深鉢 | (31.1) | (36.2) | | | (外)摩滅 (内)摩滅 | 1 ~ 4mm白色砂 粒非常に多く含 む | 良好 | (外)灰黄褐 10YR4/2 (内)灰黄褐 10YR4/2 | |
| 103- 8 | 112 | 270 | G11 140918 | | | 縄文 土器 | 深鉢 | (40.8) | | | | (外)隆帯文・ 縄文・ヨコ方向 ナデ(内)ナデ | 1 ~ 2mm白・赤 色砂粒わずかに 含む | | (外)灰黄褐 10YR5/2 (内)灰黄褐 10YR5/2 | |
| 103- 9 | 112 | 1175 • 1225 | 150129 | | 第8遺構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | (20.1) | (21.2) | | | (外)ナデ・ヘ ラ描き文様 (内)指頭圧痕 ・ナデ | 1㎜白・暗灰色 砂粒含む | 良好 | (外) 灰黄 2.5Y6/2 (内) 浅黄 2.5Y7/3 | |
| 103- 10 | 112 | 1325 • 1326 | G10 150129 | | 第8遺 構面 | 縄文 土器 | 鉢 | (19.7) | (21.0) | | | (外) へラ描き 直線文・二重円 文・ミガキ (内) ヨコ・斜 め方向ミガキ | 1 ~ 5mm砂粒わ ずかに含む | 良好 | (外) にぶい黄 2.5Y6/3 (内) 浅黄 2.5Y7/3 | 外面: スス 付着 |
| 104- 1 | 109 | 1294 | G10 150129 | | 第8遺構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | (33.8) | 35.7 | 34.4 | 5.9 | (外)ナデ・条 痕 (内)ナデ・指 頭圧痕・条痕 | 2mm以下砂粒多 く含む | 良好 | (外)にぶい黄橙 10YR7/3 (内)にぶい黄橙 10YR7/3 | |
| 104- 2 | 112 | 1358 | G10 150129 | | 第8遺構面 | 縄文土器 | 深鉢 | (9.6) | | | | 頭圧根・柔根 (外)ヨコ方向 ナデ (内)ナデ・指 頭圧痕 | 1m以下白色砂 粒少し含む | 良好 | 10YR//3 (外)にぶい橙 5YR6/4 (内)にぶい赤褐 5YR5/3 | |
| 104- 3 | 112 | | G10 150126 | | 第8遺 構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)ナデ (内)指頭圧痕 ・ナデ | 2 ~ 3mm白色砂 粒含む | 良好 | (外)褐10YR4/4 (内)灰黄褐10YR5/2 | 口縁部内 面肥厚指 頭圧痕土 器 |
| 104- 4 | 113 | 1398 | G10 150129 | | 第8遺構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)条痕・摩滅 (内)指頭圧痕 ・ナデ | 白・褐色小砂粒 やや多く含む | 良好 | (外)灰黄褐 10YR5/2 (内)にぶい黄橙 10YR6/3 | 口縁部内 面肥厚指 頭圧痕土 器 |

| 挿図 番号 | 図版 番号 | Pno. | グリッ ド日付 | 遺構名 | 出土 層位 | 種別 | 器種 | 口径 | 最大 径 | 器高 | 底径 | 調整及び手法 | 胎土 | 焼成 | 色調 | 備考 |
|------------|----------|---------------|---------------|-----|-----------|----------|----|--------|---------|----|-----|-------------------------------------------------------------|----------------------------|----|----------------------------------------------|-----------------------------------------|
| 104- 5 | | 1379 | G10 150129 | | 第8遺構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)ナデ (内)指頭圧痕 ・ナデ | 白・灰色小砂粒 やや多く含む | 良好 | (外) 灰黄褐 10YR6/2 (内) にぶい黄橙 10YR7/4 | 口縁部内 面肥厚指 頭圧痕土 器 |
| 104- 6 | 113 | 1569 | G10 150130 | | 第8遺構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | (36.6) | (38.2) | | | (外)ナデ・条 痕 (内)指頭圧痕・ ナデ | 2~5㎜灰・褐 色砂粒含む | 良好 | (外) にぶい黄橙 10YR7/2 (内) 灰黄 2.5Y7/2 | 口縁部内 面肥厚指 頭圧痕土 器 |
| 104- 7 | 113 | 1226 | 150129 | | 第8遺構面 | 土器 | | (34.6) | | | | (外)ナデ・条 痕 (内)指頭圧痕 ・条痕 | 2㎜砂粒多く含む | 良好 | (外) にぶい黄橙 10YR6/3 (内) にぶい黄 2.5Y6/3 | 口縁部内 面肥厚指 頭圧痕土 器 |
| 104- 8 | 113 | 1090 | G6 150123 | | 第8遺構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | (32.8) | (33.7) | | | (外)条痕(内)指頭圧痕・ナデ | 1 ~ 2mm白色砂 粒非常に多く含 む | 良好 | (外) にぶい黄橙 10YR6/3 (内) にぶい褐 7.5YR5/4 | 口縁部内 面肥厚指 頭圧痕土 器 |
| 105- 1 | 114 | 1242 | G10 150129 | | 第8遺 構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | (34.0) | | | | (外) ナデ・条 痕 (内) 指頭圧痕 ・ナデ・条痕 | 1m以下白・褐 色小砂粒含む | 良好 | (外) にぶい黄橙 10YR6/3 (内) 灰黄 2.5Y7/2 | 口縁部内 面肥厚指 頭圧痕土 器 / 外面: スス付着 |
| 105- 2 | 114 | 1254 | G10 150129 | | 第8遺 構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | (19.4) | (23.4) | | | (外)ナデ・指頭圧痕・条痕(内)指頭圧痕・ナデ | 1 ~ 2mm白色砂 粒含む | 良好 | (外) 褐灰 10YR5/1 (内) にぶい黄橙 10YR6/3 | 口縁部内 面肥厚指 頭圧痕土 器 |
| 105- 3 | 114 | 1161 | G10 150129 | | 第8遺 構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)条痕 (内)条痕 | 1 ~ 2mm白色砂 粒含む | 良好 | (外) にぶい黄橙 10YR7/2 (内) 灰黄 2.5Y6/2 | |
| 105- 4 | 114 | | G10 150127 | | 第8遺 構面 | 土器 | | | | | | (外)ナデ(内)口縁端部 折曲げ・ナデ | 金雲母・ガラス 質微砂粒含む | | (外) にぶい黄橙 10YR7/2 (内) 灰黄褐 10YR4/2 | |
| 105- 5 | | | G10 150127 | | 第8遺構面 | 土器 | | | | | | (外)ナデ (内)ナデ | 1~2mm白・灰 色小砂粒多く含 む | | (外) 黄灰 2.5Y6/1 (内) 黄灰 2.5Y6/1 | |
| 105- 6 | 115 | 1512• 1521 | G10 150129 | | 第8遺構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | (28.4) | (29.6) | | | (外)ナデ (内)ナデ | 1㎜以下砂粒多く含む | 良好 | (外) にぶい橙 7.5YR7/4 (内) にぶい黄橙 10YR7/2 | |
| 105- 7 | 114 | 1385 | G10 150129 | | 第8遺 構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)条痕 (内)ナデ | 1㎜以下白・赤 色砂粒多く含む | 良好 | (外) 黒褐 10YR3/1 (内) にぶい黄橙 10YR6/4 | 外面: スス 付着 |
| 105- 8 | | | G10 150129 | | 第8遺構面 | 土器 | | | | | | (外)ナデ・条 痕 (内)ナデ | 5mm以下白色微砂粒多く含む | | (外) 灰褐 7.5YR4/2 (内) 黒褐 10YR3/1 | |
| 105- 9 | 114 | 1447 | G10 150129 | | 第8遺構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)ナデ (内)ナデ | 1 ~ 2mm白色砂 粒多く含む | 良好 | (外) 灰黄 2.5Y7/2 (内) 黄褐 2.5Y5/3 | 粘土紐継 目顕著 / 外面:被熱 黒変 |
| 105- 10 | 114 | 1138 | G10 150129 | | 第8遺 構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | (24.4) | | | | (外)ナデ (内)ナデ | 1~3mm白色砂 粒含む | 良好 | (外)暗褐 10YR3/3 (内)灰黄褐 10YR6/2 | |
| 105- 11 | 115 | 1355 | G10 150129 | | 第8遺 構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | (20.3) | | | | (外)条痕(内)ナデ | 1㎜白色砂粒含む | 良好 | (外) にぶい黄褐 10YR5/4 (内) にぶい黄橙 10YR6/4 | 全面 : スス 付着 |
| 105- 12 | 115 | 1172 | G10 150129 | | 第8遺 構面 | 縄文 土器 | 深鉢 | (19.8) | | | | (外)条痕(内)ナデ | 白色微砂粒多く含む | 良好 | (外) にぶい黄褐 10YR5/3 (内) にぶい橙 7.5YR7/4 | 波状口縁か |
| 106- 1 | 115 | 1287 | G10 150129 | | 第8遺 構面 | 縄文 土器 | 底部 | | | | 7.2 | (外)ナデ (内)ナデ | 1㎜以下砂粒わ ずかに含む | 良好 | (外)浅黄 2.5Y7/3 (内)灰白 2.5Y8/2 | |
| 106- 2 | 115 | 1195 | G10 150129 | | 第8遺構面 | - | 底部 | | | | 5.4 | (外)ナデ (内)ナデ | 2mm以下砂粒多 く含む | 良好 | (外) にぶい黄橙 10YR7/3 (内) にぶい黄橙 10YR7/3 | |
| 106- 3 | 115 | 1345 | G10 150129 | | 第8遺 構面 | 縄文 土器 | 底部 | | | | 7.2 | (外)ナデ (内)ナデ | 1㎜以下砂粒わずかに含む | 良好 | (外) 浅黄 2.5Y7/3 (内) オリーブ黒 5Y3/1 | |
| 106- 4 | | 1518 | 150129 | | 第8遺構面 | 土器 | | | | | 5.0 | (外) ヨコ方向 ミガキ・ナデ (内) 斜め方向 ミガキ | 2㎜以下砂粒わずかに含む | | (外) にぶい橙 7.5YR6/4 (内) 灰黄褐 10YR5/2 | |
| 106- 5 | 115 | 1509 | G10 150129 | | 第8遺 構面 | 縄文 土器 | 底部 | | | | 6.0 | (外)ナデ (内)ヨコ方向 ミガキ | 1㎜以下砂粒多く含む | 良好 | (外)灰黄褐 10YR6/2 (内)灰黄 2.5Y7/2 | 底部:繊維 状圧痕 |

| 挿図 番号 | 図版 番号 | Pno. | グリッ ド日付 | 遺構名 | 出土 層位 | 種別 | 器種 | 口径 | 最大 径 | 器高 | 底径 | 調整及び手法 | 胎土 | 焼成 | 色調 | 備考 |
|------------|----------|---------------|---------------|-----|------------|----------|---------|-------|---------|-------|--------|---------------------------------------------|--------------------------|----|--------------------------------------------|--------------------|
| 106- 6 | 115 | 1563 | G10 150130 | | 第8遺構面 | 縄文 土器 | 底部 | | | | 7.0 | (外)ナデ (内)ミガキ・ 磨滅 | 1mm以下砂粒多 く含む | 良好 | (外) 浅黄橙 10YR8/3 (内) にぶい黄橙 10YR7/2 | |
| 106- 7 | 115 | | G10 150120 | | 青灰色 粘質土 | 縄文 土器 | 底部 | | | | (7.8) | (外)ナデ (内)ナデ | 1㎜以下砂粒わ ずかに含む | 良好 | (外) にぶい黄橙 10YR7/2 (内) 褐灰 10YR6/1 | |
| 106- 8 | 115 | 1379 | G10 150129 | | 第8遺 構面 | 縄文土器 | 底部 | | | | (7.0) | (外)ナデ (内)ナデ | 2mm以下砂粒わ ずかに含む | 良好 | (外) 灰白 10YR8/2 (内) 灰白 10YR8/2 | |
| | 115 | 1364 | G10 150124 | | 第8遺構面 | | 底部 | | | | 7.0 | (外)ナデ (内)ナデ | 3㎜以下砂粒多く含む | 良好 | (外)浅黄 2.5Y7/3 (内)黄灰 2.5Y5/1 | |
| 106- 10 | 115 | 1287 | G10 150129 | | 第8遺 構面 | 縄文 土器 | 底部 | | | | 7.2 | (外)ナデ (内)ナデ | 1㎜以下砂粒わずかに含む | 良好 | (外) にぶい黄橙 10YR7/3 (内) 褐灰 10YR6/1 | |
| 106- 11 | 115 | | G10 150128 | | 第8遺 構面 | 縄文 土器 | 底部 | | | | (3.4) | (外)ナデ (内)ナデ | 1㎜以下砂粒わずかに含む | 良好 | (外) にぶい黄橙 10YR6/3 (内) 黒褐 10YR3/1 | |
| 106- 12 | 115 | | G10 150130 | | 第8遺 構面 | 縄文 土器 | 底部 | | | | (6.9) | (外)ナデ (内)ミガキ・ 磨滅 | 2mm以下砂粒多 く含む | 良好 | (外) にぶい橙 5YR7/4 (内) 灰黄褐 10YR5/2 | |
| 106- 13 | 116 | 1564 | G10 150130 | | 第8遺 構面 | 縄文 土器 | 底部 | | | | 7.4 | (外)ナデ (内)ナデ | 2mm以下砂粒多 く含む | 良好 | (外) にぶい橙 7.5YR7/3 (内) 灰 5Y6/1 | |
| 106- 14 | 115 | 1261 | G10 150129 | | 第8遺 構面 | 縄文土器 | 底部 | | | | (5.4) | (外)ナデ (内)ナデ | 1㎜以下砂粒わずかに含む | 良好 | (外) にぶい黄橙 10YR7/3 (内) 灰白 10YR8/2 | |
| 106- 15 | 116 | 1284 | G10 150129 | | 第8遺構面 | 縄文 土器 | 底部 | | | | (10.2) | (外)ナデ (内)ナデ | 2㎜以下砂粒わずかに含む | 良好 | (外)にぶい黄橙 10YR7/3 (内)にぶい黄橙 10YR7/4 | 底部:粘土 紐巻上げ 痕 |
| 16 | 115 | | G10 150130 | | 第8遺 構面 | 土器 | | | | | (9.6) | (外)ナデ (内)ナデ | 2㎜以下砂粒多 く含む | | (外)灰黄褐 10YR6/2 (内)褐灰 10YR5/1 | |
| 106- 17 | 116 | | G10 150130 | | 第8遺 構面 | 土器 | | | | | (8.6) | (外)ナデ (内)ナデ | 2mm以下砂粒多 く含む | | (外)灰白 2.5Y8/2 (内)黄灰 2.5Y5/1 | |
| 106- 18 | 116 | 1525 | G10 150129 | | 第8遺構面 | 縄文 土器 | 底部 | | | | (8.6) | (外)条痕・ナ デ (内)ナデ | 2㎜以下砂粒多く含む | 良好 | (外)灰黄 2.5Y7/2 (内)黄灰 2.5Y5/1 | 内面:被熱 黒変 |
| 106- 19 | 116 | | G10 150128 | | 第8遺 構面 | 縄文 土器 | 底部 | | | | (7.3) | (外)ナデ (内)ナデ | 2mm以下砂粒多 く含む | 良好 | (外)灰黄褐 10YR6/2 (内)褐灰 10YR6/1 | 底部:粘土 紐巻上げ 痕 |
| 106- 20 | 116 | 1264 | G10 150129 | | 第8遺 構面 | 縄文 土器 | 底部 | | | | (7.4) | (外)ナデ・底 面竹管状刺突く ぼみ (内)条痕後ナ デ・摩滅 | 2㎜以下砂粒・ 金雲母わずかに 含む | 良好 | (外)にぶい橙 7.5YR7/4 (内)灰白 2.5Y8/2 | 外面:繊維 状圧痕 |
| 106- 21 | 116 | 1548 | G10 150129 | | 第8遺 構面 | 縄文 土器 | | | | | (16.2) | (外)ナデ (内)磨滅 | 3㎜以下砂粒多く含む | 良好 | (外) 黄灰 2.5Y5/1 (内) 灰黄褐 10YR5/2 | |
| _ | 116 | | G10 150129 | | 第8遺 構面 | - | _ | | | | (9.6) | (外)ナデ (内)ナデ | 2㎜以下砂粒多く含む | 良好 | (外) にぶい黄 2.5Y6/3 (内) 黄灰 2.5Y4/1 | 底部:粗砂 圧痕 |
| 106- 23 | 116 | 1290 | G10 150129 | | 第8遺 構面 | 縄文 土器 | 底部 | | | | (6.5) | (外)ナデ・底 面未調整 (内)ナデ | 3㎜以下砂粒多く含む | 良好 | (外) 灰黄 2.5Y7/2 (内) 灰黄 2.5Y7/2 | |
| 106- 24 | 116 | | 140918 | | 第5遺 構面 | 縄文 土器 | 浅鉢 | | | | (8.0) | (外)ナデ (内)ナデ | 白色微砂粒わず かに含む | 良好 | (外)橙2.5YR6/6 (内)灰白10YR7/1 | |
| 106- 25 | 116 | 1387 | G10 150129 | | 第8遺構面 | 縄文 土器 | 底部 | | | | 5.3 | (外)ナデ (内)ナデ | 2mm以下砂粒多 く含む | 良好 | (外) にぶい黄橙 10YR7/3 (内) 黄灰 2.5Y4/1 | |
| 106- 26 | 116 | 1305 | G10 150129 | | 第8遺 構面 | 縄文 土器 | 底部 | | | | 6.0 | (外)ナデ (内)ナデ | 4mm以下砂粒わ ずかに含む | 良好 | (外)灰黄 2.5Y7/2 (内)黄灰 2.5Y6/1 | |
| 106- 27 | 117 | 1226 | G10 150129 | | 第8遺構面 | 縄文 土器 | 底部 | | | | 6.7 | (外)条痕・ナ デ・磨滅 (内)ナデ | 1㎜以下砂粒わずかに含む | 良好 | (外)灰黄 2.5Y7/2 (内)黄灰 2.5Y6/1 | |
| 106- 28 | 117 | 1542• 1555 | G10 150129 | | 第8遺 構面 | 縄文 土器 | 底部 | | | | (7.1) | (外)ナデ (内)ナデ | 2㎜以下砂粒多く含む | 良好 | (外) にぶい橙 7.5YR7/4 (内) 黄灰 2.5Y4/1 | |
| 106- 29 | 117 | 1324 | G10 150129 | | 第8遺 構面 | 縄文 土器 | 底部 | | (18.0) | | (7.5) | (外)ナデ (内)条痕・摩 滅 | 2㎜以下砂粒多く含む | 良好 | (外) 灰白 10YR7/1 (内) 灰白 10YR8/2 | |
| 106- 30 | 116 | 1307 | G10 150129 | | 第8遺 構面 | 縄文 土器 | 底部 | | | | 6.0 | (外)ナデ (内)ナデ | 2mm以下砂粒多 く含む | 良好 | (外)灰白 2.5Y8/1 (内)灰白 2.5Y8/2 | 底部:粘土 紐巻上げ 痕 |
| 106- 31 | 116 | 1524 | G10 150129 | | 第8遺 構面 | 土製 品 | 不明 品 | 長 4.7 | 短 3.5 | 厚 1.2 | | 刺突状くぼみ | 1㎜以下小砂粒 わずかに含む | 良好 | (外)淡黄 2.5Y8/3 (内)黄灰 2.5Y4/1 | |

| 番号 番号 11.0. 106- 116 1524 32 106- 116 1524 33 108- 120 1181 108- 120 2 108- 120 1181 5 108- 120 6 108- 120 6 108- 120 7 108- 120 7 108- 120 7 108- 120 7 108- 120 1 108- 120 1 108- 120 1 108- 120 1 108- 120 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 108- 121 1 | 24 G10 150129 24 G10 150129 150129 150129 150129 150129 150129 150129 | 1524 (| 150129 G10 150129 150129 150129 150129 150129 | 9Line Tr 9Line Tr 9Line Tr | 層位 第8 構面 第8 構面 下層 下層 | 品土製品建文土器 | 品 不明 品 深鉢 深鉢 | | 短 3.7 | | | 刺突状くぼみ 刺突状くぼみ (外)口縁端部 ヘラ描き文・ナ デ・摩滅 (内)丁寧なナ デ・裾 (外)ヨコ方向 ミガキ | 1m以下小砂粒 わずかに含む 1m以下小砂粒 わずかに含む 1~2m白色砂 粒やや多く含む 2~5mm赤色砂 粒含む | 良好 | (外) 淡黄 2.5Y8/3 (内) 黄灰 2.5Y4/1 (外) 淡黄 2.5Y8/3 (内) 黄灰 2.5Y4/1 (外) 橙 7.5YR6/6 (内) 褐灰 7.5YR5/1 | |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|-----------------------------------------------------------------|-------------------------------------------|----------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------|--------|-----------|-------|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------|
| 106- 116 | 150129 150129 150129 150129 150129 150129 150129 150129 | 1524 | 150129 150129 150129 150129 150129 | 9Line Tr 9Line Tr 9Line Tr 9Line Tr | 第 8 遺 構面 下層 下層 下層 | 土製品 建 文器 土器 土器 土器 土器 土器 土器 土器 土器 土器 土器 土器 土器 土田 土縄 土田 土縄 土田 土地 土土 土縄 土土 土縄 土土 土縄 土土 土土 土土 土土 土土 土土 土土 | 不明品深鉢深鉢 | | 短 1.8 | 厚 0.7 | | (外)口縁端部ヘラ描き文・ナデ・摩滅(内)丁寧なナデ・粗いナデ・ 摩滅(外)ヨコ方向 | 1m以下小砂粒 わずかに含む 1 ~ 2mm白色砂 粒やや多く含む 2 ~ 5mm赤色砂 | 良好 | (外) 淡黄 2.5Y8/3 (内) 黄灰 2.5Y4/1 (外) 橙 7.5YR6/6 (内) 褐灰 7.5YR5/1 (外) にぶい褐 | |
| 108- 120 120 108- 2 120 108- 3 120 108- 120 121 108- 120 120 108- 120 120 108- 120 120 108- 120 120 108- 120 120 108- 120 120 108- 120 120 108- 121 1200 108- 121 1200 108- 121 1200 108- 121 1200 108- 121 1200 108- 121 1200 108- 121 1200 108- 121 121 108- 121 121 108- 121 121 110- 125 124 3 121 110- 125 124 | 150129 150129 150129 150129 150129 150129 | 1181 | 150129 150129 150129 150129 | 9Line Tr 9Line Tr 9Line Tr 9Line Tr | 下層下層下層 | 縄文 土 器 ・ 選 土 器 ・ 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 | 深鉢深鉢 | (22.3) | | | | ヘラ描き文・ナデ・摩滅(内)丁寧なナデ・粗いナデ・ 摩滅(外)ヨコ方向 | 1 ~ 2mm白色砂 粒やや多く含む 2 ~ 5mm赤色砂 | | (外) 橙 7.5YR6/6 (内) 褐灰 7.5YR5/1 (外) にぶい褐 | |
| 2 | 150129 150129 150129 150129 150129 | 1181 | 150129 150129 150129 | Tr 9Line Tr 9Line Tr 9Line Tr | 下層 | 土器 縄文 土器 縄文 | 深鉢 | (22.3) | | | | 摩滅 (外) ヨコ方向 | | 良好 | | |
| 3 | 150129 150129 150129 150129 | 1181 | 150129 150129 | Tr 9Line Tr 9Line | 下層 | 土器 縄文 | | | | | | (内)ナデ・ヨ | 11 C | | (内)灰自 10YR8/2 | |
| 108- 4 120 108- 120 1181 108- 120 6 108- 120 7 108- 120 8 108- 120 9 108- 120 120 108- 120 120 108- 121 1200 108- 121 1200 108- 121 121 108- 121 13 108- 121 13 108- 121 14 108- 121 12 110- 125 110- 125 | 150129 150129 150129 | 1181 | 150129 | 9Line Tr 9Line | | 縄文 | 浅鉢 | | | | | コ方向ミガキ (外)条痕 | 1㎜以下自色小 | 良好 | (外) 灰黄褐 10YR6/2 | |
| 108- 120 108- 120 108- 120 108- 120 108- 120 108- 121 1200 108- 121 1200 108- 121 13 108- 121 14 108- 121 15 110- 124 3 3 108- 121 13 108- 121 13 108- 121 13 108- 121 13 108- 121 13 108- 121 13 108- 121 13 108- 121 13 108- 121 13 108- 121 13 108- 121 13 108- 121 13 108- 121 13 13 13 13 13 13 1 | 150129 150129 150129 | | | 9Line | 下屋 | | | (30.8) | | | | (内)ナデ(外)ナデ・条痕・磨滅 | 砂粒多く含む 1~5mm白・赤 褐色砂粒含む | 良好 | (内) 灰黄 2.5Y7/2 (外) にぶい橙 5YR7/6 | 波状口縁 |
| 5 108-120 108-120 108-120 108-120 108-120 108-120 108-121 120-121 121-121 121-13 108-121 13 108-121 13 110-124 110-125 | 150129 150129 150129 | | | | 下屋 | | | | | | | (内)ミガキ・ 磨滅 | | | (内) にぶい橙 5YR7/6 | |
| 6 | 150129 150129 | | 150129 | | | 縄文 土器 | | | | | | (外)ナデ (内)ナデ | 4mm以下砂粒多 く含む | | (外)灰黄褐 10YR4/2 (内)灰黄褐 10YR4/2 | |
| 7 | 150129 | $\overline{}$ | | 9Line Tr | 下層 | 縄文 土器 | 浅鉢 | (29.6) | (36.2) | | | (外) ヨコ方向ミガキ・ナデ(内) 粗いナデ | 1㎜白色小砂粒 非常に多く含む | 良好 | (外) 褐灰 10YR5/1 (内) 灰黄褐 10YR5/2 | |
| 8 | | | 150129 | 9Line Tr | 下層 | 縄文 土器 | 深鉢 | (21.0) | | | | (外)口縁端部 縄文・丁寧なナ デ (内)ナデ | 1㎜白色砂粒わずかに含む | 良好 | (外)淡黄 2.5Y8/3 (内)浅黄 2.5Y7/3 | |
| 9 | 150120 | | 150129 | 9Line Tr | 下層 | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)ナデ (内)ナデ | 1 ~ 2mm白色小 砂粒やや多く含 む | 良好 | (外)にぶい赤褐 5YR5/4 (内)灰黄褐10YR6/2 | |
| 100 121 1200 111 121 1200 121 121 13 121 14 108- 121 15 110- 124 3 125 110- 125 110- 125 110- 125 110- 125 110- 125 110- 125 110- 125 110- 125 110- 125 110- 125 110- 125 110- 125 110- 125 110- 125 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 | 130129 | | 150129 | 9Line Tr | 下層 | 縄文 土器 | 深鉢 | (29.2) | (29.8) | | | (外)ナデ・条 痕 (内)条痕 | 1 ~ 2mm白色砂 粒やや多く含む | 良好 | , | 外面 : スス 付着 |
| 11 | 150129 | | 150129 | 9Line Tr | 下層 | 縄文 土器 | 深鉢 | (27.4) | | | | (外)条痕・磨 滅 (内)ナデ | 1~2mm白色小砂粒やや多く含む | 良好 | (外) にぶい黄 2.5Y6/3 (内) 浅黄 2.5Y7/4 | |
| 12 | 00 | 1200 | | 9Line Tr | 下層 | 縄文 土器 | 深鉢 | (27.2) | (27.6) | | | (外) 丁寧なナ デ (内) 丁寧なナ デ | 3㎜以下白色砂 粒わずかに含む | 良好 | (外) 灰黄褐 10YR5/2 (内) 灰黄褐 10YR5/2 | 補修孔か |
| 13 | 150129 | | 150129 | 9Line Tr | 下層 | 縄文 土器 | | | | | (7.2) | (外)ナデ (内)ナデ | 2mm以下砂粒多 く含む | 良好 | (外)橙 5YR7/6 (内)黒褐 2.5Y3/1 | |
| 14 108- 121 15 110- 125 125 | 150129 | | 150129 | 9Line Tr | 下層 | 縄文 土器 | 底部 | | | | | (外)ナデ (内)ナデ | 2mm以下砂粒多 く含む | 良好 | (外)橙 5YR7/6 (内)褐灰 10YR4/1 | |
| 15 | 150129 | | 150129 | 9Line Tr | 下層 | 縄文 土器 | 底部 | | | | (9.0) | (外)ナデ (内)ナデ | 3㎜以下砂粒多 く含む | 良好 | (外)浅黄橙 10YR8/4 (内)灰白 10YR8/2 | |
| 3 110- 125 | 150129 | | 150129 | 9Line Tr | 下層 | 縄文 土器 | 底部 | | | | (10.7) | (外)ナデ (内)ナデ | 3mm以下自色砂 粒多く含む | 良好 | (外)橙7.5YR7/6 (内)黄灰2.5Y4/1 | |
| | 140909 | | 140909 | | | 土製品 | 土製円盤 | | 短径 5.4 | 厚 0.7 | | (外)条痕 (内)丁寧なナ デ | 2mm以下ガラス 質砂粒やや多く 含む | 良好 | (内)褐灰 10YR4/1 | 打欠き未 調整 外面: スス 付着 |
| | F5 140702 | | F5 140702 | | 排水路 | 弥生 土器 | 甕 | (19.9) | (19.6) | | | | 1 ~ 2mm白色砂 粒わずかに含む | 良好 | (外) にぶい黄橙 10YR7/2 (内) 黒褐 7.5YR3/2 | |
| 110- 125 | 140617 | | 140617 | 9Line Tr | | 弥生 土器 | 甕 | (22.7) | (21.4) | | | (外) ヨコナデ | 3㎜以下白色砂 粒多く含む | 良好 | (外) 灰褐 7.5YR6/2 (内) 浅黄橙 10YR8/3 | |
| 110- 125 6 | | | 140708 | 9Line Tr | | 縄文 土器 | | | | | | | 1 ~ 2㎜白色砂 粒多く含む | 良好 | (外) にぶい橙 5YR7/4 (内) 灰褐 5YR4/2 | |
| 111- 125 1 | 140708 | T | 140910 | 7Line ベルト | | 縄文 土器 | 浅鉢 | | | | | (外)口縁端部 無刻突帯・ミガ キ | | 良好 | (外) 黄灰 2.5Y5/1 (内) 黄灰 2.5Y5/1 | 方形浅鉢 |

| 挿図 番号 | 番号 | Pno. | グリッ ド日付 | 遺構名 | 出土 層位 | | 器種 | 口径 | 最大 径 | 器高 | 底径 | 調整及び手法 | 胎土 | 焼成 | | 備考 |
|------------|-----|------|---------------|----------------|-----------------|----------|----|--------|---------|----|-------|--------------------------------------------------------------|--------------------|----|--------------------------------------------|-----------------------------|
| 111- 2 | 125 | | F8 140714 | | 北側排 水路 | 縄文 土器 | | | | | | (外) ヨコ方向 ミガキ・条痕 (内) 口縁端部 凹線 1 条・ヨコ 方向ミガキ | 1㎜以下透明砂 粒多く含む | | (外) 赤黒 2.5YR1.7/1 (内) 黒褐 5YR3/1 | 黒色磨研 |
| 111- 3 | 125 | 1131 | F9 150128 | | 北壁 | 縄文 土器 | 浅鉢 | (42.5) | (44.0) | | | (外) ヨコ方向 ミガキ (内) ヨコ方向 ミガキ | ガラス質微砂粒 わずかに含む | 良好 | (外)褐灰 10YR4/1 (内)褐灰 10YR4/1 | |
| 111- 4 | 128 | | 140916 | 9Line Tr | | 縄文 土器 | 壺か | | 16.0 | | 6.7 | (外)刺突文2 段・胴部刻目・ ヨコ方向ミガキ ・赤彩 (内)ナデ・ヘ ラ状工具押え痕 | 1㎜以下白色砂 粒わずかに含む | 良好 | (外) 灰黄褐 10YR5/2 (内) 灰黄褐 10YR5/2 | |
| 111- 5 | 125 | | I8 140910 | | 南水路 | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)刻目突帯 2段・条痕 (内)条痕 | 白色小砂粒やや 多く含む | 良好 | (外) 灰褐 5YR4/2 (内) 褐灰 7.5YR5/1 | 2条突带 |
| 111- 6 | 125 | | F5 140707 | | 排水路 | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)口縁頂部 刻目・端部下貼 付刻目突帯・条 痕後ナデ (内)条痕後ナ デ | 2mm以下砂粒や や多く含む | 良好 | (外) にぶい赤褐 5YR4/3 (内) 褐.5YR4/1 | |
| 111- 7 | 125 | | 140705 | 7 ~ 8Line | 南側排水路 | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)口縁頂部 山形・端部下刻 目突帯・ナデ (内)摩滅 | 1mm以下白色砂 粒多含む | 良好 | (外)橙2.5YR6/8 (内)褐灰7.5YR6/1 | |
| 111- 8 | 124 | 1059 | H7 150120 | 7Line ベルト | | 縄文 土器 | 深鉢 | (22.4) | (21.0) | | | (外) 口縁頂部 刻目・端部下貼 付刻目突帯・条 痕後ナデ・条痕 (内)ナデ・条 | 1 ~ 5mm白色砂 粒含む | 良好 | (外) にぶい黄 2.5Y6/3 (内) にぶい黄 2.5Y6/3 | 外内面:ス ス付着 |
| 111- 9 | 125 | | 150114 | 9 ~ 10 Line | 北側排水溝 | 縄文 土器 | 壺 | (16.4) | (21.2) | | | (外) 口縁端部 凹線縄文帯・ヨ コ方向ミガキ・ 縄文 (内) ナデ | 2㎜以下砂粒多く含む | 良好 | (外) 灰黄褐 10YR6/2 (内) にぶい黄橙 10Y7/2 | |
| 111- 10 | 125 | | 141106 | 7 ∼ 8Line | 北側排水溝 | 縄文 土器 | 鉢 | (22.4) | (23.8) | | | (外)縄文単節 RL (内)ヨコ方向 ミガキ | 1 ~ 5㎜白色砂 粒含む | 良好 | (外)赤褐 5YR4/8 (内)明赤褐 5YR5/8 | |
| 111- 11 | 125 | | I8 140910 | | 南水路 | 縄文 土器 | 深鉢 | (17.2) | (17.8) | | | (外)口縁頂部 刻目・ナデ・条 痕 (内)条痕 | 3mm以下砂粒多 く含む | 良好 | (外) 灰黄 2.5Y7/2 (内) にぶい黄橙 10YR6/3 | 外面:スス 付着 |
| 111- 12 | 125 | | G10 140917 | | 北〜東 側排水 溝 | 1 | 深鉢 | | | | | (外)条痕 (内)口縁頂部 刻目・ナデ | 4mm以下砂粒多 く含む | 良好 | (外)褐灰 10YR6/1 (内)にぶい橙 7.5YR6/4 | |
| 111- 13 | 125 | | 140715 | | 西側排 水溝 | 縄文 土器 | 深鉢 | | | | | (外)タテ方向 ナデ・斜め方向 条痕 (内)ヨコ方向 条痕 | I | 良好 | (外) 灰黄褐 10YR6/2 (内) 淡黄 2.5Y8/3 | |
| 111- 14 | 124 | 1133 | H8 150129 | 9Line Tr | 下層 | 縄文 土器 | 底部 | | | | (8.6) | (外)ナデ (内)ナデ | 4.5㎜以下砂粒 多く含む | 良好 | (外)灰黄褐 10YR6/2 (内)褐灰 10YR5/1 | 底部:繊維 状圧痕・ 被熱ヒビ 割れ |
| 111- 15 | 125 | | B10 140917 | | 北〜東 側排水 溝 | | 浅鉢 | (26.0) | (26.6) | | | (外)ナデ・条 痕後ナデ (内)ナデ | 2mm以下白色砂 粒多く含む | 良好 | (外) 灰黄褐 10YR6/2 (内) 灰黄褐 10YR4/2 | ı |
| 16 | 126 | | 141106 | Line | 水溝 | 縄文 土器 | | | | | | (外)縄文・磨 消ミガキ・縄文(内)ナデ・ミ ガキ | 1 | | (外)淡黄 2.5Y8/3 (内)灰白 2.5Y8/2 | 口縁部内 面:スス付 着 |
| 111- 17 | 125 | | 141106 | 7~9ラ イン | 北側排水溝 | 縄文 土器 | 鉢 | | | | | (外)ナデ・ヘラ描き線刻文(内)条痕後ナデ | 1㎜白色砂粒や や多く含む | 良好 | (外)にぶい赤褐 5YR5/4 (内)にぶい赤褐 5YR5/4 | |

写 真 図 版



古屋敷遺跡全景(空撮:東から)



古屋敷遺跡全景(空撮:西から)



古屋敷遺跡 (D区) 表土掘削風景 (北から)



古屋敷遺跡 (D区) 表土掘削風景 (北から)



古屋敷遺跡 (D区) 西壁第3遺構面より上層の土層堆積状況 (東から)



古屋敷遺跡 (D区) 北壁土層堆積状況 (南東から:耕作土直下に SR01 の砂礫が見える)



古屋敷遺跡(D 区) 西壁土層堆積状況(南東から:I ライン付近)



古屋敷遺跡 (D区) 北壁土層堆積状況 (北東から:Gライン付近)



古屋敷遺跡 (D区) 北壁土層堆積状況 (南東から:9 ライン付近)



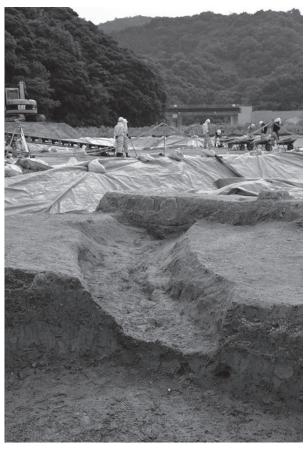
古屋敷遺跡 (D区) 北壁土層堆積状況 (南西から:8 ライン付近)



古屋敷遺跡(D 区)7 ライン土層堆積状況(北東から:G ライン付近 4a ~ 10a 層)



古屋敷遺跡(D 区)9 ライン土層堆積状況(南西から:I ライン付近 5a ~ 10a 層)



I7 付近 SD01 土層堆積状況(東から)



G8 付近 SD01 遺物出土状況(西から)

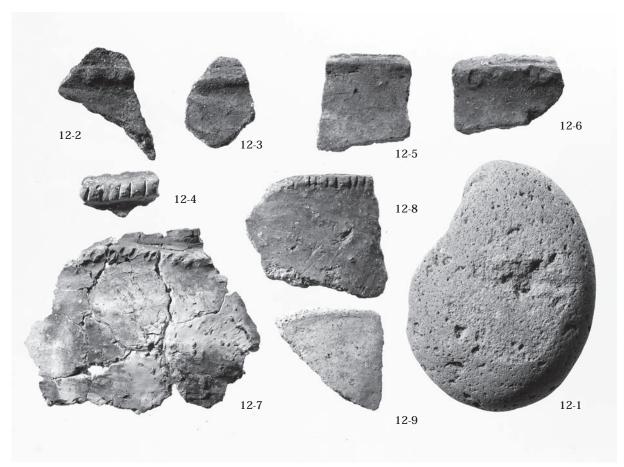


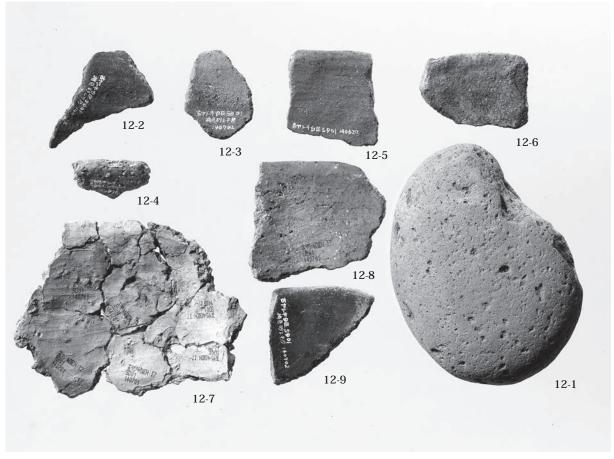
G8 付近 SD01 遺物出土状況(北東から)



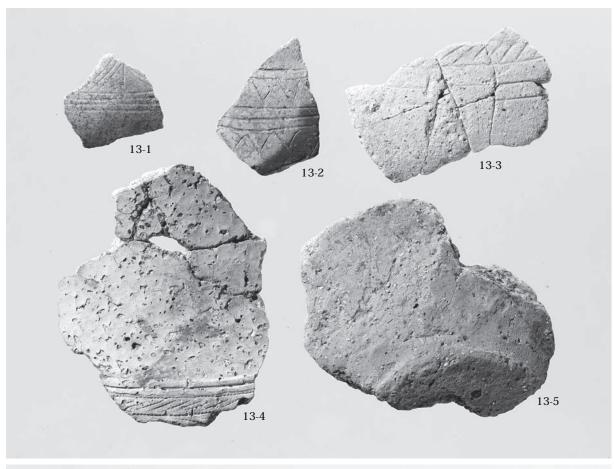
G6 ~ I8 付近第 1 遺構面完掘状況(西から)

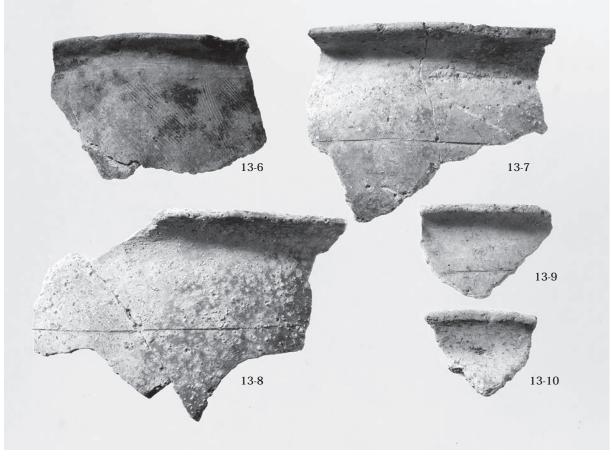
図版 8 古屋敷遺跡 (D区)





SD01 出土遺物 (1)





SD01 出土遺物 (2)



SX01 土層堆積状況(東から)



SX01 検出状況・遺物出土状況(南から)

SX01 完掘状況(南から)



SX02 遺物出土状況 (東から)



SX02 作業風景(東から)



SX02 完掘状況(東から)

図版 12 古屋敷遺跡 (D区)



SX03 完掘状況(東から)

SX05 完掘状況(北から)



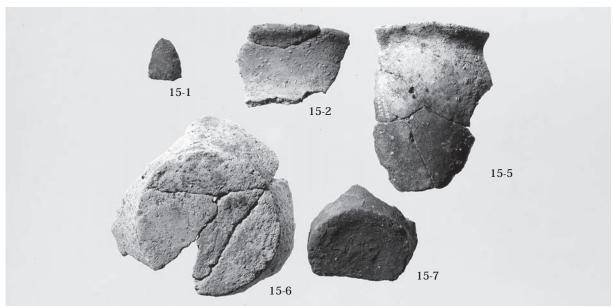
SX06 完掘状況(北から)



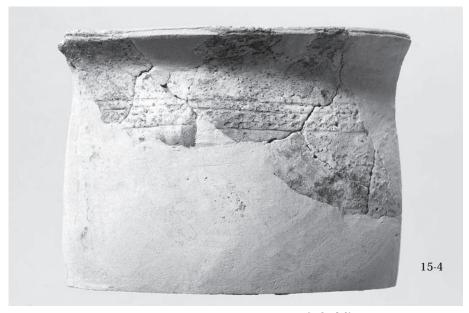
SX07 土層堆積状況(東から)



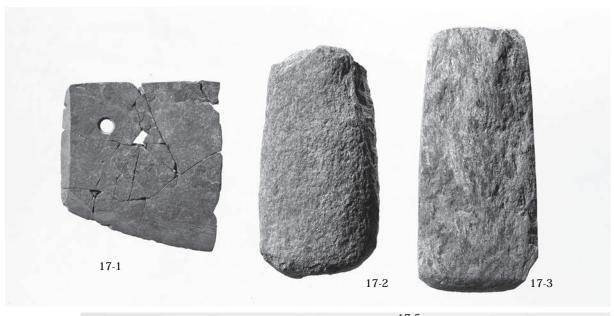
図版 14 古屋敷遺跡(D 区)

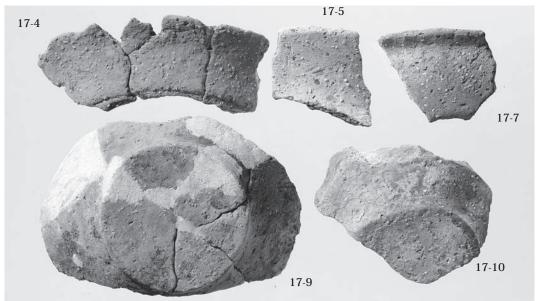






SX01 出土遺物

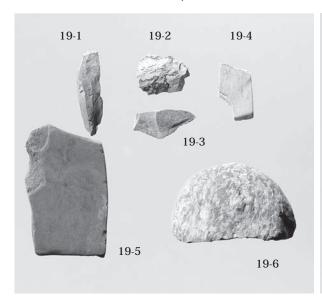


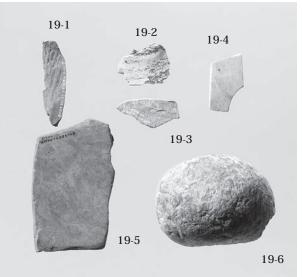




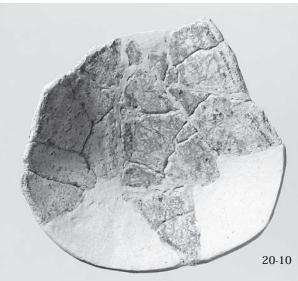
SX02 出土遺物

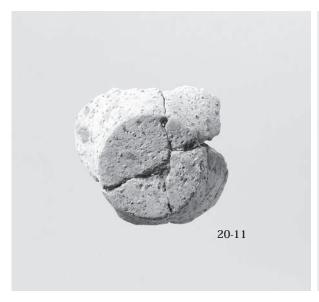
図版 16 古屋敷遺跡 (D区)





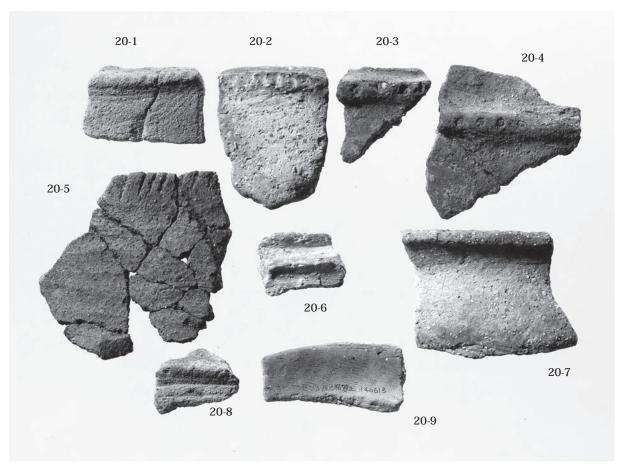


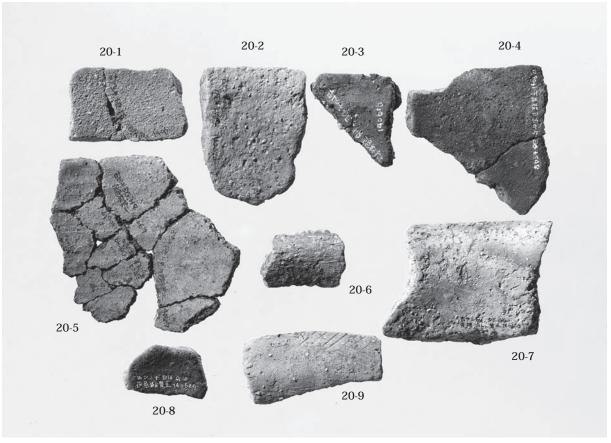






第1遺構面出土遺物(1)



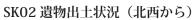


第1遺構面出土遺物(2)



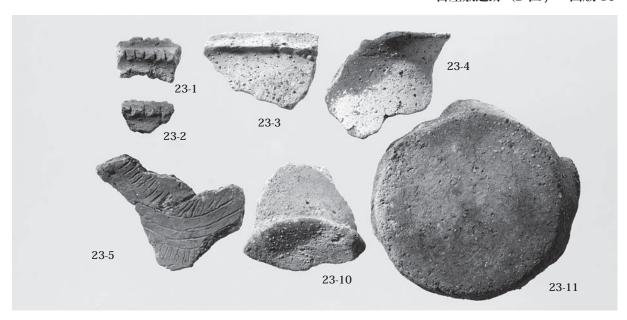
SK02 土層堆積状況(北から)

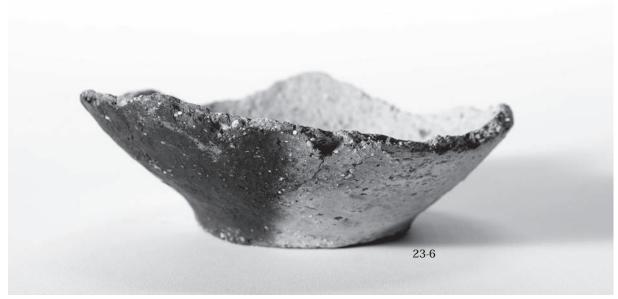






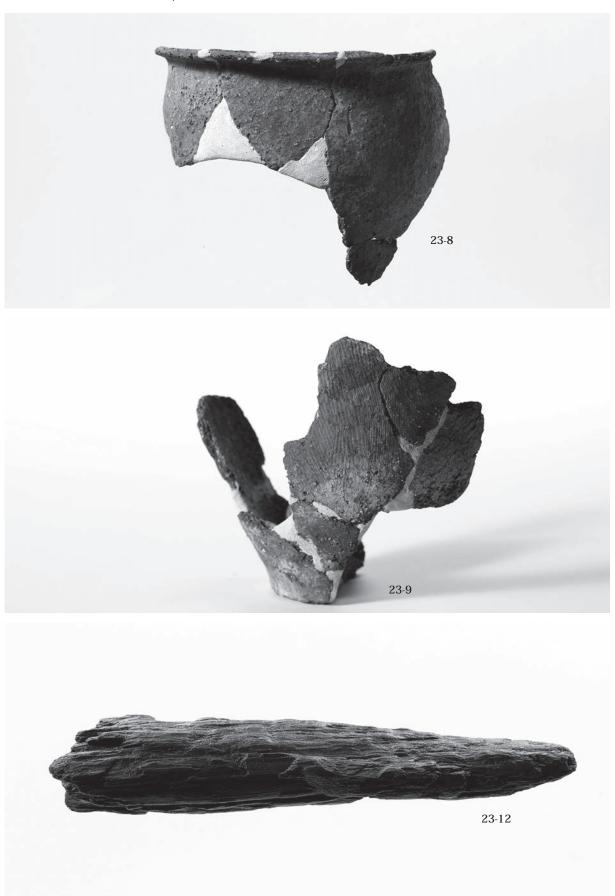
SK02 完掘状況(北東から)







SK02 出土遺物 (1)



SK02 出土遺物 (2)



SK01 検出状況(北東から)

SK01 蓋板検出状況(東から)



SK01 蓋板検出状況(北東から)



SK01 木棺墓内完掘状況(南東から)



SK01 棺内土層堆積状況(北から)



SK01 蓋板か北側板を突き破る杭(東から)



SK01 棺内完掘状況(東から)



SK01 棺内完掘状況(北から)



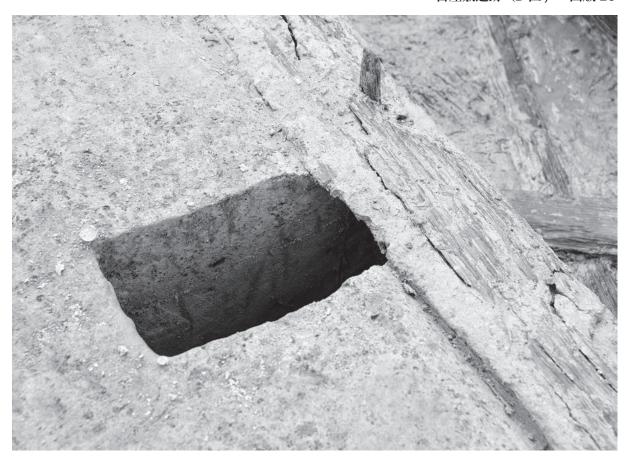
SK01 床板除去状況(南東から)



木棺墓東小口板と側板の関係(北西から)



木棺墓西小口板と側板の関係(東から)



棺外北側面の土層堆積状況(西から)

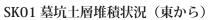


棺外東小口の土層堆積状況(北から)



SK01 墓坑土層堆積状況 (北から)

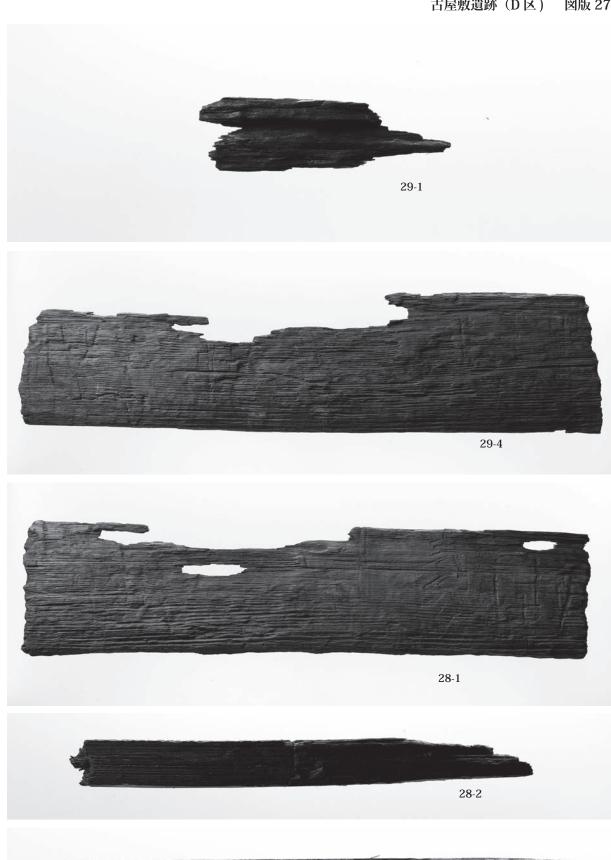






SK01 完掘状況 (東から)

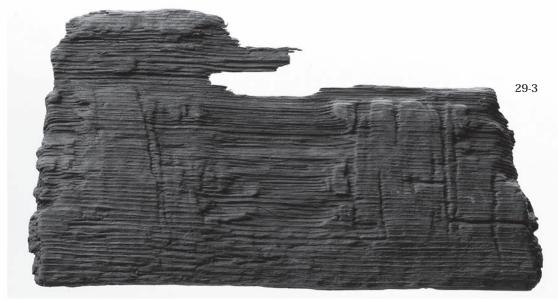
28-3



SK01 出土木製品 (1)

図版 28 古屋敷遺跡 (D区)

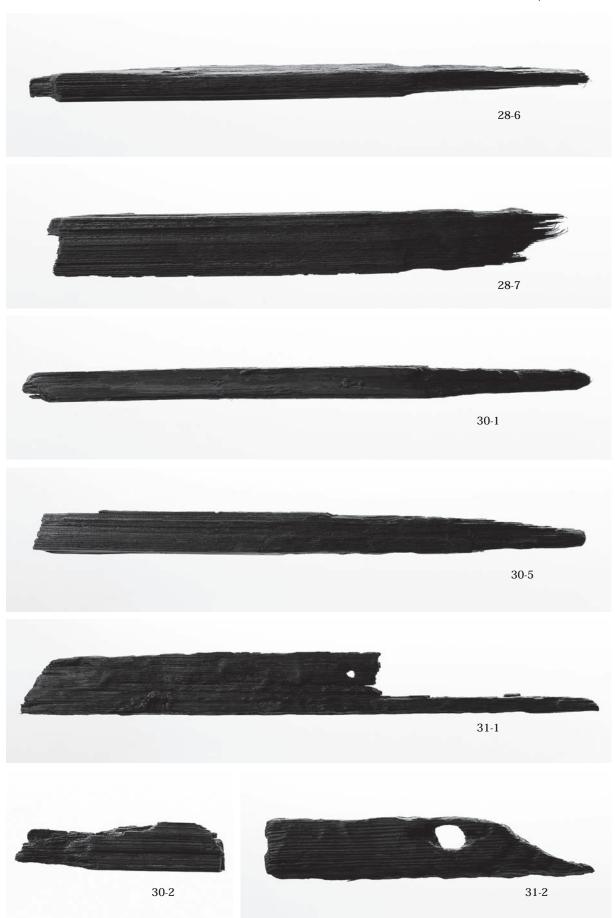




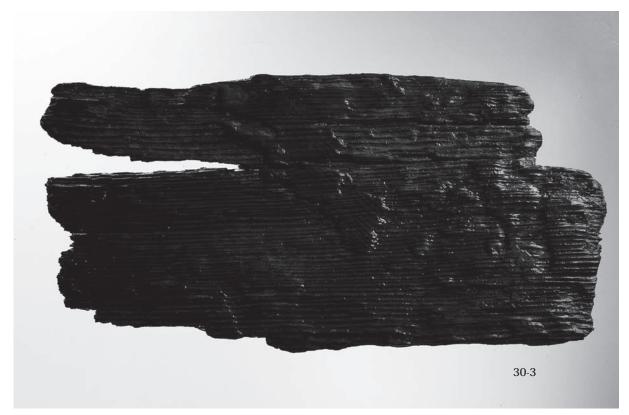


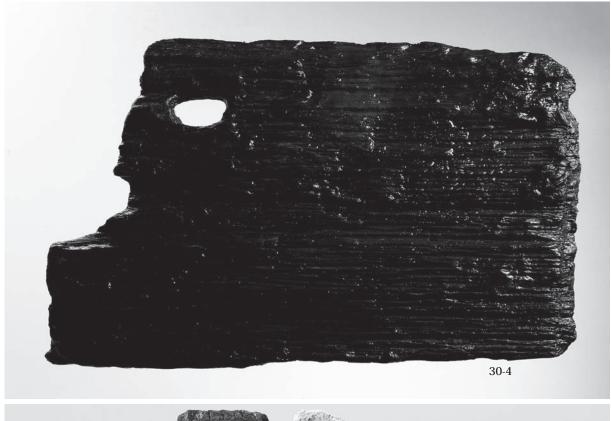


SK01 出土木製品 (2)



SK01 出土木製品 (3)







SK01 出土木製品 (4)・土器・玉





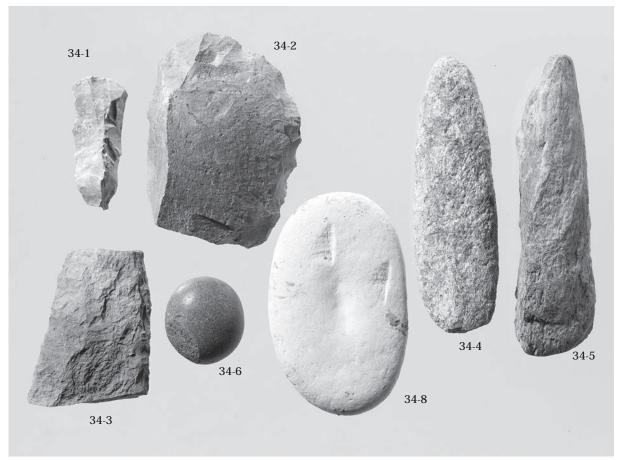
地床炉 11 完掘状況 (西から)

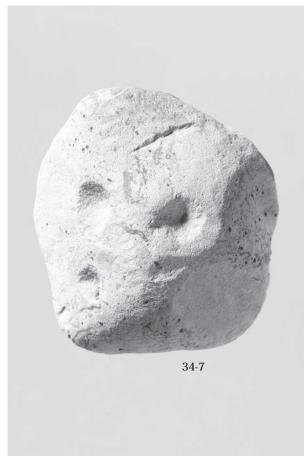
地床炉 24 検出状況 (南から)

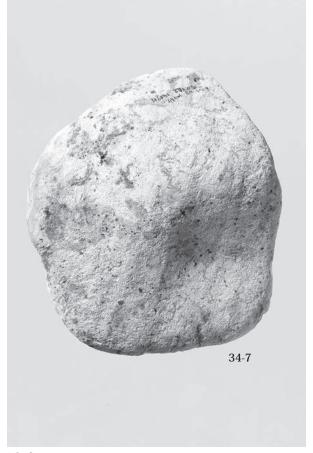


SR01 検出状況 (南から)

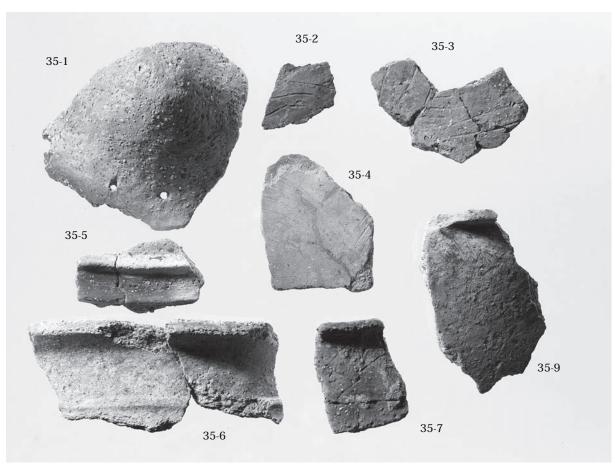
図版 32 古屋敷遺跡(D区)

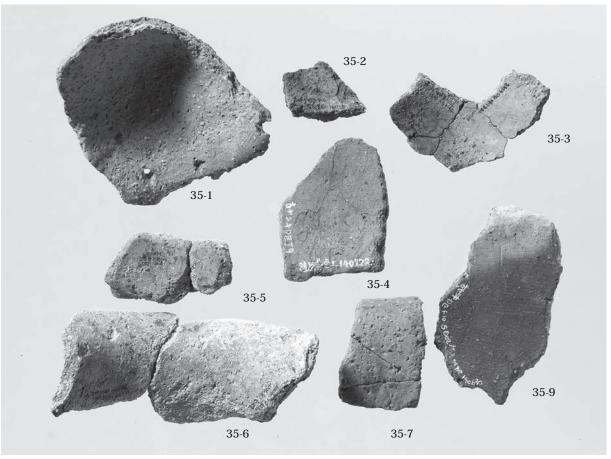




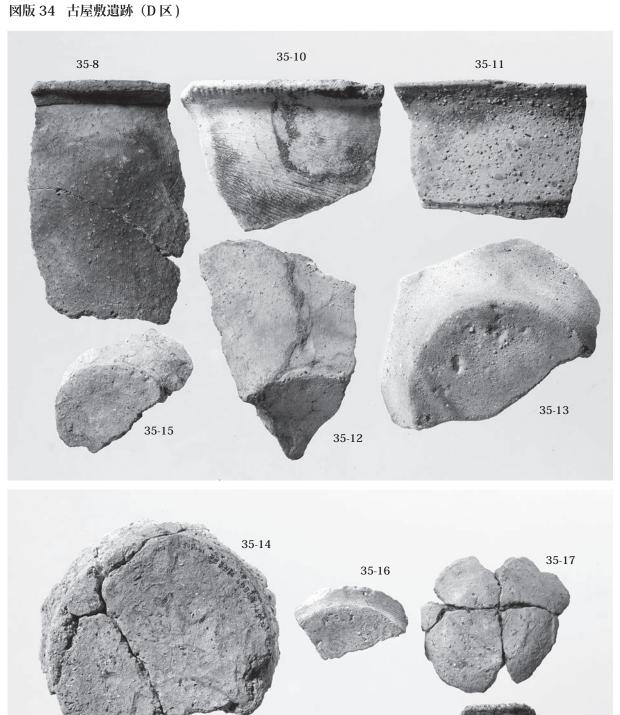


第2遺構面出土石器



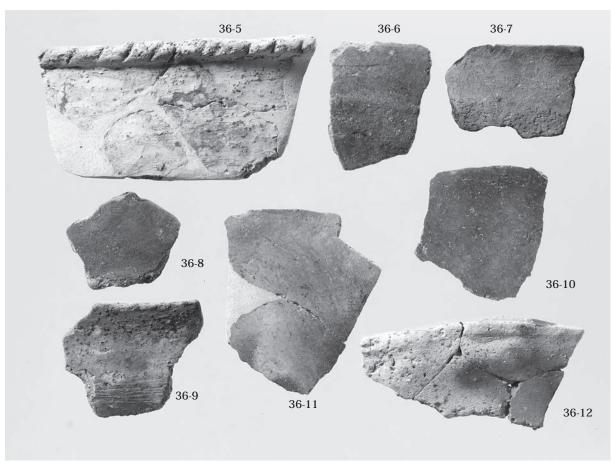


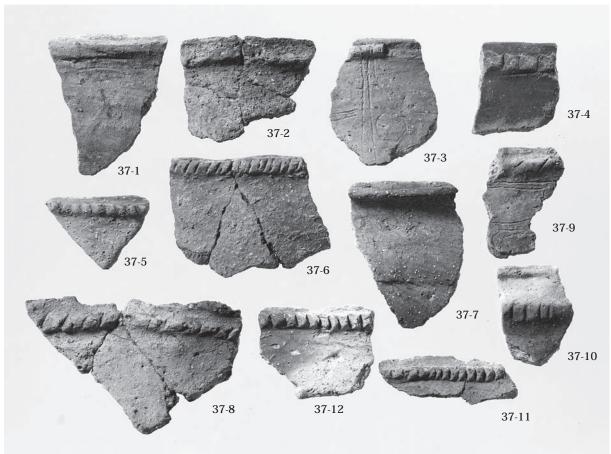
第2遺構面出土土器(1)



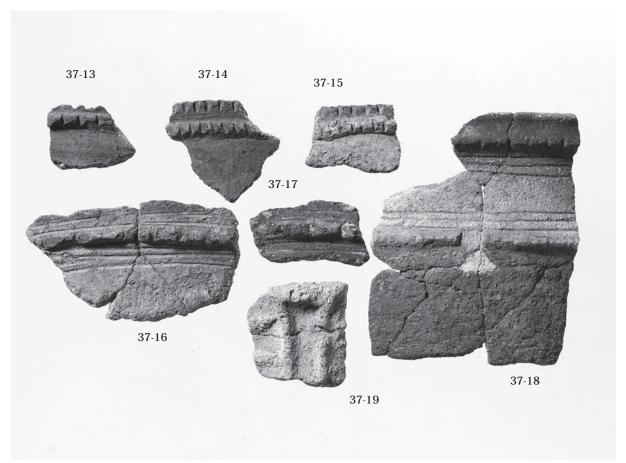
36-2 36-1 36-4 36-3

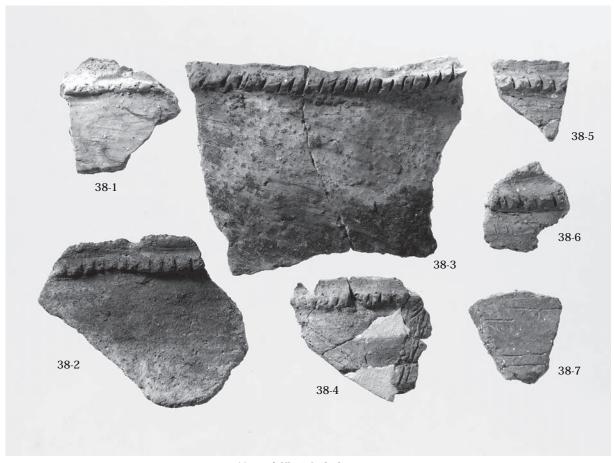
第2遺構面出土土器(2)





第2遺構面出土土器(3)





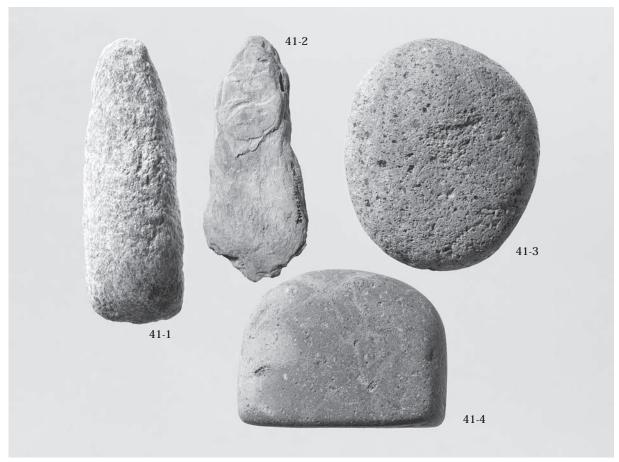
第2遺構面出土土器(4)



土器だまり 1 検出状況 (北西から)

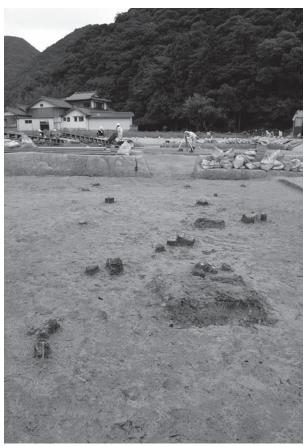


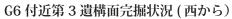
地床炉 47 土層堆積状況 (西から)





土器だまり 1 出土遺物





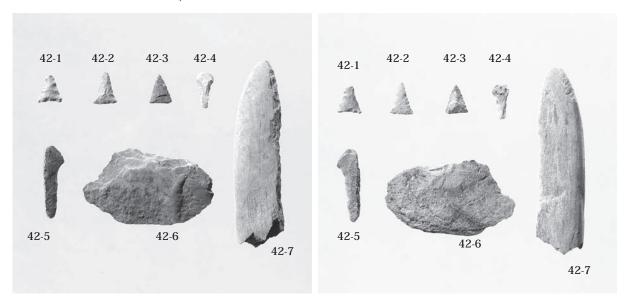


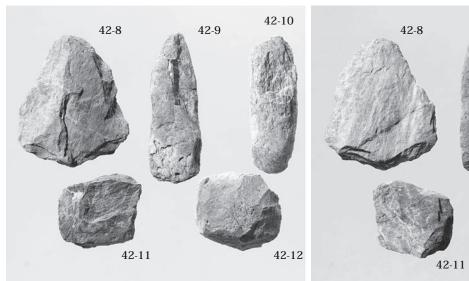
G10・H10 付近第 3 遺構面完掘状況 (東から)

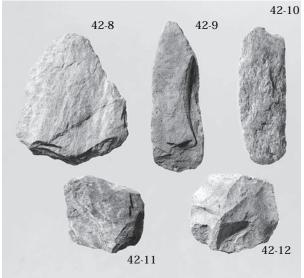


H10・G10 付近第3遺構面完掘状況(南から)

図版 40 古屋敷遺跡(D区)



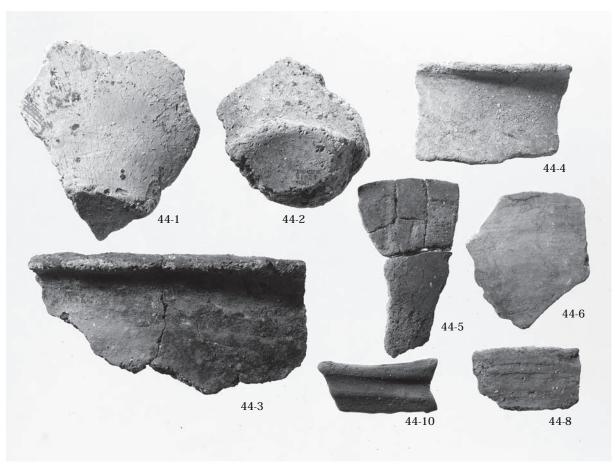


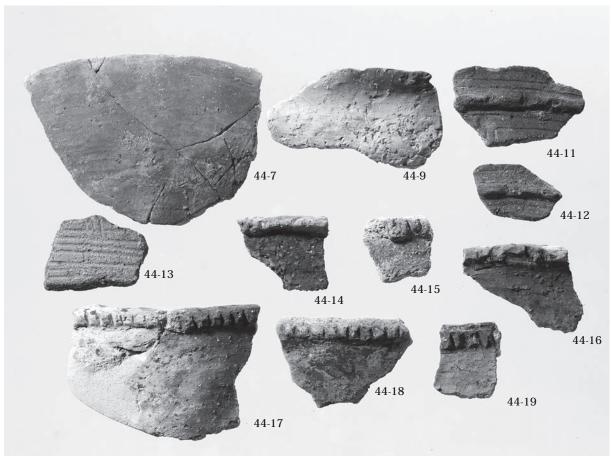




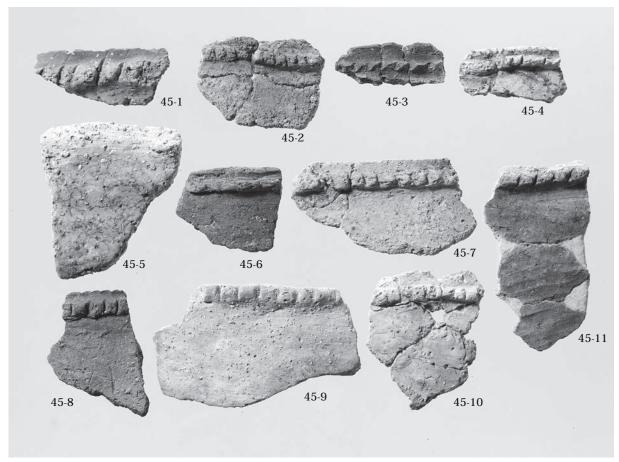


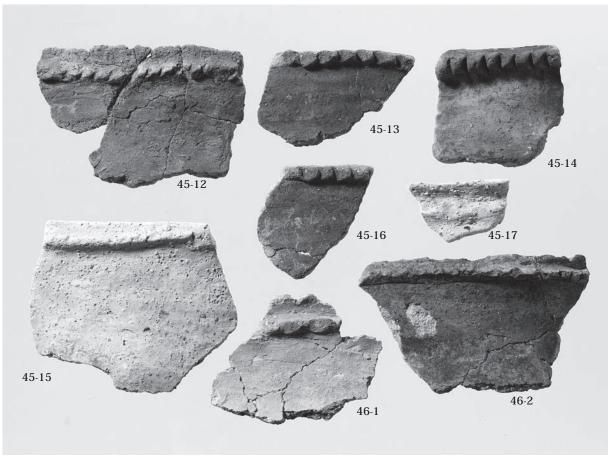
第3遺構面出土石器



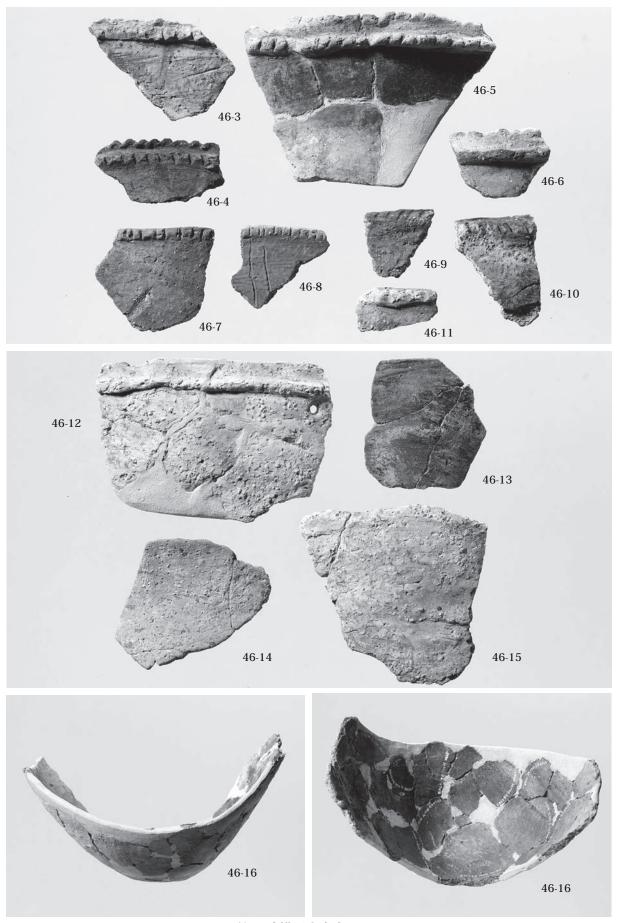


第3遺構面出土土器(1)





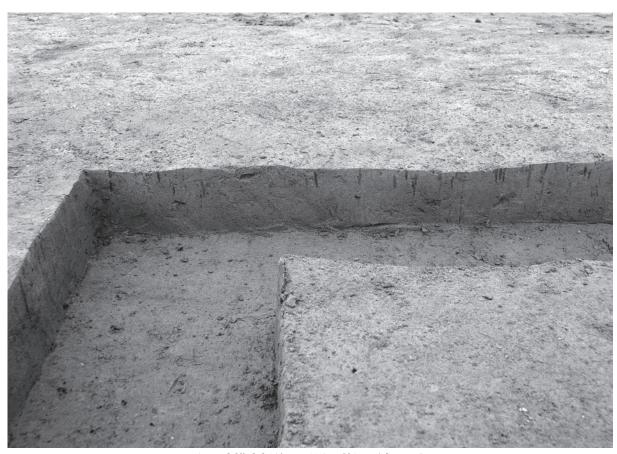
第3遺構面出土土器(2)



第3遺構面出土土器(3)



配石遺構検出状況 (西から)



配石遺構完掘後の下層の状況(東から)



H7 付近石製品 (51-10) 出土状況 (東から)



H7 付近土器 (52-1) 出土状況 (北から)



土器だまり3検出状況(東から)

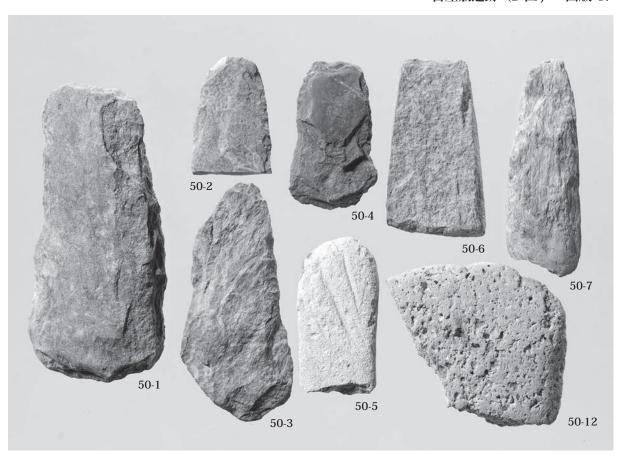


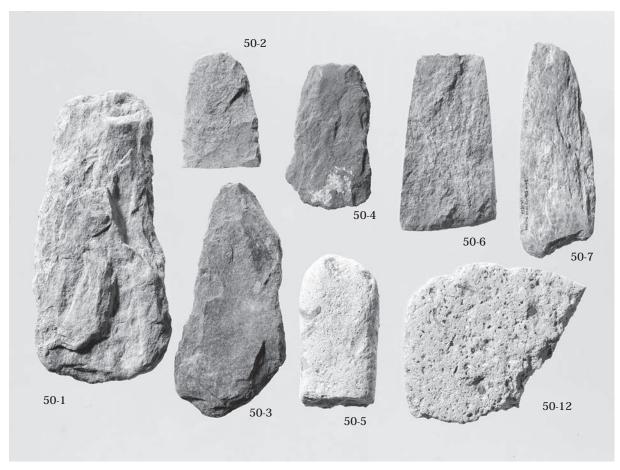
第4遺構面7ライン以西完掘状況(北から)



9 ライン土層堆積状況 (南西から:石の載る面が第4遺構面)

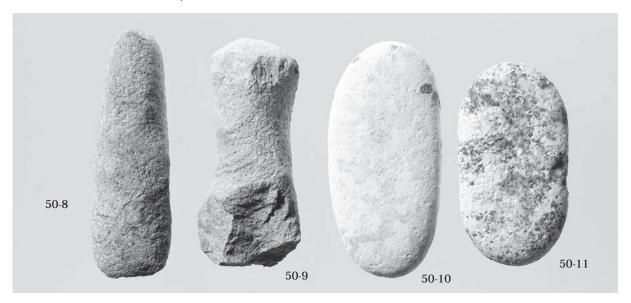


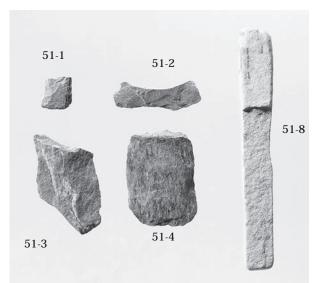


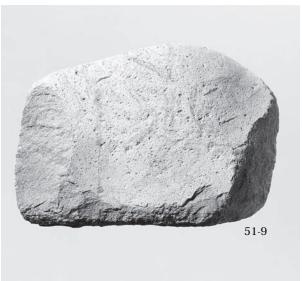


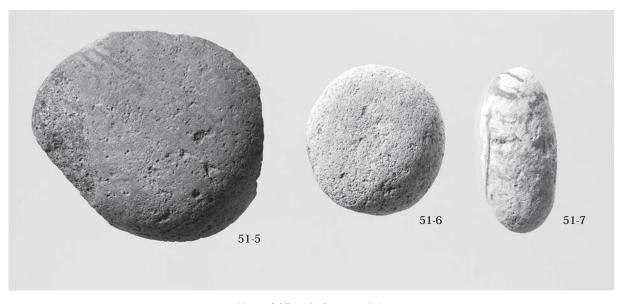
第4遺構面出土石器(2)

図版 48 古屋敷遺跡 (D区)









第4遺構面出土石器(3)

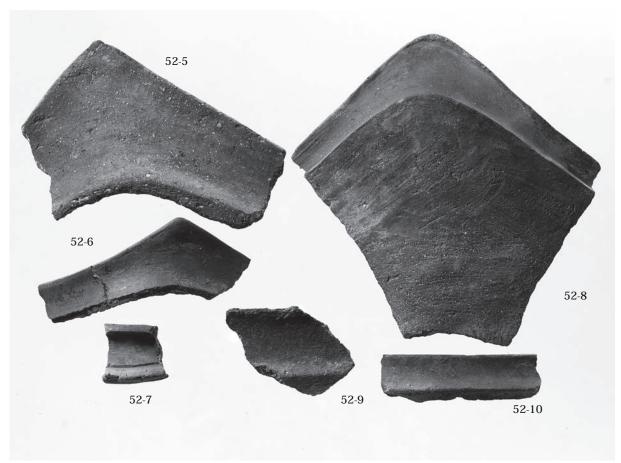


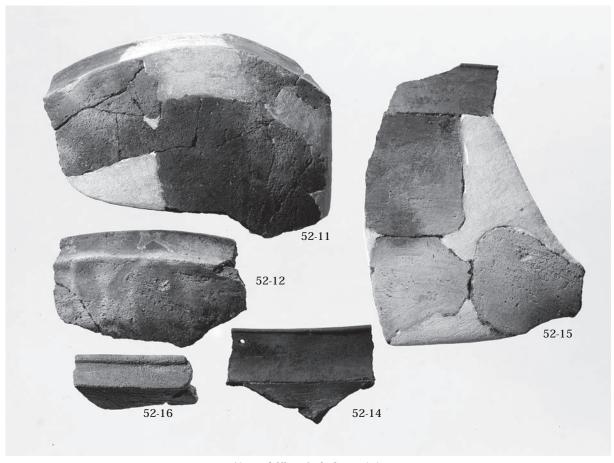




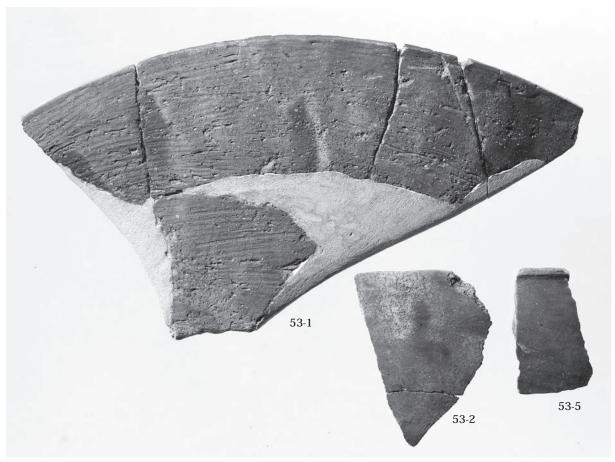
第4遺構面出土土器(1)

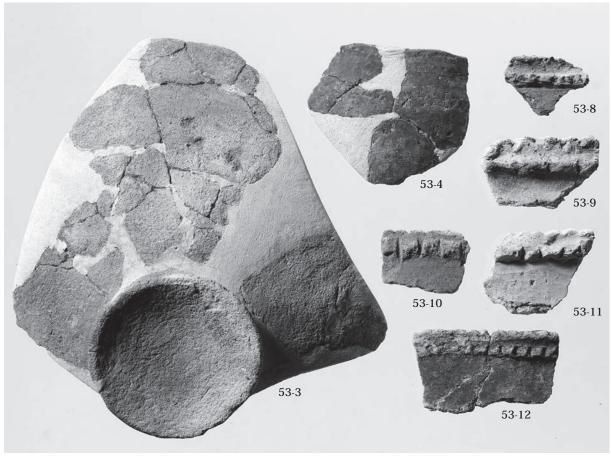
図版 50 古屋敷遺跡 (D区)





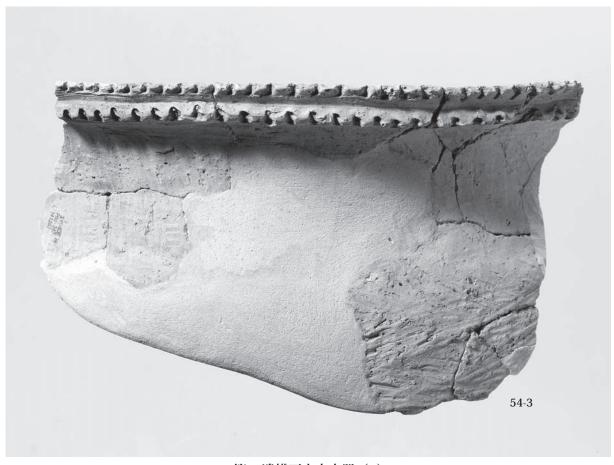
第4遺構面出土土器(2)



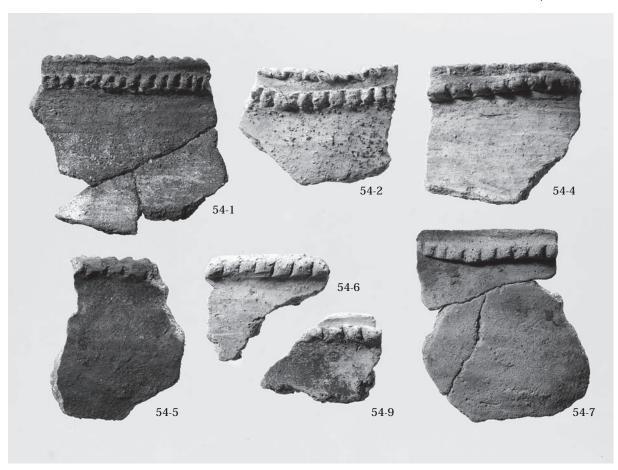


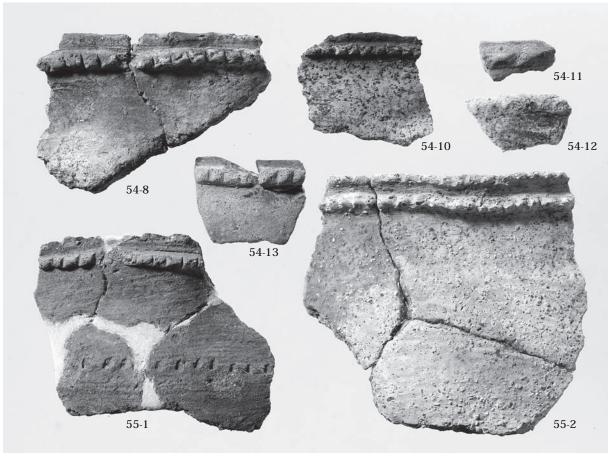
第4遺構面出土土器(3)



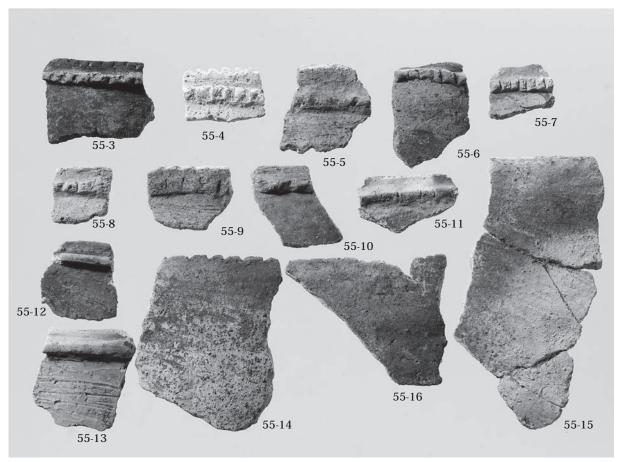


第4遺構面出土土器(4)



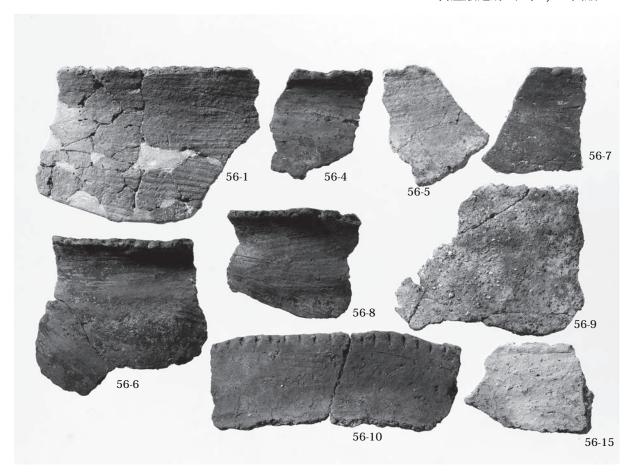


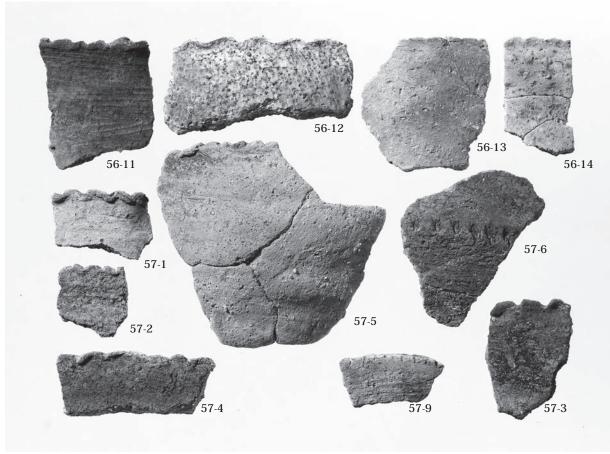
第4遺構面出土土器(5)



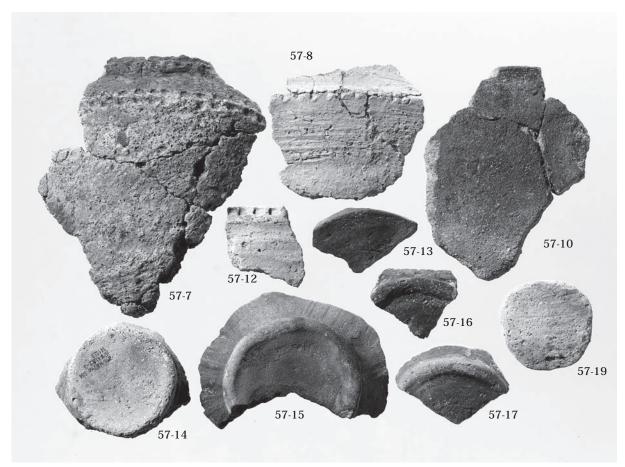


第4遺構面出土土器(6)





第4遺構面出土土器(7)





第4遺構面出土土器(8)







炭だまり 1Pit124 (東から)



炭だまり1獣歯牙検出状況(南から)



炭だまり1東側土層堆積状況(南から)



炭だまり1西側土層堆積状況(南から)





炭だまり1遺物出土状況(東から)

炭だまり1円礫検出状況(西から)



炭だまり 1 完掘状況(東から)



炭だまり3東側土層堆積状況(南から)



炭だまり3西側土層堆積状況(南から)



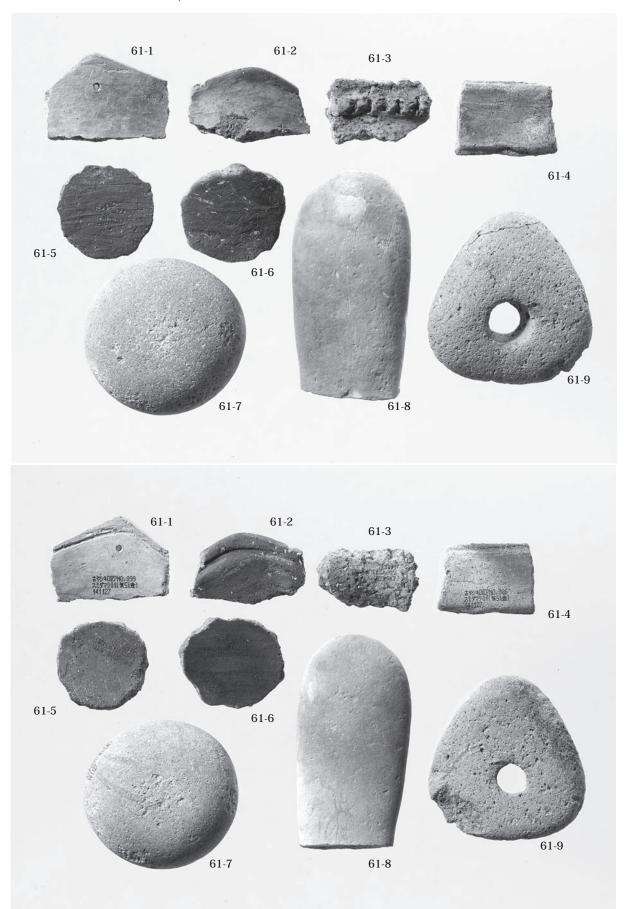


炭だまり 3Pit94 (南から)

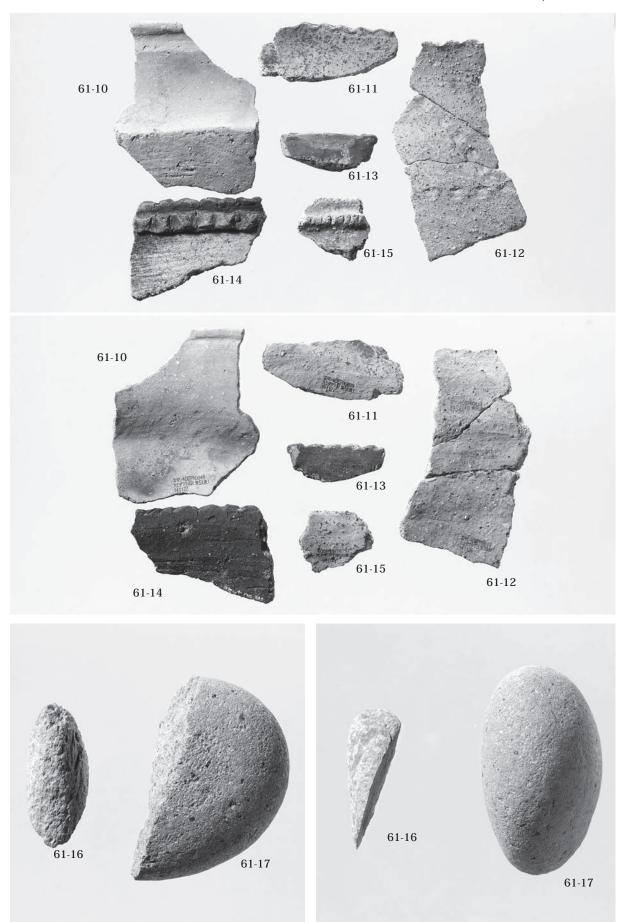
炭だまり3遺物出土状況(東から)



炭だまり3完掘状況(東から)



炭だまり1出土遺物



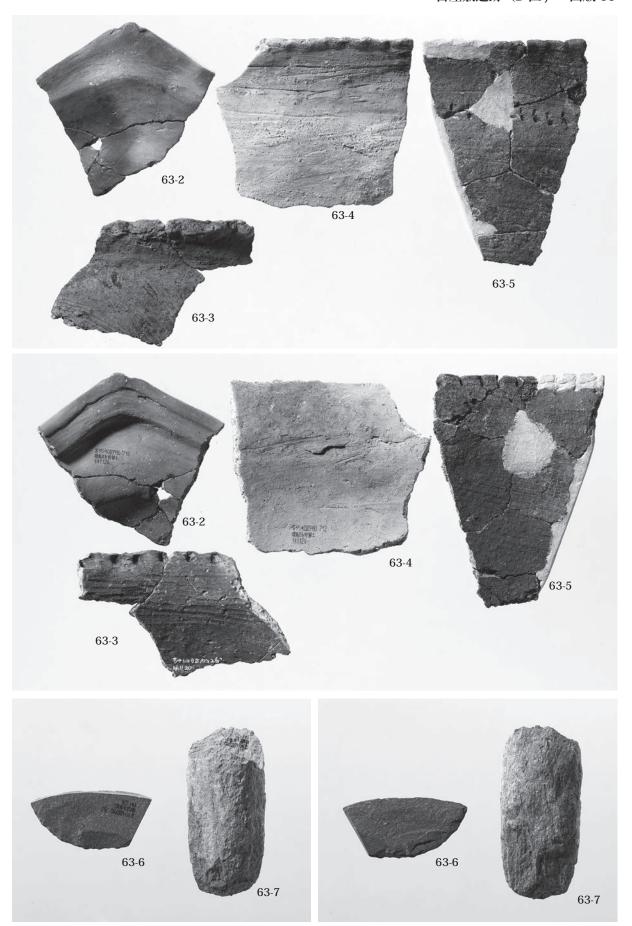
炭だまり 3 出土遺物



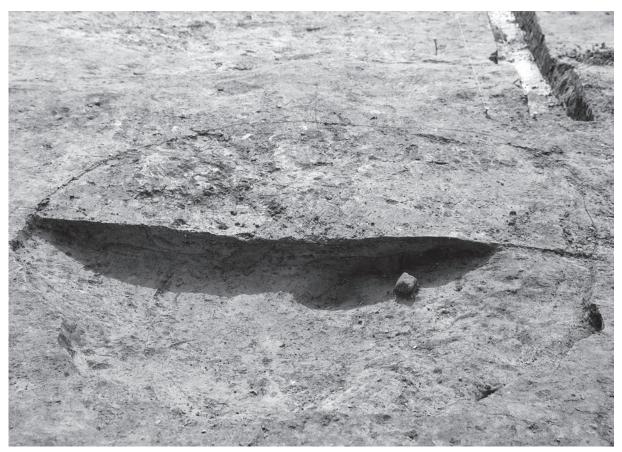
炭だまり4遺物出土状況(南西から)



炭だまり4完掘状況(北から)



炭だまり 4 出土遺物



地床炉 107 土層堆積状況 (南から)



地床炉 107(左)・108(右) 完掘状況 (北から:奥は炭だまり 3)



地床炉 108 土層堆積状況 (南から)



地床炉 118 完掘状況(西から)



袋状土坑 (Pit68) 土層堆積状況 (南から)





貯蔵穴検出状況 (西から)

貯蔵穴堅果類出土状況(西から)



貯蔵穴完掘状況 (西から)



地床炉 99 完掘状況 (東から)



F10 付近 Pit 全景 (東から)



古屋敷遺跡 (D区) 南壁水さらし場遺構付近土層堆積状況 (北から)



水さらし場遺構検出状況(北から)



水さらし場遺構と SD04 検出状況(南から)

SX12 検出状況(東から)



水さらし場遺構堅果類出土状況(西から)



水さらし場遺構土層堆積状況(東から)

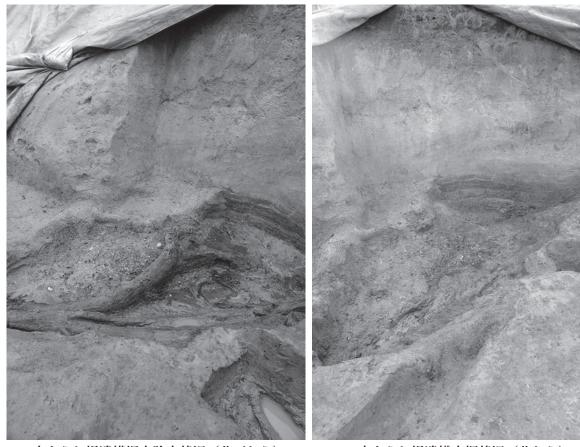


水さらし場遺構内部の状況 (北から)

SD04 遺物出土状況(北東から)

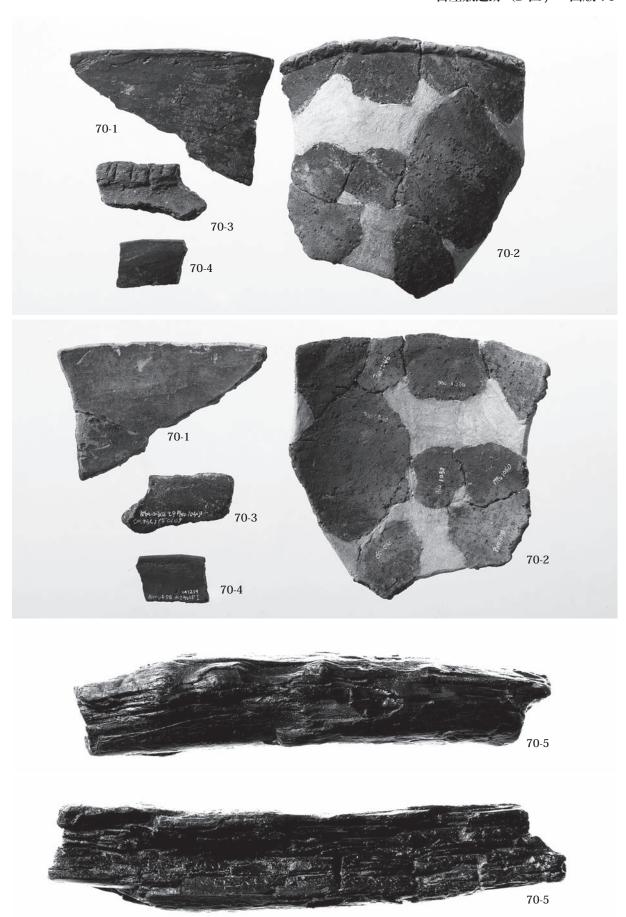


水さらし場遺構内部の状況 (東から)



水さらし場遺構埋土除去状況(北西から)

水さらし場遺構完掘状況(北から)



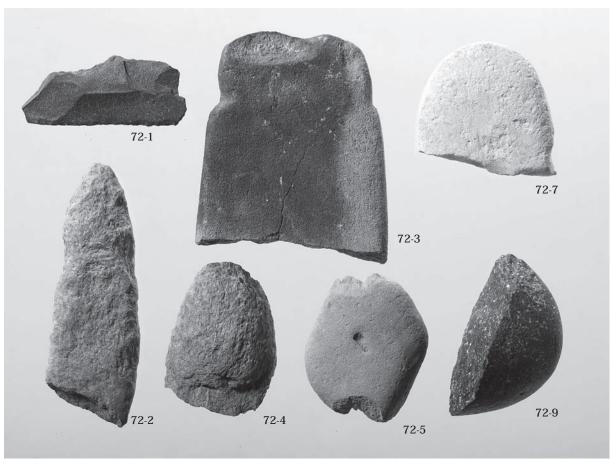
水さらし場遺構出土遺物

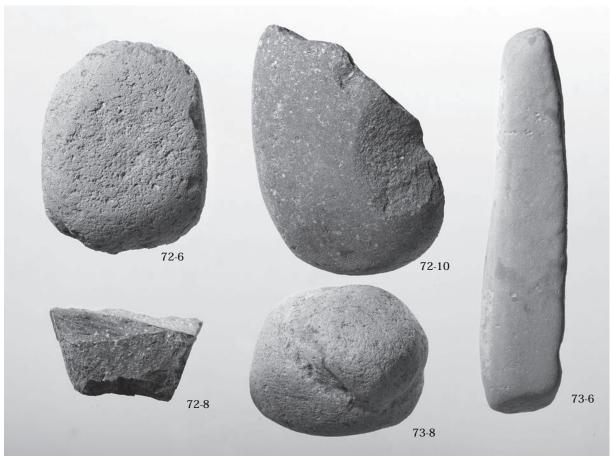


第5遺構面7ライン以西完掘状況(南西から)



第5遺構面9ライン以東完掘状況(北から)



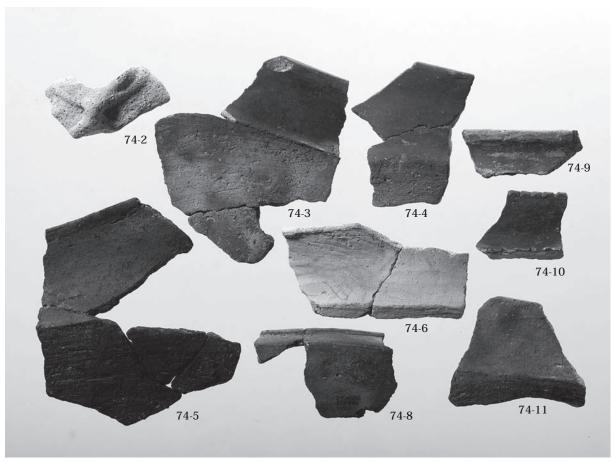


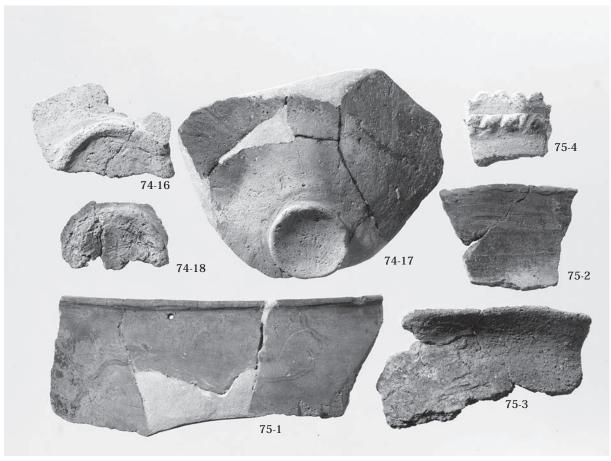
第5遺構面出土石器(1)



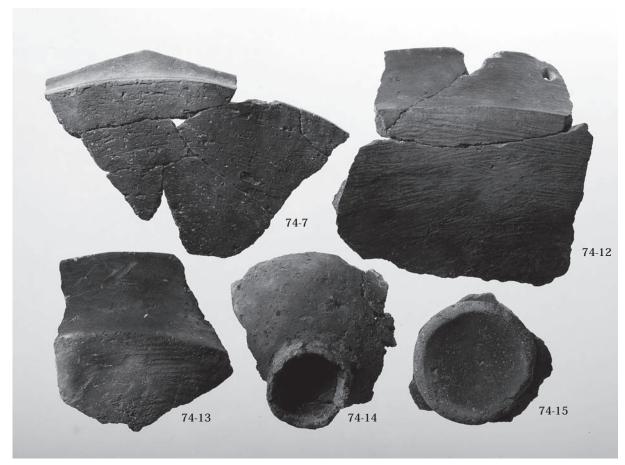


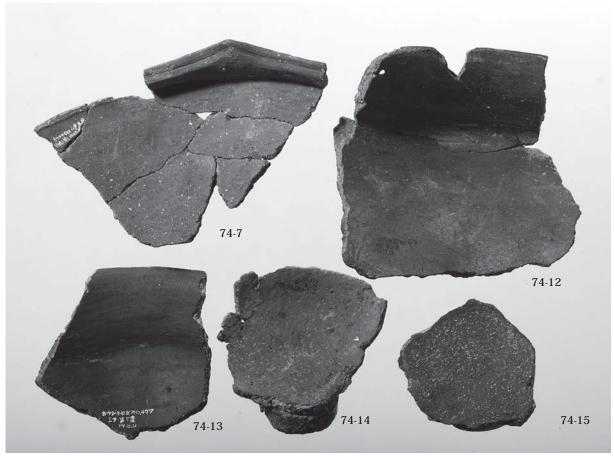
第5遺構面出土石器(2)



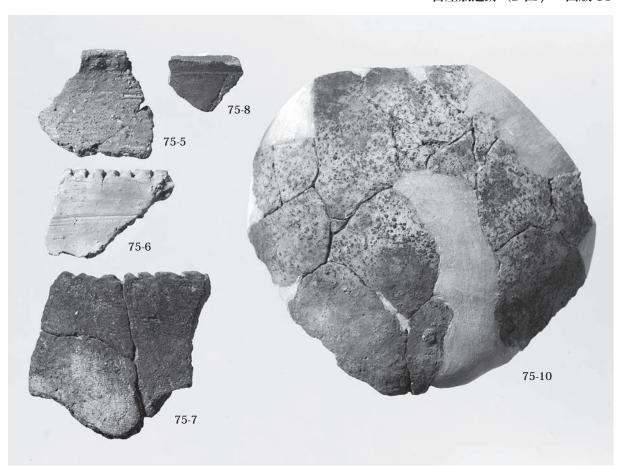


第5遺構面出土土器(1)





第5遺構面出土土器(2)





第5遺構面出土土器(3)



配石遺構 3 検出状況(北から)



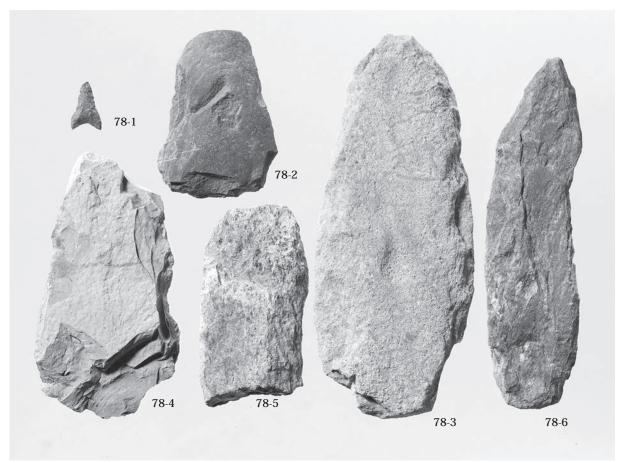
H8 磨石 (79-1・3) 出土状況(北から)

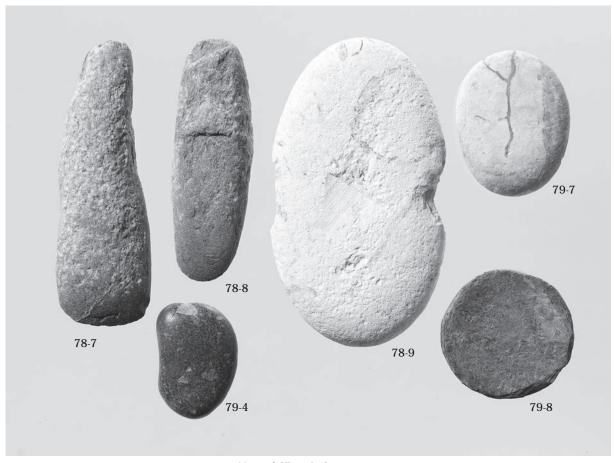


H8 石斧 (78-7・8) 出土状況(北から)

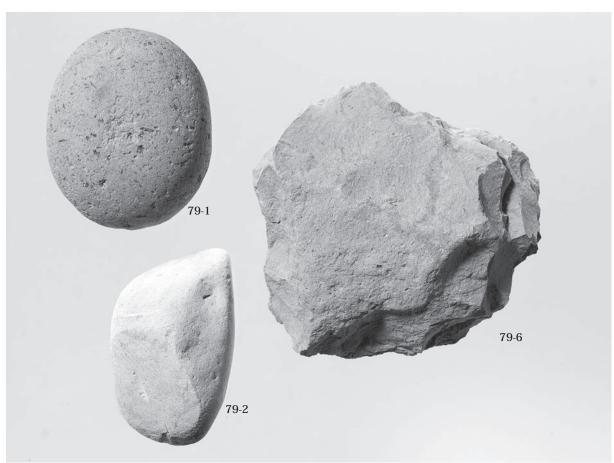


第6遺構面7~9ライン間完掘状況(南東から)



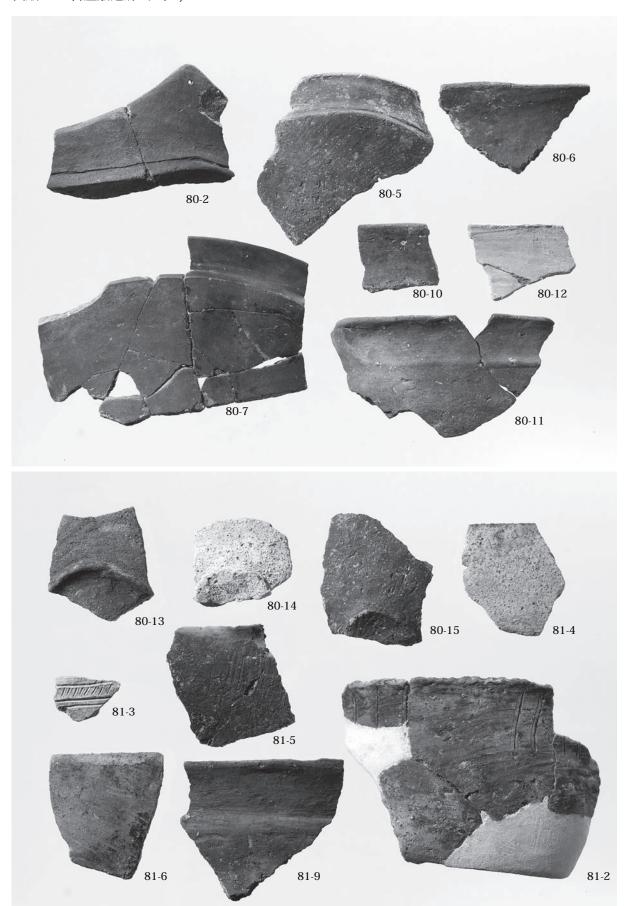


第6遺構面出土石器(1)





第6遺構面出土石器(2)



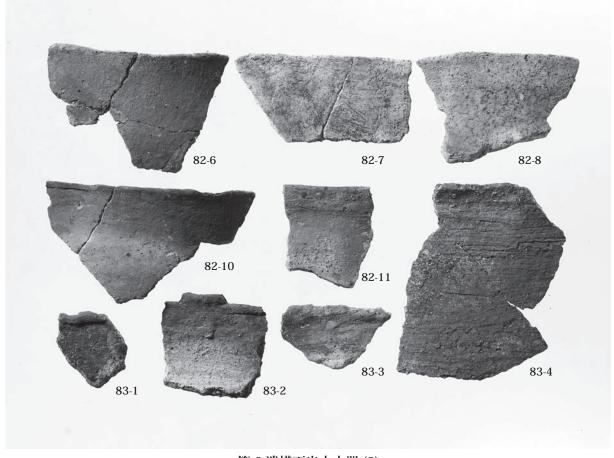
第6遺構面出土土器(1)



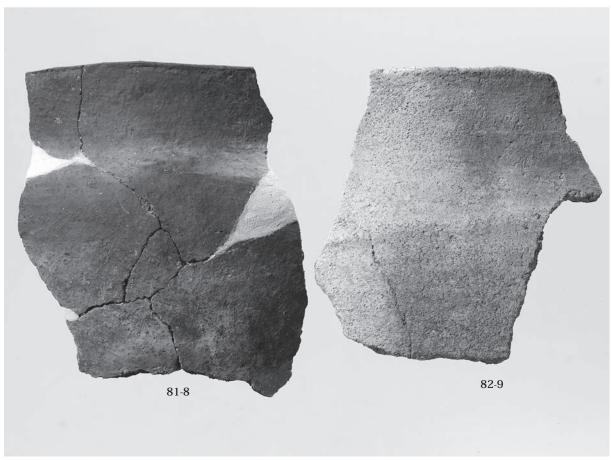


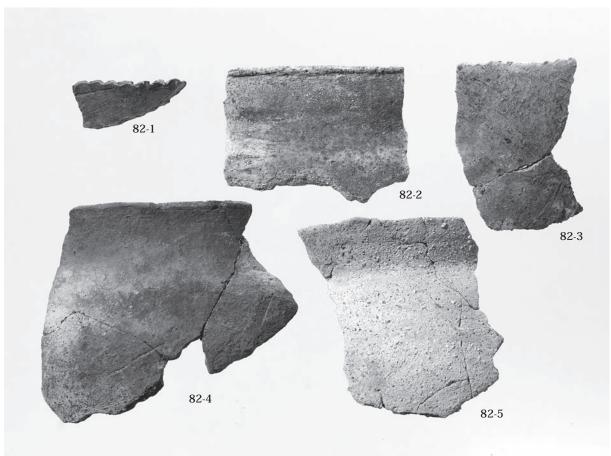
第6遺構面出土土器(2)



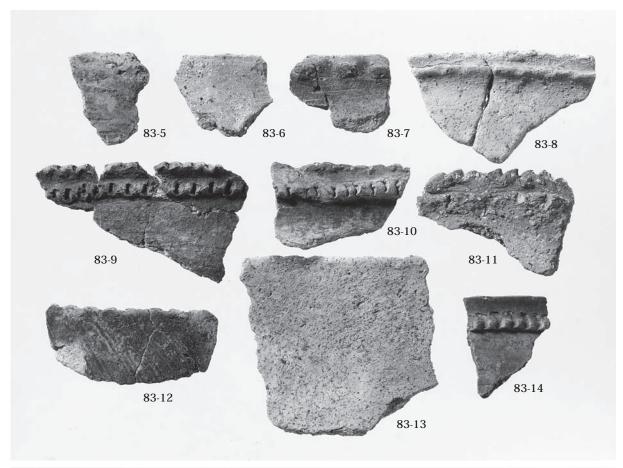


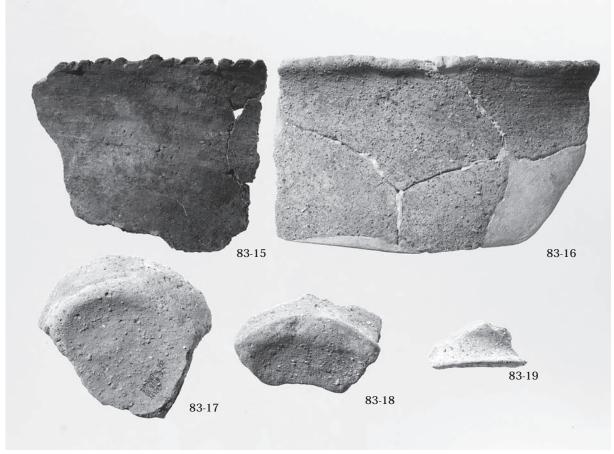
第6遺構面出土土器(3)



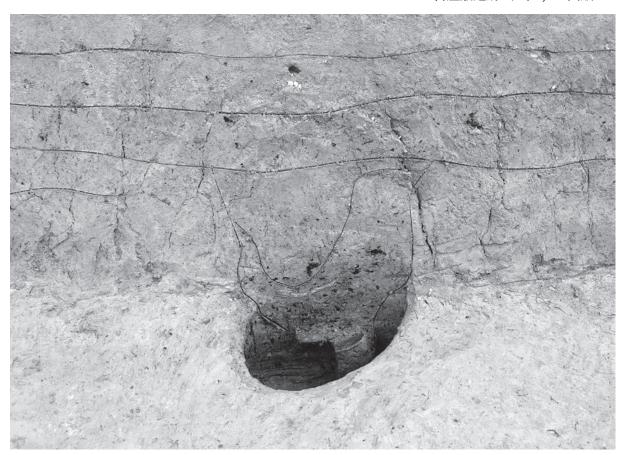


第6遺構面出土土器(4)





第6遺構面出土土器(5)



SK13 土層堆積状況(9 ラインベルト:西から)



SK15 土層堆積状況(東から)



SK17 土層堆積状況(北東から)



SX19 遺物出土状況(西から)



SX21 遺物出土状況(東から)



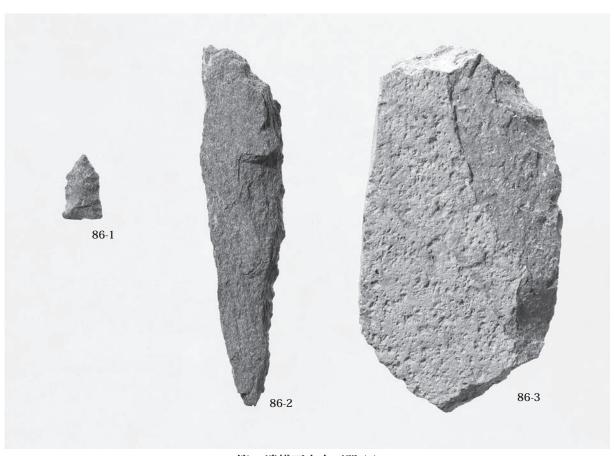
第7遺構面F8~G8付近完掘状況(北東から)



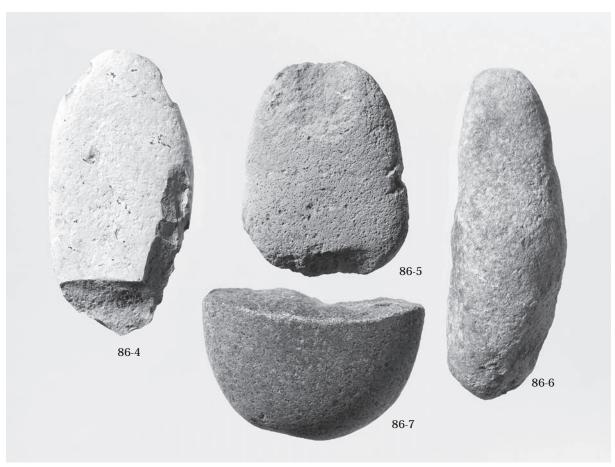
第7遺構面 I8 ~ H8 付近完掘状況(南東から)

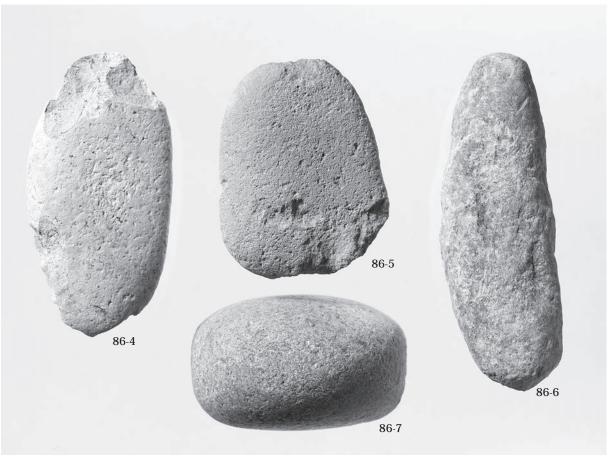


第7遺構面9ライン以東完掘状況(南東から)

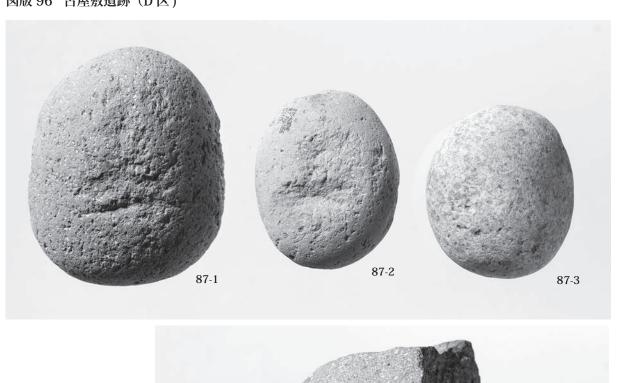


第7遺構面出土石器(1)

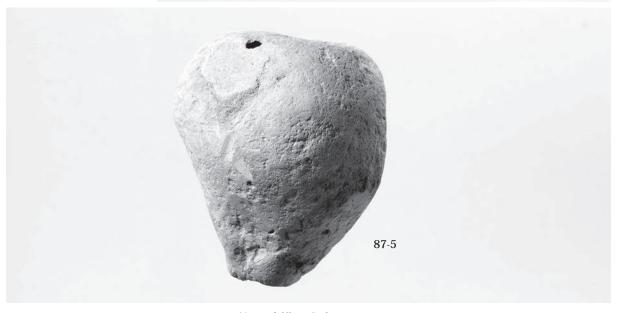




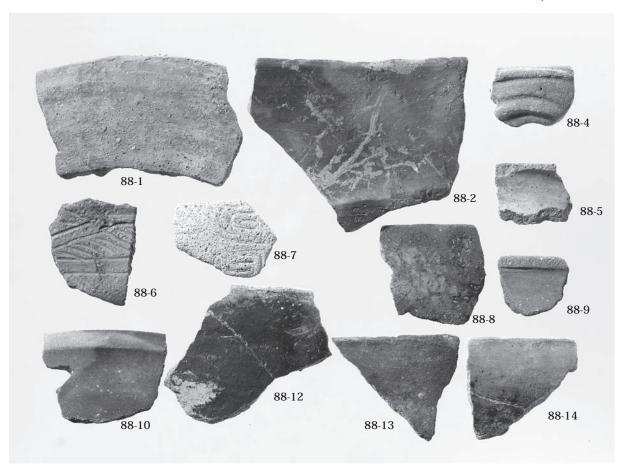
第7遺構面出土石器(2)

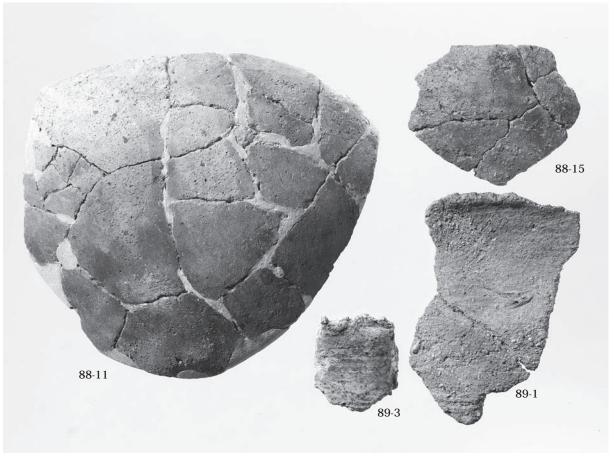




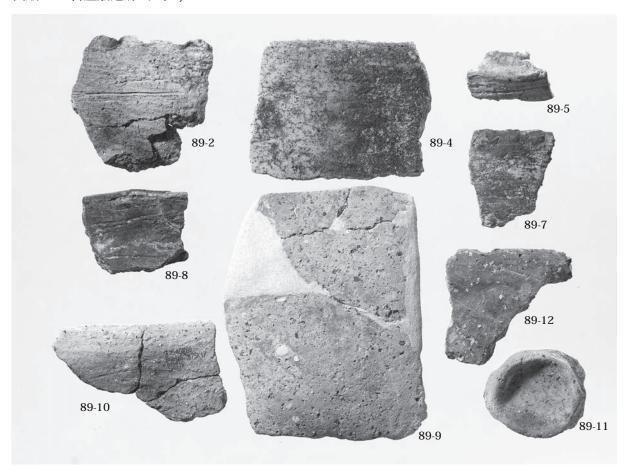


第7遺構面出土石器(3)





第7遺構面出土土器(1)

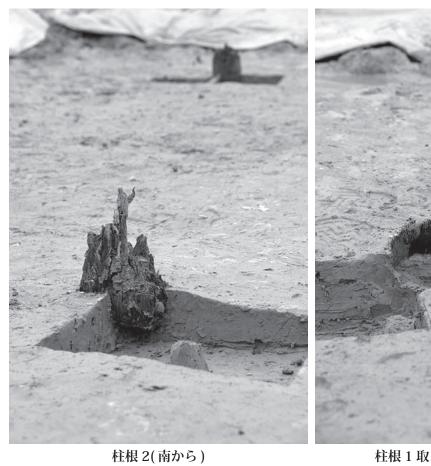




第7遺構面出土土器(2)



柱根 1・2 検出状況 (南から)





柱根 1 取り上げ状況 (南から)



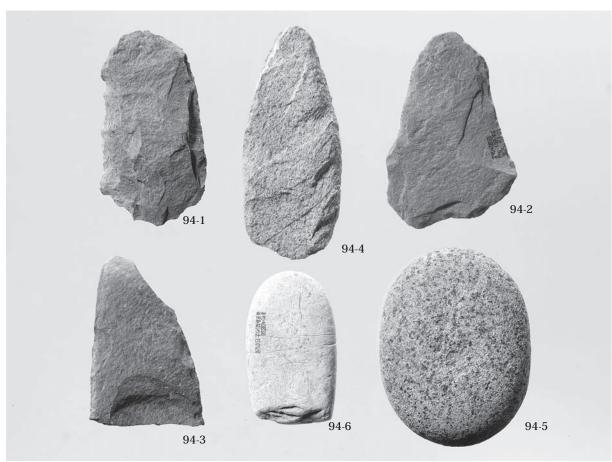
第8遺構面7ライン以西完掘状況(南西から)



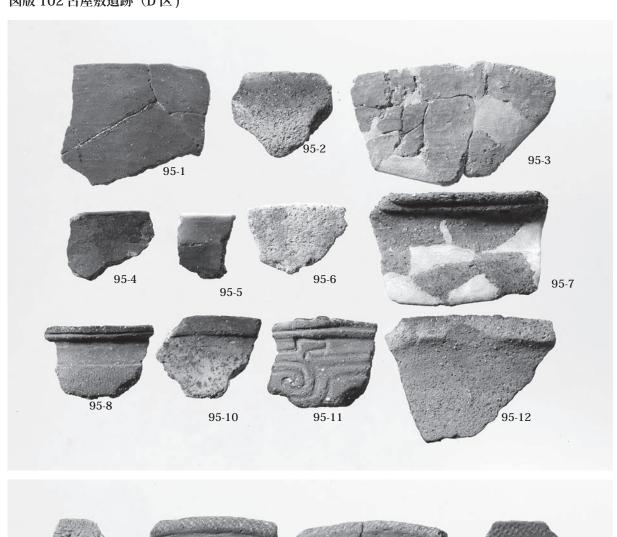
第8遺構面9ライン以東完掘状況(南東から)

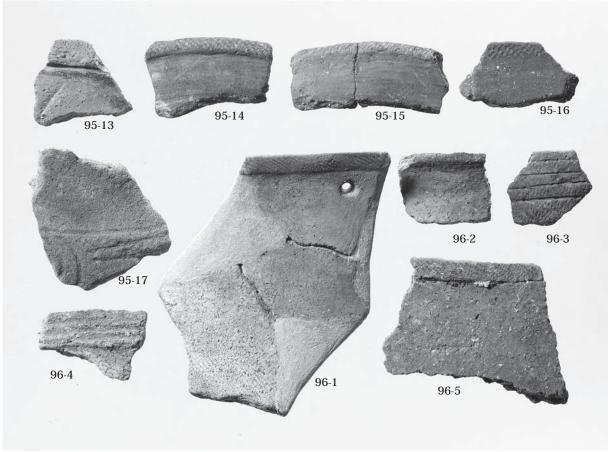




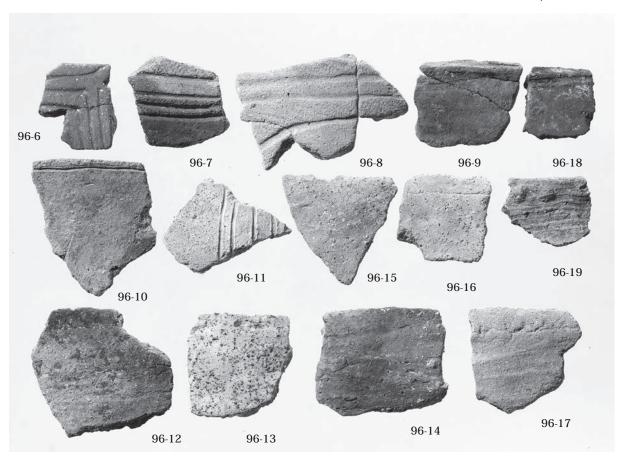


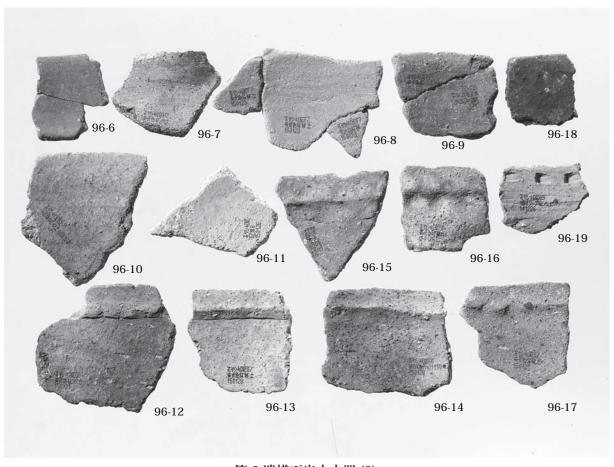
第8遺構面出土木製品·石器



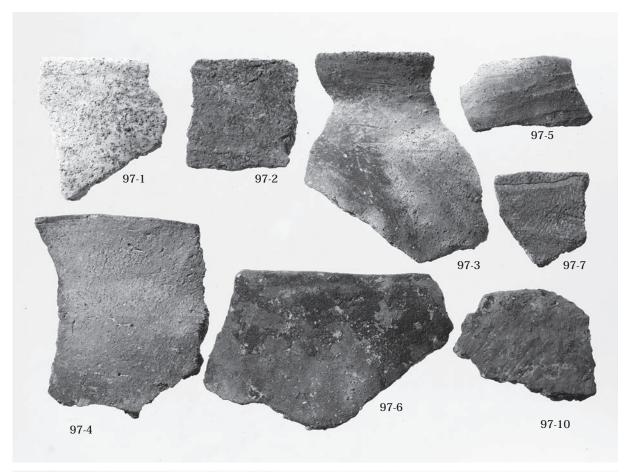


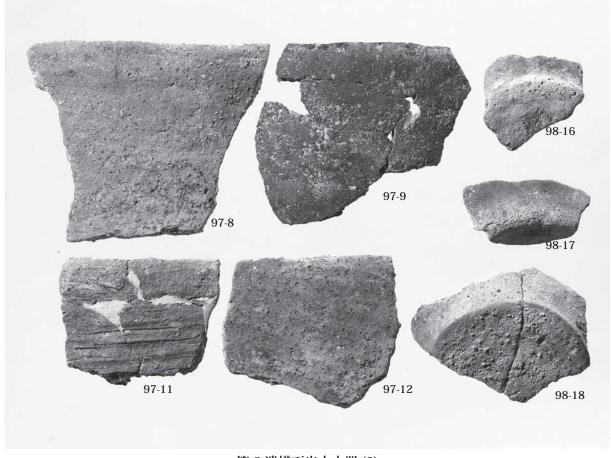
第8遺構面出土土器(1)



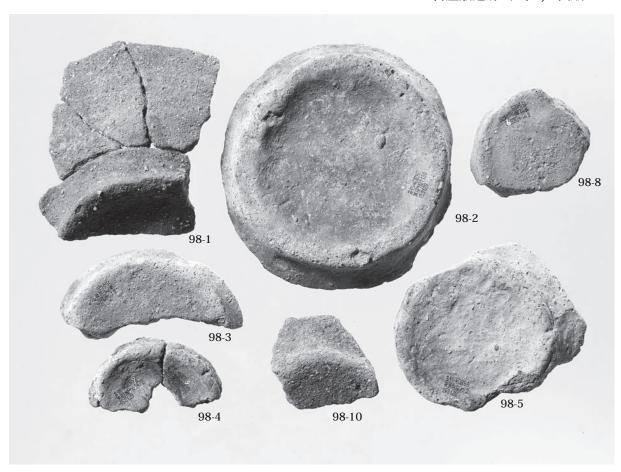


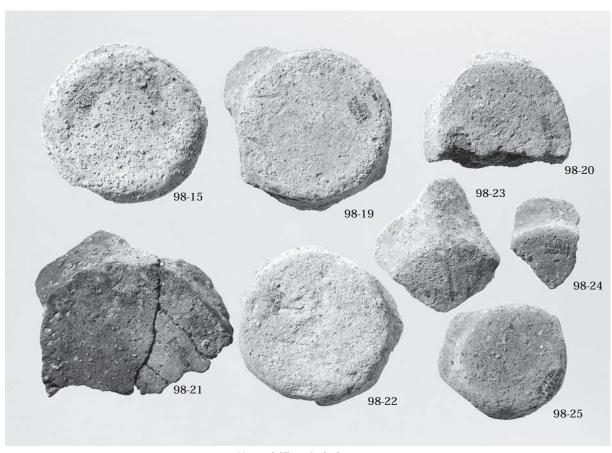
第8遺構面出土土器(2)



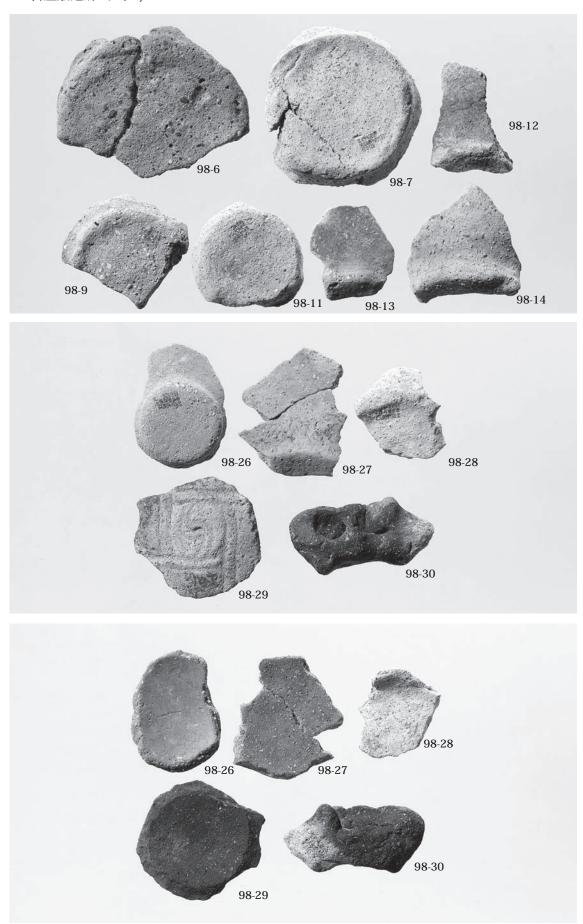


第8遺構面出土土器(3)





第8遺構面出土土器(4)



第8遺構面出土土器(5)

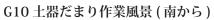


第8遺構面出土土器(6)



古屋敷遺跡 (D 区) 東壁土層堆積状況 (南西から:最下面近くの黒い堆積が G10 土器だまり)



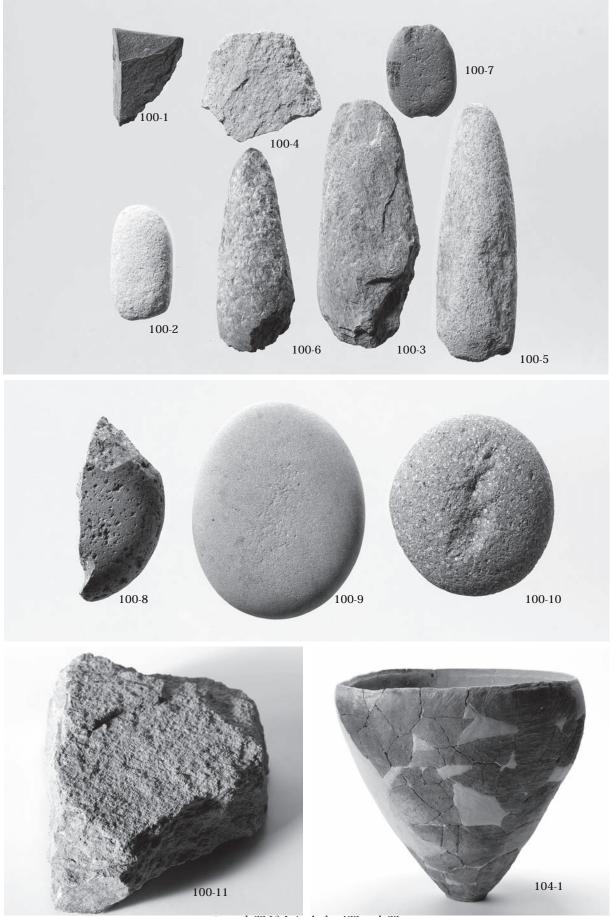




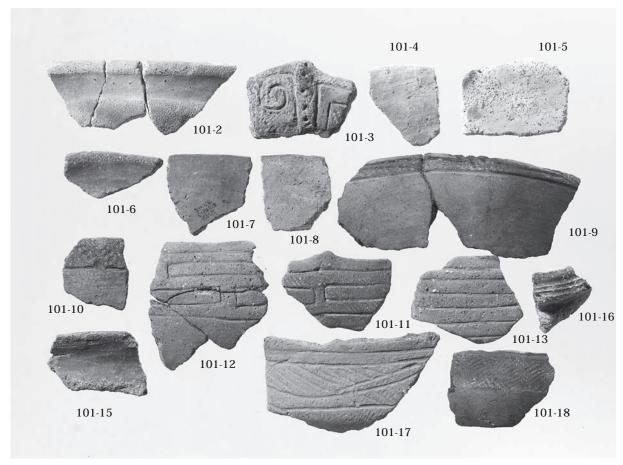
G10 土器だまり遺物 (102-13) 出土状況 (西から)

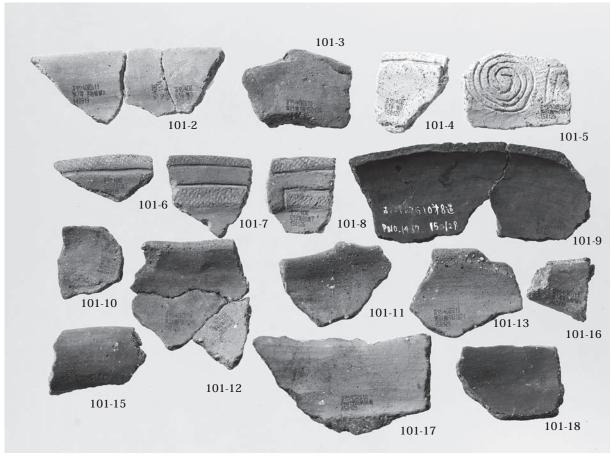


G10 土器だまり遺物出土状況 (北から)

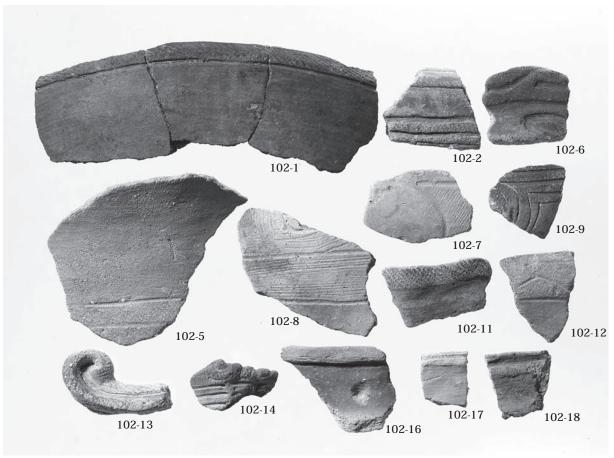


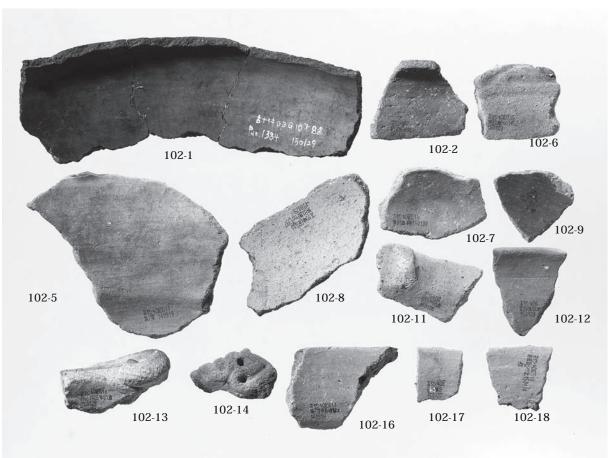
G10 土器だまり出土石器・土器



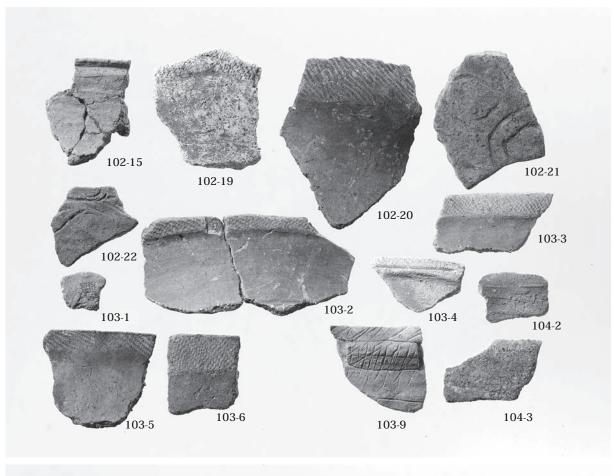


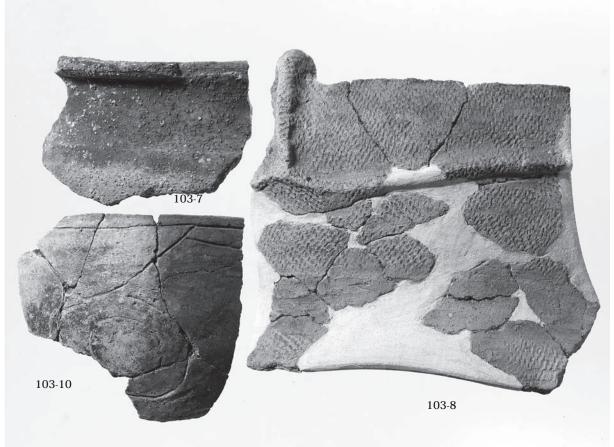
G10 土器だまり出土土器 (1)



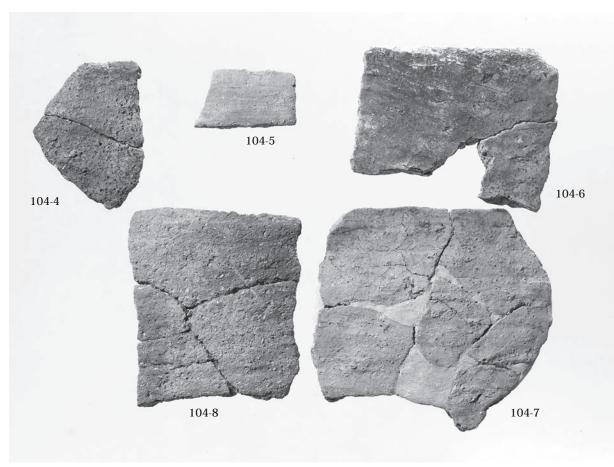


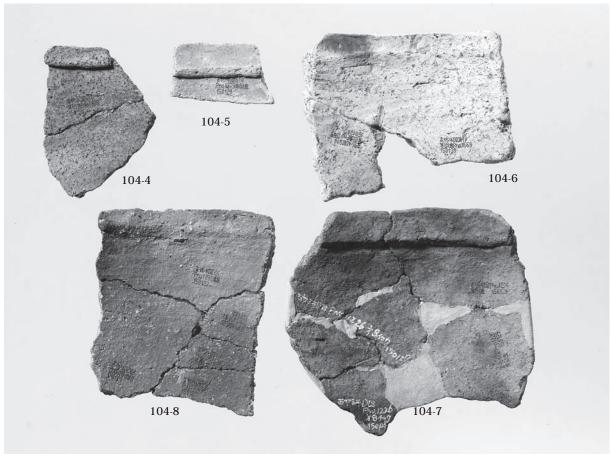
G10 土器だまり出土土器 (2)



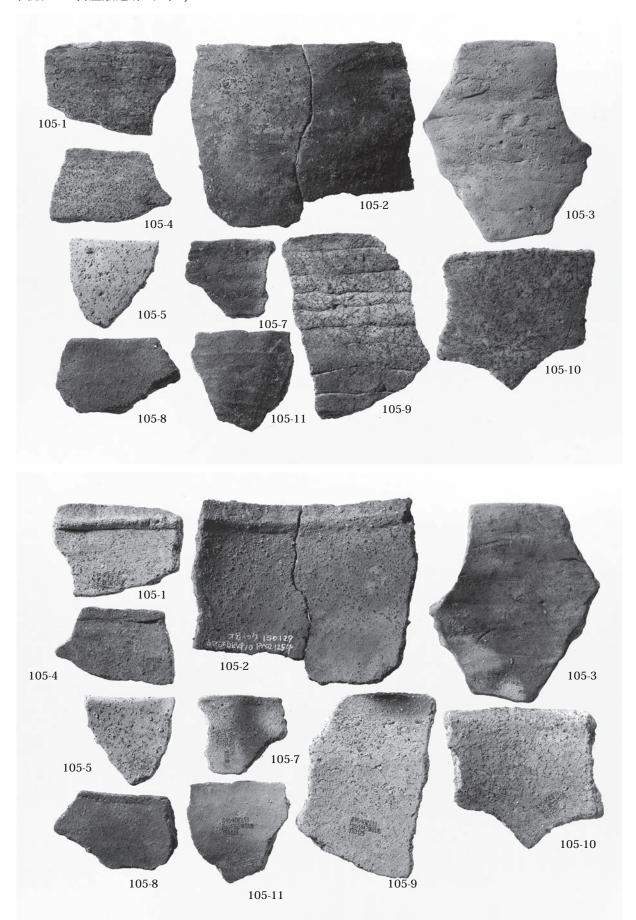


G10 土器だまり出土土器 (3)

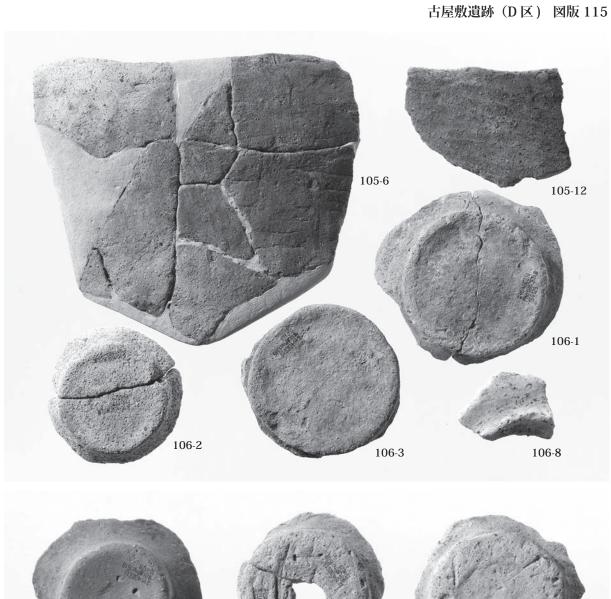


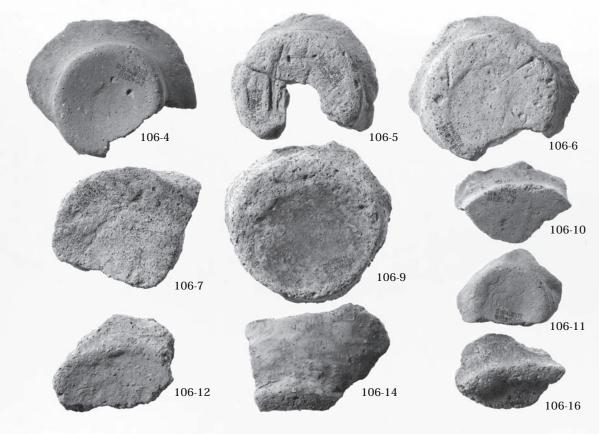


G10 土器だまり出土土器 (4)

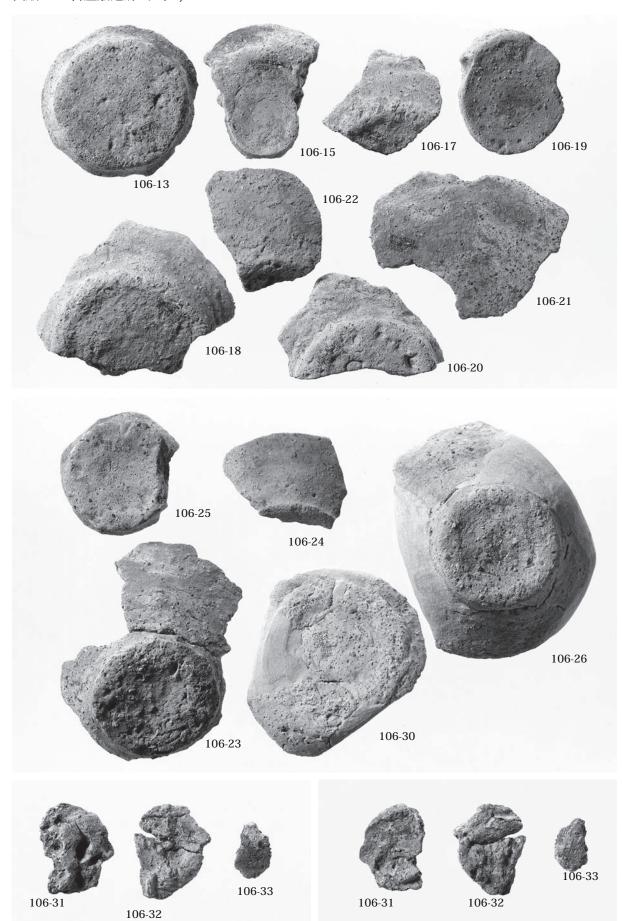


G10 土器だまり出土土器 (5)

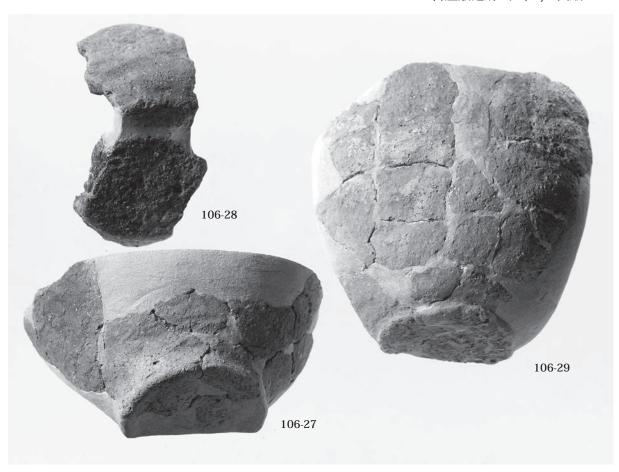




G10 土器だまり出土土器 (6)



G10 土器だまり出土土器 (7)・土製品





G10 土器だまり出土土器 (8)



9 ライントレンチ下層(G ライン付近) の状況 (北西から)



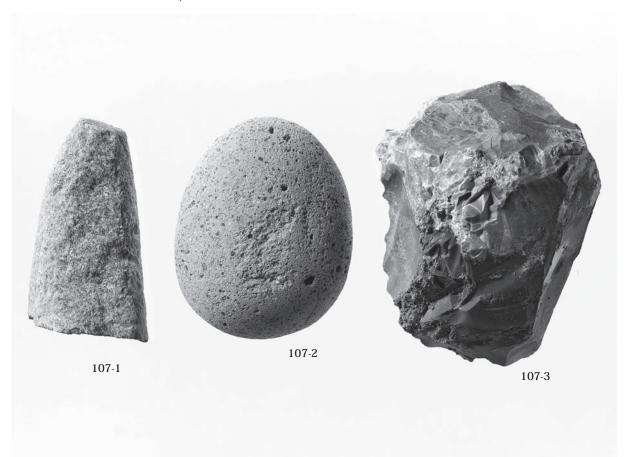
9 ライントレンチ下層 (I ライン付近) の状況 (南西から)

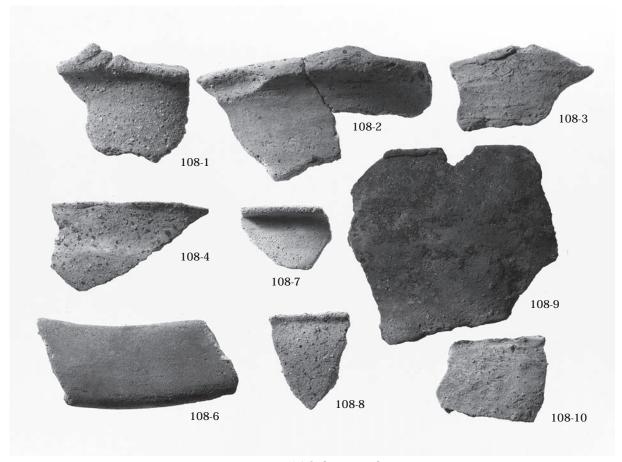


第8遺構面9ライン以東G10土器だまり完掘状況(北から)



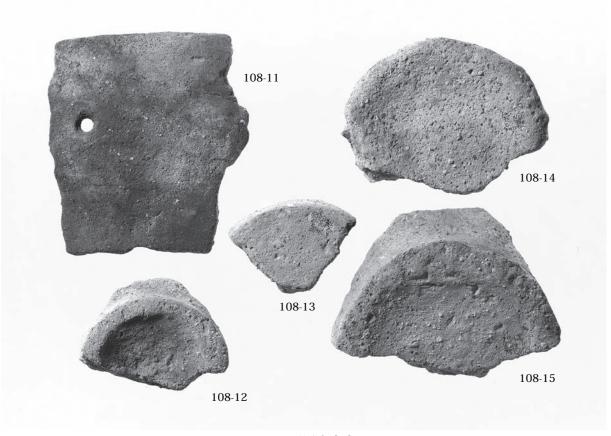
第8遺構面 G10 土器だまり完掘状況 (北東から)





9 ライン下層出土石器・土器





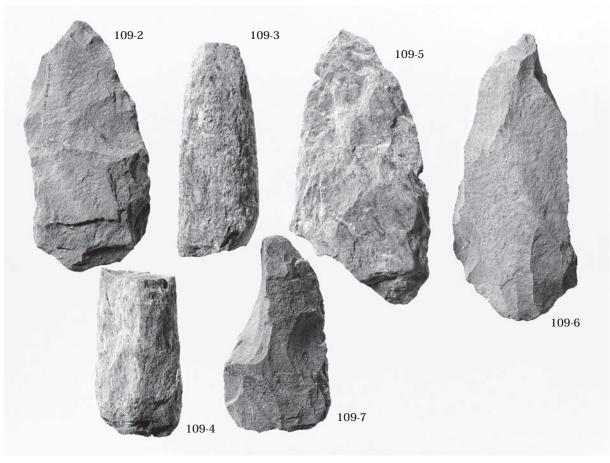
9 ライン下層出土土器

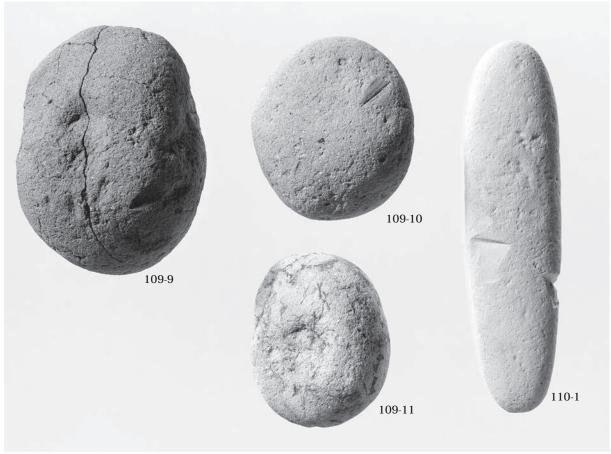


古屋敷遺跡 (D 区) 調査後全景 (西から)

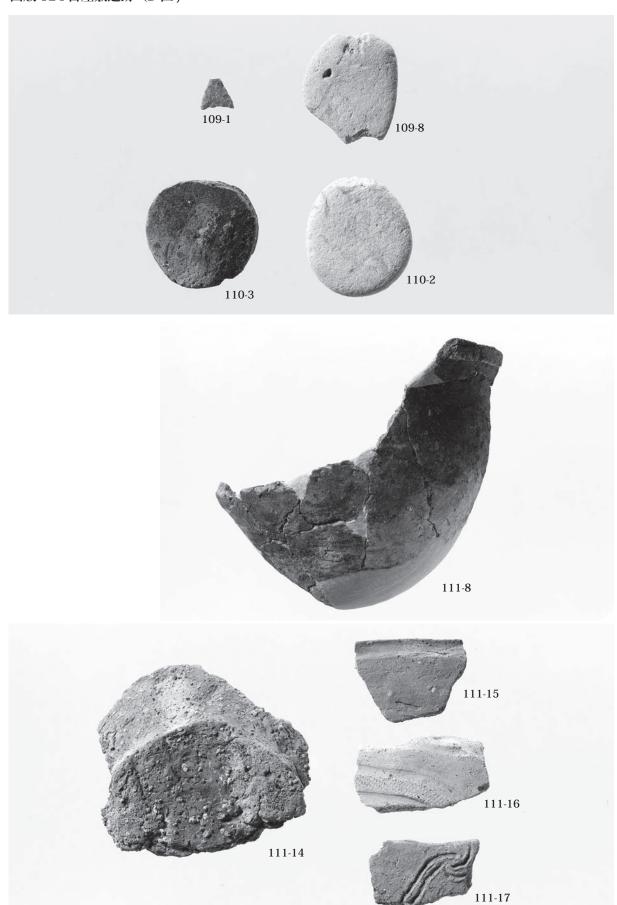


古屋敷遺跡 (D 区)調査後全景 (北西から)

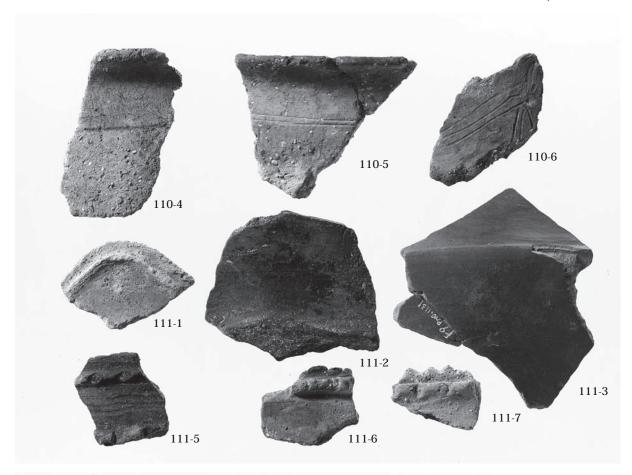




各遺構面以外からの出土石器

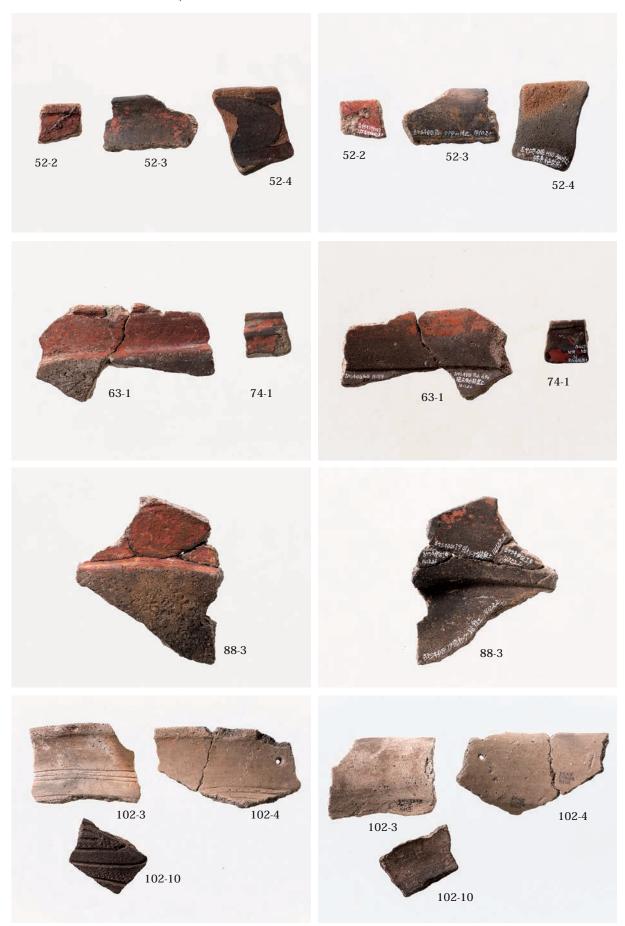


各遺構面以外からの出土石器・土器 (1)





各遺構面以外からの出土土器 (2)



古屋敷遺跡 (D区) から出土した赤彩のある土器 (1)





古屋敷遺跡 (D区) から出土した赤彩のある土器 (2)





古屋敷遺跡 (D区) から出土した赤彩のある土器 (3)

報告書抄録

| | | - | | | | | | | | |
|---------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|-------------------|---------------------|------|------|----------|-----------------|------|--|
| ふりがな | ふるやしきいせき (Dく) | | | | | | | | | |
| 書名 | 古屋敷遺跡(D区) | | | | | | | | | |
| シリーズ名 | 一般国道 9 号(静間仁摩道路)改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 | | | | | | | | | |
| シリーズ番号 | 2 | | | | | | | | | |
| 編著者名 | 林 健亮・渡辺正巳・上山晶子 | | | | | | | | | |
| 編集機関 | 島根県教育庁埋蔵文化財調査センター | | | | | | | | | |
| | http://www.pref.shimane.lg.jp/maizobunkazai/ | | | | | | | | | |
| 所在地 | 〒 690-0131 島根県松江市打出町 33 番地 | | | | | | | | | |
| | E-mail:maibun@pref.shimane.lg.jp | | | | | | | | | |
| 発行年月日 ぶりがな | 2017(平成 29)年 3 月 16 日 s り が な | | | | | | | | | |
| がなる がな がな が な が な が な が 名 | 1 | 地 | 市町村 | 1ード 遺跡番号 | 北緯 | 東経 | 調査期間 | 調査面積 | 調査原因 | |
| ふるやしきいせき | | <u>- 地</u> おおだし | | <u> 退跡番写</u> B61 | 35° | 132° | 20140509 | 1 800 m² | | |
| 古屋敷遺跡 | 島根県 | 大田市 | 32203 | DOI | | | 20140303 | 1,000111 | | |
| | にまちょう | | | | 08′ | 24' | ~ | | 道路建設 | |
| | 仁摩町 | 大国 | | | 36" | 56" | 20150131 | | | |
| | | | | | | | | | | |
|) | 種別 主な時代 主な遺構 主な遺物 特記事項 | | | | | | | | | |
| 遺跡名 古屋敷遺跡 | 集落 | 土な時代 縄文 | 土々退博 木棺墓・配石遺構 | | 土な退物 | | | 特記事項 各部材が良好に | | |
| 口)全 | | | | | | | 台印的か及好に | | | |
| | | 弥生 | 水さらし場遺構 | | | | 残る縄文時代晩期 | | | |
| | | | 地床炉・袋状土坑 | | | | の木棺墓、西日本 | | | |
| | | | 溝 | | 木棺部材 | | | ではめずらしい水 | | |
| | | | | | | | | さらし場遺構など | | |
| | | | | | | | | を検出。 | | |
| | | | | | | | | 前年度調査に続 | | |
| | | | | | | | | いて、彩文土器が | | |
| | | | | | | | 出土。 | | | |
| 要約 | | | | | | | | | | |
| | 前期の遺跡。このうち、D区の調査では、弥生前期の人工的な水路・縄文晩期に | | | | | | | | | |
| | 遡る木棺墓、西日本では検出例の少ない水さらし場遺構、非常に多くの地床炉や柱穴とともに、土器・石器を始め、呪術具など様々な遺物が出土した。 縄文・弥生時代には遺跡近くまで海水面が入り込んでいたと考えられ、海を介し、多くの文化の交流があったと考えられ、縄文から弥生時代へ推移していく状況を考える上で、貴重な資料を得た。 | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| (結府・経府は卅月測州でによる) | | | | | | | | | | |

(緯度・経度は世界測地系による)

古屋敷遺跡 (D区)

一般国道9号(静間仁摩道路)改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書2

発行 2017(平成29)年3月

発行者 国土交通省中国地方整備局松江国道事務所

島根県教育委員会

編集 島根県教育庁埋蔵文化財調査センター

〒 690-0131 島根県松江市打出町 33 番地

電話 0852-36-8608

http://www.pref.shimane.lg.jp/maizobunkazai/

印刷 有限会社 松陽印刷所